

8 栄養・食生活について

(32) 朝食・昼食・夕食を食べていますか。(〇はア、イ、ウそれぞれに1つずつ)

< A : 問 8 / B : 問 32 >

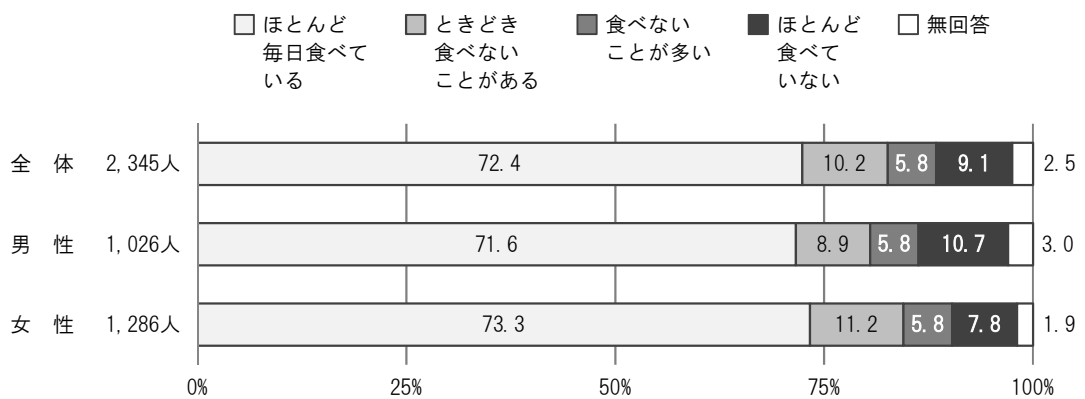
1. ほとんど毎日食べている
2. ときどき食べないことがある(週5・6日食べる)
3. 食べないことが多い(週3・4日食べる)
4. ほとんど食べていない(週2日以下)

ア. 朝食

朝食を食べている状況は、15歳以上調査では72.4%となっています。

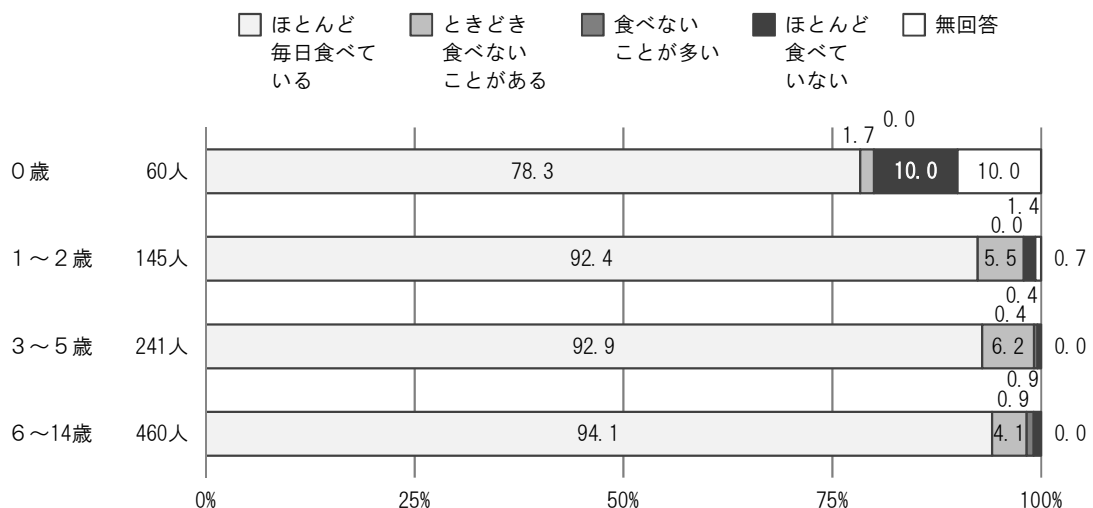
性別にみると、男性では「ほとんど食べていない」が10.7%と、女性より2.9ポイント有意に高くなっています。

図 32-ア.1 朝食を食べている状況 (B : 15歳以上調査) [全体・性別] *



朝食を食べている状況を0~14歳調査で年齢別にみると、「ほとんど食べていない」が0歳で10.0%と有意に高くなっています。

図 32-ア.2 朝食を食べている状況 (A : 0~14歳調査) [年齢別] **

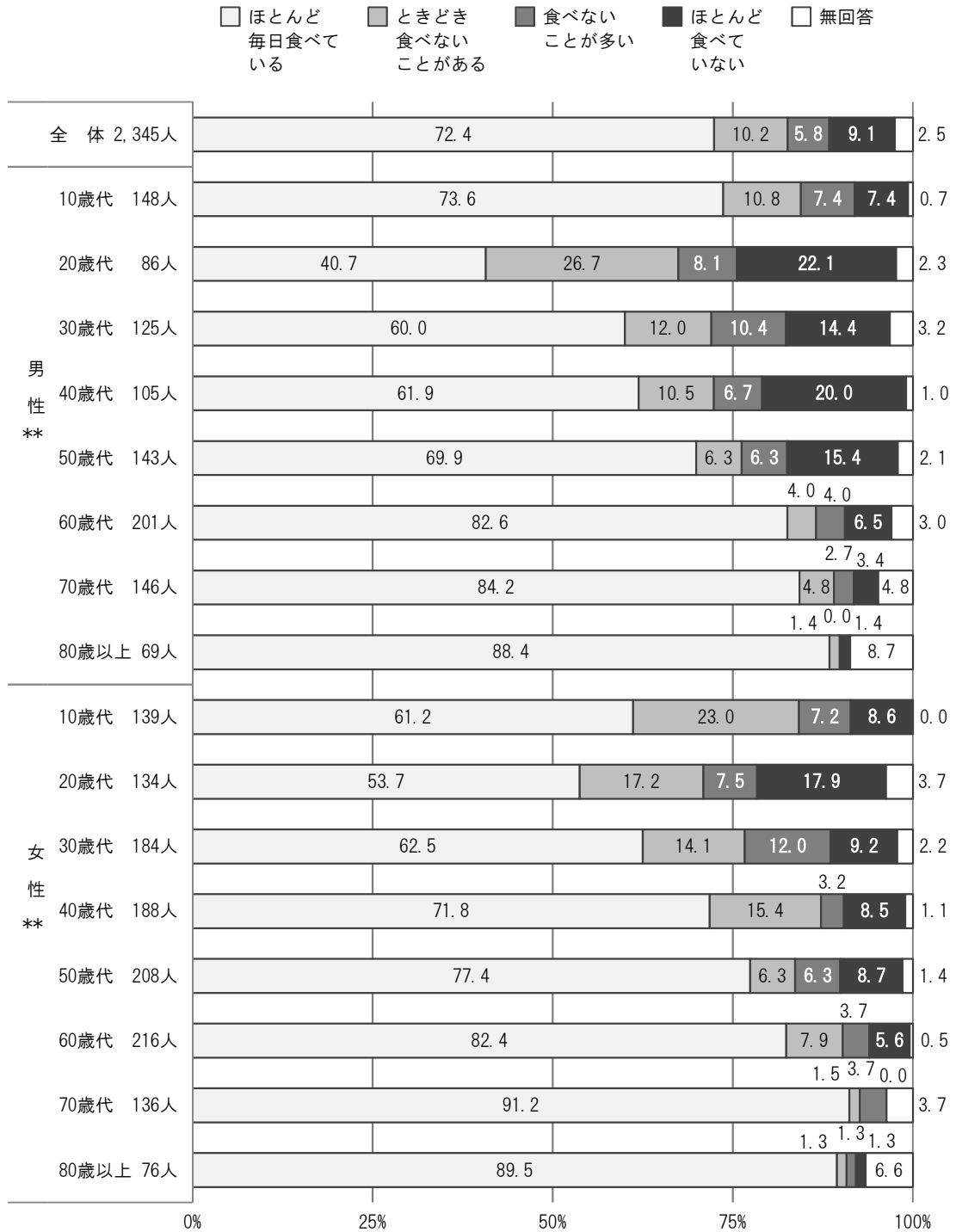


Ⅲ 調査結果

朝食を食べている状況を性・年代別にみると、男性では「ほとんど毎日食べている」が「60歳代」で82.6%、「70歳代」で84.2%、「80歳以上」で88.4%と他の年代より有意に高く、「ほとんど食べていない」が「20歳代」で22.1%、「40歳代」で20.0%と有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べている」が「60歳代」で82.4%、「70歳代」で91.2%、「80歳以上」で89.5%と有意に高く、「ほとんど食べていない」が「20歳代」で17.9%と有意に高くなっています。

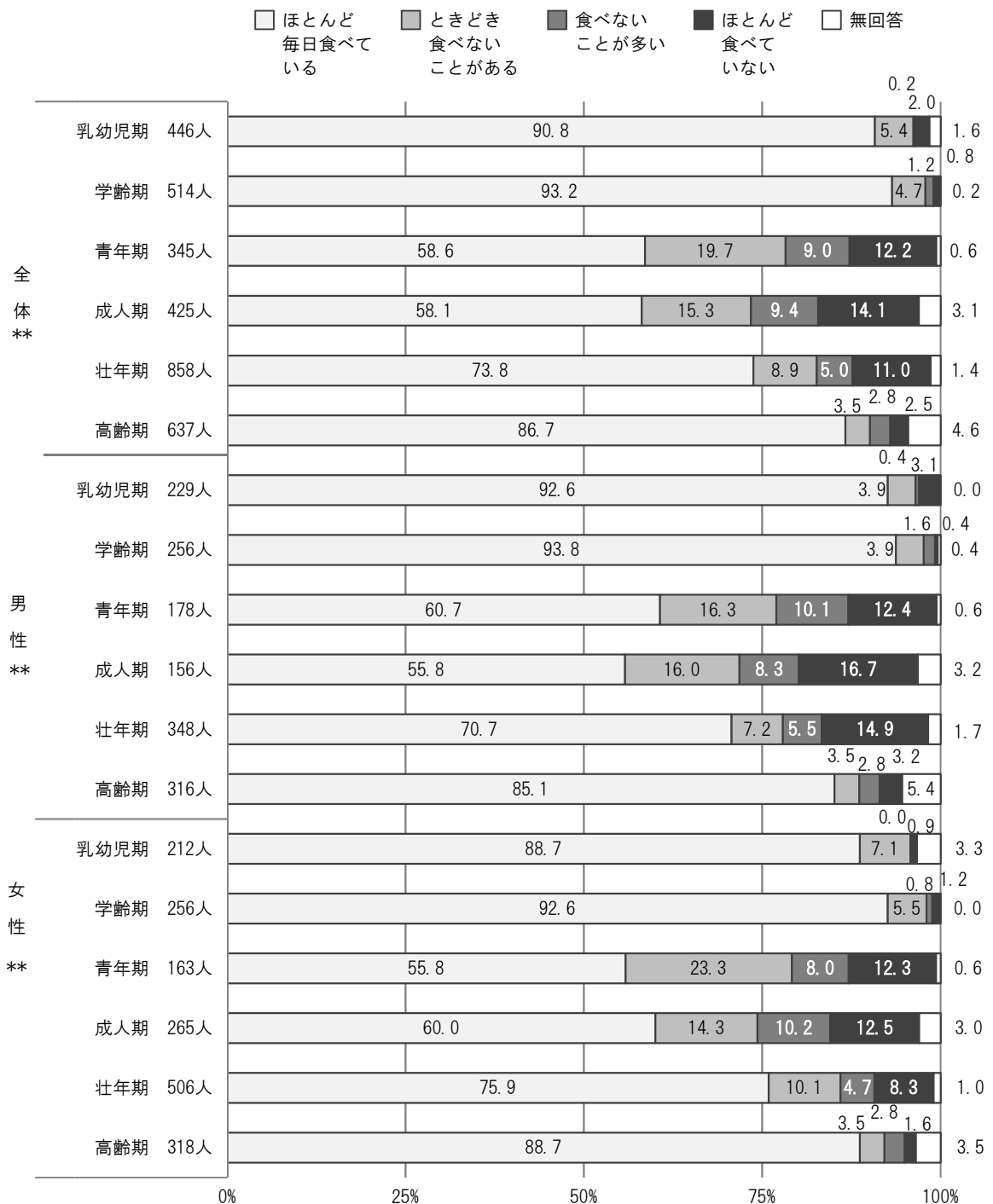
図 32-ア.3 朝食を食べている状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



朝食を食べている状況を性・ライフステージ別にみると、全体では、「ほとんど毎日食べている」が「乳幼児期」で90.8%、「学齢期」で93.2%、「高齢期」で86.7%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど食べていない」が「青年期」で12.2%、「成人期」で14.1%、「壮年期」で11.0%と有意に高くなっています。

男性では「ほとんど毎日食べている」が「乳幼児期」で92.6%、「学齢期」で93.8%、「高齢期」で85.1%と有意に高く、「ほとんど食べていない」が「成人期」で16.7%、「壮年期」で14.9%と有意に高くなっています。女性では「ほとんど毎日食べている」が「乳幼児期」で88.7%、「学齢期」で92.6%、「高齢期」で88.7%と有意に高く、「ほとんど食べていない」が「青年期」で12.3%「成人期」で12.5%と有意に高くなっています。

図 32-ア.4 朝食を食べている状況（C：全年齢（AB合算））〔全体・性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

朝食を毎日食べている割合についてH29年調査と比較すると、「1～2歳」で3.3ポイント減少しています。

表 32-ア.1 朝食を毎日食べている割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－ H29年調査
0歳	65.6	78.3	12.7
1～2歳	95.7	92.4	-3.3
3～5歳	91.8	92.9	1.1
6～14歳	94.9	94.1	-0.8

朝食を毎日食べている割合について、15歳以上調査の性・年代別をH24年調査と比較すると、女性では「10歳代」で27.5ポイントと有意に減少しています。

H28年調査と比較すると、男性では「70歳代」で9.2ポイント有意に減少しています。女性では「10歳代」で12.9ポイントと有意に減少しています。

表 32-ア.2 朝食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・男性年齢別〕
単位：％、ポイント
**

項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	77.3	83.5	73.6	-3.7	-9.9
20歳代	53.7	48.2	40.7	-13.0	-7.5
30歳代	60.7	48.8	60.0	-0.7	11.2
40歳代	66.4	57.8	61.9	-4.5	4.1
50歳代	73.6	69.2	69.9	-3.7	0.7
60歳代	81.4	77.7	82.6	1.2	4.9
70歳代	90.1	93.4	84.2	-5.9	-9.2
80歳以上	86.3	87.7	88.4	2.1	0.7

表 32-ア.3 朝食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・女性年齢別〕
単位：％、ポイント
** **

項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	88.7	74.1	61.2	-27.5	-12.9
20歳代	63.3	52.2	53.7	-9.6	1.5
30歳代	78.1	74.0	62.5	-15.6	-11.5
40歳代	79.8	79.0	71.8	-8.0	-7.2
50歳代	84.4	80.1	77.4	-7.0	-2.7
60歳代	90.3	80.9	82.4	-7.9	1.5
70歳代	89.7	86.7	91.2	1.5	4.5
80歳以上	85.7	83.6	89.5	3.8	5.9

朝食をほとんど毎日食べている割合について、H23年調査と比較すると、女性の「青年期」で20.1ポイント有意に減少しています。

H28年調査と比較すると、男性の「青年期」で15.3ポイント有意に減少しています。

表 32-ア.4 朝食をほとんど毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・ライフステージ別〕

単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	**		
				今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査	
男性	青年期	68.1	76.0	60.7	-7.4	-15.3
	成人期	64.4	46.4	55.8	-8.6	9.4
	壮年期	79.2	66.6	70.7	-8.5	4.1
	高齢期	95.0	87.2	85.1	-9.9	-2.1
女性	青年期	75.9	65.9	55.8	-20.1	-10.1
	成人期	73.0	68.4	60.0	-13.0	-8.4
	壮年期	88.0	79.1	75.9	-12.1	-3.2
	高齢期	93.8	84.5	88.7	-5.1	4.2

計画における数値目標のデータ



朝食を食べている人の割合

- ・20歳代男性 40.7%（目標値 75%以上）
- ・30歳代男性 60.0%（目標値 75%以上）
- ・20歳代女性 53.7%（目標値 75%以上）

<問32ア. で「ほとんど毎日食べている」と答えた人の割合>



朝食を食べている人の割合

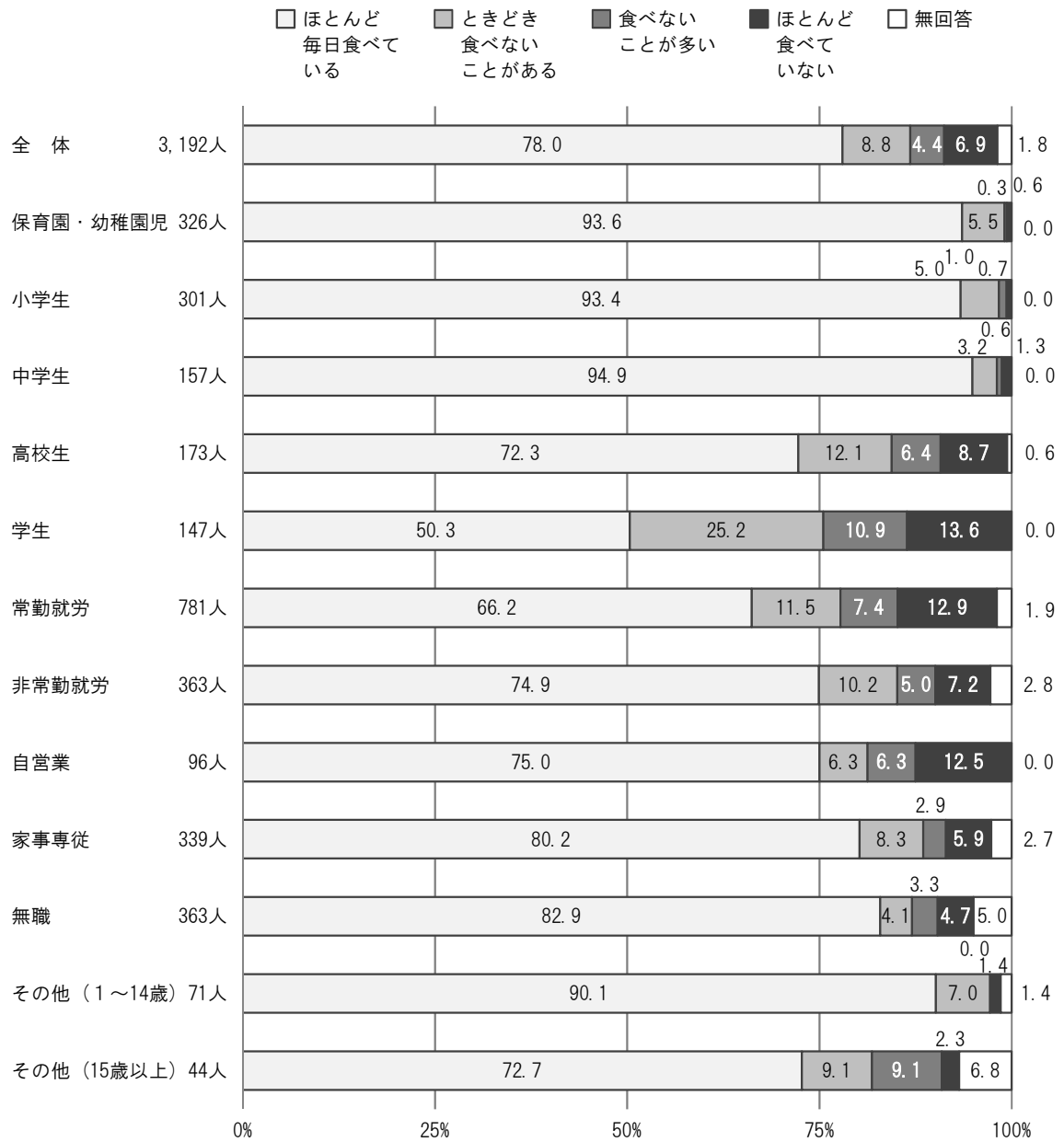
- ・学齢期（6～15歳）全体 93.2%（目標値 97%以上）
- ・成人期（25～39歳）全体 58.1%（目標値 75%以上）
 - 男性 55.8%（ベース値 46.4%）
 - 女性 60.0%（ベース値 68.4%）

<A：問8ア. B：問32ア. で「ほとんど毎日食べている」と答えた人の割合>

Ⅲ 調査結果

就園・就学・就労状況別にみると、「ほとんど毎日食べている」が、「保育園・幼稚園児」で93.6%、「小学生」で93.4%、「中学生」で94.9%、「無職」で82.9%と他の就園・就学・就労状況より有意に高くなっています。

図 32-ア.5 朝食を食べている状況（C：全年齢（AB合算）【1歳以上】）〔就園・就学・就労状況別〕**



朝食を食べている状況を家族構成別にみると、0～14歳調査では、「食べないことが多い」が「その他」で16.7%と他の家族構成より有意に高くなっています。

15歳以上調査では、「ほとんど毎日食べている」が「夫婦のみ」で77.8%と有意に高く、「ほとんど食べていない」が「一人暮らし」で12.9%、「その他」で15.1%と有意に高くなっています。

図 32-ア.6 朝食を食べている状況（A：0～14歳調査【1歳以上】）〔家族構成別〕**

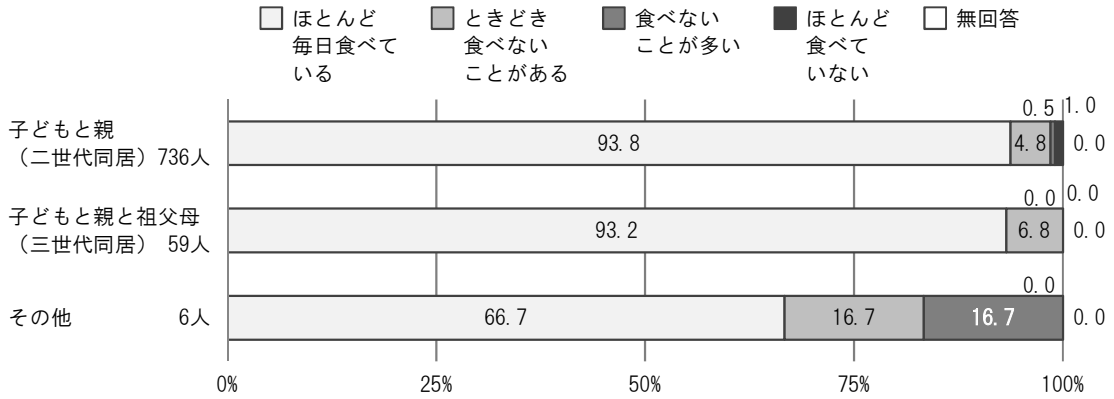
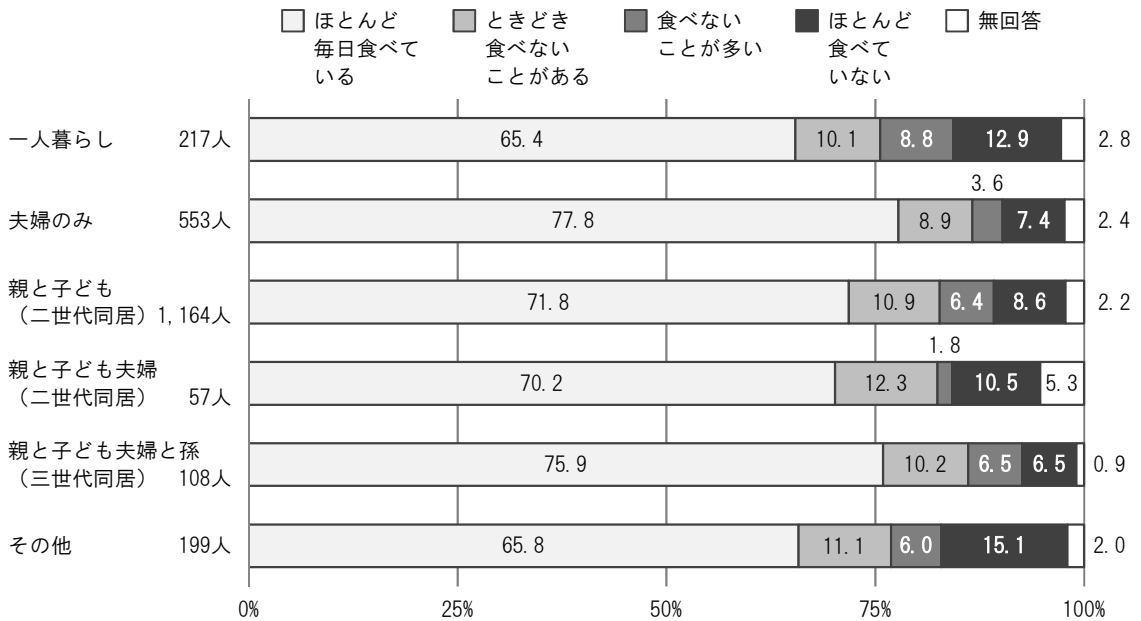


図 32-ア.7 朝食を食べている状況（B：15歳以上調査）〔家族構成別〕**



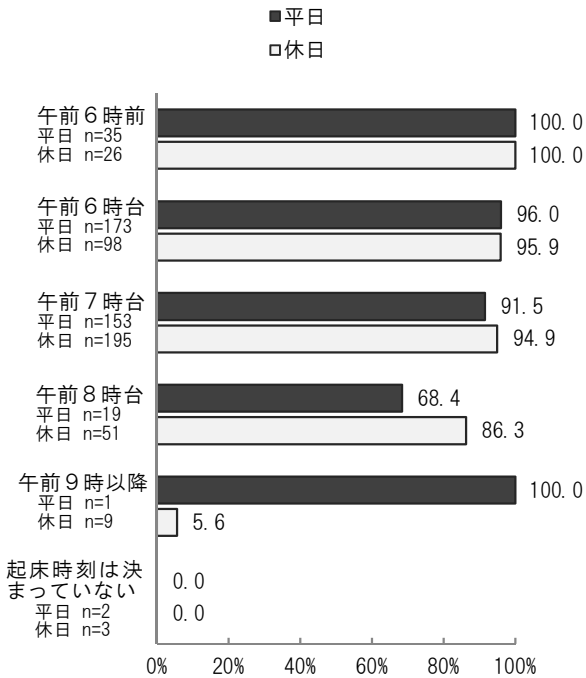
Ⅲ 調査結果

朝食をほとんど毎日食べている子どもの割合を起床時刻・就寝時刻（平日・休日）別にみると、1～5歳と6～14歳では、いずれも平日の就寝時刻が遅いほど割合が低くなっています。

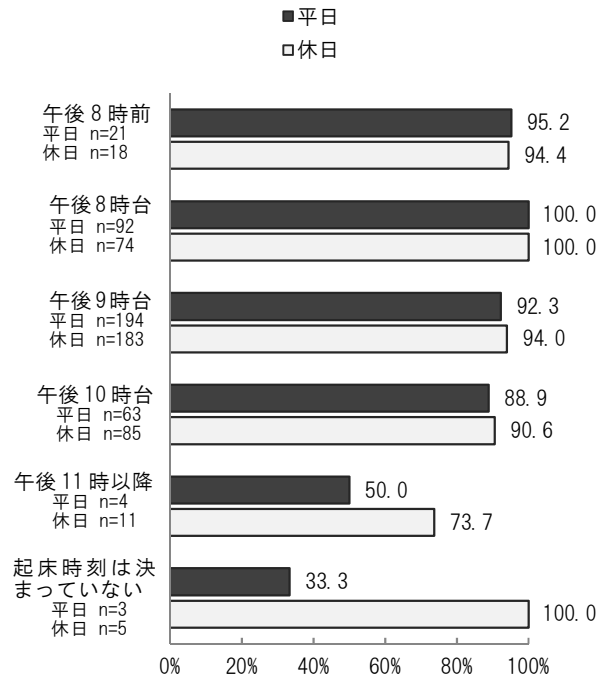
図 32-ア.8 朝食をほとんど毎日食べている子どもの割合（A：0～14歳調査【1歳以上】）

〔起床時刻・就寝時刻（平日・休日）年齢別〕

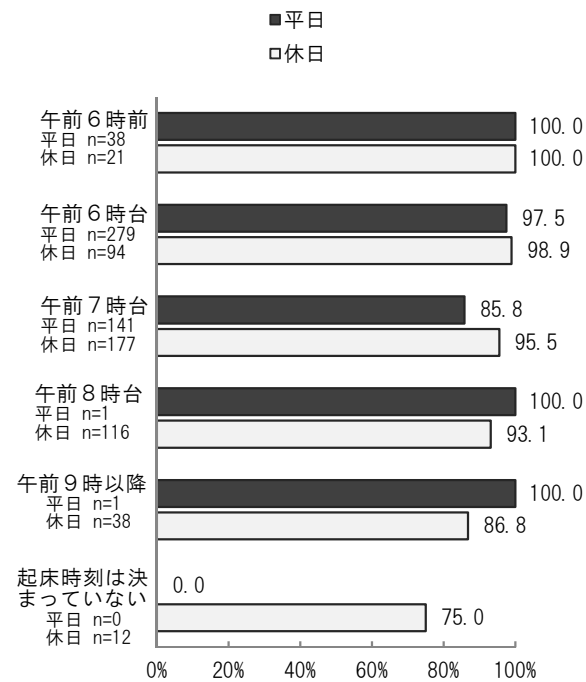
【起床時刻 1～5歳】



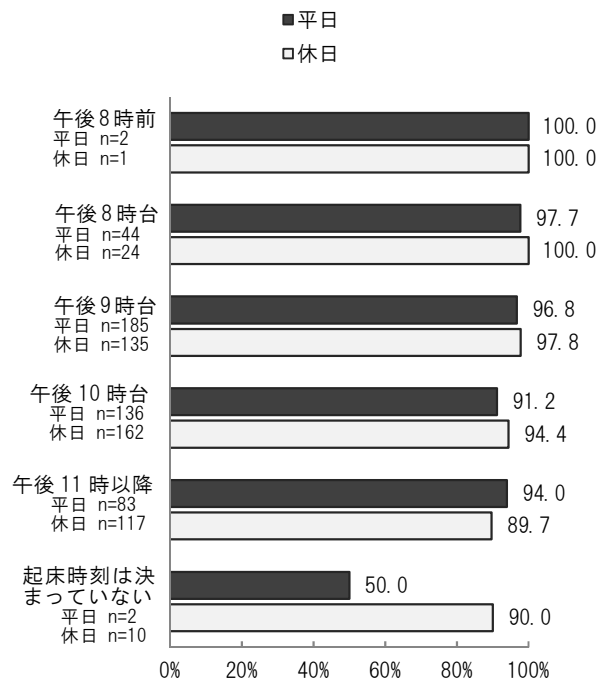
【就寝時刻 1～5歳】



【起床時刻 6～14歳】

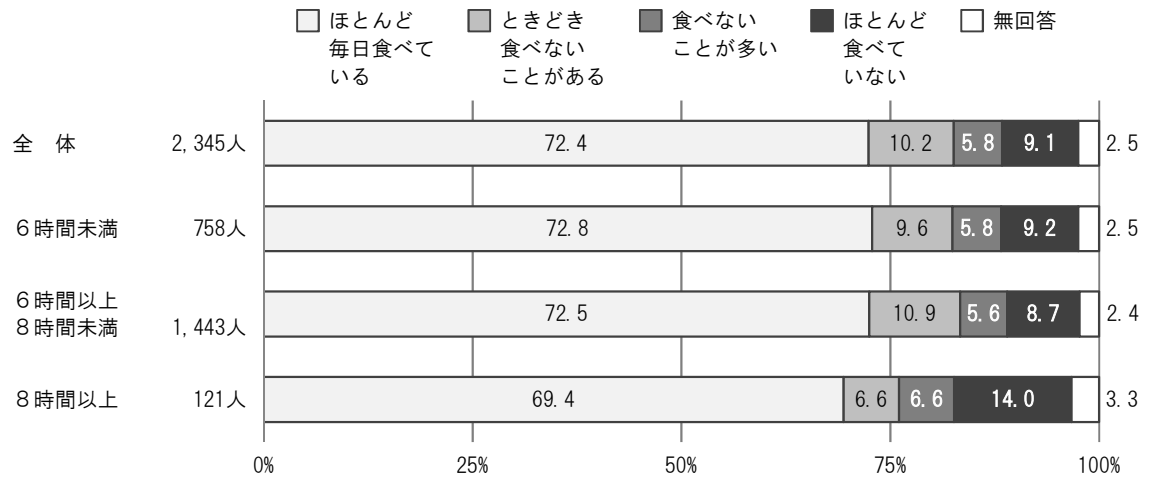


【就寝時刻 6～14歳】



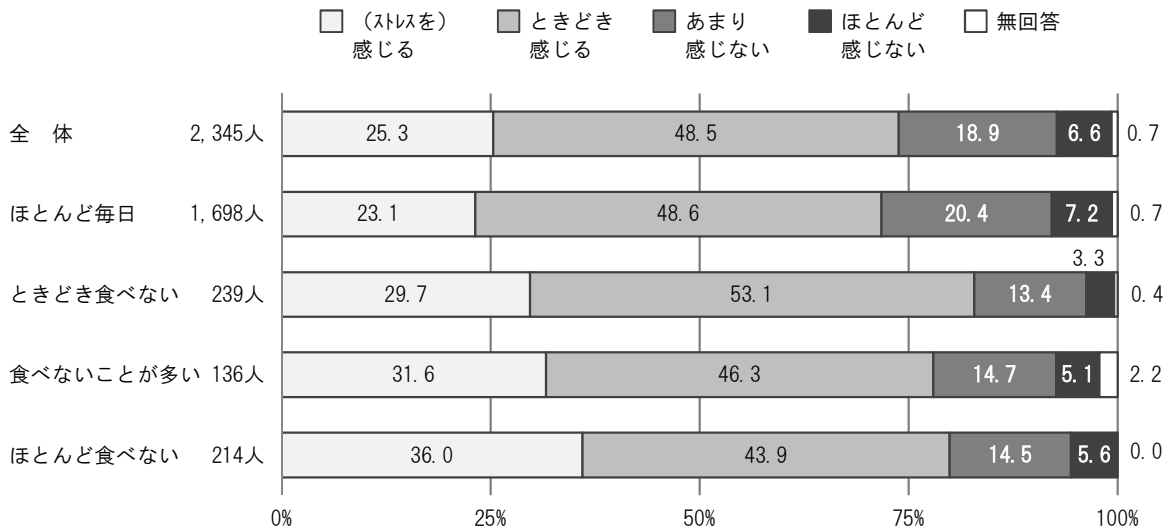
朝食を食べている状況を睡眠時間別にみると、「ほとんど毎日食べている」が「6時間未満」で72.8%、「ほとんど食べていない」が「8時間以上」で14.0%となっています。

図 32-ア.9 朝食を食べている状況（B：15歳以上調査）〔睡眠時間別〕



ストレスの状況を朝食を食べている状況別にみると、「(ストレス)を感じる」が「ほとんど食べない」で36.0%と他のストレス状況より有意に高く、「あまり感じない」が「ほとんど毎日」で20.4%と有意に高くなっています。

図 32-ア.10 ストレスの状況（B：15歳以上調査）〔朝食を食べている状況別〕**

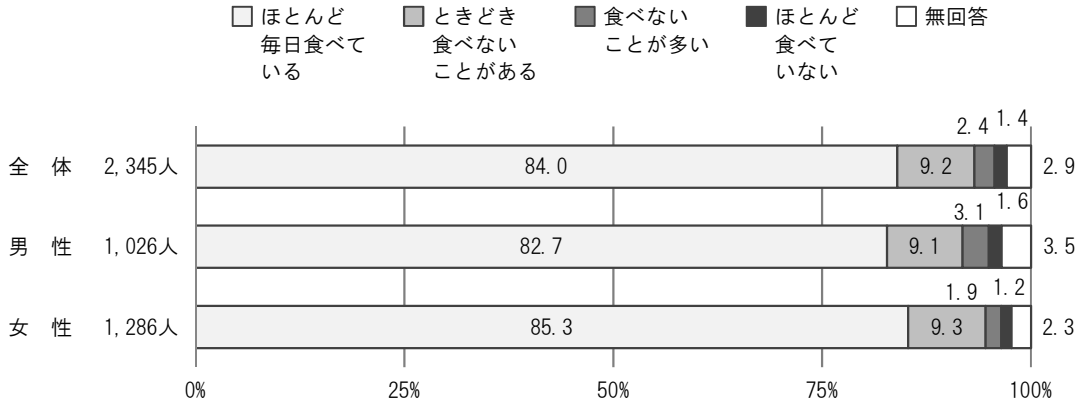


Ⅲ 調査結果

イ. 昼食

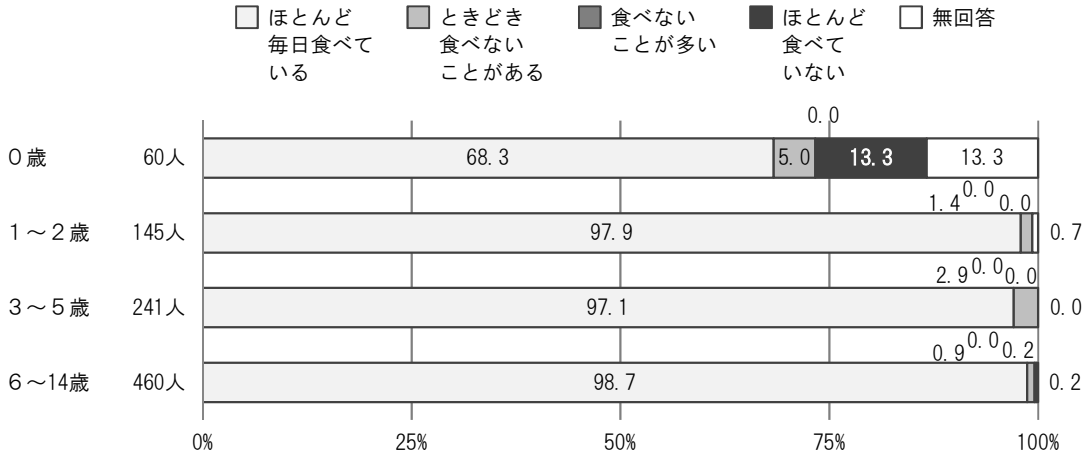
昼食を食べている状況は、「ほとんど毎日食べている」が15歳以上調査では84.0%となっています。
性別にみると、大きな差はありません。

図 32-イ.1 昼食を食べている状況（B：15歳以上調査）【全体・性別】



昼食を食べている状況を0～14歳調査で年齢別にみると、「ほとんど毎日食べている」が「6～14歳」で98.7%となっています。

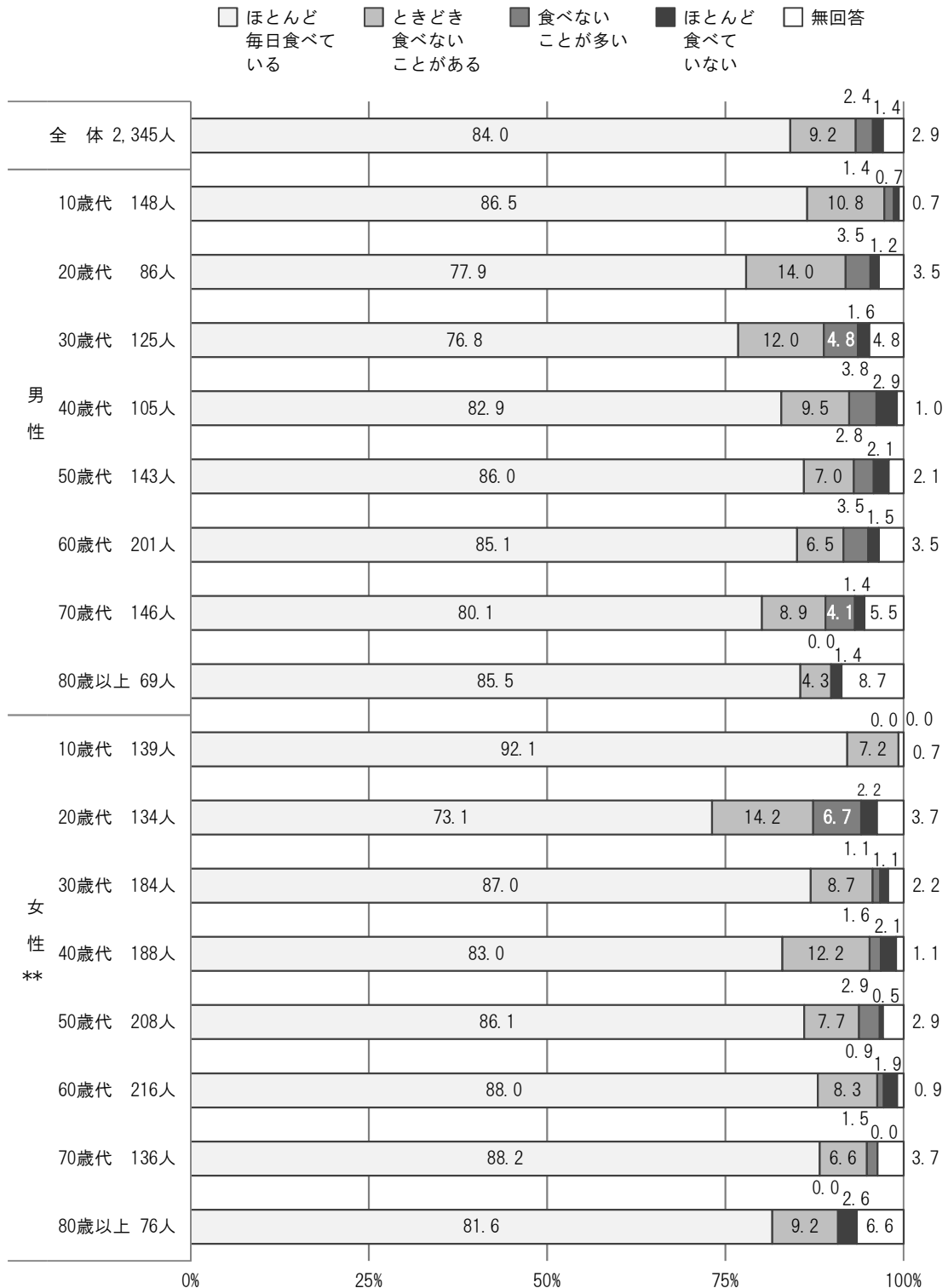
図 32-イ.2 昼食を食べている状況（A：0～14歳調査）【年齢別】



昼食を食べている状況を性・年代別にみると、男性では「ほとんど毎日食べている」が「10歳代」で86.5%、「50歳代」で86.0%、「80歳以上」で85.5%となっており、「ときどき食べないことがある」が「20歳代」で14.0%、「30歳代」で12.0%となっています。

女性では「ほとんど毎日食べている」が「10歳代」で92.1%と他の年代より有意に高く、「ときどき食べないことがある」が「20歳代」で14.2%、「食べないことが多い」が「20歳代」で6.7%と有意に高くなっています。

図 32 イ.3 昼食を食べている状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

昼食を毎日食べている割合について0～14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「0歳」で7.6ポイント増加しています。

表 32-イ.1 昼食を毎日食べている割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－ H29年調査
0歳	60.7	68.3	7.6
1～2歳	97.0	97.9	0.9
3～5歳	97.4	97.1	-0.3
6～14歳	99.1	98.7	-0.4

昼食を毎日食べている割合について15歳以上調査の性・年代別をH28年調査と比較すると、男性では「70歳代」で8.5ポイント有意に減少しています。
女性では「70歳代」8.2ポイント増加しています。

表 32-イ.2 昼食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・男性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	92.8	86.5	-6.3
20歳代	80.7	77.9	-2.8
30歳代	82.9	76.8	-6.1
40歳代	79.6	82.9	3.3
50歳代	83.2	86.0	2.8
60歳代	78.7	85.1	6.4
70歳代	88.6	80.1	-8.5
80歳以上	82.2	85.5	3.3

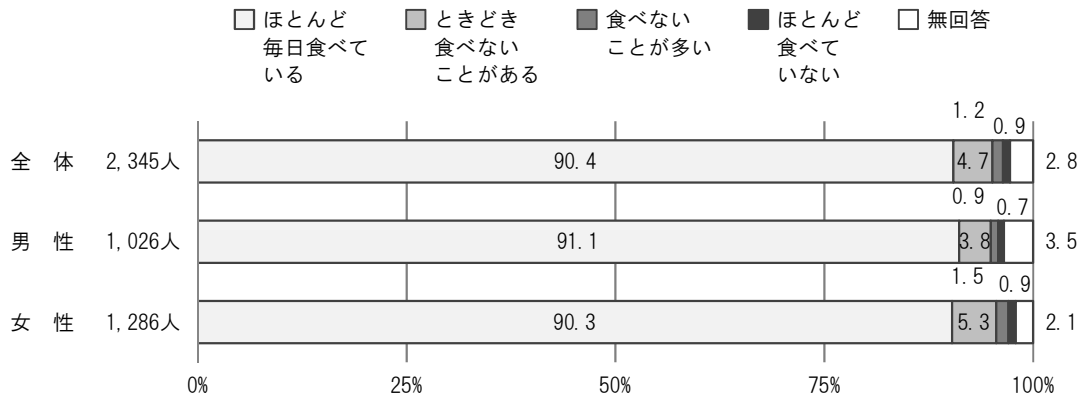
表 32-イ.3 昼食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・女性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	91.8	92.1	0.3
20歳代	76.9	73.1	-3.8
30歳代	88.8	87.0	-1.8
40歳代	84.6	83.0	-1.6
50歳代	87.9	86.1	-1.8
60歳代	84.9	88.0	3.1
70歳代	80.0	88.2	8.2
80歳以上	79.5	81.6	2.1

ウ. 夕食

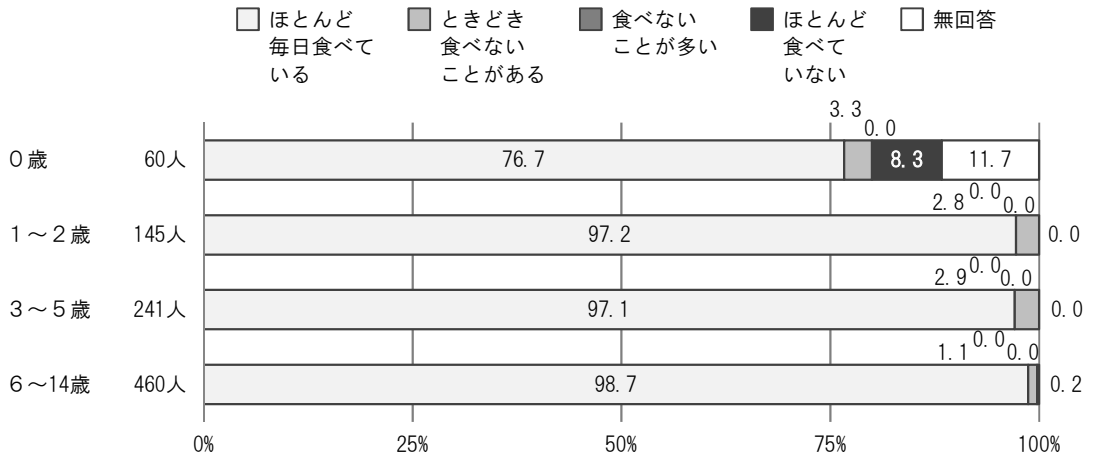
夕食を食べている状況は、「ほとんど毎日食べている」が15歳以上調査では90.4%となっています。
性別にみると、大きな差はみられません。

図 32-ウ.1 夕食を食べている状況（B：15歳以上調査）【全体・性別】



夕食を食べている状況を0～14歳調査で年齢別にみると、「ほとんど毎日食べている」が「6～14歳」で98.7%となっています。

図 32-ウ.2 夕食を食べている状況（A：0～14歳調査）【年齢別】

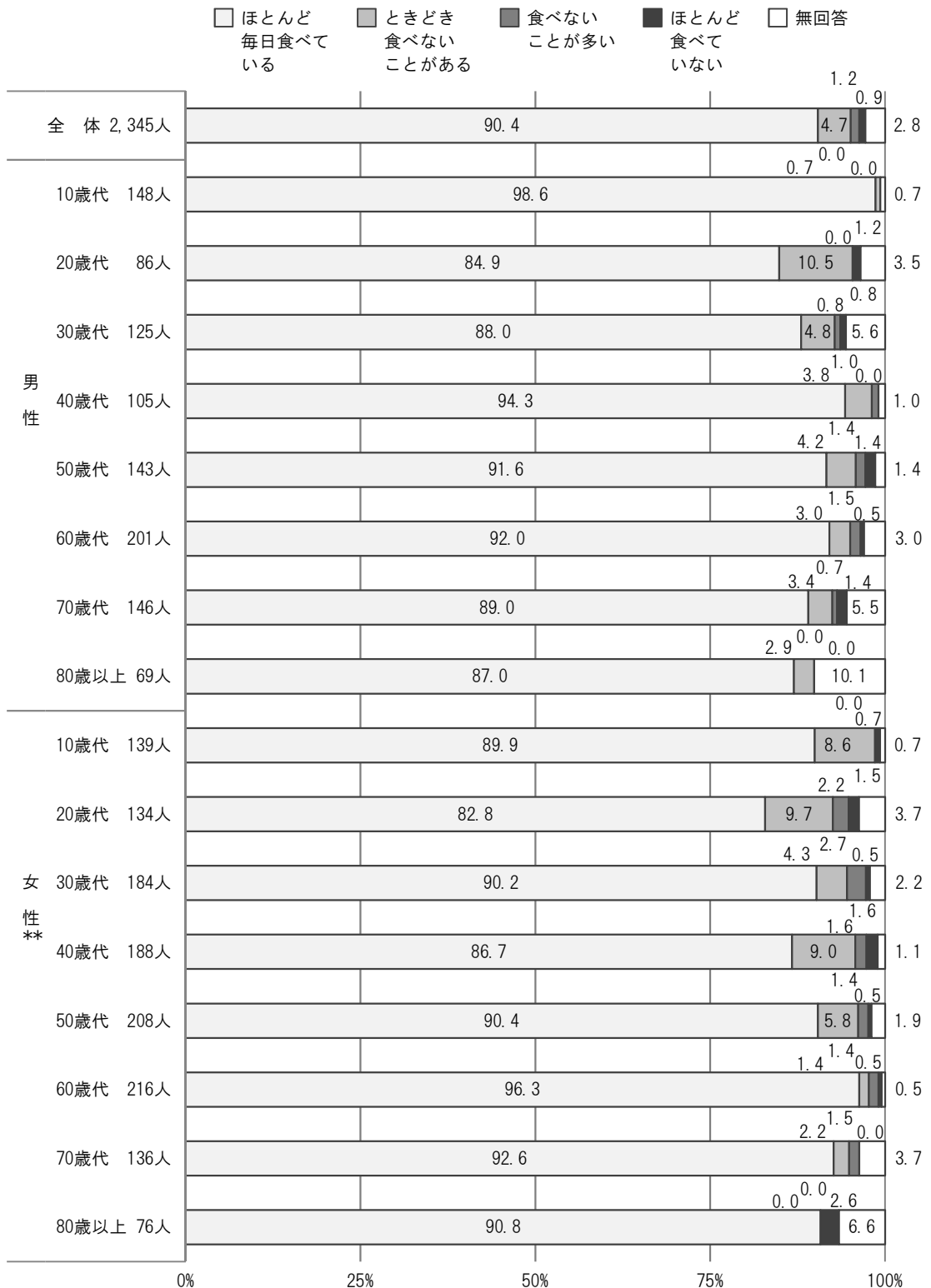


Ⅲ 調査結果

夕食を食べている状況を性・年代別にみると、男性では「ほとんど毎日食べている」が「10歳代」で98.6%、「40歳代」で94.3%、「60歳代」で92.0%となっており、「ときどき食べないことがある」が「20歳代」で10.5%となっています。

女性では「ほとんど毎日食べている」が「60歳代」で96.3%と他の年代より有意に高く、「ときどき食べないことがある」が「20歳代」で9.7%、「40歳代」で9.0%と有意に高くなっています。

図 32-ウ.3 夕食を食べている状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



夕食を毎日食べている割合について、0～14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「0歳」で6.2ポイント増加しています。

表 32-ウ.1 夕食を毎日食べている割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－ H29年調査
0歳	70.5	76.7	6.2
1～2歳	98.2	97.2	-1.0
3～5歳	96.3	97.1	0.8
6～14歳	99.3	98.7	-0.6

夕食を毎日食べている割合について、15歳以上調査の性・年代別をH28年調査と比較すると、男性では「80歳以上」で6.2ポイント減少しています。女性では「60歳代」で6.7ポイント増加しています。

表 32-ウ.2 夕食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・男性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	96.4	98.6	2.2
20歳代	85.5	84.9	-0.6
30歳代	83.7	88.0	4.3
40歳代	90.5	94.3	3.8
50歳代	91.6	91.6	0.0
60歳代	87.3	92.0	4.7
70歳代	91.6	89.0	-2.6
80歳以上	93.2	87.0	-6.2

表 32-ウ.3 夕食を毎日食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・女性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	87.1	89.9	2.8
20歳代	81.3	82.8	1.5
30歳代	92.9	90.2	-2.7
40歳代	90.3	86.7	-3.6
50歳代	89.8	90.4	0.6
60歳代	89.6	96.3	6.7
70歳代	90.4	92.6	2.2
80歳以上	89.0	90.8	1.8

Ⅲ 調査結果

(33) 朝食・昼食・夕食に野菜を食べていますか。

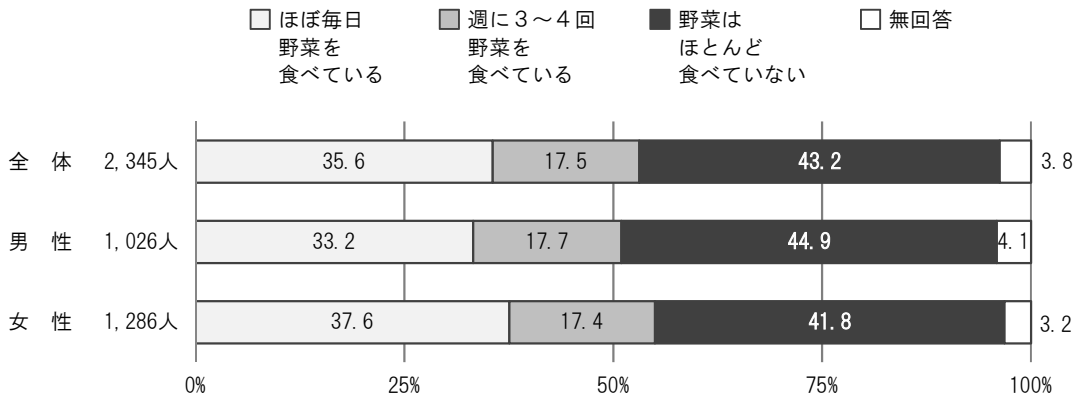
(○はア、イ、ウそれぞれに1つずつ) < A : 問9 / B : 問33 >

※野菜を一口でも食べている、また野菜ジュースでも、「食べている」とします。

ア. 朝食

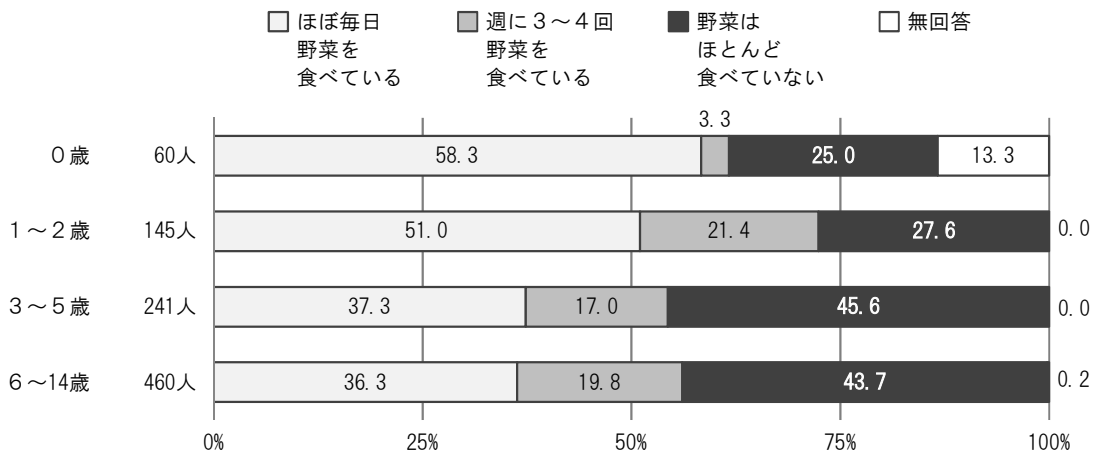
朝食での野菜摂取の状況は、「ほぼ毎日野菜を食べている」が15歳以上調査では35.6%、となっています。
性別にみると、大きな差はみられません。

図 33-ア.1 朝食での野菜摂取の状況 (B : 15歳以上調査) [全体・性別]



朝食での野菜摂取の状況について、0~14歳調査で年齢別にみると、「ほぼ毎日野菜を食べている」が「0歳」で58.3%、「1~2歳」で51.0%と他の年齢より有意に高く、「野菜はほとんど食べていない」が「3~5歳」で45.6%、「6~14歳」で43.7%となっています。

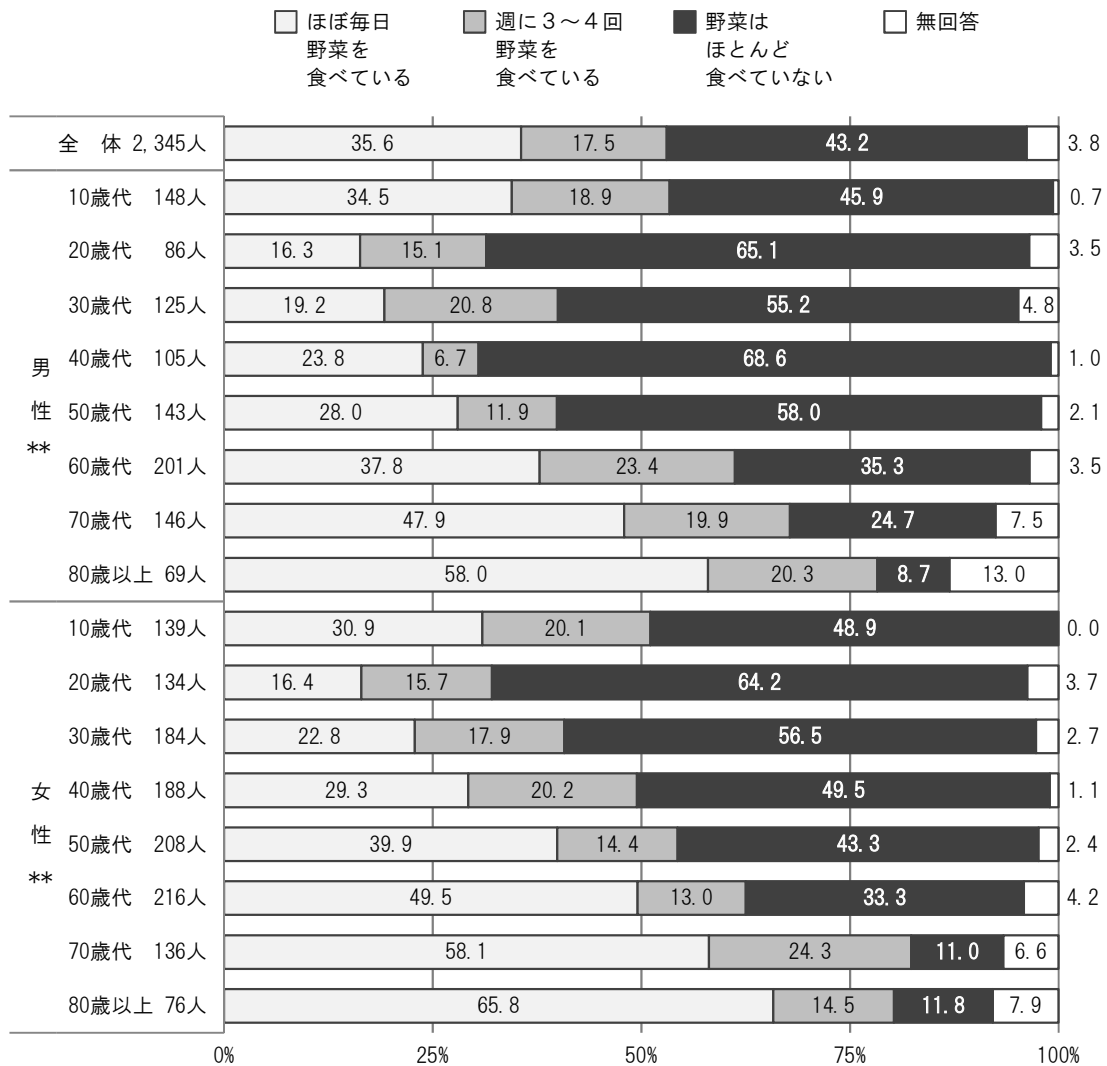
図 33-ア.2 朝食での野菜摂取の状況 (A : 0~14歳調査) [年齢別] **



朝食での野菜摂取の状況を性・年代別にみると、男性では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「70歳代」で47.9%、「80歳以上」で58.0%と他の年代より有意に高く、「野菜はほとんど食べていない」が「20歳代」で65.1%、「30歳代」で55.2%、「40歳代」で68.6%、「50歳代」で58.0%と有意に高くなっています。

女性では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「60歳代」で49.5%、「70歳代」で58.1%、「80歳以上」で65.8%と有意に高く、「野菜はほとんど食べていない」が「20歳代」で64.2%、「30歳代」で56.5%、「40歳代」で49.5%と有意に高くなっています。

図 33-ア.3 朝食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



朝食で「ほぼ毎日野菜を食べている」割合について、0~14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「0歳」で7.5ポイント、「3~5歳」で7.1ポイント増加しています。

表 33-ア.1 朝食で「ほぼ毎日野菜を食べている」割合（A：0~14歳調査）〔経年比較・年齢別〕

単位：%、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－H29年調査
0歳	50.8	58.3	7.5
1~2歳	50.0	51.0	1.0
3~5歳	30.2	37.3	7.1
6~14歳	39.2	36.3	-2.9

Ⅲ 調査結果

朝食で「ほぼ毎日野菜を食べている」割合について、15歳以上調査でH23年調査と比較すると、男性では「高齢期」で16.0ポイント、女性では「高齢期」で12.0ポイント有意に減少しています。

H28年調査と比較すると、女性では「高齢期」で8.5ポイント有意に減少しています。

表 33-ア.2 朝食で「ほぼ毎日野菜を食べている」割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・ライフステージ別〕
単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	**		
				今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査	
男性	青年期	23.6	34.7	25.8	2.2	-8.9
	成人期	23.3	15.5	19.2	-4.1	3.7
	壮年期	35.8	28.9	27.3	-8.5	-1.6
	高齢期	65.4	52.3	49.4	-16.0	-2.9
女性	青年期	25.0	26.0	27.0	2.0	1.0
	成人期	27.6	25.9	21.9	-5.7	-4.0
	壮年期	42.1	36.5	38.1	-4.0	1.6
	高齢期	68.9	65.4	56.9	-12.0	-8.5

朝食での野菜摂取の状況を家族構成別にみると、0～14歳調査では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「子どもと親（二世世代同居）」で39.5%となっています。

15歳以上調査では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「夫婦のみ」で45.8%、「野菜はほとんど食べていない」が「親と子ども（二世世代同居）」で46.8%となっています。

図 33-ア.4 朝食での野菜摂取の状況（A：0～14歳調査【1歳以上】）〔家族構成別〕

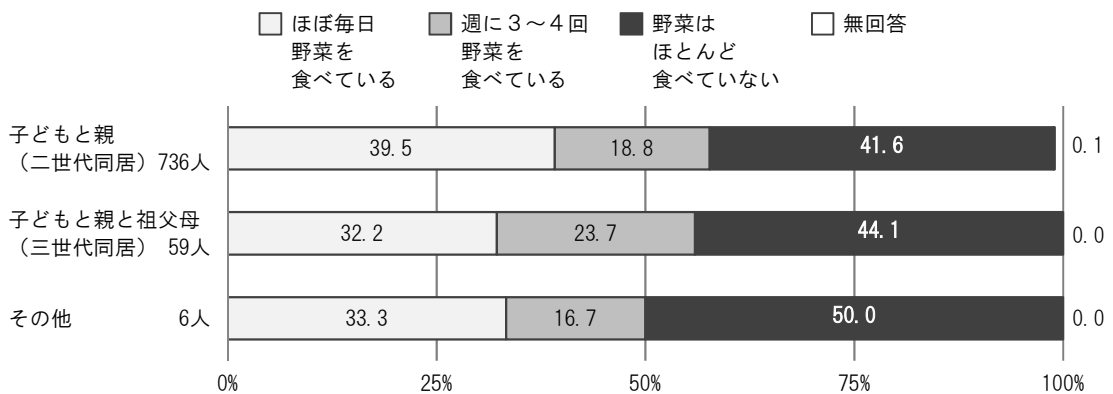
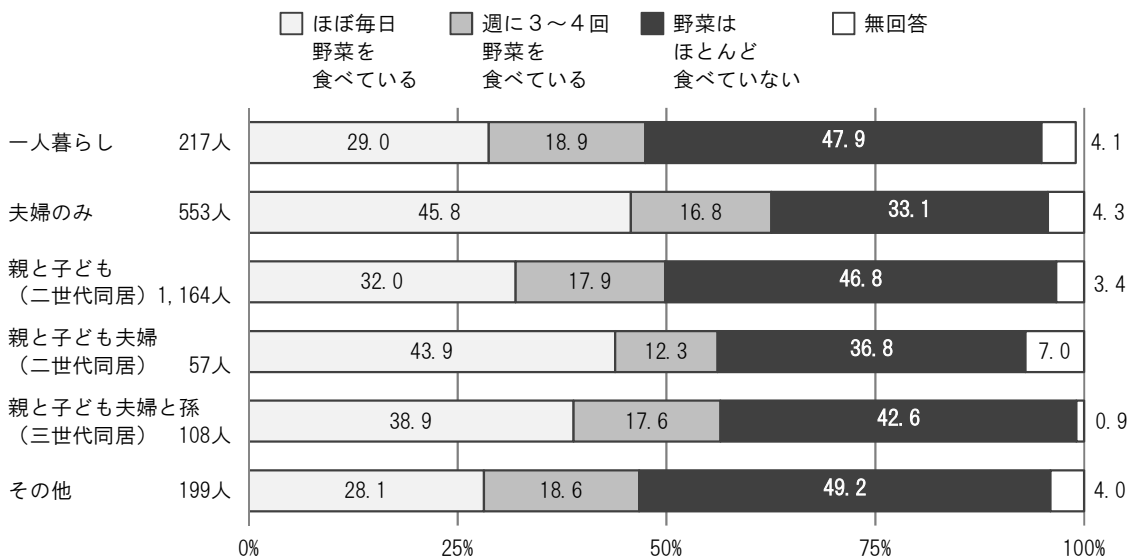


図 33-ア.5 朝食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔家族構成別〕**

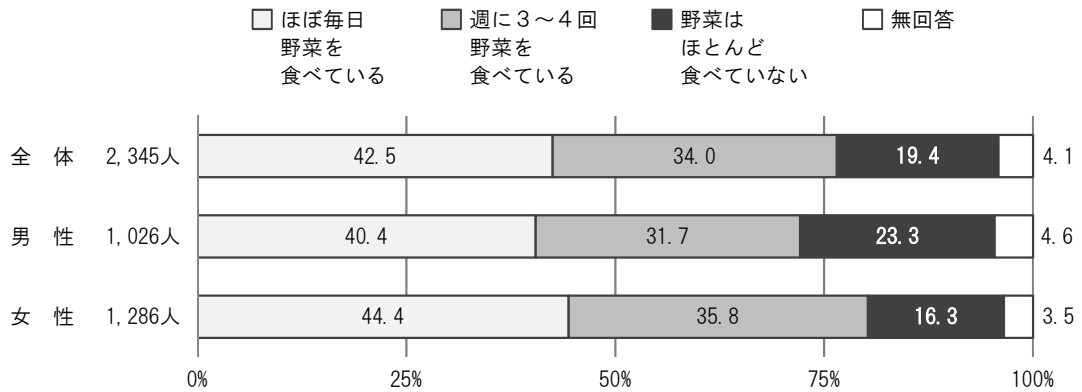


イ. 昼食

昼食での野菜摂取の状況は、「ほぼ毎日野菜を食べている」が15歳以上調査では42.5%となっています。

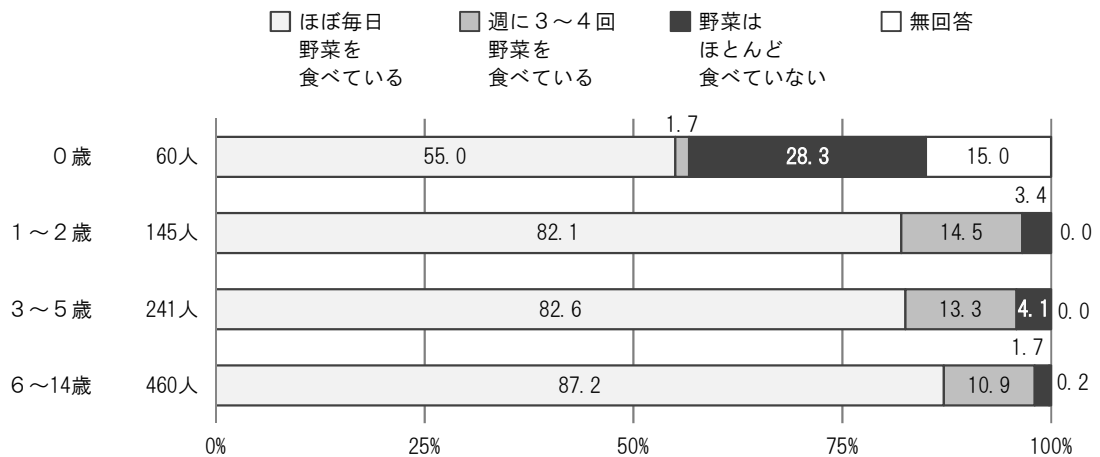
性別にみると、「野菜はほとんど食べていない」が「男性」で23.3%と女性より有意に高くなっています。

図 33-イ.1 昼食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



昼食での野菜摂取の状況について、0~14歳調査で年齢別にみると、「ほぼ毎日野菜を食べている」が「6~14歳」で87.2%と他の年齢より有意に高く、「野菜はほとんど食べていない」が「0歳」で28.3%と有意に高くなっています。

図 33-イ.2 昼食での野菜摂取の状況（A：0~14歳調査）〔年齢別〕**

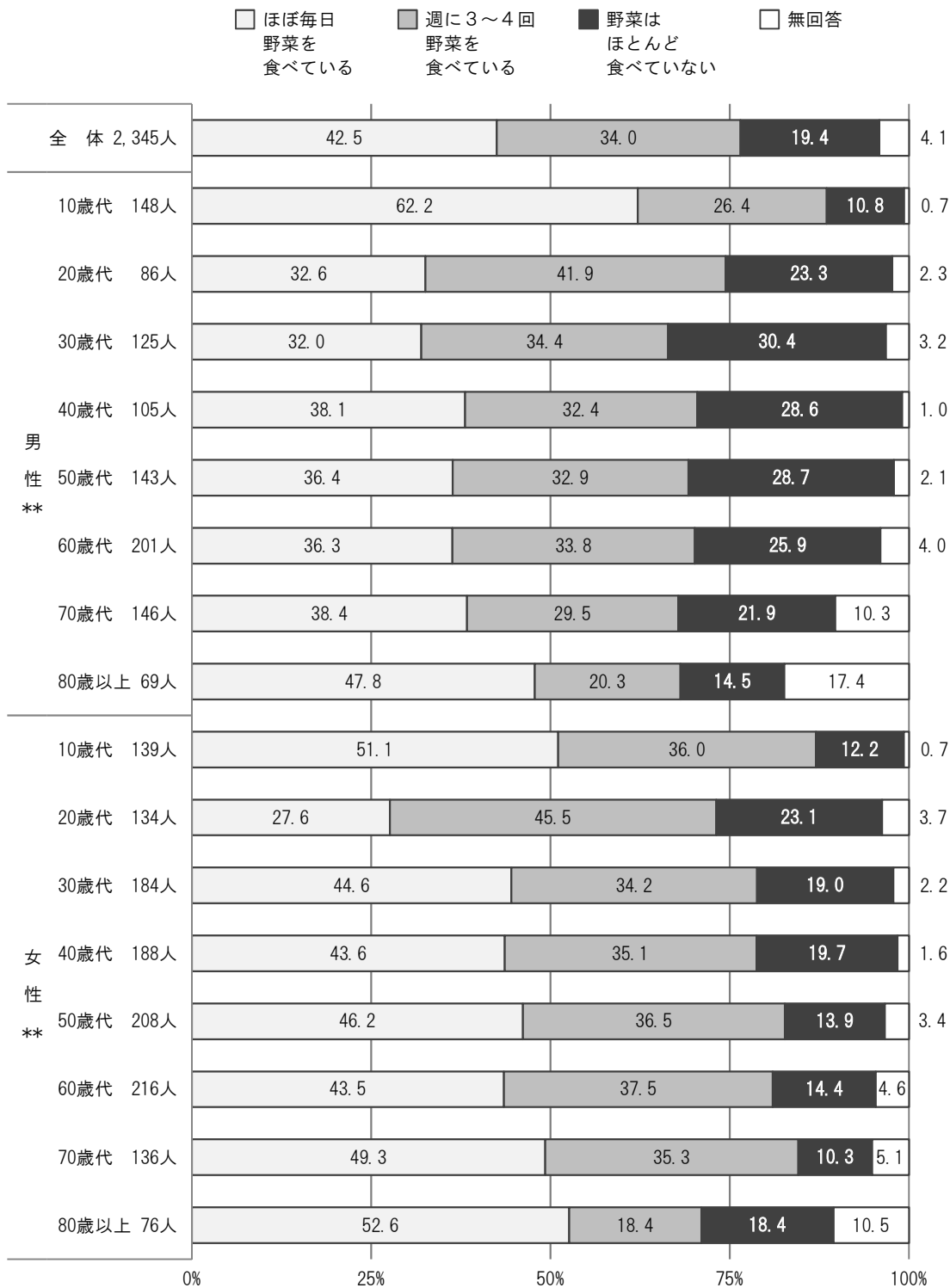


Ⅲ 調査結果

昼食での野菜摂取の状況を性・年代別にみると、男性では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「10歳代」で62.2%、「80歳以上」で47.8%と他の年代より有意に高く、「週に3～4回野菜を食べている」が「20歳代」で41.9%と有意に高くなっています。

女性では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「80歳以上」で52.6%と有意に高く、「週に3～4回野菜を食べている」が「20歳代」で45.5%、「野菜はほとんど食べていない」が「20歳代」で23.1%と有意に高くなっています。

図 33-イ.3 昼食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕

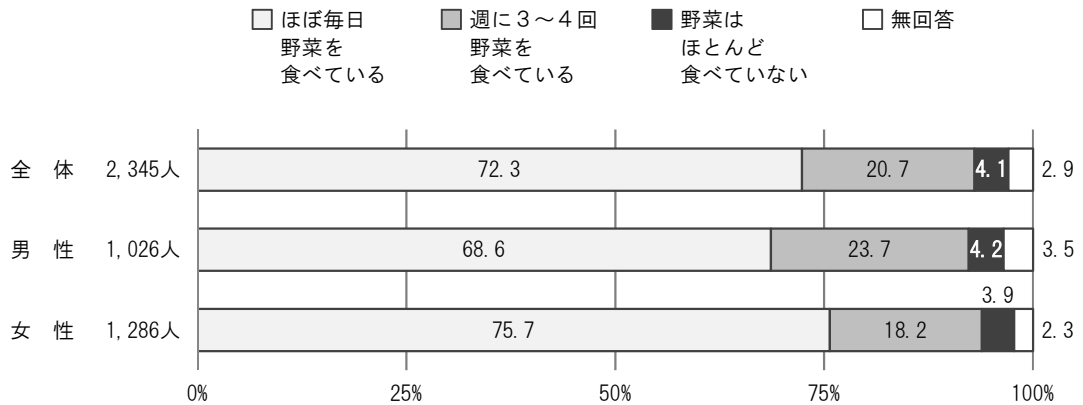


ウ. 夕食

夕食での野菜摂取の状況は、「ほぼ毎日野菜を食べている」が15歳以上調査では72.3%となっています。

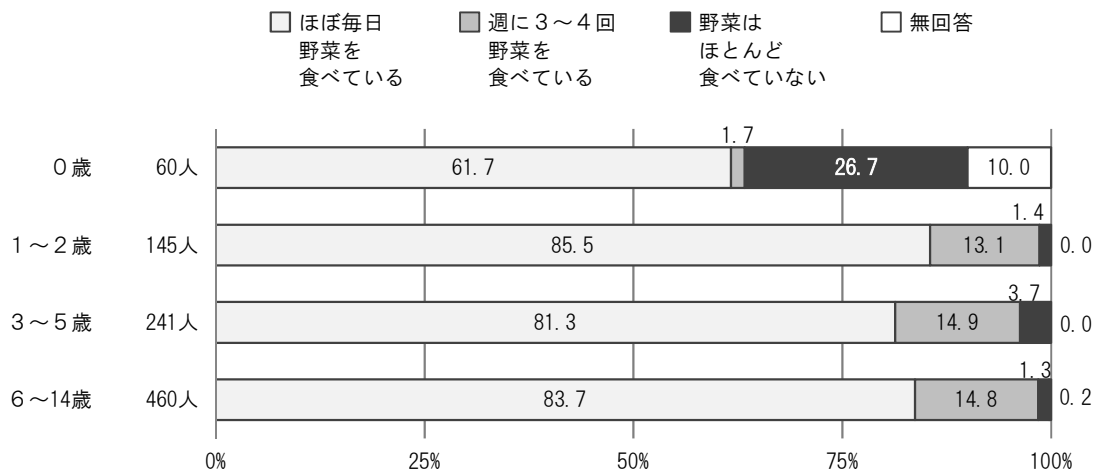
性別にみると、女性は「ほぼ毎日野菜を食べている」が75.7%と男性より有意に高くなっています。

図 33-ウ.1 夕食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



夕食での野菜摂取の状況について、0~14歳調査で年齢別にみると、「ほぼ毎日野菜を食べている」が「1~2歳」で85.5%、「6~14歳」で83.7%となっており、「野菜はほとんど食べていない」が「0歳」で26.7%と他の年齢より有意に高くなっています。

図 33-ウ.2 夕食での野菜摂取の状況（A：0~14歳調査）〔年齢別〕**

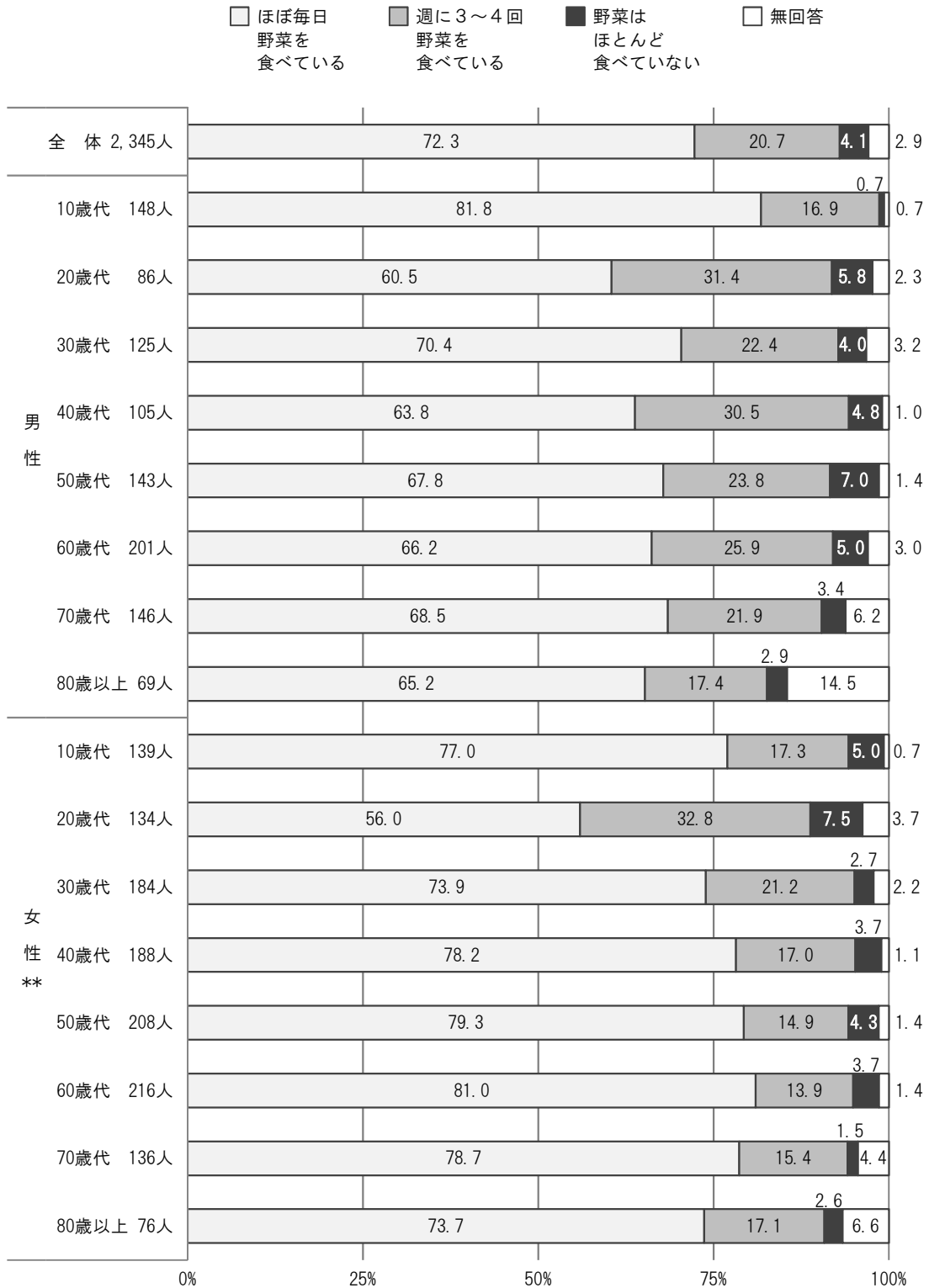


Ⅲ 調査結果

夕食での野菜摂取の状況を性・年代別にみると、男性では「ほぼ毎日野菜を食べている」が「10歳代」で81.8%、「30歳代」で70.4%となっており、「野菜はほとんど食べていない」が「50歳代」で7.0%となっています。

女性では「週に3～4回野菜を食べている」が「20歳代」で32.8%と他の年代より有意に高く、「野菜はほとんど食べていない」が「20歳代」で7.5%と有意に高くなっています。

図 33-ウ.3 夕食での野菜摂取の状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



★毎日、三食野菜を食べている人（A：問9／B：問33）

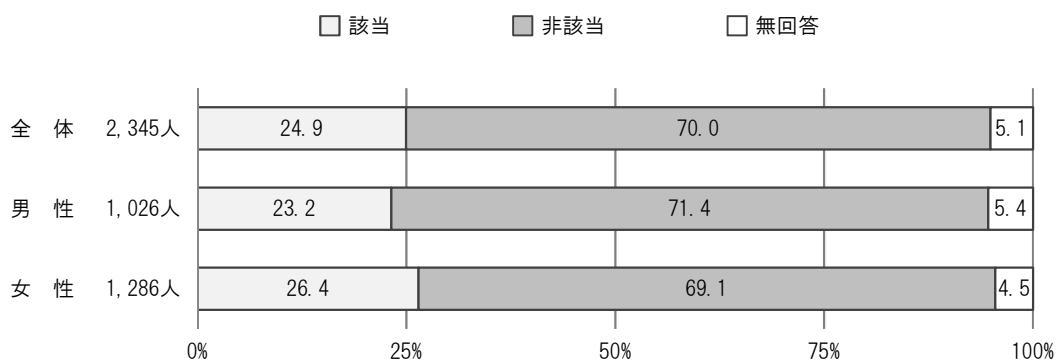
該当：A：問9／B：問33「朝食・昼食・夕食に野菜を食べているか」で、朝食・昼食・夕食すべて「ほぼ毎日野菜を食べている」に○をした人

非該当：A：問9／B：問33で、朝食・昼食・夕食すべて回答しており、1つでも「週に3～4回野菜を食べている」「野菜はほとんど食べていない」に○をした人

無回答：A：問9／B：問33で、朝食・昼食・夕食のうち1つでも無回答がある人

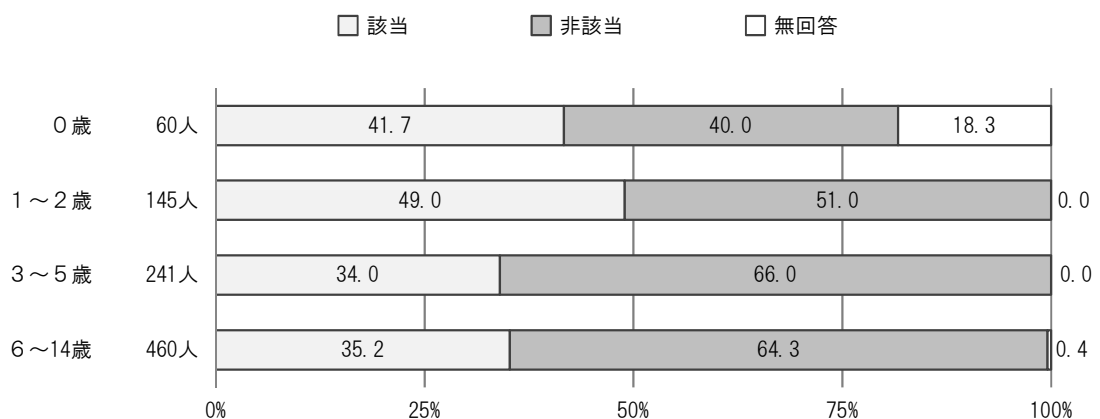
毎日、三食野菜を食べている人の割合は、15歳以上調査では24.9%となっています。性別にみると、大きな差はみられません。

図33★.1 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕



毎日、三食野菜を食べている人の割合を、0～14歳調査で年齢別にみると、「ほぼ毎日野菜を食べている」が「1～2歳」で49.0%と他の年齢より有意に高くなっています。

図33★.2 毎日、三食野菜を食べている（A：0～14歳調査）〔年齢別〕**



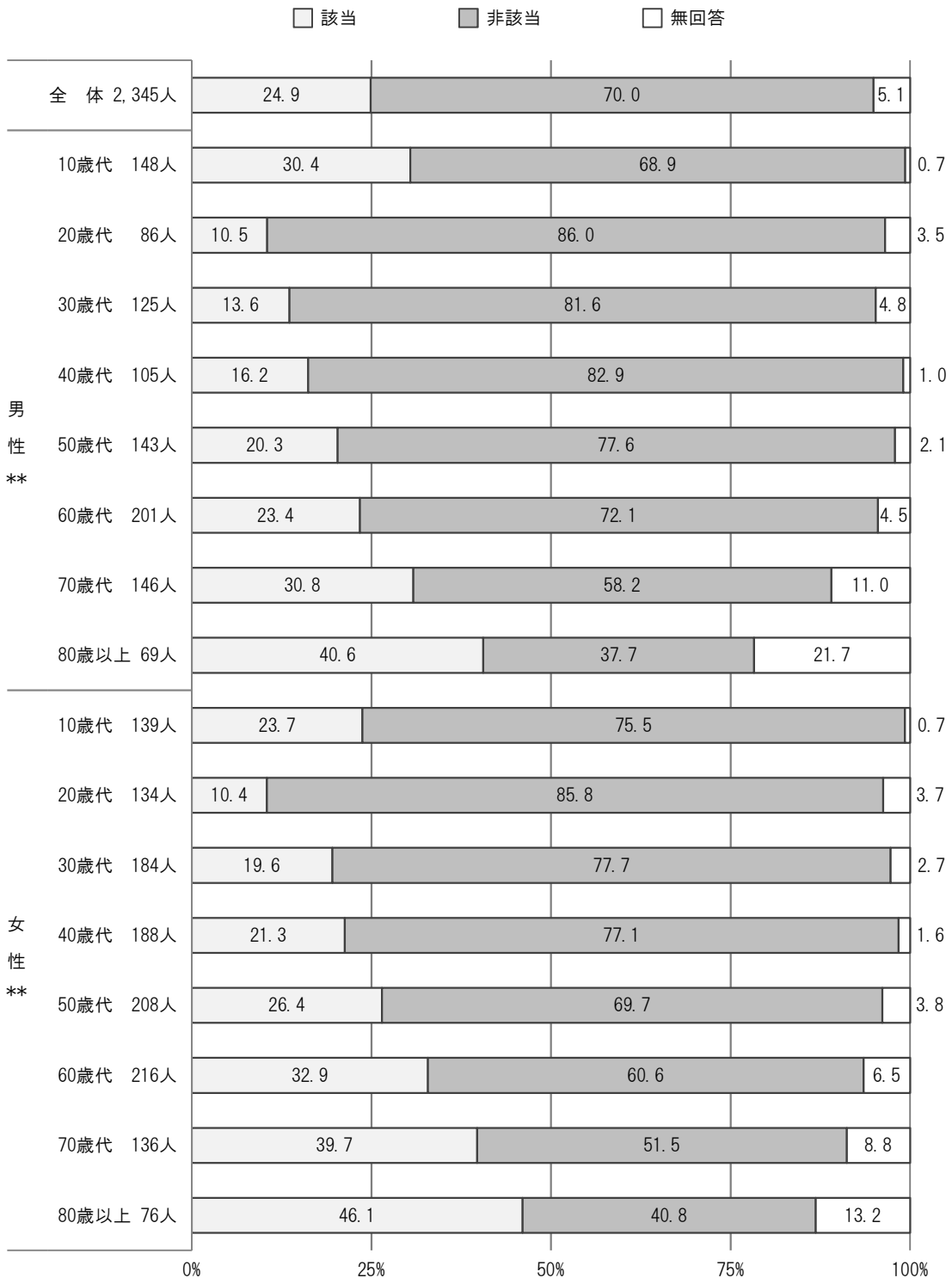
Ⅲ 調査結果

毎日、三食野菜を食べている人の割合を性・年代別にみると、男性では「該当」が「70歳代」で30.8%、「80歳以上」で40.6%と他の年代より有意に高く、「非該当」が「20歳代」で86.0%、「30歳代」で81.6%、「40歳代」で82.9%と有意に高くなっています。

女性では「該当」が「60歳代」で32.9%、「70歳代」で39.7%、「80歳以上」で46.1%と有意に高く、「非該当」が「20歳代」で85.8%、「30歳代」で77.7%、「40歳代」で77.1%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 33★.3 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕

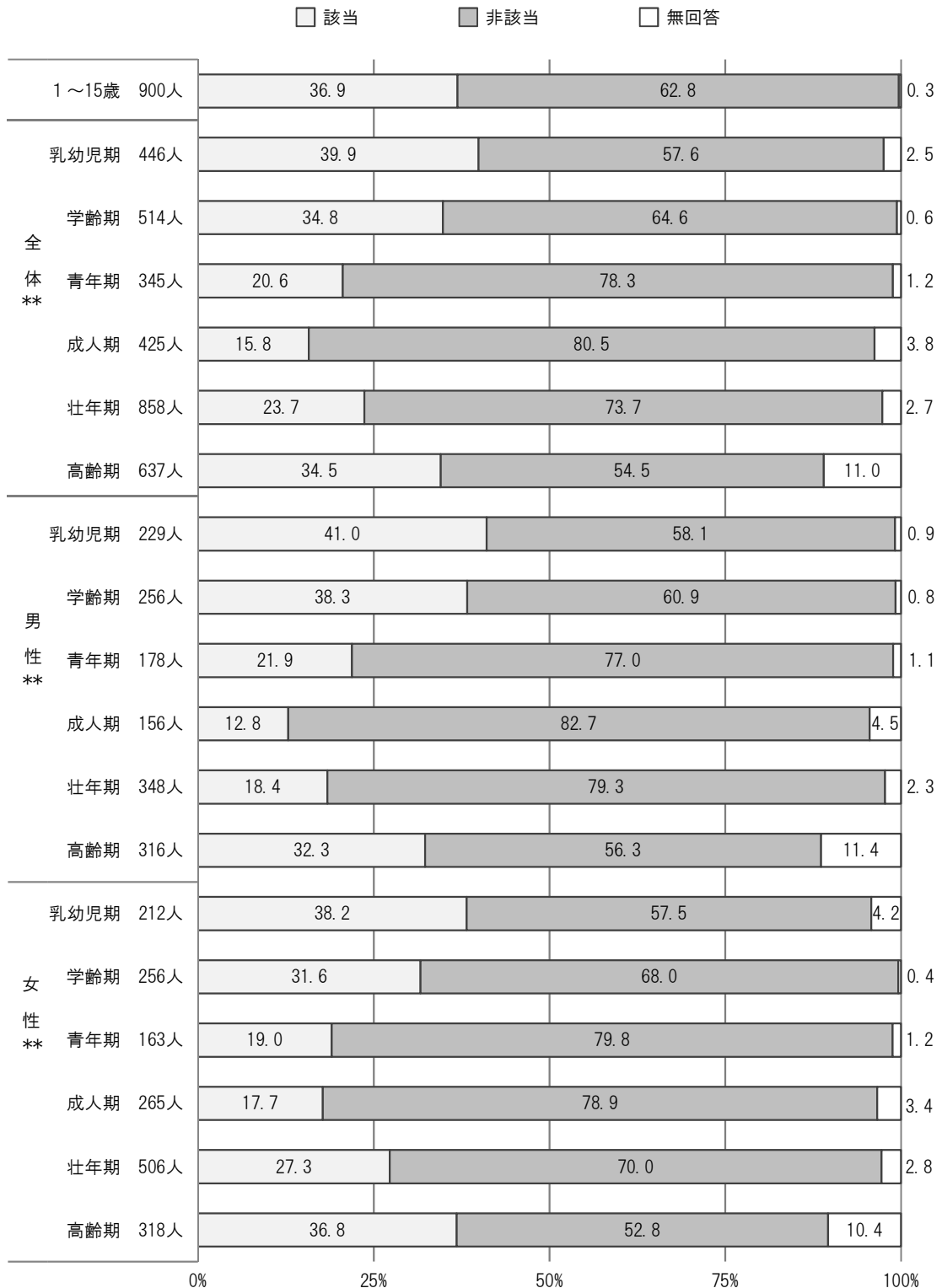


毎日、三食野菜を食べている人の割合を性・ライフステージ別にみると、全体では、「該当」が「乳幼児期」で39.9%、「学齢期」で34.8%、「高齢期」で34.5%と他のライフステージより有意に高くなっています。

男性では「該当」が「乳幼児期」で41.0%、「学齢期」で38.3%、「高齢期」で32.3%と有意に高くなっています。女性では「該当」が「乳幼児期」で38.2%、「高齢期」で36.8%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 33★.4 毎日、三食野菜を食べている（C：全年齢（AB合算））〔1～15歳・全体・性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

毎日、三食野菜を食べている割合について、0～14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「3～5歳」で4.1ポイント増加しています。

表 33.1 毎日、三食野菜を食べている割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－ H29年調査
0歳	39.3	41.7	2.4
1～2歳	47.0	49.0	2.0
3～5歳	29.9	34.0	4.1
6～14歳	37.6	35.2	-2.4

毎日、三食野菜を食べている割合について、15歳以上調査の性・年代別をH28年調査と比較すると、男性では「50歳代」で6.3ポイント増加しています。
女性では「70歳代」で10.7ポイント有意に減少しています。

表 33.2 毎日、三食野菜を食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・男性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	35.3	30.4	-4.9
20歳代	12.0	10.5	-1.5
30歳代	10.6	13.6	3.0
40歳代	20.4	16.2	-4.2
50歳代	14.0	20.3	6.3
60歳代	20.8	23.4	2.6
70歳代	36.7	30.8	-5.9
80歳以上	46.6	40.6	-6.0

表 33.3 毎日、三食野菜を食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較・女性年齢別〕
単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	28.6	23.7	-4.9
20歳代	15.7	10.4	-5.3
30歳代	21.4	19.6	-1.8
40歳代	22.6	21.3	-1.3
50歳代	31.1	26.4	-4.7
60歳代	37.1	32.9	-4.2
70歳代	50.4	39.7	-10.7
80歳以上	49.3	46.1	-3.2

毎日、三食野菜を食べている割合について、H23年調査と比較すると、女性では「高齢期」で13.5ポイント有意に減少しています。

H28年調査と比較すると、女性では「高齢期」で9.5ポイント有意に減少しています。

表 33.4 毎日、三食野菜を食べている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較〕

※（ ）は無回答を除いた割合、さいたま市ヘルスプラン21(第2次)の数値目標に対応。

単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	* **		
				今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査	
男性	青年期	15.3 (15.3)	28.7 (28.9)	21.9 (22.2)	6.6 (6.9)	-6.8 (-6.7)
	成人期	13.3 (13.3)	11.3 (11.4)	12.8 (13.4)	-0.5 (0.1)	1.5 (2.0)
	壮年期	21.7 (21.7)	17.9 (18.9)	18.4 (18.8)	-3.3 (-2.9)	0.5 (-0.1)
	高齢期	39.0 (39.0)	33.8 (38.1)	32.3 (36.4)	-6.7 (-2.6)	-1.5 (-1.7)
女性	青年期	17.2 (17.2)	23.7 (24.1)	19.0 (19.3)	1.8 (2.1)	-4.7 (-4.8)
	成人期	16.8 (16.8)	18.8 (19.1)	17.7 (18.4)	0.9 (1.6)	-1.1 (-0.7)
	壮年期	28.2 (28.2)	27.4 (28.4)	27.3 (28.0)	-0.9 (-0.2)	-0.1 (-0.4)
	高齢期	50.3 (50.3)	46.3 (54.5)	36.8 (41.1)	-13.5 (-9.2)	-9.5 (-13.4)

毎日、三食野菜を食べている割合について、H23年調査と比較すると、8.6ポイント増加しています。H28年調査と比較すると、0.2ポイント増加しています。

表 33.5 毎日、三食野菜を食べている割合（C：全年齢（AB合算）【16歳未満・無回答を除く】）〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H29年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H29年調査
毎日、三食野菜を 食べている	29.1	37.5	37.7	8.6	0.2

計画における数値目標のデータ



毎日3食野菜を食べる人の割合

- ・16歳未満 37.7%（目標値 増える（ベース値 29.1%））
- ・壮年期（40～64歳）男性 18.8%（目標値 30%以上）
- 女性 28.0%（目標値 30%以上）

<A：問9、B：問33のA、イ、ウ、すべて「ほぼ毎日野菜を食べている」と答えた人の割合（無回答を除く）>



毎日、三食野菜を食べる人の割合

- ・1～15歳 36.9%（目標値 増える（ベース値 36.5%））
- ・壮年期（40～64歳）全体 23.7%（目標値 30%以上）
- 男性 18.4%（ベース値 17.9%）
- 女性 27.3%（ベース値 27.4%）

<A：問9、B：問33のA、イ、ウ、すべて「ほぼ毎日野菜を食べている」と答えた人の割合（無回答を含む）>

Ⅲ 調査結果

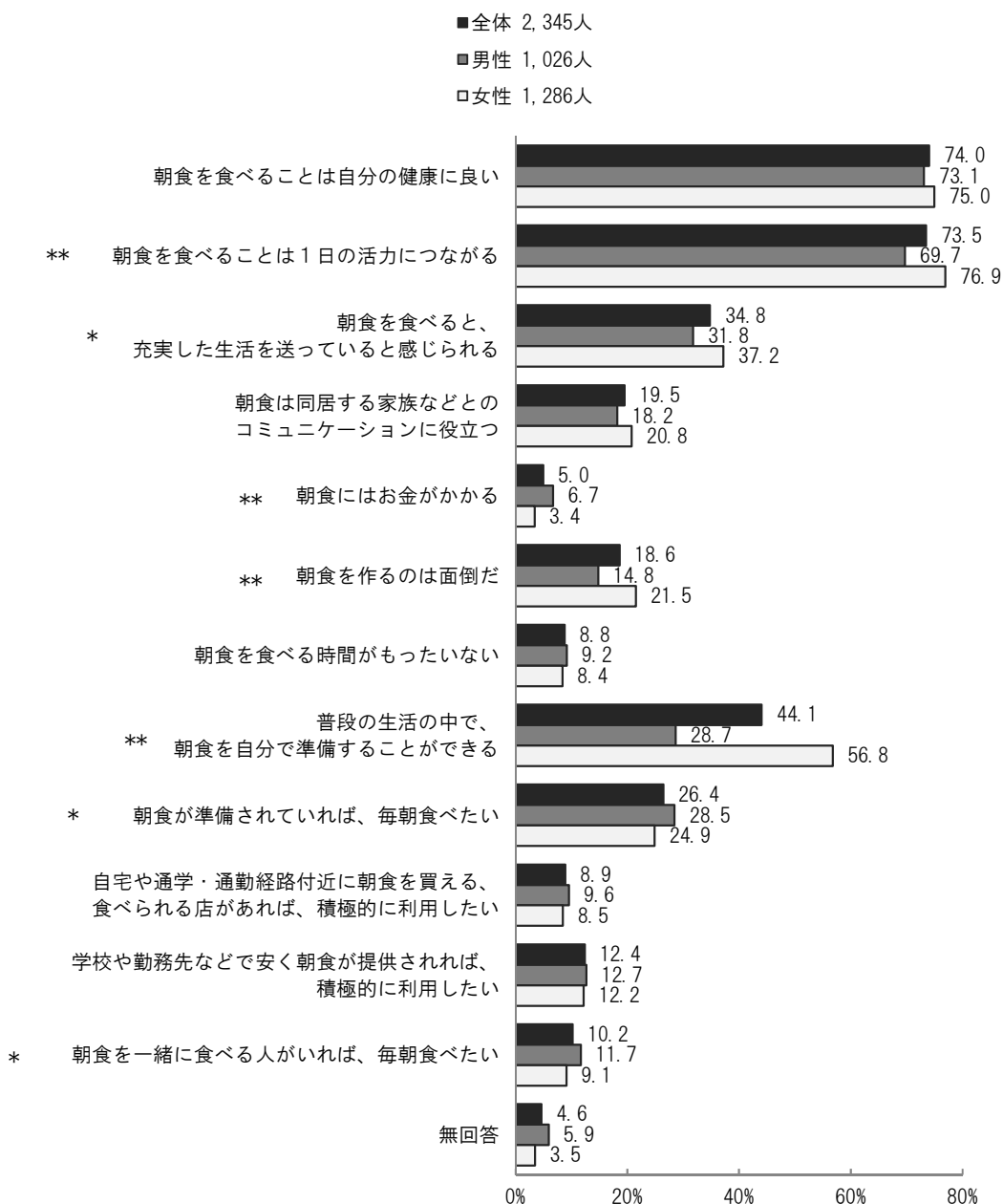
(34) 朝食を食べることについて、あなたの考えにあてはまるものはどれですか。

(○はあてはまるものすべて) <B: 問 34>

朝食を食べることについて、「朝食を食べることは自分の健康に良い」が74.0%と最も高く、次いで「朝食を食べることは1日の活力につながる」が73.5%となっています。

性別にみると、男性では「朝食が準備されていれば、毎朝食べたい」が28.5%と、女性より3.6ポイント有意に高くなっています。女性では「普段の生活の中で、朝食を自分で準備することができる」が56.8%と、男性より28.1ポイント有意に高くなっています。

図 34 朝食を食べることについて（複数回答）〔全体・性別〕



Ⅲ 調査結果

朝食を食べることについて、就労状況別にみると、「朝食を作るのは面倒だ」が「常勤就労」で24.6%と他の就労状況より有意に高く、「朝食が準備されていれば、毎朝食べたい」が「中学生」で75.0%と有意に高くなっています。

表 34.2 朝食を食べることについて（複数回答）〔就労状況別〕 単位：%

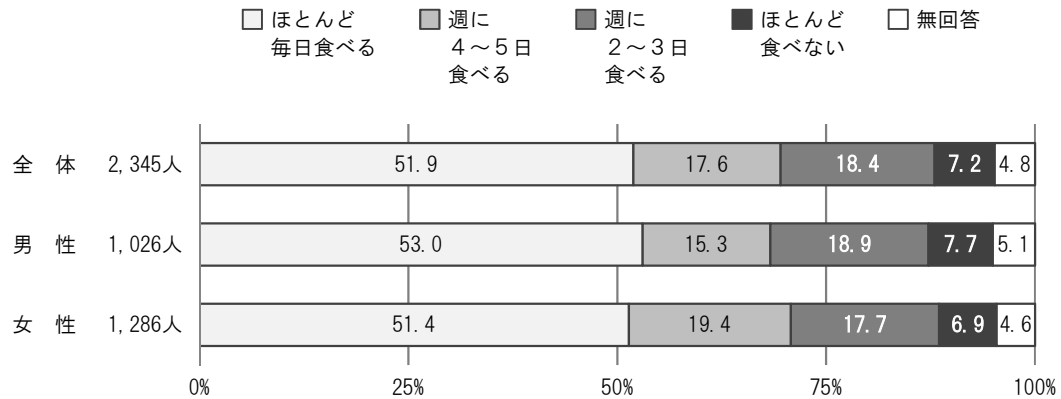
項目	回答者数（人）	**	*	**	**	*	**	**	*	**	**	**	**	**	
		朝食を食べることは自分の健康に良い	朝食を食べることは1日の活力につながる	朝食を食べると、充実した生活を送っていると感じられる	朝食は同居する家族などとのコミュニケーションに役立つ	朝食にはお金がかかる	朝食を作るのは面倒だ	朝食を食べる時間をもつたいない	普段の生活の中で、朝食を自分で準備することができる	朝食が準備されていれば、毎朝食べたい	自宅や通学・通勤経路付近に朝食を買う、食べられる店があれば、積極的に利用したい	学校や勤務先などで安く朝食が提供されれば、積極的に利用したい	朝食と一緒に食べる人がいれば、毎朝食べたい	無回答	
全体	2,345	74.0	73.5	34.8	19.5	5.0	18.6	8.8	44.1	26.4	8.9	12.4	10.2	4.6	
就労状況	常勤	781	69.0	70.6	29.6	15.5	6.7	24.6	13.4	34.8	32.4	12.3	18.2	10.2	5.1
	非常勤	363	76.3	78.0	35.0	17.1	3.9	19.0	6.1	55.9	21.8	7.2	10.7	9.6	3.9
	自営業	96	70.8	65.6	36.5	21.9	4.2	19.8	5.2	33.3	19.8	7.3	6.3	12.5	4.2
	家事専従	339	78.2	77.9	38.3	27.1	2.7	16.5	2.1	72.6	15.9	3.8	4.1	6.2	3.8
	中学生	8	100.0	100.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0	75.0	12.5	37.5	50.0	0.0
	高校生	173	76.3	76.3	35.3	15.0	8.7	17.9	18.5	15.6	35.8	16.8	19.1	9.8	1.2
	学生	147	75.5	75.5	38.8	10.2	4.8	19.7	16.3	32.0	50.3	17.7	28.6	12.9	2.7
	無職	363	77.7	70.2	37.7	27.8	3.3	9.9	2.2	46.6	16.3	1.9	2.2	11.8	6.6
	その他	44	72.7	75.0	43.2	27.3	6.8	9.1	4.5	52.3	20.5	6.8	6.8	18.2	4.5

(35) 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(○は1つだけ) < A : 問10 / B : 問35 >

※「主食」とは…米、パン、めん類などの穀類
 「主菜」とは…魚や肉、卵、大豆製品などを使った中心となる料理
 「副菜」とは…野菜などを使った料理

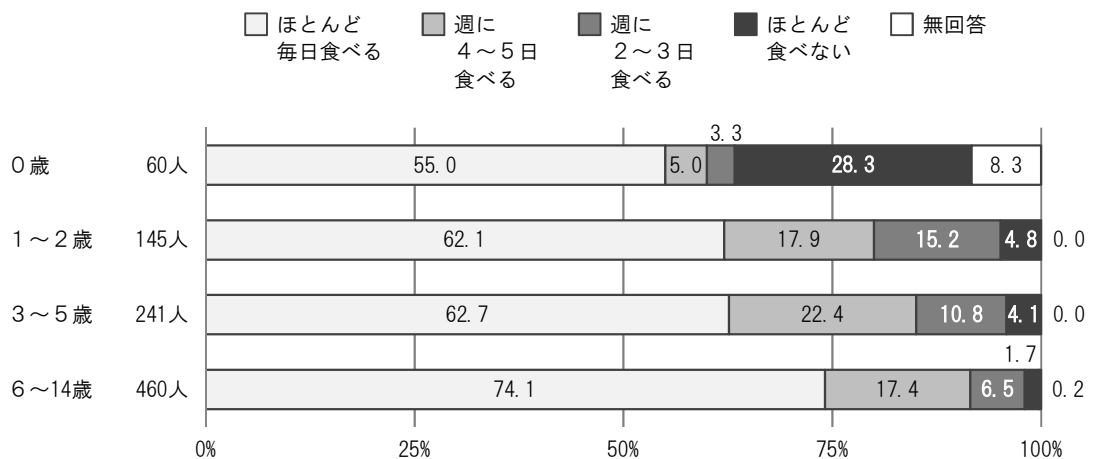
1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度は、「ほとんど毎日食べる」が15歳以上調査では51.9%となっています。
 性別にみると、あまり差はみられません。

図 35.1 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度 (B : 15歳以上調査) [全体・性別]



1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度について、0~14歳調査で年齢別にみると、「ほとんど毎日食べる」が「6~14歳」で74.1%と他の年齢より有意に高くなっています。

図 35.2 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度 (A : 0~14歳調査) [年齢別]**

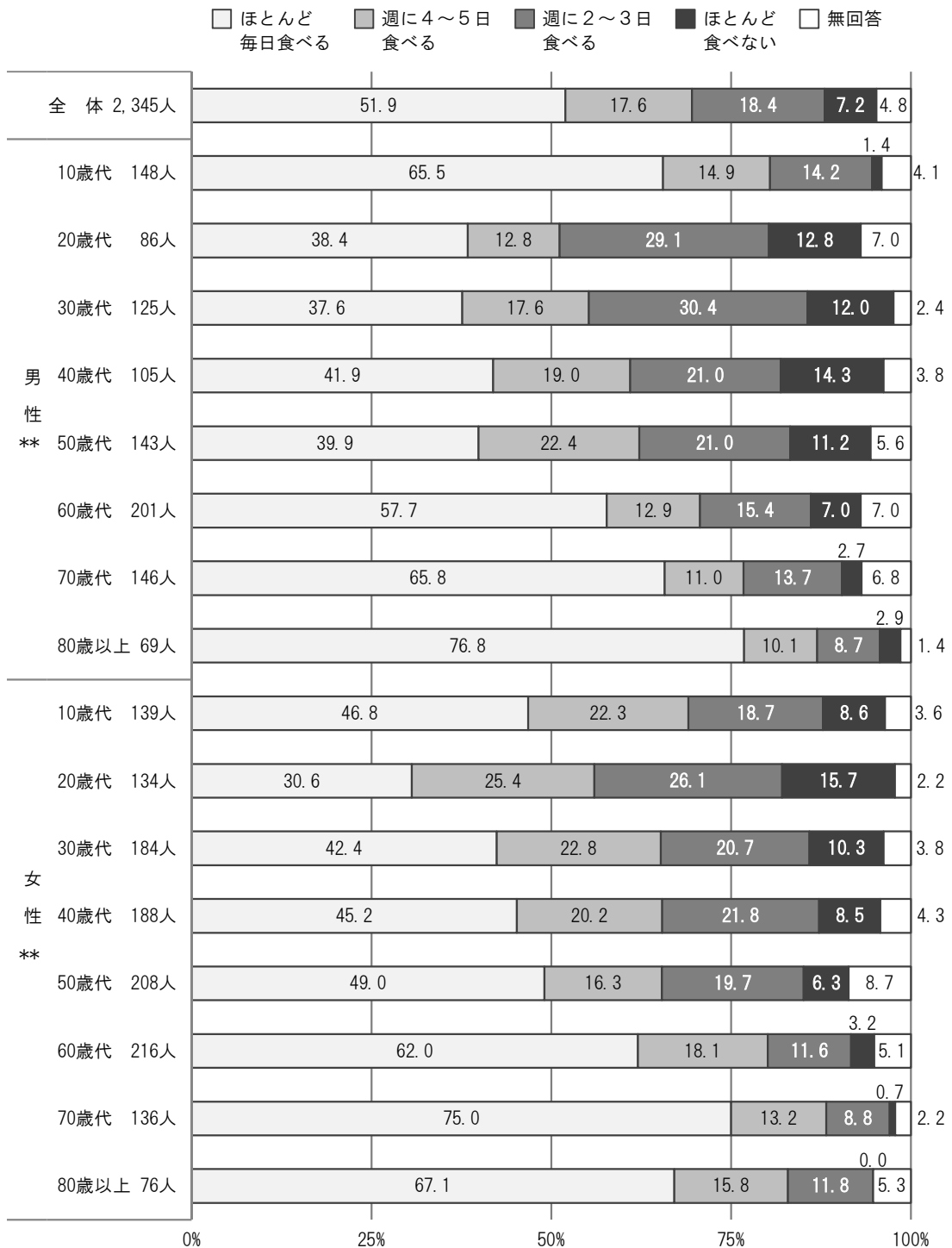


Ⅲ 調査結果

1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度を性・年代別にみると、男性では「ほとんど毎日食べる」が「10歳代」で65.5%、「70歳代」で65.8%、「80歳以上」で76.8%と有意に高く、「ほとんど食べない」が「40歳代」で14.3%と他の年代より有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べる」が「60歳代」で62.0%、「70歳代」で75.0%、「80歳以上」で67.1%と有意に高く、「ほとんど食べない」が「20歳代」で15.7%と有意に高くなっています。

図 35.3 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕

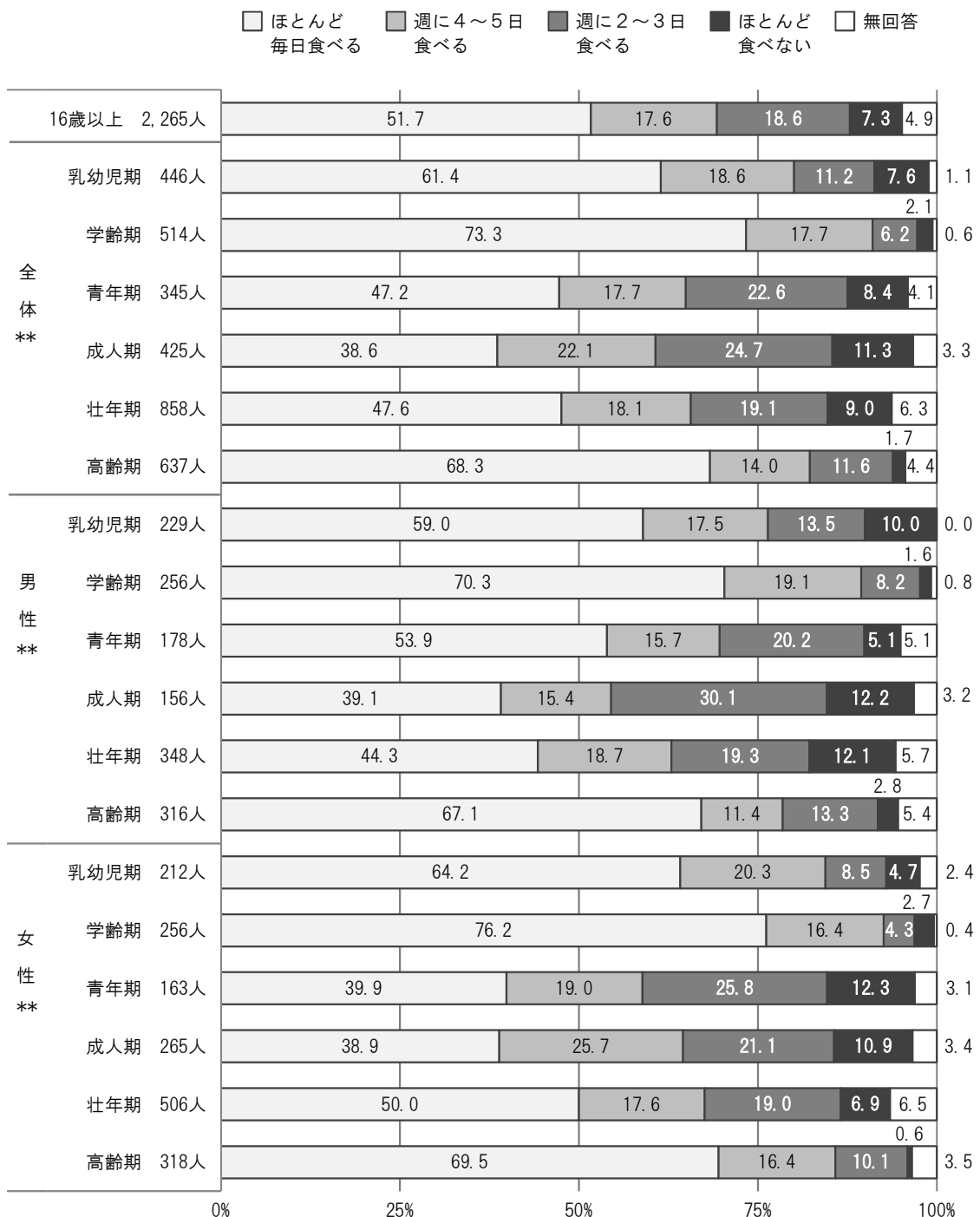


1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度を性・ライフステージ別にみると、全体では「ほとんど毎日食べる」が「学齢期」で73.3%、「高齢期」で68.3%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど食べない」が「成人期」で11.3%、「壮年期」で9.0%と有意に高くなっています。

男性では「ほとんど毎日食べる」が「学齢期」で70.3%、「高齢期」で67.1%と有意に高く、「ほとんど食べない」が「成人期」で12.2%、「壮年期」で12.1%と有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べる」が「学齢期」で76.2%、「高齢期」で69.5%と有意に高く、「ほとんど食べない」が「青年期」で12.3%、「成人期」で10.9%と有意に高くなっています。

図 35.4 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（C：全年齢（AB合算））〔性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」割合について、0～14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「0歳」で9.1ポイント、「1～2歳」で7.2ポイント増加しています。

表 35.1 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕

単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－ H29年調査
0歳	45.9	55.0	9.1
1～2歳	54.9	62.1	7.2
3～5歳	62.7	62.7	0.0
6～14歳	72.6	74.1	1.5

1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」割合について、H23年調査と比較すると、男性では「青年期」で19.2ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、男性では「成人期」で9.9ポイント増加しています。

表 35.2 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」割合（B：15歳以上調査）〔経年比較〕

※（ ）は無回答を除いた割合、さいたま市ヘルスプラン21(第2次)の数値目標に対応。

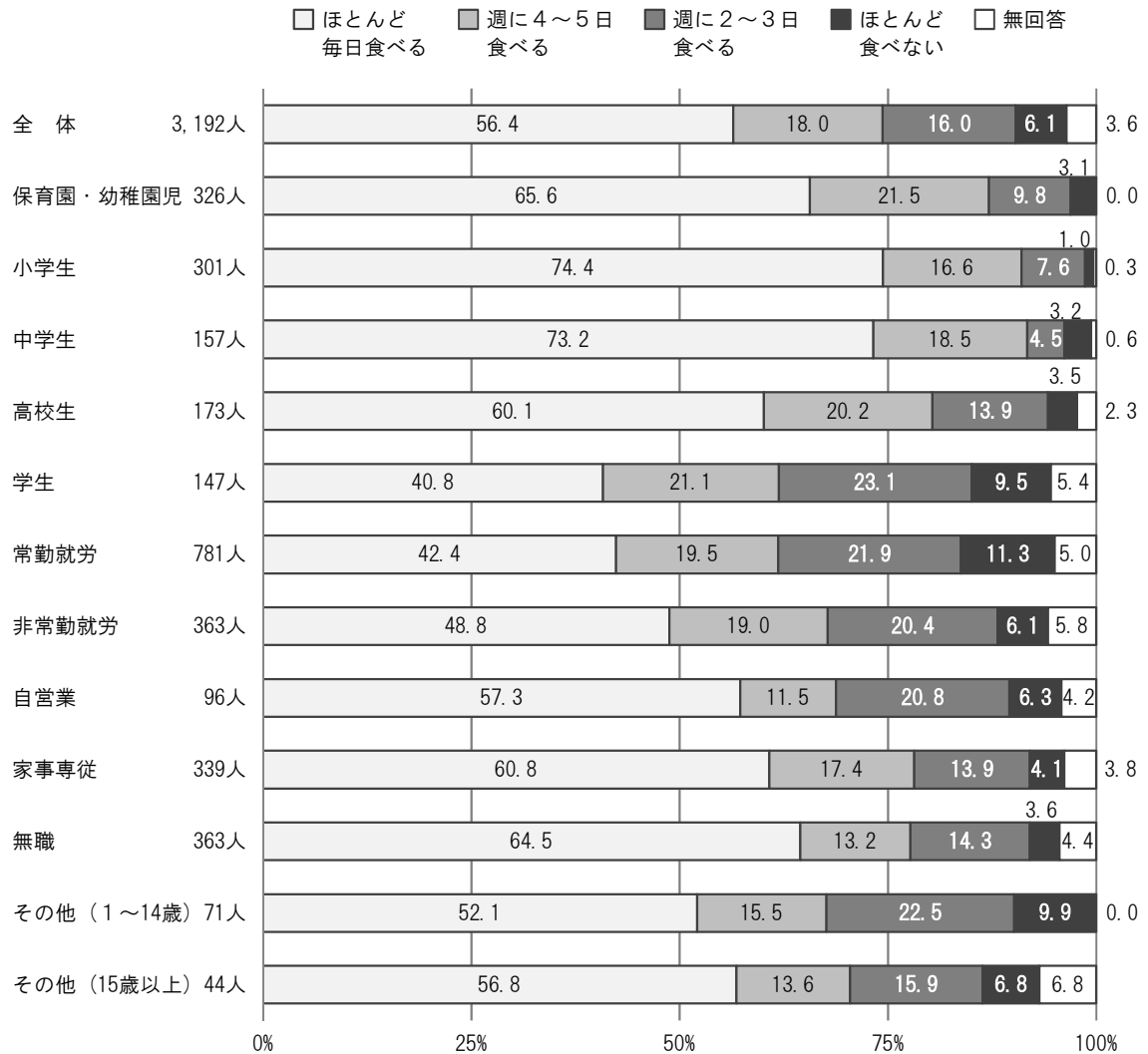
単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査	
16歳以上	52.4 (52.6)	49.2 (50.9)	51.7 (54.3)	-0.7 (1.7)	2.5 (3.4)	
男性	青年期	34.7 (34.7)	54.0 (54.4)	53.9 (56.8)	19.2 (22.1)	-0.1 (2.4)
	成人期	41.1 (41.1)	29.2 (29.5)	39.1 (40.4)	-2.0 (-0.7)	9.9 (10.9)
	壮年期	51.7 (51.7)	43.0 (44.8)	44.3 (47.0)	-7.4 (-4.7)	1.3 (2.2)
	高齢期	67.3 (67.3)	59.4 (61.8)	67.1 (70.9)	-0.2 (3.6)	7.7 (9.1)
女性	青年期	40.5 (40.5)	42.8 (43.5)	39.9 (41.1)	-0.6 (0.6)	-2.9 (-2.4)
	成人期	36.2 (36.2)	38.7 (39.3)	38.9 (40.2)	2.7 (4.0)	0.2 (0.9)
	壮年期	53.6 (53.8)	46.5 (48.1)	50.0 (53.5)	-3.6 (-0.3)	3.5 (5.4)
	高齢期	73.6 (75.1)	66.2 (71.1)	69.5 (72.0)	-4.1 (-3.1)	3.3 (-0.9)

1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度について、就園・就学・就労状況別にみると、「ほとんど毎日食べる」が、「小学生」で74.4%となっています。

図 35.5 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（C：全年齢（AB合算）【1歳以上】）

〔就園・就学・就労状況別〕



1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」の割合について、H23年調査と比較すると、2ポイント増加しています。H28・H29年調査と比較すると、3.2ポイント増加しています。

表 35.3 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事を「ほとんど毎日食べる」割合（C：全年齢（AB合算）【無回答を除く】）〔経年比較〕

単位：%、ポイント

項目	H23年調査	H28・H29年調査	今回調査	今回調査－H23年調査	今回調査－H28・H29年調査
全年齢	56.5	55.3	58.5	2.0	3.2

計画における数値目標のデータ



主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合

・全体 58.5% (目標値 65%)

<A：問 10、B：問 35 で1日2回以上主食・主菜・副菜をそろえて食べることが「ほとんど毎日食べる」と答えた人の割合 (無回答を除く)>



主食・主菜・副菜がそろった食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合

・16歳以上 51.7% (目標値 60%以上)

・成人期 (25~39歳) 全体 38.6% (目標値 43%以上)

男性 39.1% (ベース値 29.2%)

女性 38.9% (ベース値 38.7%)

<A：問 10、B：問 35 で1日2回以上主食・主菜・副菜をそろえて食べることが「ほとんど毎日食べる」と答えた人の割合 (無回答を含む)>

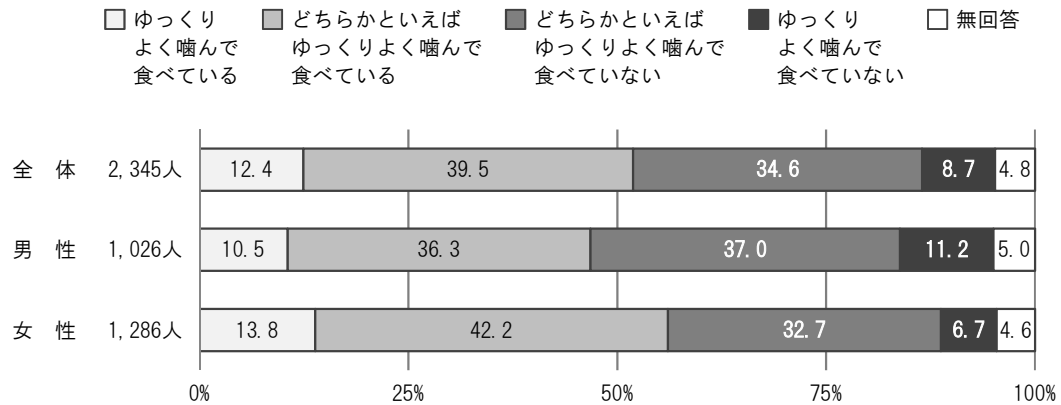
(36) ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。(〇は1つだけ)

< A : 問 11 / B : 問 36 >

ふだんゆっくりよく噛んで食べているかについては、「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせると15歳以上調査では51.9%となっています。

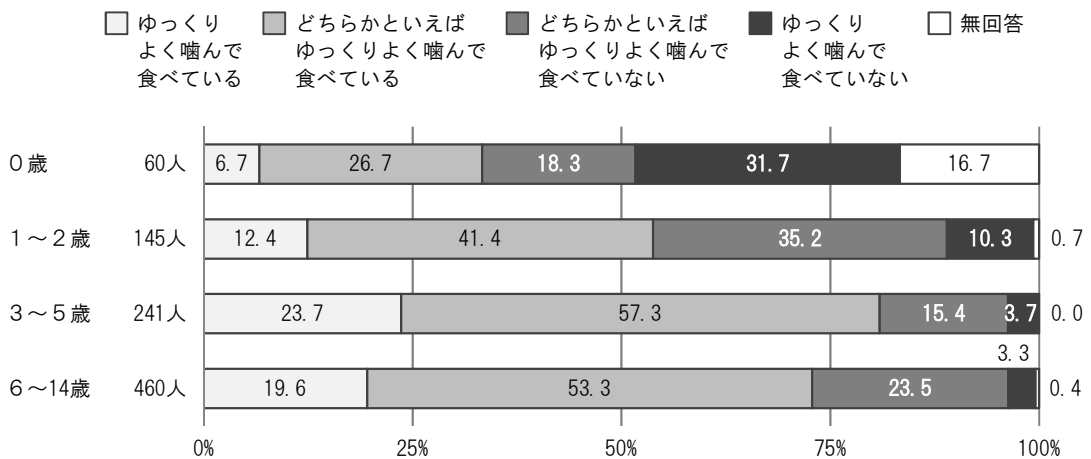
性別にみると、女性は「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が42.2%と男性より有意に高くなっています。

図 36.1 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか (B : 15 歳以上調査) [全体・性別]**



ふだんゆっくりよく噛んで食べているかについて、0~14歳調査で年齢別にみると、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない」が「1~2歳」で35.2%と他の年齢より有意に高くなっています。

図 36.2 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか (A : 0~14 歳調査) [年齢別]**

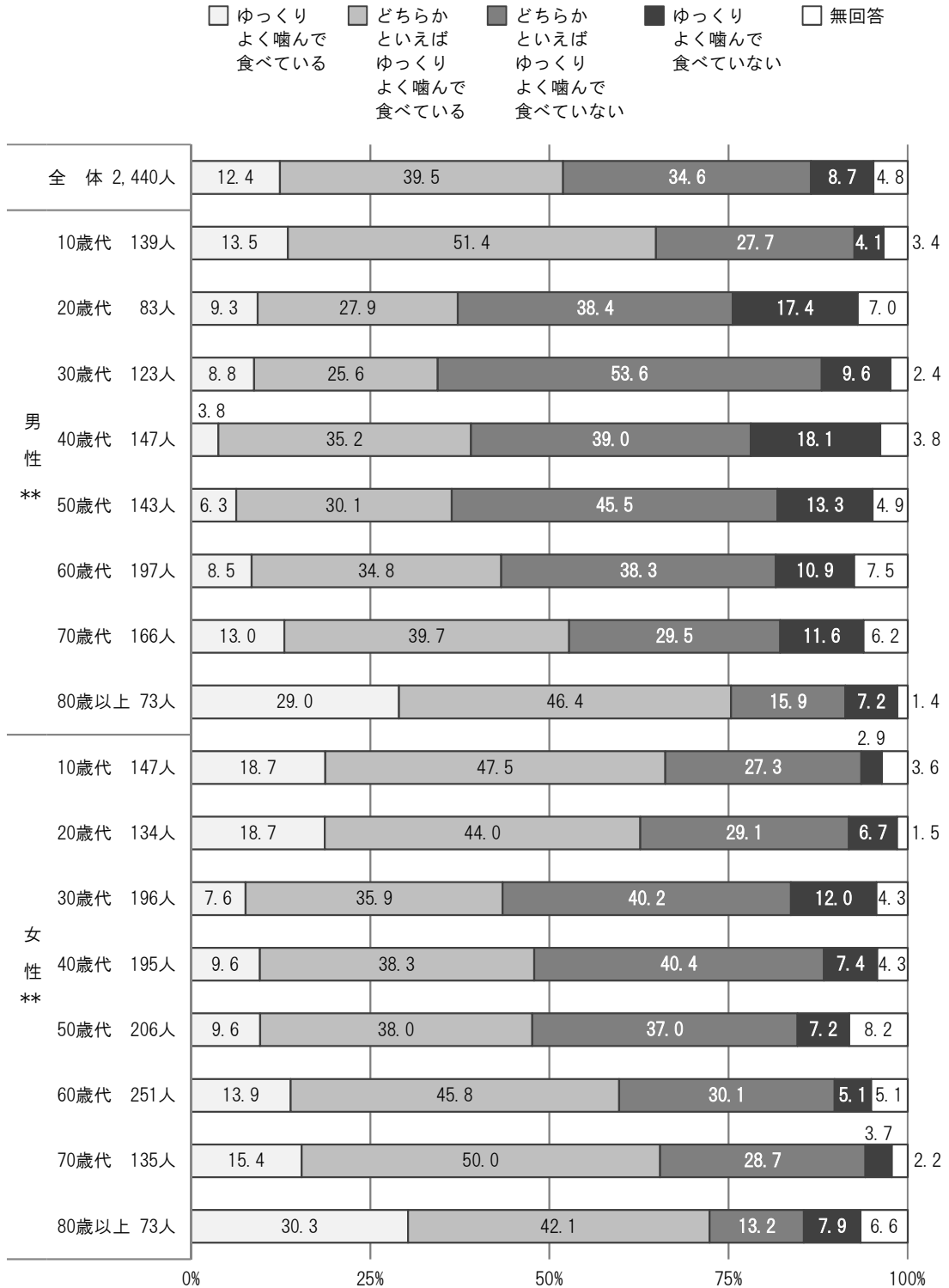


Ⅲ 調査結果

ふだんゆっくりよく噛んで食べているかについて、性・年代別にみると、男性では「ゆっくりよく噛んで食べている」が「80歳以上」で29.0%と他の年代より有意に高く、「ゆっくりよく噛んで食べていない」が「20歳代」で17.4%、「40歳代」で18.1%と有意に高くなっています。

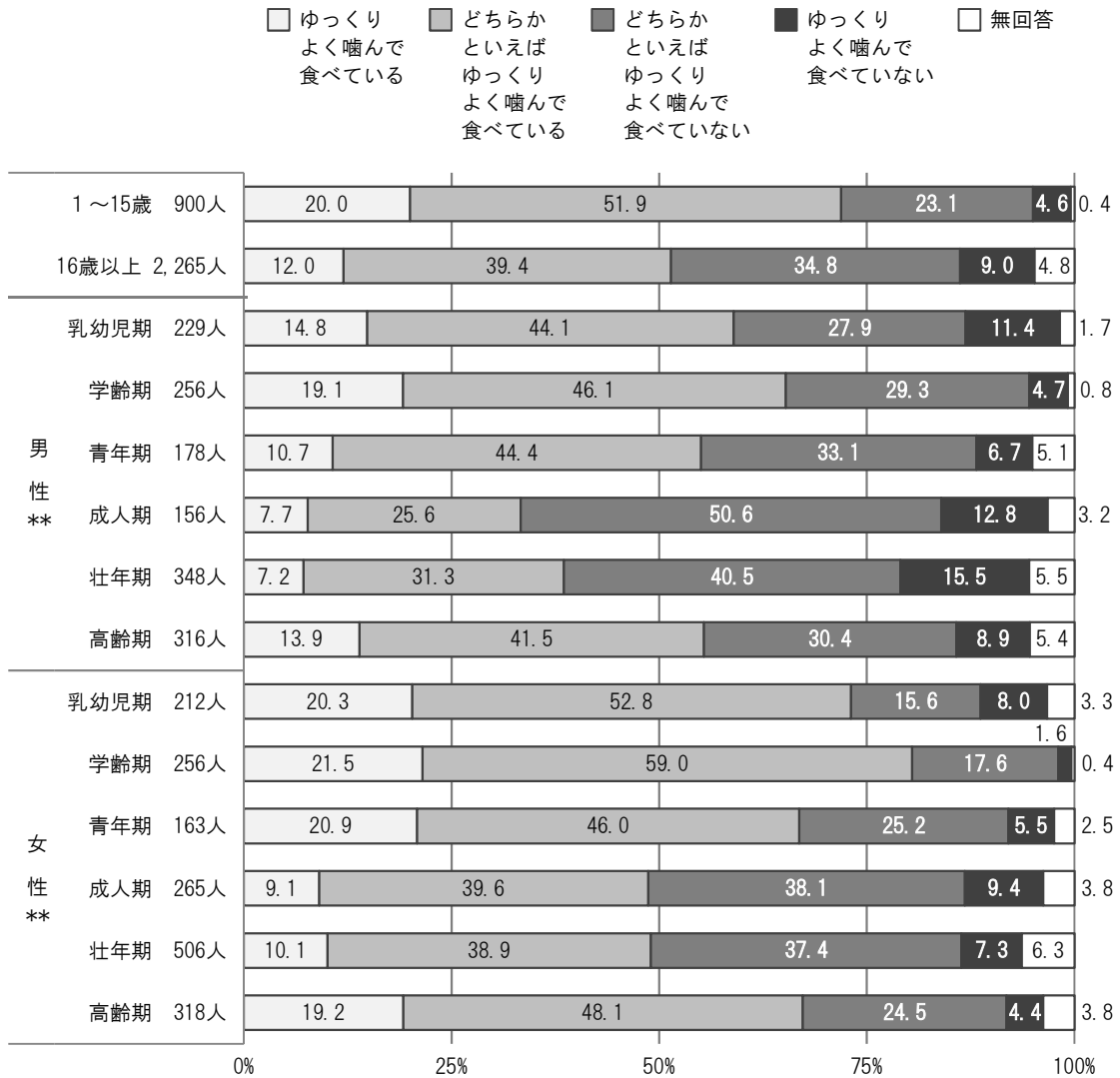
女性では「ゆっくりよく噛んで食べている」が「80歳以上」で30.3%と有意に高く、「ゆっくりよく噛んで食べていない」が「30歳代」で12.0%と有意に高くなっています。

図 36.3 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



ゆっくりよく噛んで食べているかを性・ライフステージ別にみると、男性では「ゆっくりよく噛んで食べている」が「学齢期」で19.1%と有意に高くなっています。
女性では「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」が「学齢期」で59.0%と有意に高くなっています。

図 36.4 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか（C：全年齢（AB合算））〔性・ライフステージ別〕



「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合について、0～14歳調査の年齢別をH29年調査と比較すると、「3～5歳」で8.9ポイント増加しています。

表 36.1 「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合（A：0～14歳調査）〔経年比較・年齢別〕

単位：%、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	今回調査－H29年調査
0歳	27.9	33.3	5.4
1～2歳	46.3	53.8	7.5
3～5歳	72.0	80.9	8.9
6～14歳	68.4	72.8	4.4

Ⅲ 調査結果

「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合について、15歳以上調査の性・年代別をH28年調査と比較すると、男性では「70歳代」で10.0ポイント有意に減少しています。
女性では「60歳代」7.9ポイント増加しています。

表 36.2 「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合
(B：15歳以上調査)〔経年比較・男性年齢別〕

単位：％、ポイント
*

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	51.8	64.9	13.1
20歳代	47.0	37.2	-9.8
30歳代	24.4	34.4	10.0
40歳代	29.3	39.0	9.7
50歳代	34.3	36.4	2.1
60歳代	42.6	43.3	0.7
70歳代	62.7	52.7	-10.0
80歳以上	67.1	75.4	8.3

表 36.3 「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」を合わせた割合
(B：15歳以上調査)〔経年比較・女性年齢別〕

単位：％、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－ H28年調査
10歳代	59.2	66.2	7.0
20歳代	53.7	62.7	9.0
30歳代	49.5	43.5	-6.0
40歳代	45.6	47.9	2.3
50歳代	46.6	47.6	1.0
60歳代	51.8	59.7	7.9
70歳代	67.4	65.4	-2.0
80歳以上	72.6	72.4	-0.2

計画における数値目標のデータ



ゆっくりよく噛んで食べる人の割合

- ・1～15歳 71.9% (目標値 増える (ベース値 65.6%))
 - ・16歳以上 51.4% (目標値 55%以上)
- <A：問11、B：問36で「ゆっくりよく噛んで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」と答えた人を合わせた割合>

(37) 朝食・夕食を家族と一緒に食べることは、どのくらいありますか。

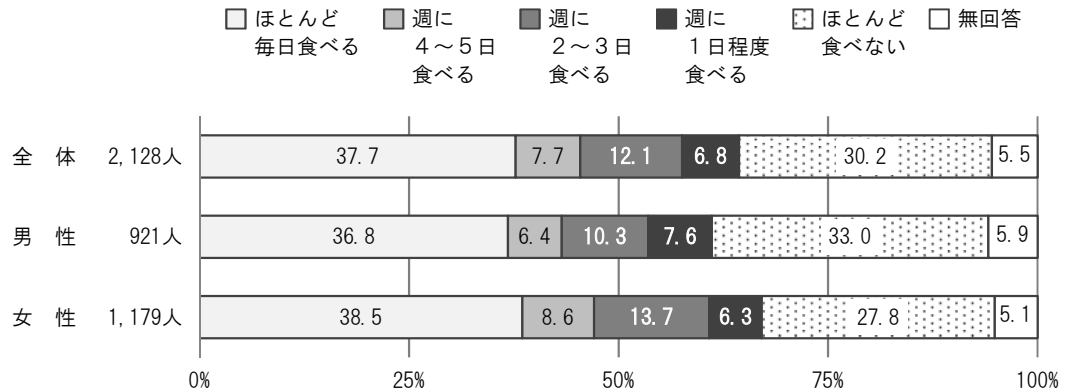
(○はア、イそれぞれに1つずつ) < A : 問 12 / B : 問 37 >

ア. 朝食 (「一人暮らし」を除く)

朝食を家族と一緒に食べている状況は、「ほとんど毎日食べる」が15歳以上調査では37.7%となっています。

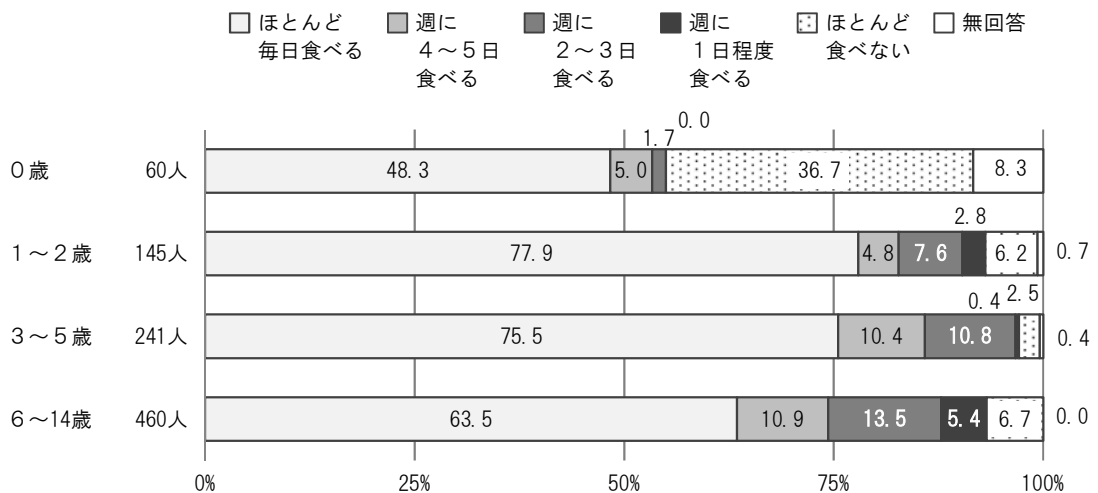
性別にみると、男性では「ほとんど食べない」が33.0%と、女性より5.2ポイント有意に高くなっています。

図 37-ア.1 朝食を家族と一緒に食べている状況 (B : 15歳以上調査) [全体・性別] [(「一人暮らし」を除く)] **



朝食を家族と一緒に食べている状況を0~14歳調査で年齢別にみると、「ほとんど毎日食べる」が「1~2歳」で77.9%、「3~5歳」で75.5%と有意に高くなっています。

図 37-ア.2 朝食を家族と一緒に食べている状況 (A : 0~14歳調査) [年齢別] **

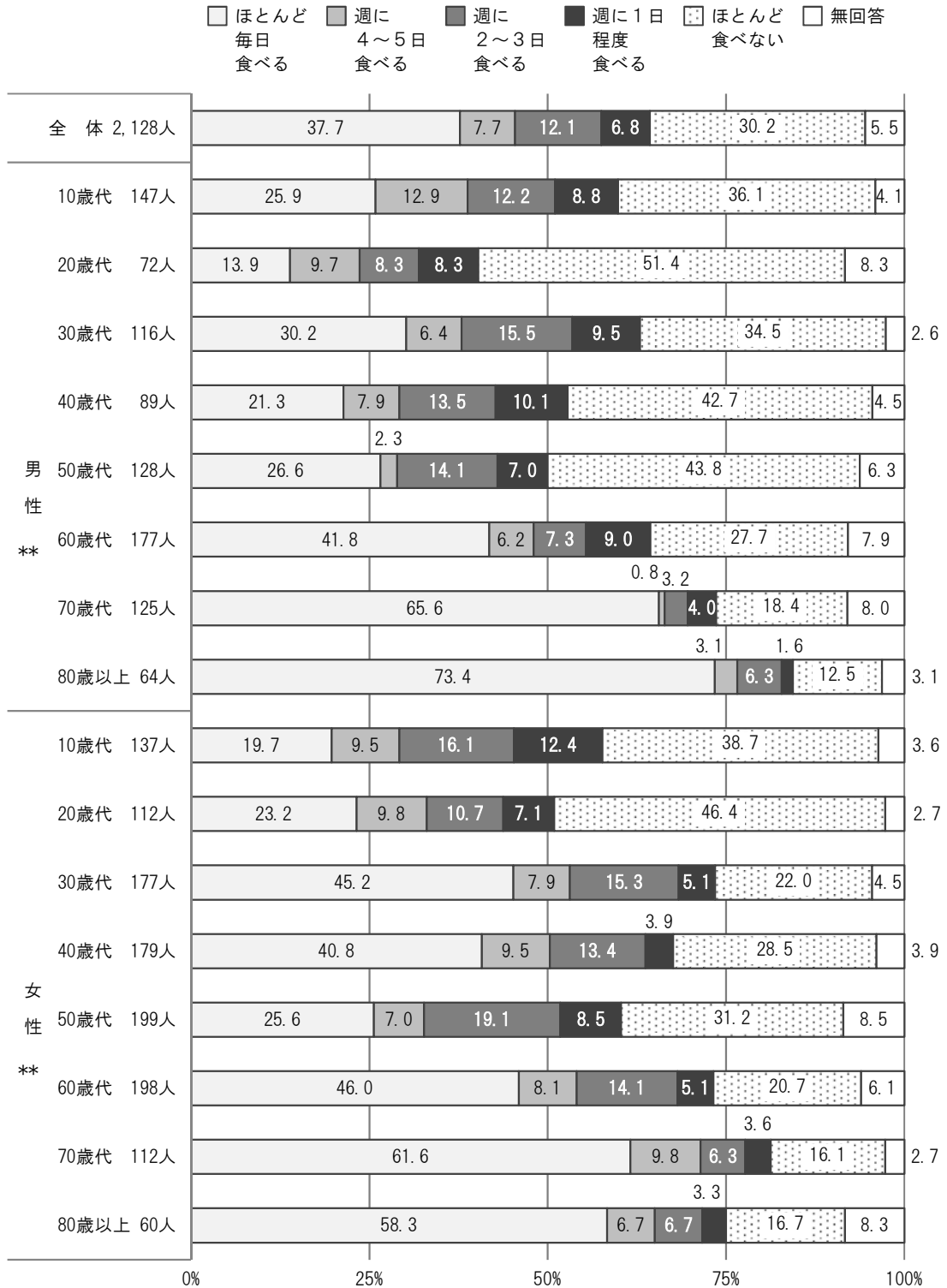


Ⅲ 調査結果

朝食を家族と一緒に食べている状況を性・年代別にみると、男性では「ほとんど毎日食べる」が「70歳代」で65.6%、「80歳以上」で73.4%と他の年代より有意に高く、「ほとんど食べない」が「20歳代」で51.4%、「50歳代」で43.8%と有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べる」が「60歳代」で46.0%、「70歳代」で61.6%、「80歳以上」で58.3%と有意に高く、「ほとんど食べない」が「10歳代」で38.7%、「20歳代」で46.4%と有意に高くなっています。

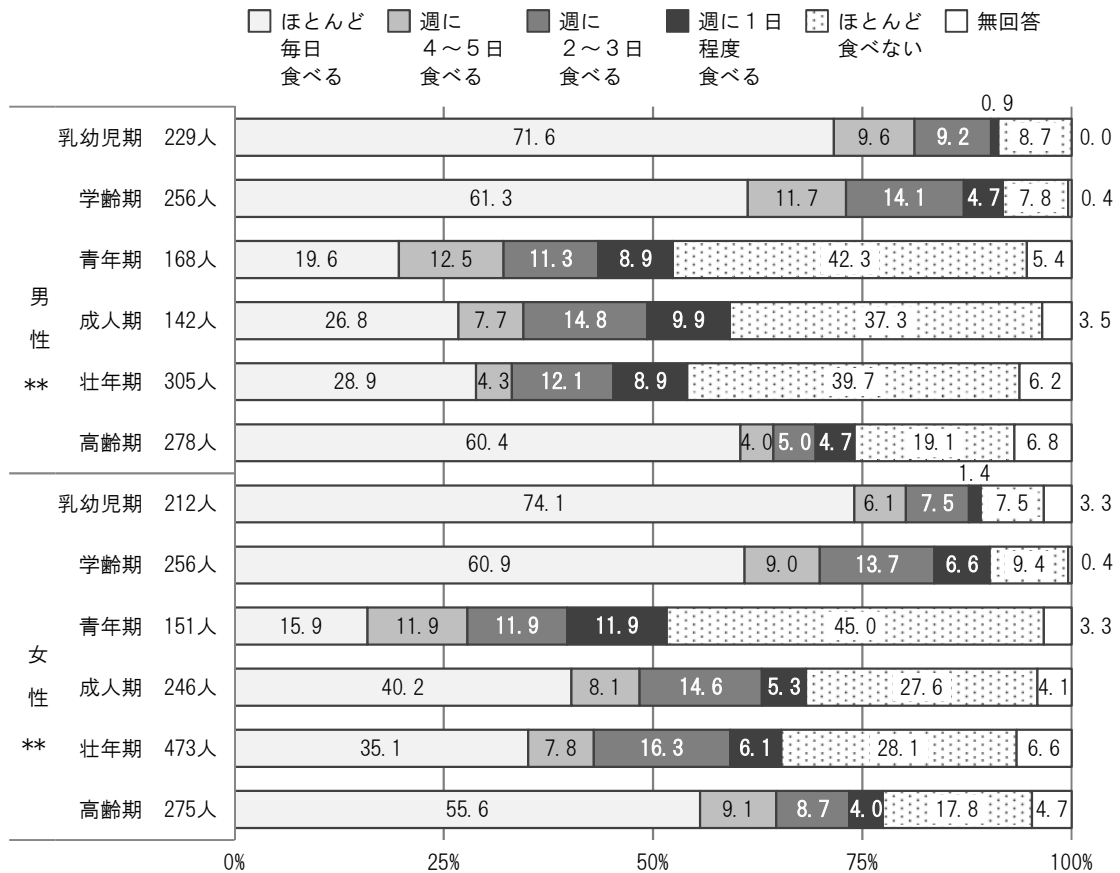
図 37-ア.3 朝食を家族と一緒に食べている状況（B：15歳以上調査）〔性・年代別（「一人暮らし」を除く）〕



朝食を家族と一緒に食べている状況を性・ライフステージ別にみると、男性では「ほとんど毎日食べる」が「乳幼児期」で71.6%、「学齢期」で61.3%、「高齢期」で60.4%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べる」が「乳幼児期」で74.1%、「学齢期」で60.9%、「高齢期」で55.6%と有意に高くなっています。

図 37-ア.4 朝食を家族と一緒に食べている状況（C：全年齢（AB合算））〔性・ライフステージ別（「一人暮らし」を除く）〕



朝食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合について、H23年調査と比較すると、男性では「高齢期」で19.6ポイント減少しています。

H28年調査と比較すると、男性では「青年期」で10.9ポイント有意に減少しています。

表 37-ア 朝食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合〔経年比較〕 単位：%、ポイント

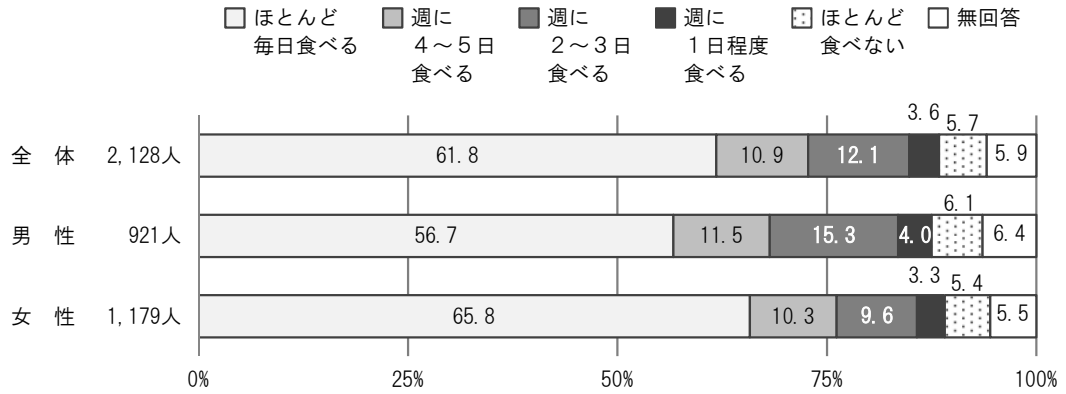
項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－H23年調査	今回調査－H28年調査	
男性	青年期	26.6	30.5	19.6	-7.0	-10.9
	成人期	36.3	17.9	26.8	-9.5	8.9
	壮年期	38.0	29.3	28.9	-9.1	-0.4
	高齢期	80.0	67.0	60.4	-19.6	-6.6
女性	青年期	26.1	23.9	15.9	-10.2	-8.0
	成人期	44.0	42.0	40.2	-3.8	-1.8
	壮年期	45.3	40.4	35.1	-10.2	-5.3
	高齢期	69.3	61.9	55.6	-13.7	-6.3

Ⅲ 調査結果

イ. 夕食（「一人暮らし」を除く）

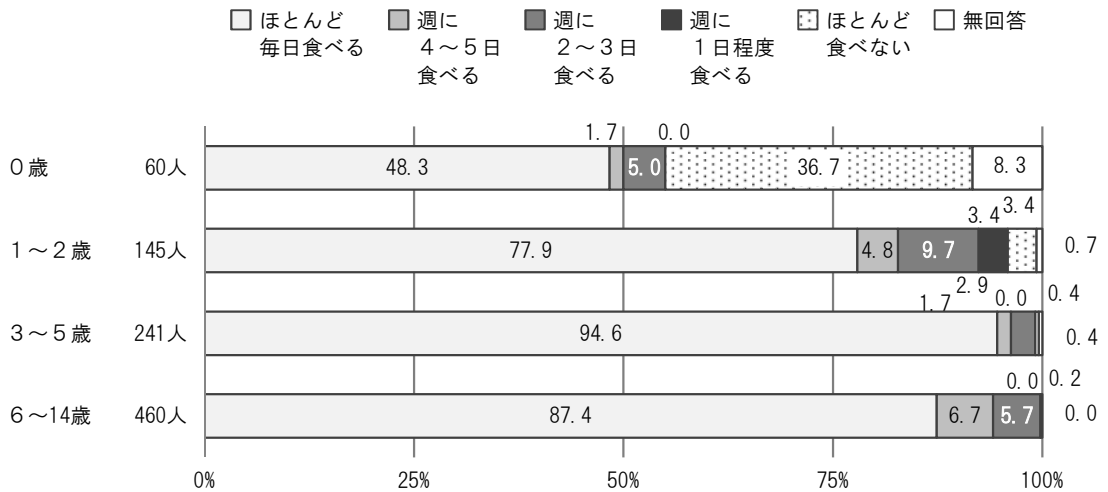
夕食を家族と一緒に食べている状況は、「ほとんど毎日食べる」が15歳以上調査では61.8%となっています。
性別にみると、女性では「ほとんど毎日食べる」が65.8%と、男性より9.1ポイント有意に高くなっています。

図 37-イ.1 夕食を家族と一緒に食べている状況（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕〔（「一人暮らし」を除く）〕**



夕食を家族と一緒に食べている状況を0~14歳調査で年齢別にみると、「3~5歳」で94.6%と他の年齢より有意に高くなっています。

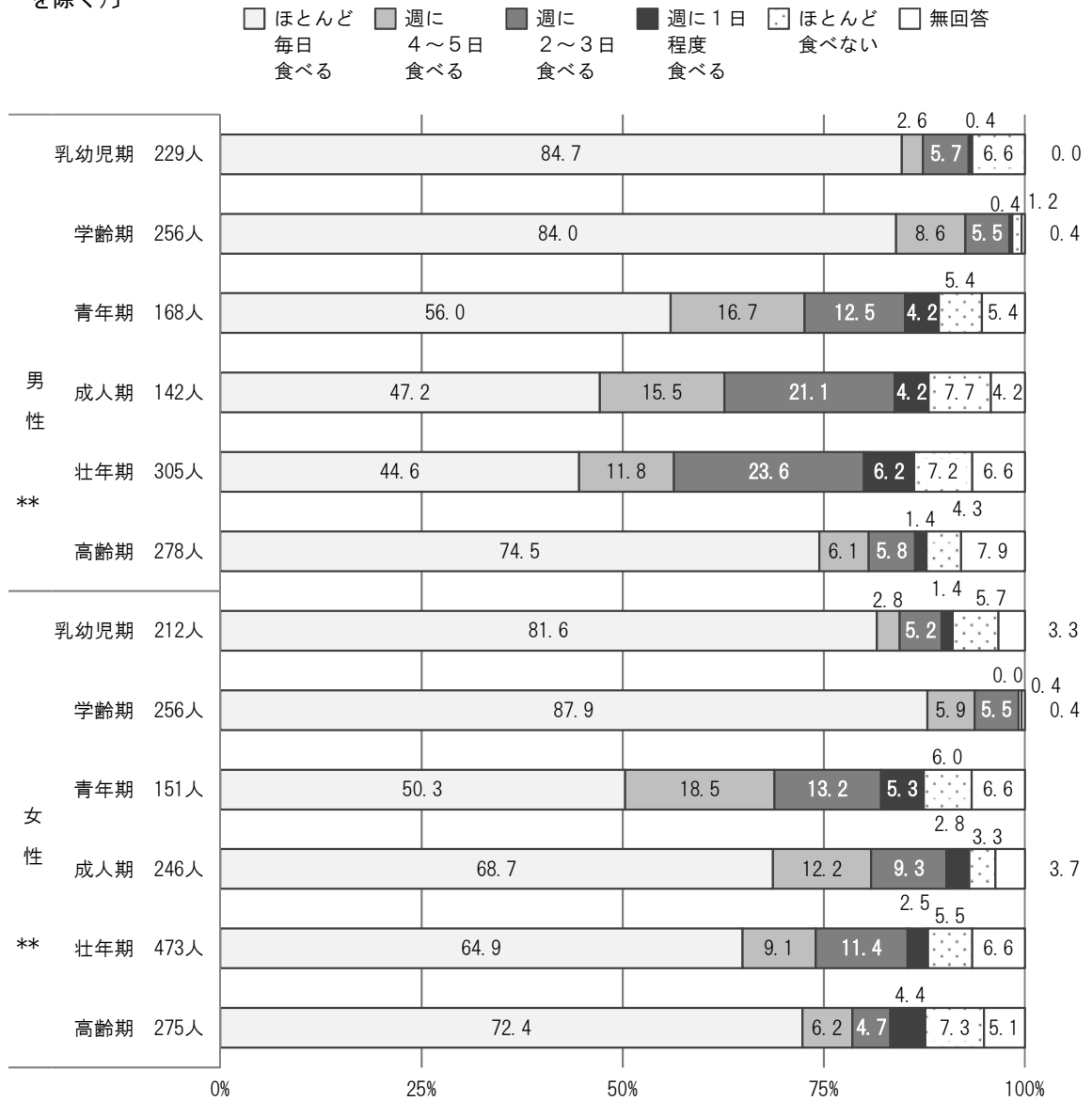
図 37-イ.2 夕食を家族と一緒に食べている状況（A：0~14歳調査）〔年齢別〕**



夕食を家族と一緒に食べている状況を性・ライフステージ別にみると、男性では「ほとんど毎日食べる」が「乳幼児期」で84.7%、「学齢期」で84.0%、「高齢期」で74.5%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「ほとんど毎日食べる」が「乳幼児期」で81.6%、「学齢期」で87.9%と有意に高く、「週に4～5日食べる」が「青年期」で18.5%と有意に高くなっています。

図 37-イ.3 夕食を家族と一緒に食べている状況（C：全年齢（A B 合算））〔性・ライフステージ別（「一人暮らし」を除く）〕



Ⅲ 調査結果

夕食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合について、H23年調査と比較すると、男性では「青年期」で23.2ポイント有意に増加しています。
H28年調査と比較すると、男性では「成人期」で18.2ポイント有意に増加しています。

表 37-イ 夕食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合（B：15歳以上調査）〔経年比較（「一人暮らし」を除く）〕

単位：％、ポイント

項目		H23年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査
男性	青年期	32.8	46.8	56.0	23.2	9.2
	成人期	40.0	29.0	47.2	7.2	18.2
	壮年期	49.1	38.1	44.6	-4.5	6.5
	高齢期	87.6	71.2	74.5	-13.1	3.3
女性	青年期	42.3	40.3	50.3	8.0	10.0
	成人期	69.1	62.8	68.7	-0.4	5.9
	壮年期	67.5	60.9	64.9	-2.6	4.0
	高齢期	78.0	74.2	72.4	-5.6	-1.8

朝食・夕食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合について、「学齢期」でH23年調査と比較すると、女性では朝食が18.7ポイント有意に減少しています。H29年調査と比較すると、女性では夕食が8.7ポイント有意に増加しています。

表 37★ 朝食・夕食を家族と一緒に「ほとんど毎日食べる」割合（C：全年齢（AB合算）【6～15歳・無回答を除く】）〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目			H23年調査	H29年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H29年調査
朝食	男性	学齢期	70.7	67.2	61.6	-9.1	-5.6
	女性	学齢期	79.9	60.5	61.2	-18.7	0.7
夕食	男性	学齢期	84.7	78.5	84.3	-0.4	5.8
	女性	学齢期	87.5	79.5	88.2	0.7	8.7

計画における数値目標のデータ



朝食または夕食を家族と一緒に食べる回数（「一人暮らし」を除く）

- ・学齢期（6～15歳） 11.7回/週（目標値 増える（ベース値 11.6回/週））
 - ・16歳以上 9.0回/週（目標値 9.5回/週以上）
- < A：問 12、B：問 37で「ほとんど毎日食べる」を7回、「週に4～5日食べる」を4.5回、「週に2～3日食べる」を2.5回、「週に1日程度食べる」を1回、「ほとんど食べない」を0回とし、それぞれ朝食・夕食ごとに該当人数を掛け、合計したものを回答者数で割り、朝食と夕食の回数を足して週当たりの回数を算出 >



ほとんど毎日家族と食べる子どもの割合

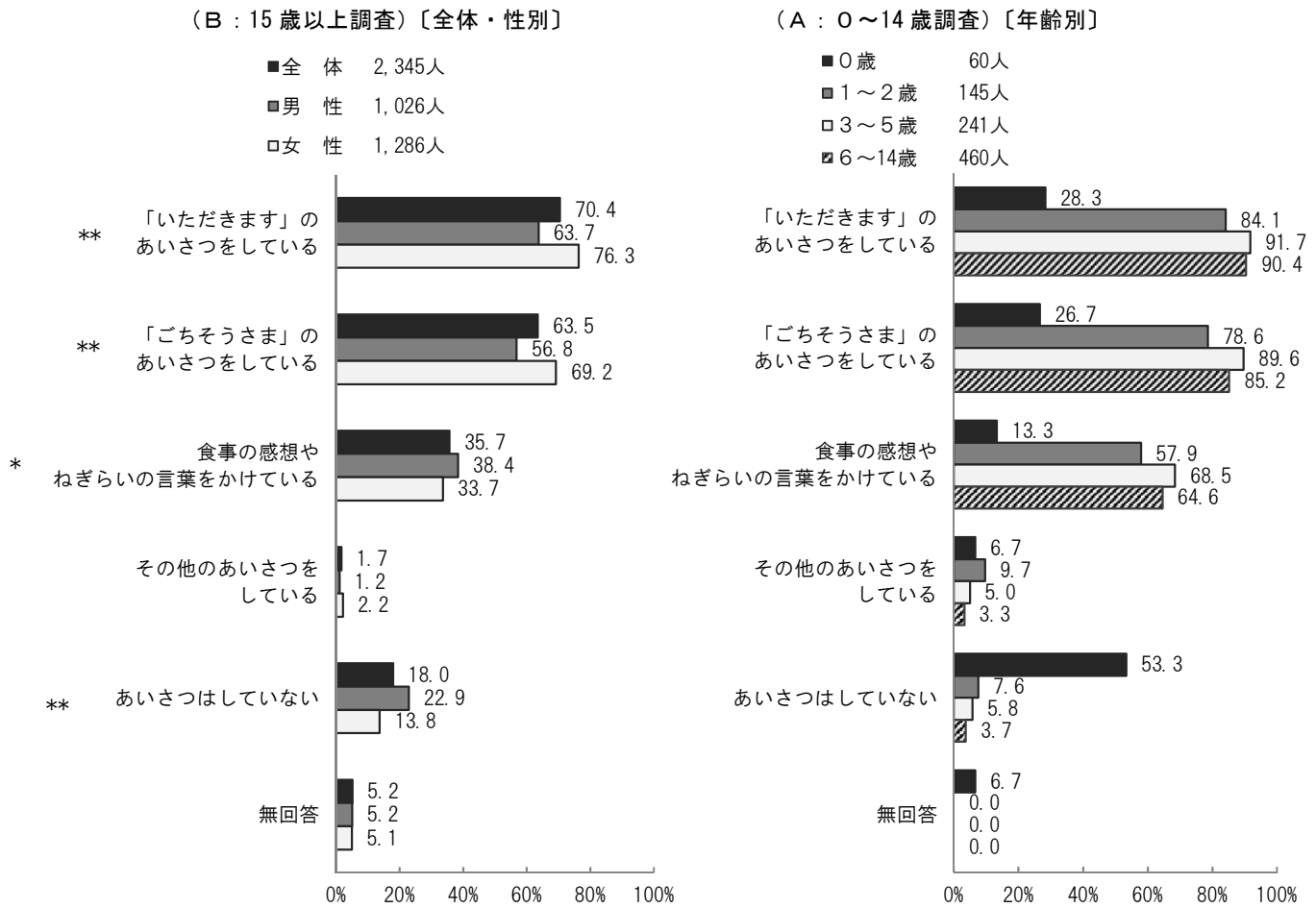
- ・朝食 学齢期（6～15歳）男性 61.6%（目標値 増える（ベース値 70.7%））
女性 61.2%（目標値 増える（ベース値 79.9%））
- ・夕食 学齢期（6～15歳）男性 84.3%（目標値 増える（ベース値 84.7%））
女性 88.2%（目標値 増える（ベース値 87.5%））

< A：問 12、B：問 37で「ほとんど毎日食べる」と答えた人の割合（無回答を除く） >

(38) 食事のあいさつをしていますか。(〇はあてはまるものすべて) <A : 問 15 / B : 問 38>

食事のあいさつをしているかについては、「『いただきます』のあいさつをしている」が最も高く、15歳以上調査では70.4%となっています。
 性別にみると、15歳以上調査では、女性で「『いただきます』のあいさつをしている」が76.3%、「『ごちそうさま』のあいさつをしている」が69.2%と有意に高くなっています。
 0～14歳調査で年齢別にみると、「3～5歳」で「『いただきます』のあいさつをしている」が91.7%と最も高くなっています。

図 38 食事のあいさつをしているか (複数回答)



「その他」の内容 (0～14歳調査)		「その他」の内容 (15歳以上調査)	
項目	件数	項目	件数
食事以外のあいさつ	19	料理・味の感想など	8
(まだ話せないので)動作で	5	宗教のお祈りなど	4
感謝	1	感謝の言葉	3
その他	13	その他	16

Ⅲ 調査結果

食事のあいさつをしているかについて、H23年調査と比較すると、「あいさつはしていない」が2.8ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、「『ごちそうさま』のあいさつをしている」は2.8ポイント増加しています。

表 38 食事のあいさつをしているか（複数回答）〔16歳以上・経年比較〕 単位：％、ポイント

項目	H23年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H23年調査	今回調査－ H28年調査
「いただきます」の あいさつをしている	73.1	68.5	70.3	-2.8	1.8
「ごちそうさま」の あいさつをしている	64.0	60.5	63.3	-0.7	2.8
食事の感想やねぎらいの 言葉をかけている	37.8	33.2	35.6	-2.2	2.4
その他の あいさつをしている	2.2	2.1	1.7	-0.5	-0.4
あいさつはしていない	15.3	19.6	18.1	2.8	-1.5

★何らかの食事のあいさつをしている人（A：問15／B：問38）

該当：A：問15／B：問38「食事のあいさつをしているか」で、「『いただきます』のあいさつをしている」「『ごちそうさま』のあいさつをしている」「食事の感想やねぎらいの言葉をかけている」「その他のあいさつをしている」のいずれか1つ以上に○をした人

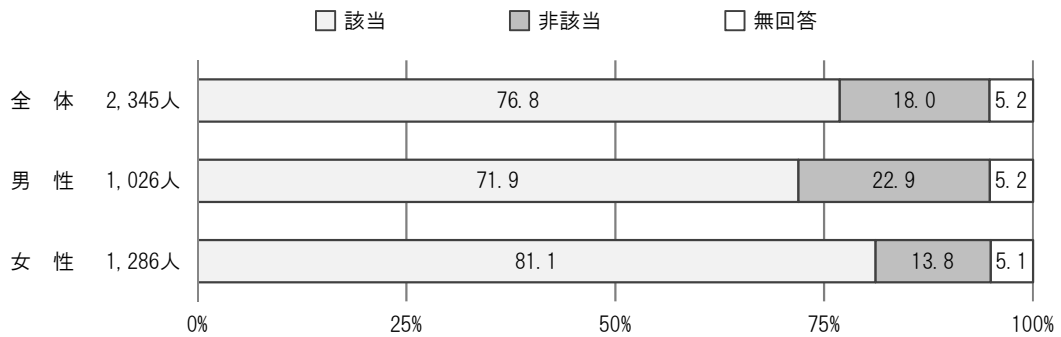
非該当：A：問15／B：問38で「あいさつはしていない」に○をした人

無回答：A：問15／B：問38が無回答の人

何らかの食事のあいさつをしている人の割合は、15歳以上調査では76.8%となっています。

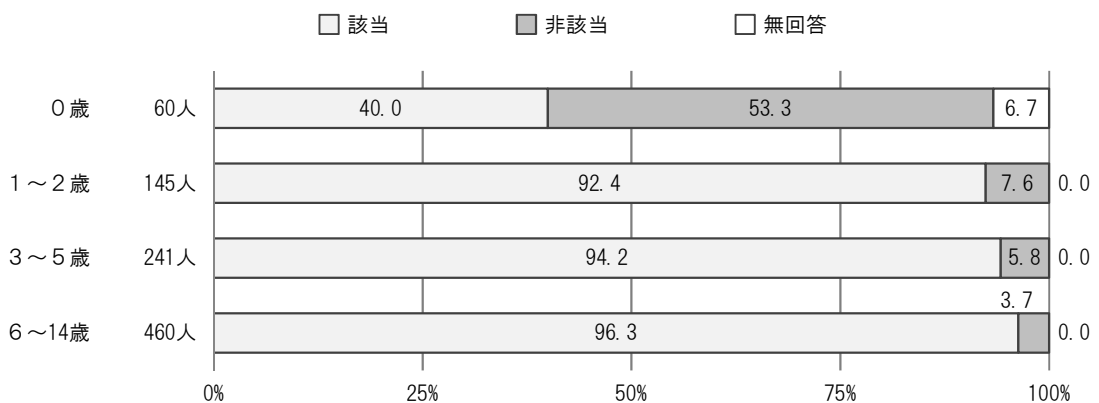
性別にみると、女性では「該当」が81.1%と、男性より9.2ポイント有意に高くなっています。

図38★.1 食事のあいさつをしている（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



何らかの食事のあいさつをしている人の割合を、0～14歳調査で年齢別にみると、「該当」が「6～14歳」で96.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

図38★.2 食事のあいさつをしている（A：0～14歳調査）〔年齢別〕**



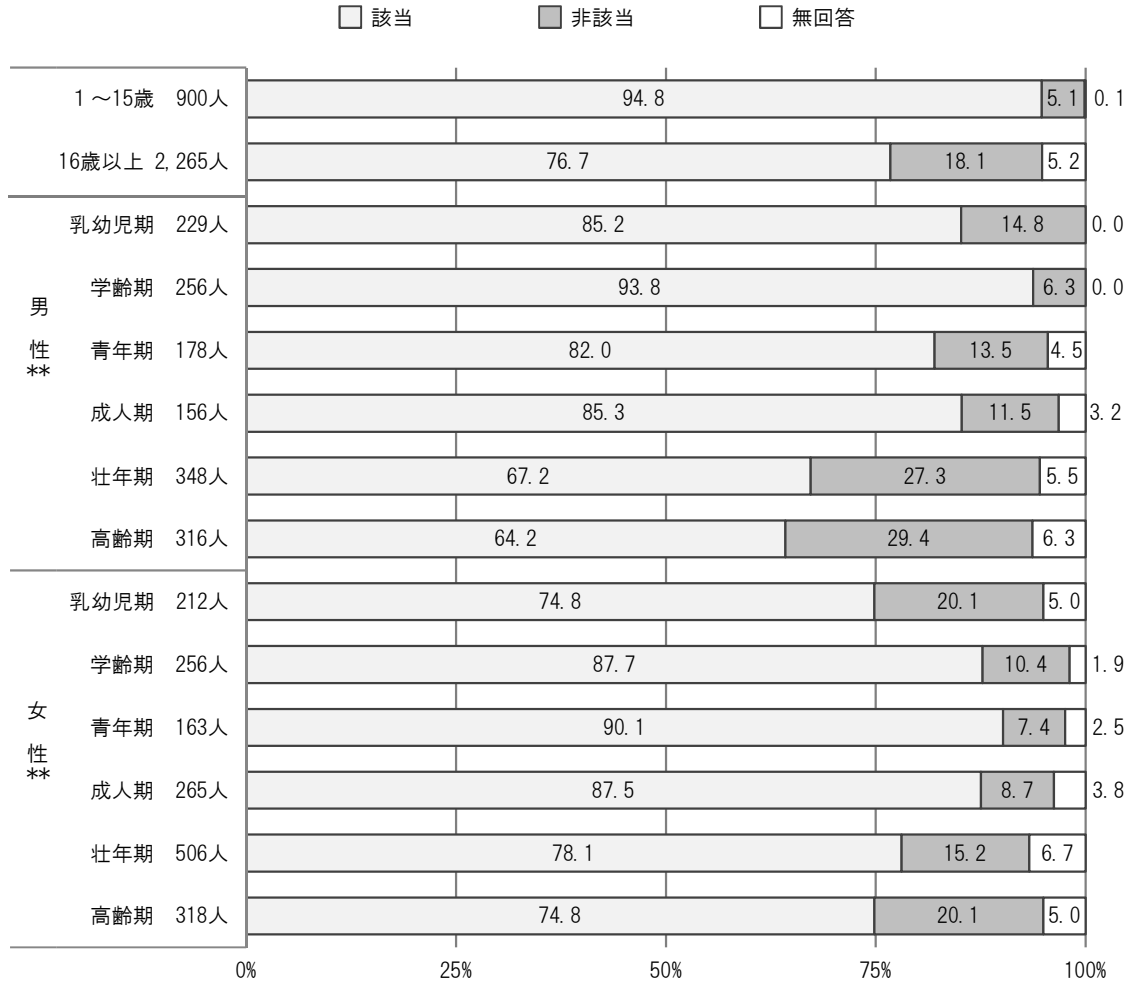
Ⅲ 調査結果

何らかの食事のあいさつをしている人の割合を性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「乳幼児期」で85.2%、「学齢期」で93.8%、「成人期」で85.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

女性では「該当」が「学齢期」で87.7%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P209 参照。

図 38★.3 食事のあいさつをしている（C：全年齢（AB合算））〔性・ライフステージ別〕



食事のあいさつをしている割合について、H23 年調査と比較すると、男性の「高齡期」で15.0ポイント有意に減少しています。

H28 年調査と比較すると、男性の「壮年期」で4.2ポイント減少しています。

表 38★ 食事のあいさつをしている割合（B：15歳以上調査）〔経年比較〕 単位：%、ポイント

項目		H23 年調査	H28 年調査	今回調査	今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査
男性	青年期	80.6	81.3	82.0	1.4	0.7
	成人期	81.1	82.7	85.3	4.2	2.6
	壮年期	77.5	71.4	67.2	-10.3	-4.2
	高齡期	79.2	64.8	64.2	-15.0	-0.6
女性	青年期	90.5	85.5	90.2	-0.3	4.7
	成人期	89.7	89.5	87.5	-2.2	-2.0
	壮年期	84.7	80.5	78.1	-6.6	-2.4
	高齡期	82.4	71.7	74.8	-7.6	3.1

計画における数値目標のデータ



「いただきます」、「ごちそうさま」などの食事のあいさつをしている人の割合

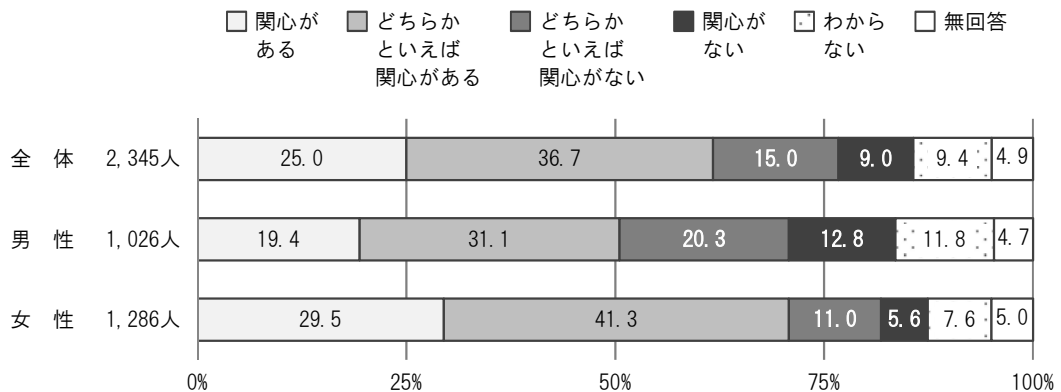
- 1～15歳 94.8% (目標値 増える (ベース値 95.6%))
 - 16歳以上 76.7% (目標値 85%以上)
- <A：問 15、B：問 38 で何らかの食事のあいさつをしていると答えた人の割合>

(39) あなたは、「食育」に関心がありますか。(〇は1つだけ) <B：問 39>

「食育」への関心の有無は、「関心がある」が 25.0%、「どちらかといえば関心がある」が 36.7%となっており、合わせて 61.7%が関心を示しています。

性別にみると、女性では「関心がある」が 29.5%、「どちらかといえば関心がある」が 41.3%と、男性より有意に高くなっています。

図 39.1 「食育」への関心の有無〔全体・性別〕**

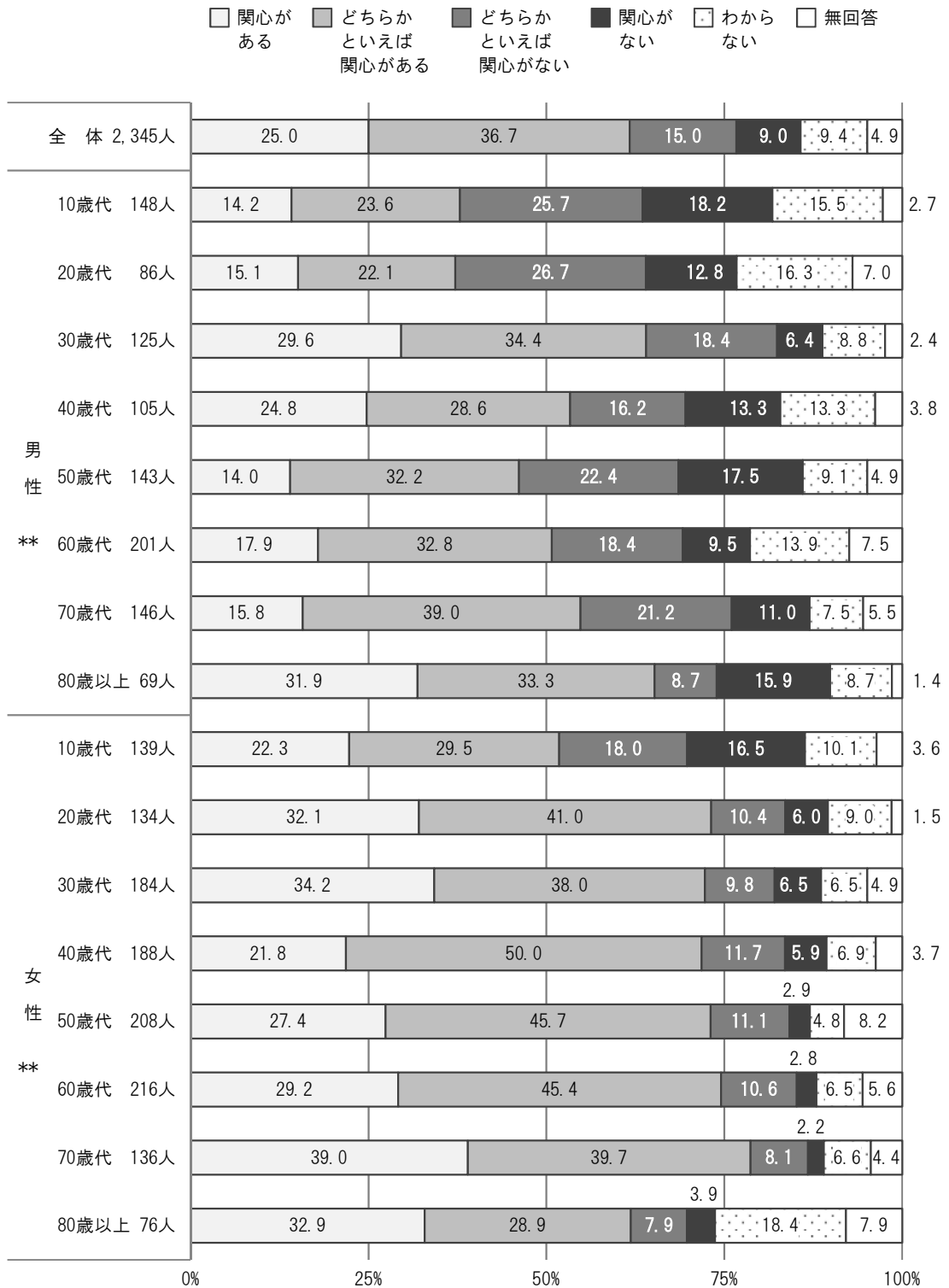


Ⅲ 調査結果

「食育」への関心の有無を性・年代別にみると、男性では「関心がある」が「30 歳代」で 29.6%、「80 歳以上」で 31.9%と他の年代より有意に高く、「関心がない」が「10 歳代」で 18.2%と有意に高くなっています。

女性では「関心がある」が「70 歳代」で 39.0%と有意に高く、「関心がない」が「10 歳代」で 16.5%と有意に高くなっています。

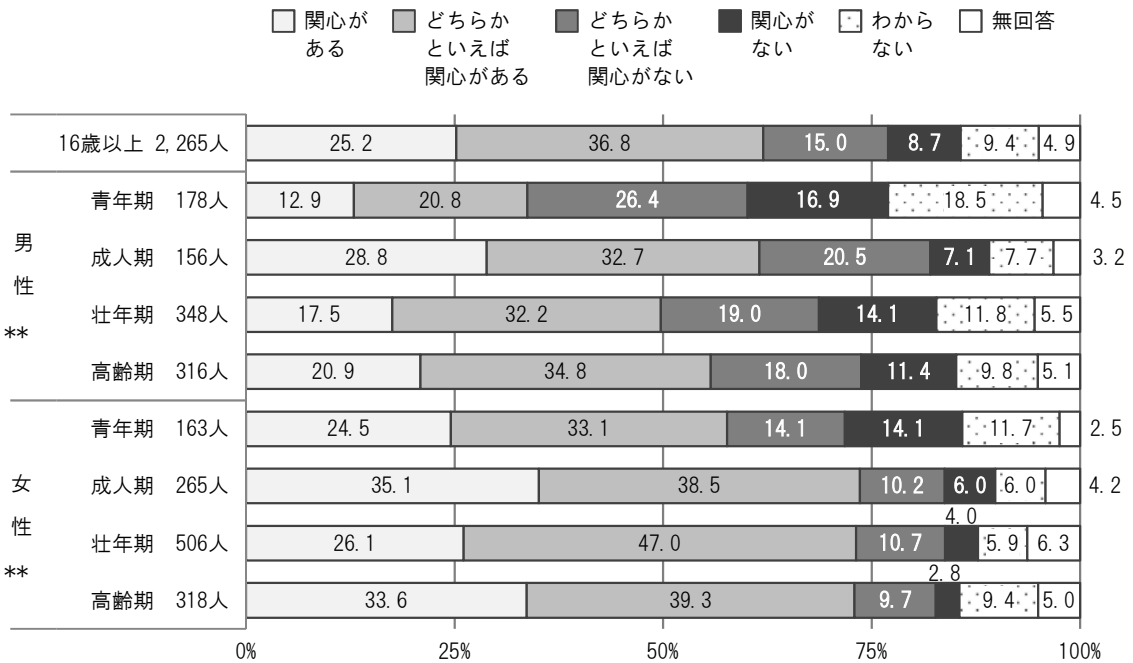
図 39.2 「食育」への関心の有無〔性・年代別〕



「食育」への関心の有無を性・ライフステージ別にみると、男性では「関心がある」が「成人期」で28.8%と有意に高く、「わからない」が「青年期」で18.5%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「関心がある」が「成人期」で35.1%と有意に高く、「関心がない」が「青年期」で14.1%と有意に高くなっています。

図 39.3 「食育」への関心の有無〔性・ライフステージ別〕



「食育」への関心がある割合について、H28年調査と比較すると、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、男性の「青年期」で8.3ポイント、女性の「青年期」で8.8ポイント減少しています。

表 39 「食育」への関心がある割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	関心がある(1)	どちらかといえば関心がある(2)	A=(1)+(2)	関心がある(3)	どちらかといえば関心がある(4)	B=(3)+(4)	B-A	
16歳以上	25.5	37.8	63.3	25.2	36.8	62.0	-1.3	
男性	青年期	14.7	27.3	42.0	12.9	20.8	33.7	-8.3
	成人期	27.4	27.4	54.8	28.8	32.7	61.5	6.7
	壮年期	17.4	31.8	49.2	17.5	32.2	49.7	0.5
	高齢期	21.6	31.0	52.6	20.9	34.8	55.7	3.1
女性	青年期	27.7	38.7	66.4	24.5	33.1	57.6	-8.8
	成人期	35.0	39.8	74.8	35.1	38.5	73.6	-1.2
	壮年期	27.8	49.3	77.1	26.1	47.0	73.1	-4.0
	高齢期	30.0	42.2	72.2	33.6	39.3	72.9	0.7

計画における数値目標のデータ



食育に関心を持っている人の割合

- ・16歳以上 62.0% (目標値 85%以上)
- ＜問 39 で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人の割合

Ⅲ 調査結果

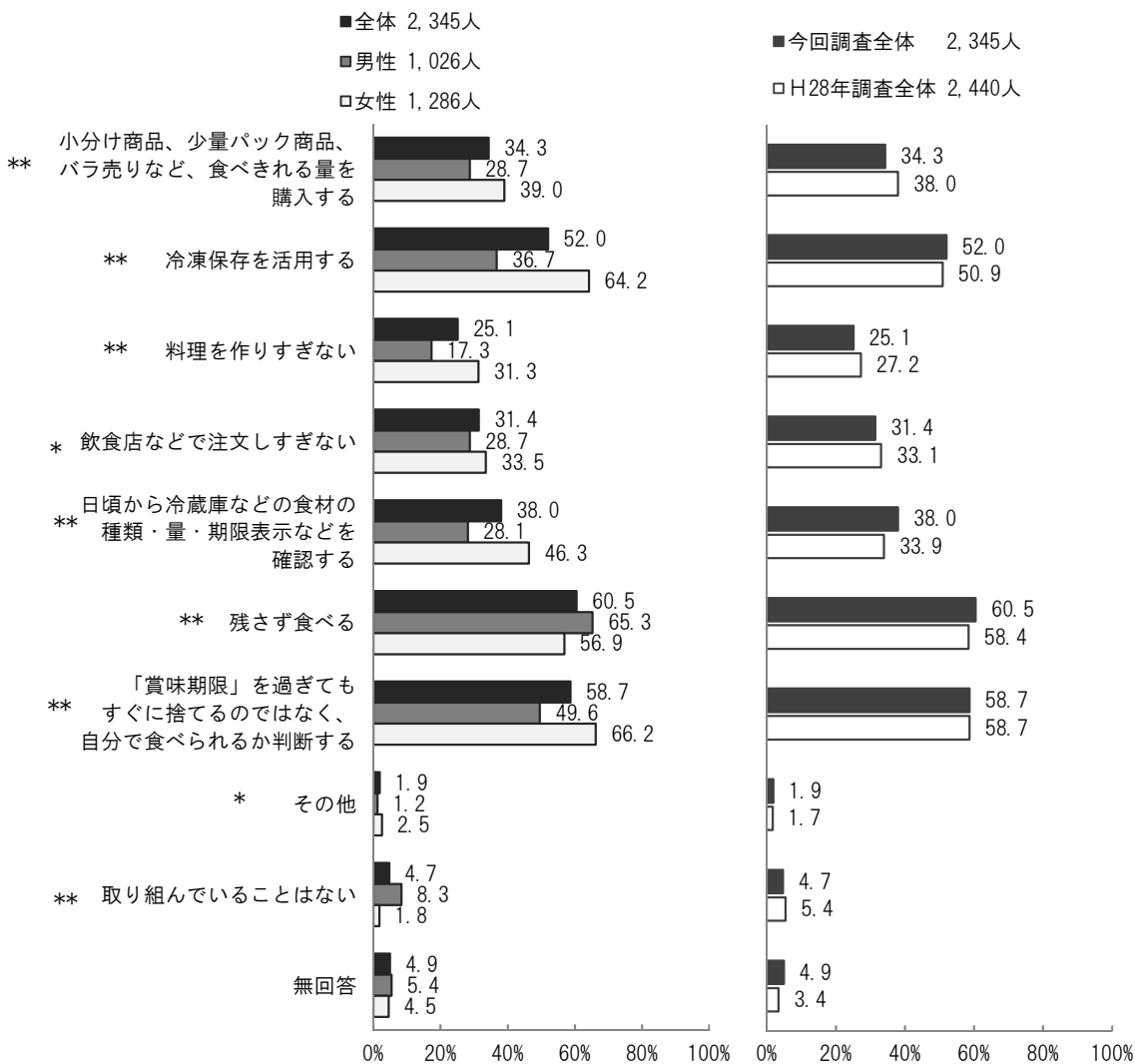
(40) あなたは、食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）を減らすために取り組んでいることはありますか。（〇はあてはまるものすべて）＜B：問40＞

食品ロスを減らすための取組は、「残さず食べる」が60.5%と最も高く、次いで「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が58.7%、「冷凍保存を活用する」が52.0%となっています。

性別にみると、女性は「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が66.2%と、男性より16.6ポイント有意に高く、「冷凍保存を活用する」が64.2%と、男性より27.5ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する」が34.3%と、3.7ポイント有意に減少しています。

図40 食品ロスを減らすための取組（複数回答）〔全体・性別・経年比較〕



「その他」の内容	
項目	件数
食材を使い切る	12
必要な量だけ取る・買う	6
賞味期限間際の商品を購入する	4
家族が行っているのでわからない	4
おすそわけ	2
作り置き・翌日も食べる	2
その他	14

★食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人（問 40）

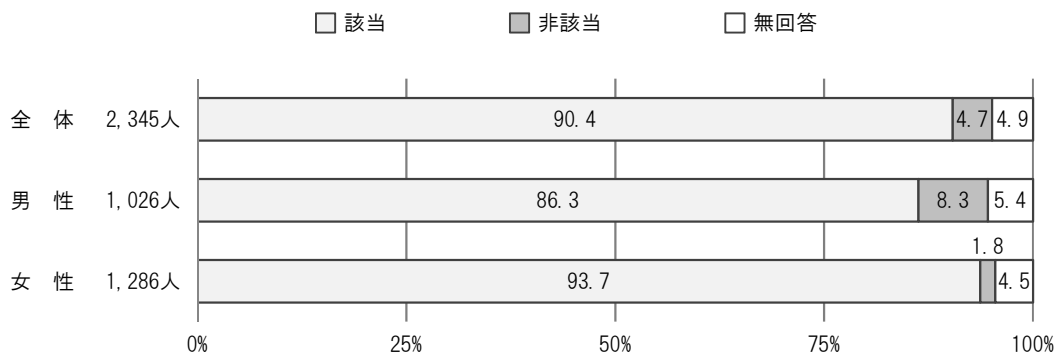
該当：問 40「食品ロスを減らすために取り組んでいることはあるか」で、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれぬ量を購入する」「冷凍保存を活用する」「料理を作りすぎない」「飲食店等で注文しすぎない」「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示等を確認する」「残さず食べる」「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」「その他」のいずれか1つ以上に○をした人

非該当：問 40で「取り組んでいることはない」に○をした人

無回答：問 40が無回答の人

食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人の割合は90.4%となっています。性別にみると、女性では、「該当」が93.7%と男性より7.4ポイント有意に高くなっています。

図 40★.1 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている〔全体・性別〕**



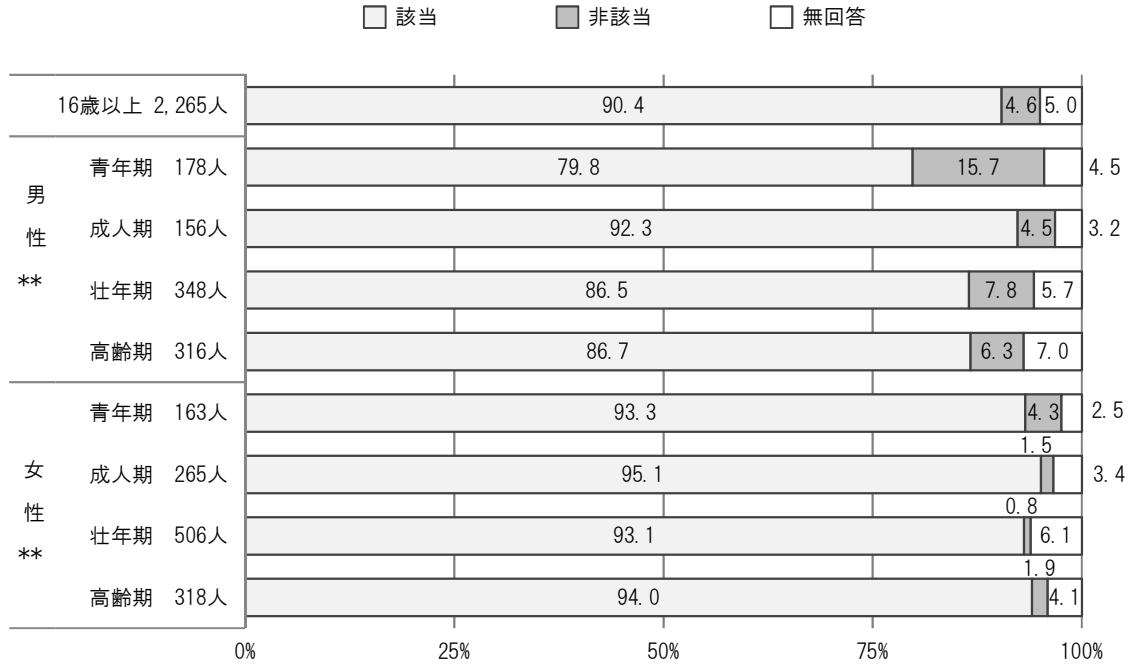
Ⅲ 調査結果

食品ロスを減らすために何らかの取組をしている人について、性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「青年期」で79.8%と他のライフステージより有意に低くなっています。

女性では「該当」が「青年期」で93.3%と有意に低くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P215 参照。

図 40★.2 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている〔性・ライフステージ別〕



食品ロスを減らすために何らかの取組をしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で3.6ポイント増加しています。

表 40★ 食品ロスを減らすために何らかの取組をしている割合〔経年比較〕 単位：%、ポイント

項目	H28年調査	今回調査	今回調査－H28年調査	
16歳以上	91.6	90.4	-1.2	
男性	青年期	84.0	79.8	-4.2
	成人期	88.7	92.3	3.6
	壮年期	89.0	86.5	-2.5
	高齢期	87.5	86.7	-0.8
女性	青年期	90.2	93.3	3.1
	成人期	97.4	95.1	-2.3
	壮年期	96.3	93.1	-3.2
	高齢期	92.9	94.0	1.1

計画における数値目標のデータ



残さず食べるなど、食品ロスの削減に取り組んでいる人の割合

- ・16歳以上 90.4% (目標値 93%以上)
- <問 40 で何らかの取組をしていると答えた人の割合>

(41) あなたは、食品を購入するときに次のことを確認していますか。

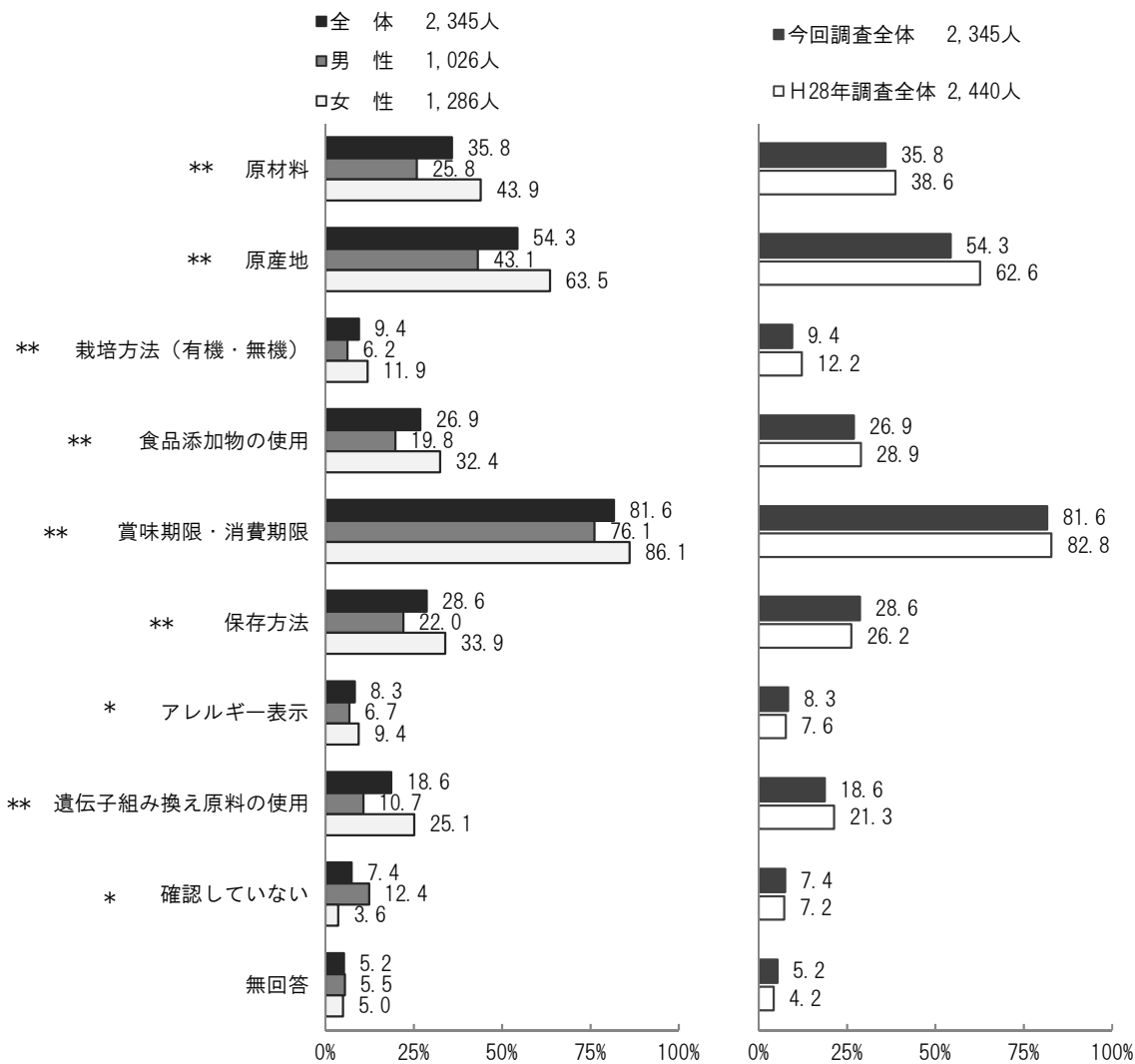
(○はあてはまるものすべて) <B: 問 41>

食品購入の際に確認することは、全体では「賞味期限・消費期限」が81.6%と最も高く、次いで「原産地」が54.3%、「原材料」が35.8%となっています。

性別にみると、女性は「原産地」が63.5%と、男性より20.4ポイント有意に高く、「原材料」が43.9%と、男性より18.1ポイント有意に高く、「遺伝子組み換え原料の使用」が25.1%と、男性より14.4ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「保存方法」が2.4ポイント有意に増加しています。

図 41 食品購入の際に確認すること（複数回答）〔全体・性別・経年比較〕



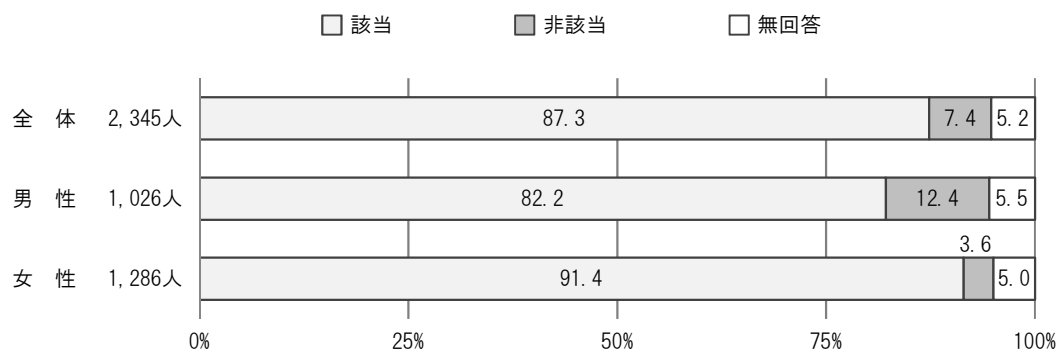
Ⅲ 調査結果

★食品購入の際に何らかの確認をしている人（問 41）

該当：問 41「食品を購入するときに次のことを確認するか」で、「原材料」「原産地」「栽培方法（有機・無機）」「食品添加物の使用」「賞味期限・消費期限」「保存方法」「アレルギー表示」「遺伝子組み換え原料の使用」のいずれか1つ以上に○をした人
 非該当：問 41 で「確認していない」に○をした人
 無回答：問 41 が無回答の人

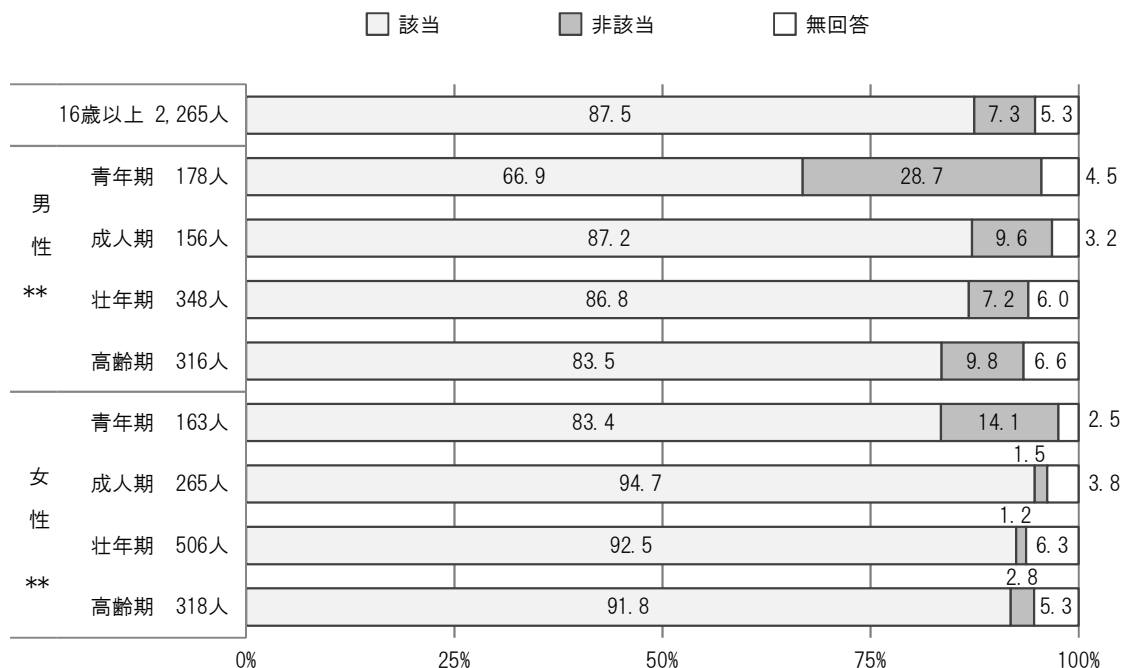
食品購入の際に何らかの確認をしている人の割合は、87.3%となっています。
 性別にみると、女性では、「該当」が91.4%と男性より9.2ポイント有意に高くなっています。

図 41★.1 食品購入の際に何らかの確認をしている〔全体・性別〕**



食品購入の際に何らかの確認をしている人について、性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「壮年期」で86.8%と他のライフステージより有意に高く、「非該当」が「青年期」で28.7%と有意に高くなっています。
 女性では「該当」が「壮年期」で92.5%と有意に高く、「非該当」が「青年期」で14.1%と有意に高くなっています。

図 41★.2 食品購入の際に何らかの確認をしている〔性・ライフステージ別〕



食品購入の際に何らかの確認をしている割合について、H23 年調査と比較すると、女性の「青年期」で 6.3 ポイント有意に減少しています。

H28 年調査と比較すると、男性の「青年期」と「成人期」でともに 5.1 ポイント減少しています。

表 41★ 食品購入の際に何らかの確認をしている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目		H23 年調査	H28 年調査	今回調査	今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査
16 歳以上		90.1	88.8	87.5	-2.6	-1.3
男性	青年期	77.8	72.0	66.9	-10.9	-5.1
	成人期	88.9	92.3	87.2	-1.7	-5.1
	壮年期	90.8	85.3	86.8	-4.0	1.5
	高齢期	79.2	79.8	83.5	4.3	3.7
女性	青年期	89.7	87.9	83.4	-6.3	-4.5
	成人期	97.8	97.4	94.7	-3.1	-2.7
	壮年期	97.1	96.3	92.5	-4.6	-3.8
	高齢期	89.1	91.0	91.8	2.7	0.8

計画における数値目標のデータ



食品表示を見て食品を購入する人の割合

- ・16 歳以上 87.5% (目標値 95%以上)
- <問 41 で何か 1 つでも確認していると答えた人の割合>

Ⅲ 調査結果

(42) あなたは、食中毒を防ぐために家庭で次のことに気をつけていますか。

(○はア、イ、ウそれぞれに1つずつ) < B : 問 42 >

ア. 食品の保存方法について

食中毒を防ぐために、食品の保存方法については「気をつけている」が51.7%、「ある程度は気をつけている」が35.8%となっており、合わせて87.5%が気をつけています。

性別にみると、女性は「気をつけている」が56.8%と、男性より11.6ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「気をつけている」が6.4ポイント有意に増加しています。

図 42-ア.1 食品の保存方法を気をつけているか〔全体・性別〕**

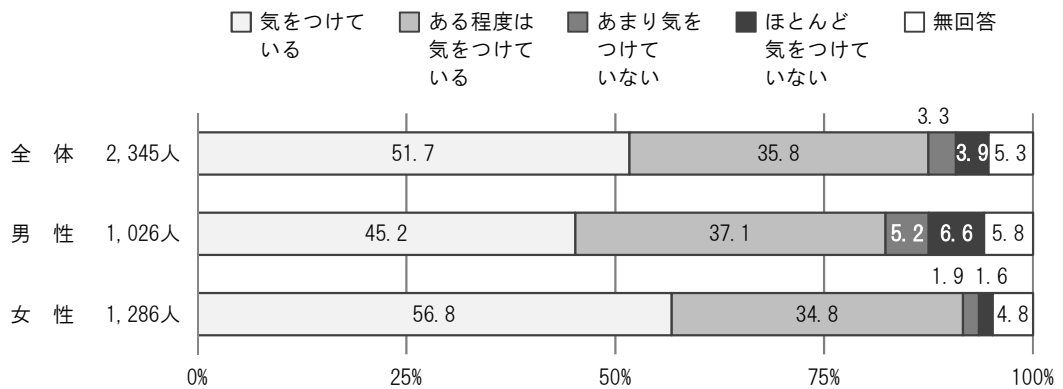
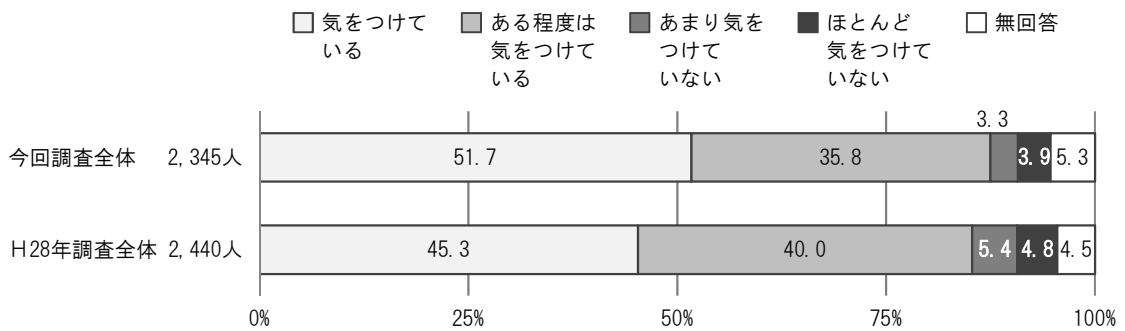


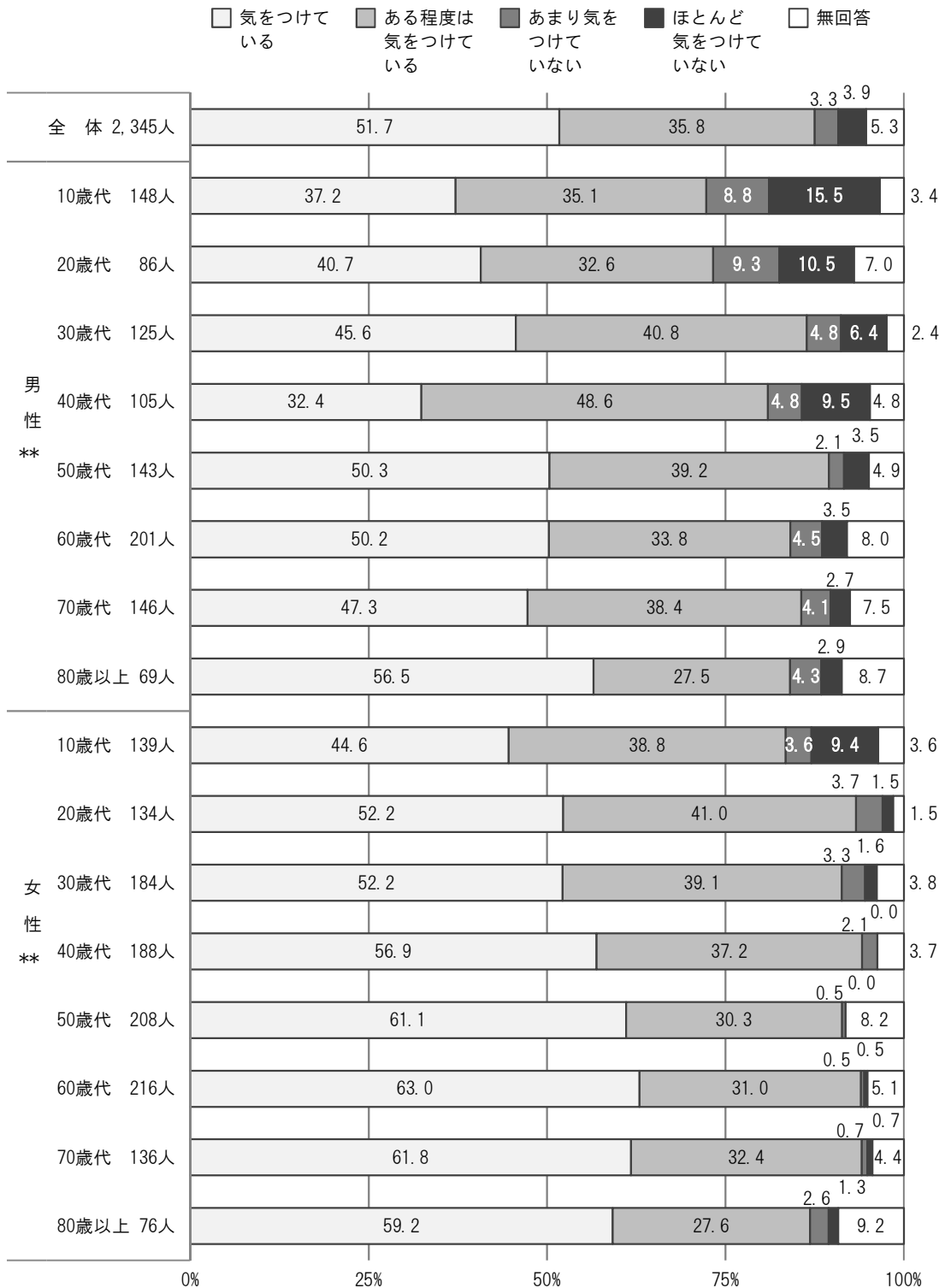
図 42-ア.2 食品の保存方法を気をつけているか〔経年比較〕**



食中毒を防ぐために、食品の保存方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「60歳代」で50.2%、「80歳以上」で56.5%と他の年代より有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で15.5%と有意に高くなっています。

女性では「気をつけている」が「50歳代」で61.1%、「60歳代」で63.0%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で9.4%と有意に高くなっています。

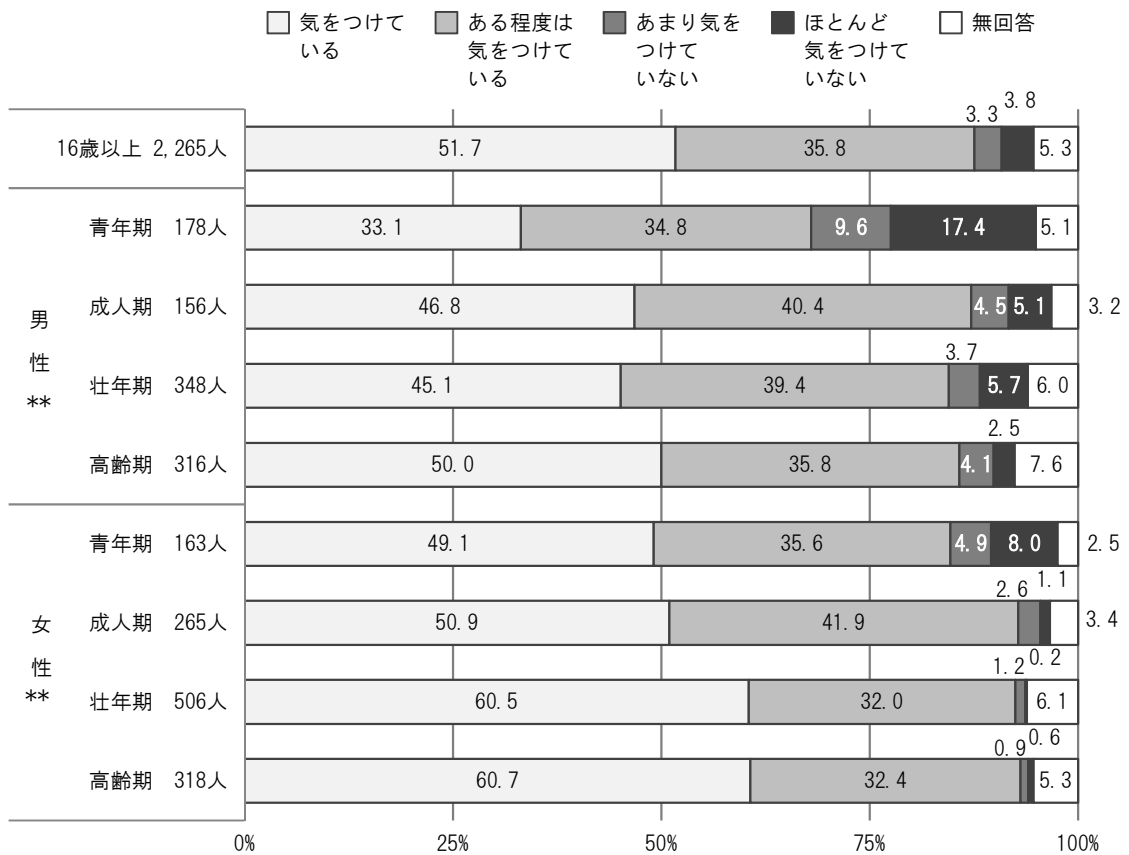
図 42-ア.3 食品の保存方法を気をつけているか〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐために、食品の保存方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「高齢期」で50.0%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で17.4%と有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「壮年期」で60.5%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で8.0%と有意に高くなっています。

図 42-ア.4 食品の保存方法を気をつけているか【性・ライフステージ別】



イ. 調理の方法について

食中毒を防ぐために、調理の方法について「気をつけている」が46.8%、「ある程度は気をつけている」が35.8%となっており、合わせて82.6%が気をつけています。

性別にみると、女性は「気をつけている」が55.7%と、男性より20.1ポイント有意に高くなっています。

H28年調査と比較すると、「気をつけている」が7.0ポイント有意に増加しています。

図 42-イ.1 調理方法を気をつけているか〔全体・性別〕**

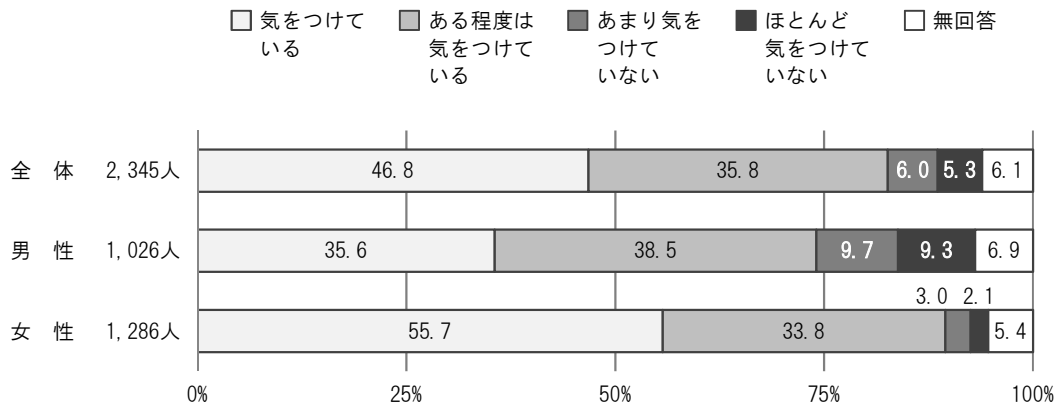
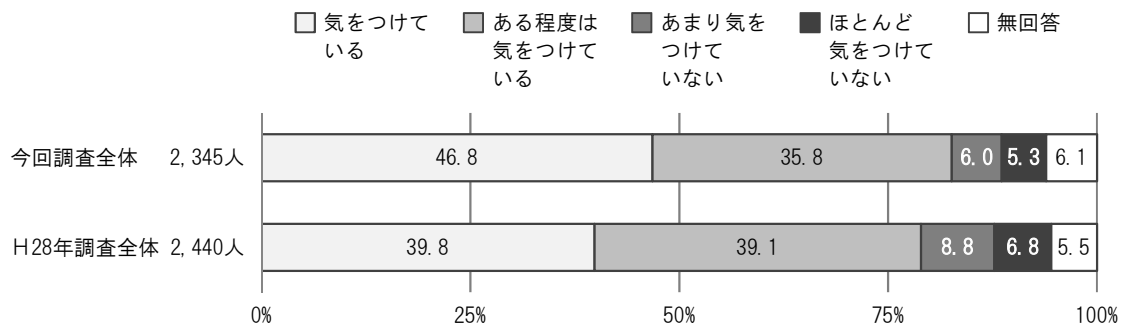


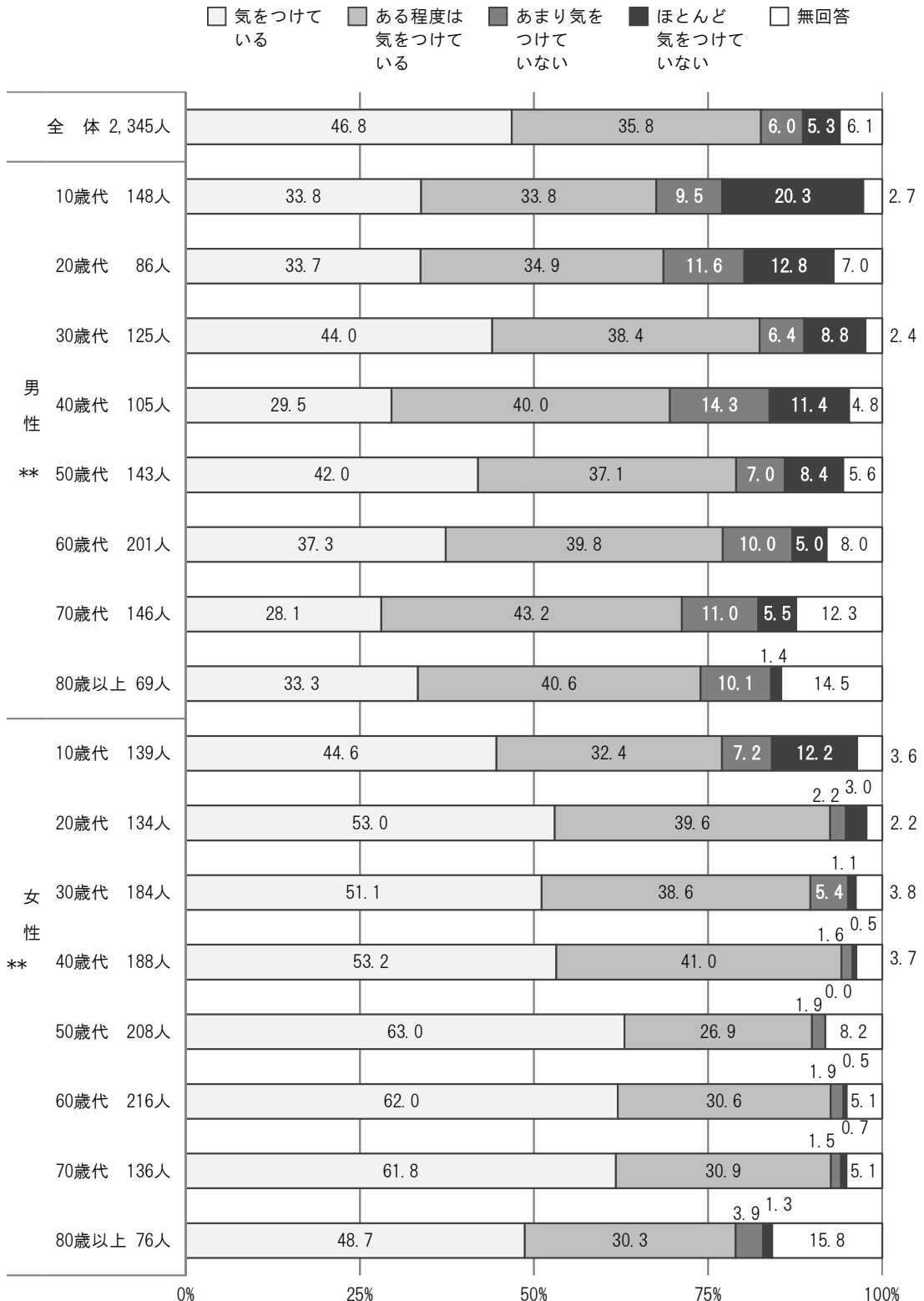
図 42-イ.2 調理方法を気をつけているか〔経年比較〕**



Ⅲ 調査結果

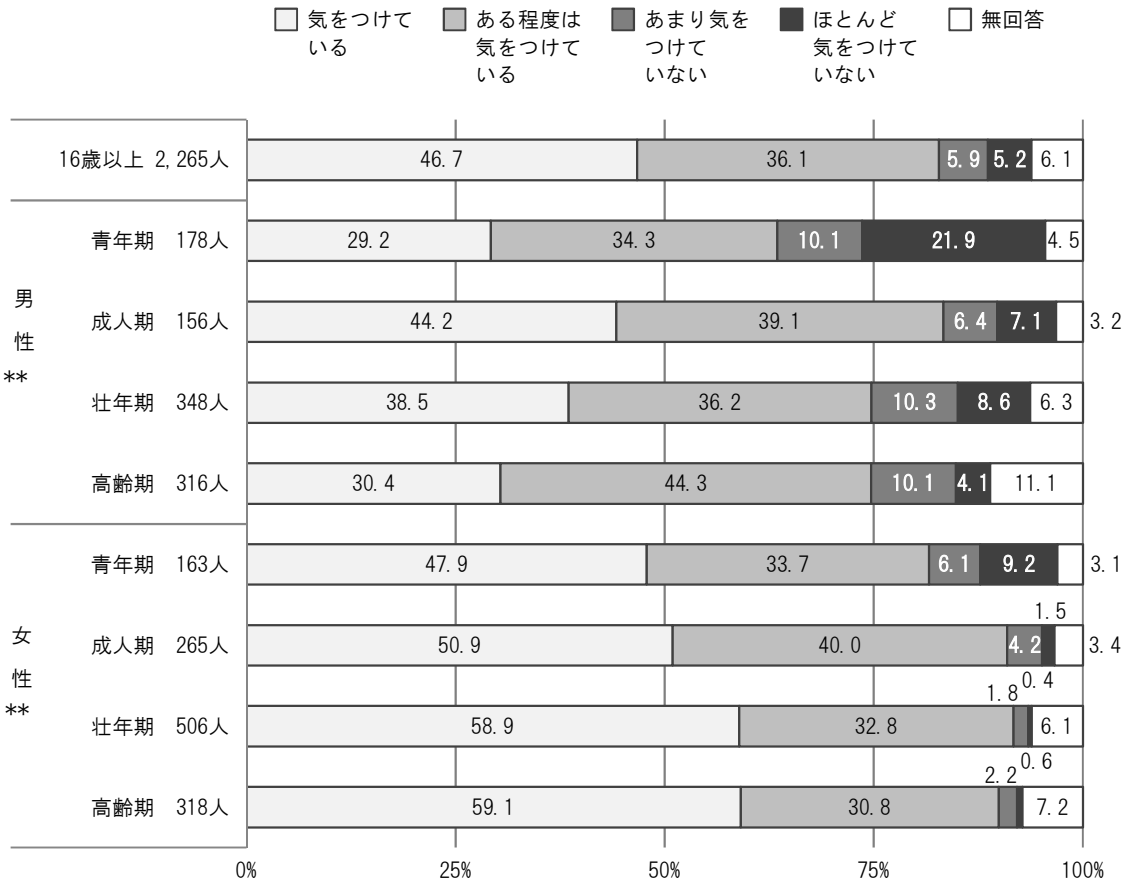
食中毒を防ぐために、調理の方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「30歳代」で44.0%、「50歳代」で42.0%となっており、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で20.3%と他の年代より有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「50歳代」で63.0%、「60歳代」で62.0%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で12.2%と有意に高くなっています。

図 42-イ.3 調理方法を気をつけているか〔性・年代別〕



食中毒を防ぐために、調理の方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「成人期」で44.2%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で21.9%と有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「壮年期」で58.9%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で9.2%と有意に高くなっています。

図 42-イ.4 調理方法を気をつけているか〔性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

ウ. 調理器具の洗浄・消毒方法

食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法について「気をつけている」が 44.4%、「ある程度は気をつけている」が 37.1%となっており、合わせて 81.5%が気をつけています。
性別にみると、女性は「気をつけている」が 48.4%と、男性より 9.2 ポイント有意に高くなっています。

図 42-ウ.1 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔全体・性別〕**

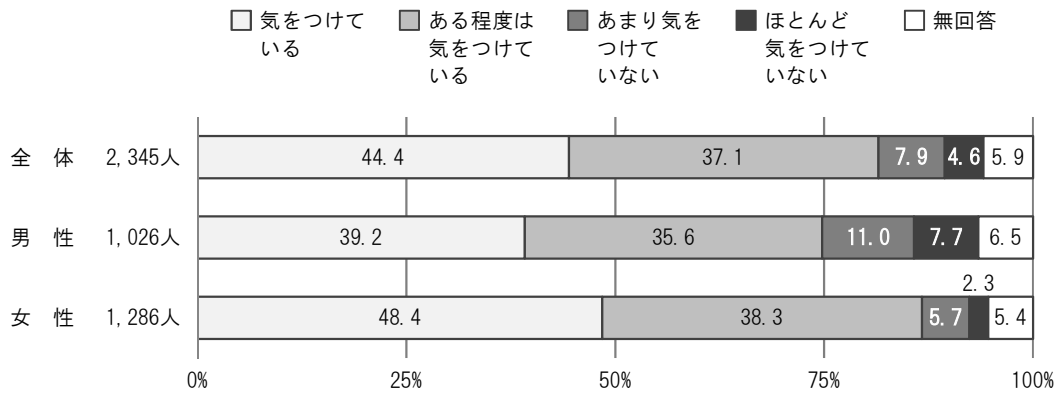
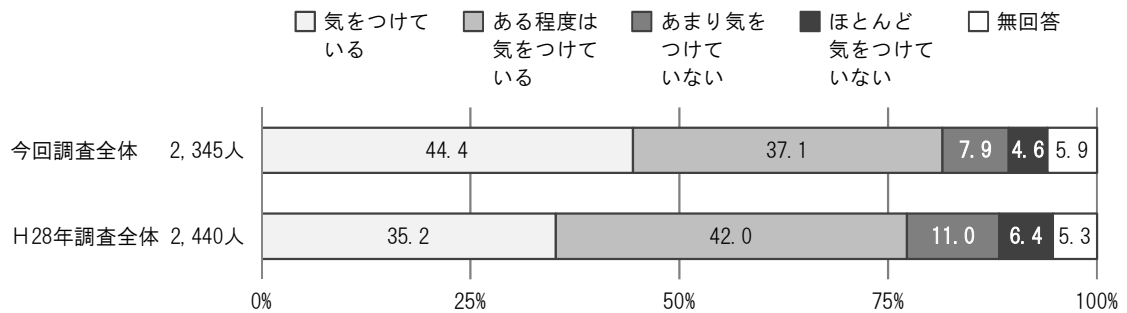
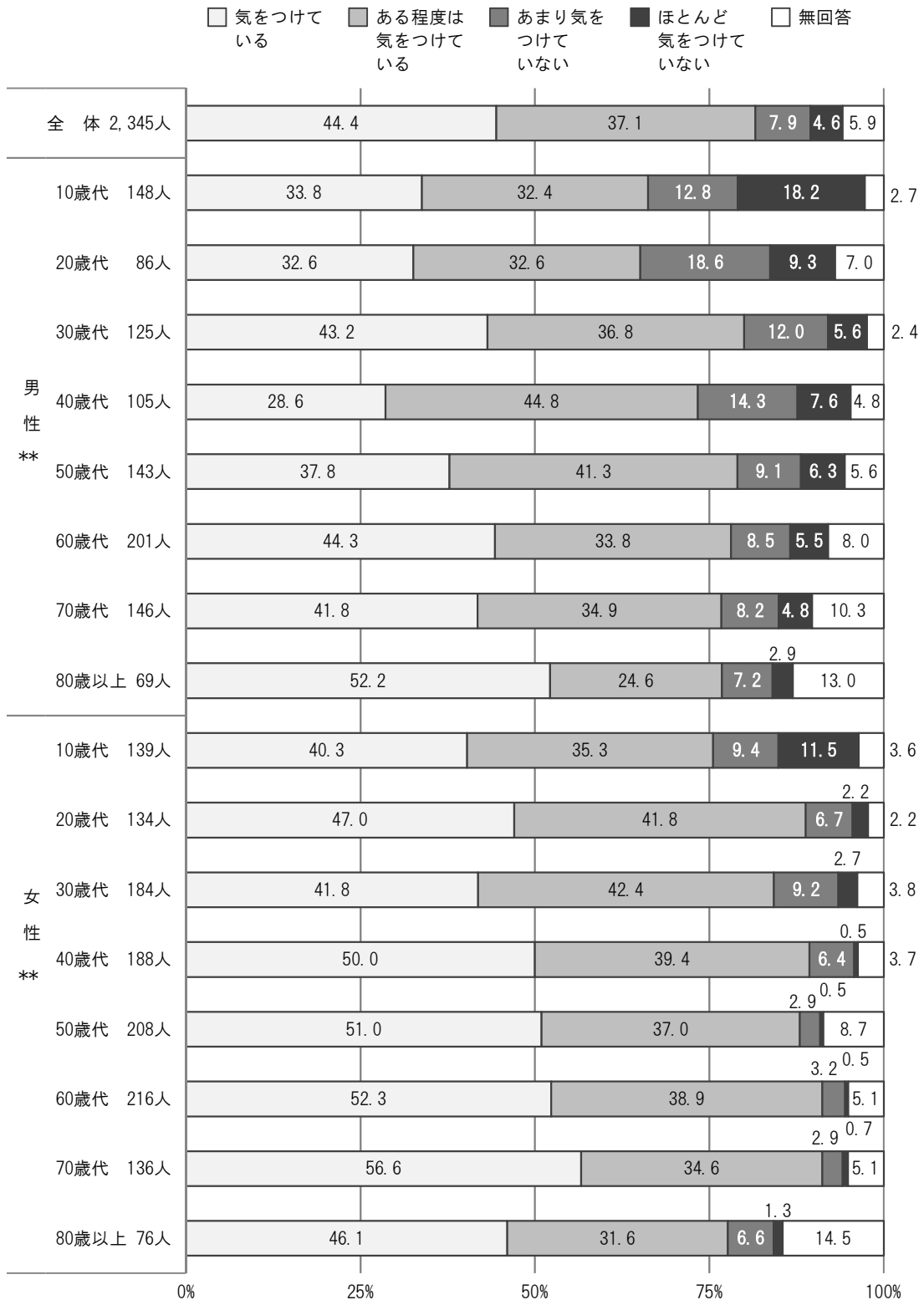


図 42-ウ.2 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔経年比較〕**



食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているかについて性・年代別にみると、男性では「気をつけている」が「80歳以上」で52.2%と他の年代より有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で18.2%と有意に高くなっています。
 女性では「気をつけている」が「70歳代」で56.6%と有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「10歳代」で11.5%と有意に高くなっています。

図 42-ウ.3 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔性・年代別〕

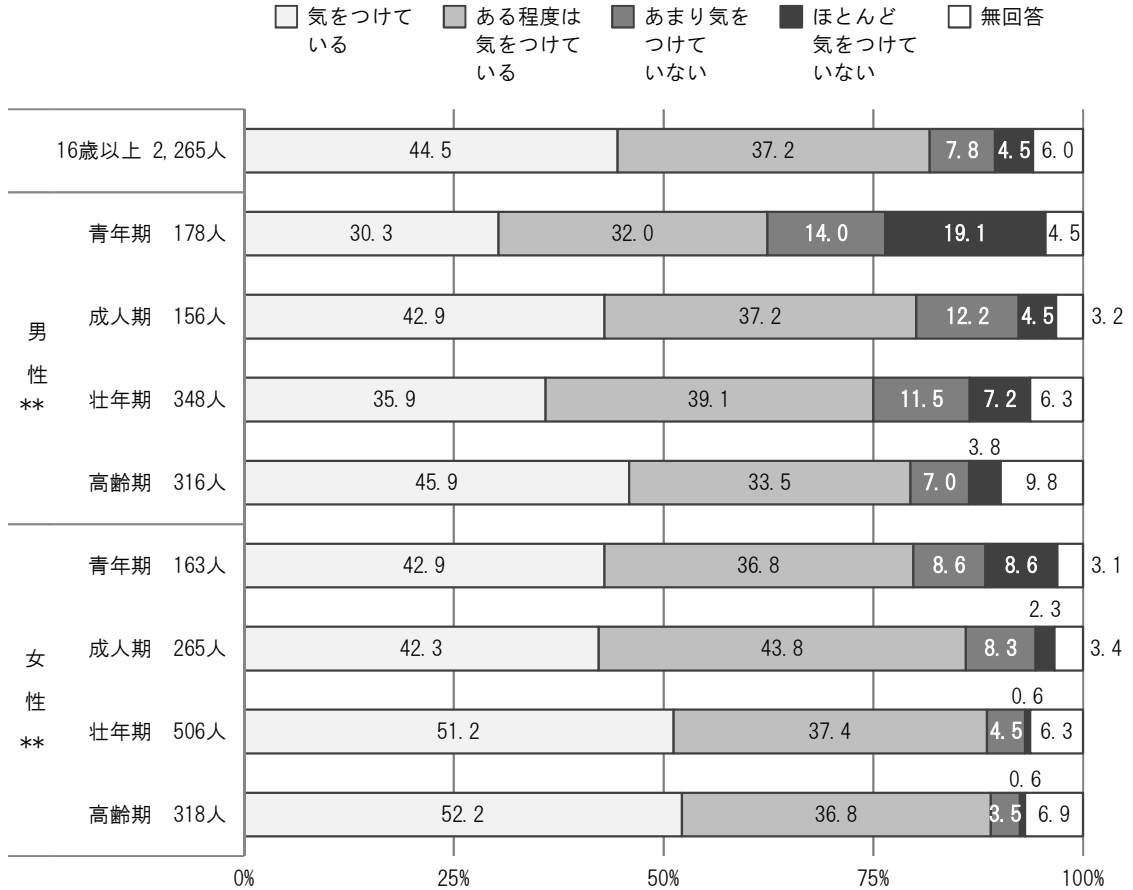


Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐために、調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「気をつけている」が「高齢期」で45.9%と他のライフステージより有意に高く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で19.1%と有意に高くなっています。

女性では「気をつけている」が「成人期」で42.3%と有意に低く、「ほとんど気をつけていない」が「青年期」で8.6%と有意に高くなっています。

図 42-ウ.4 調理器具の洗浄・消毒方法を気をつけているか〔性・ライフステージ別〕

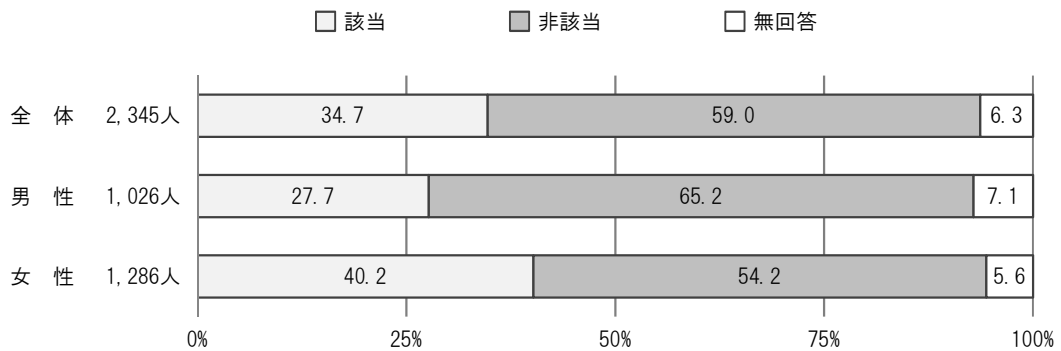


★食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人（問 42）

該当：問 42「食中毒を防ぐために家庭で次のことに気をつけているか」で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」すべて「気をつけている」に○をした人
 非該当：問 42で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」すべて回答しており、1つでも「ある程度は気をつけている」「あまり気をつけていない」「ほとんど気をつけていない」に○をした人
 無回答：問 42で、「食品の保存方法」「調理の方法」「調理器具の洗浄・消毒方法」1つでも無回答がある人

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合は、34.7%となっています。
 性別にみると、女性では40.2%と、男性より12.5ポイント有意に高くなっています。

図 42★.1 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔全体・性別〕**



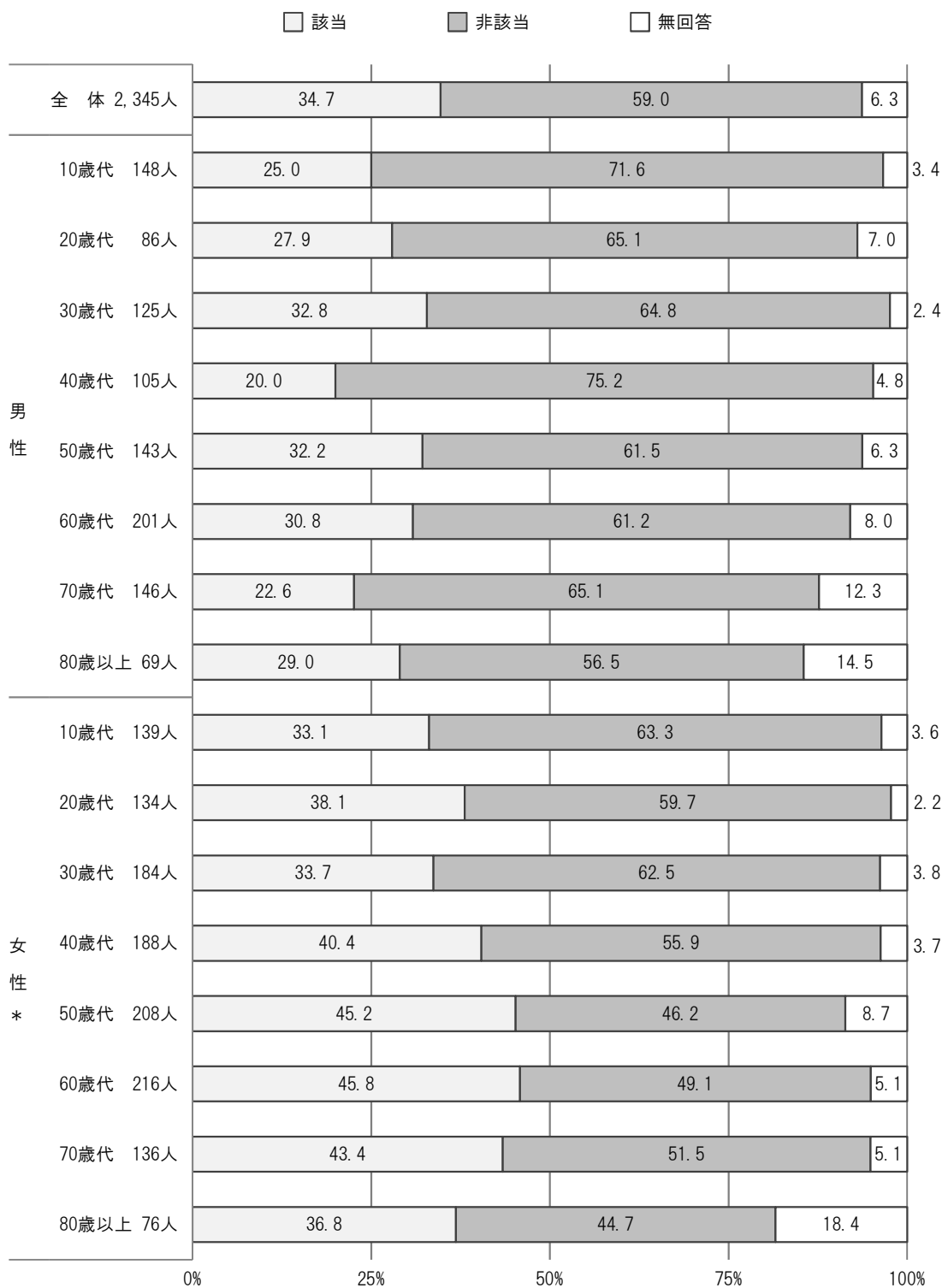
Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合を性・年代別にみると、男性では「該当」が「40歳代」で20.0%となっています。

女性では「該当」が「50歳代」で45.2%と他の年代より有意に高く、「非該当」が「10歳代」で63.3%、「30歳代」で62.5%と有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P229参照。

図 42★.2 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔性・年代別〕

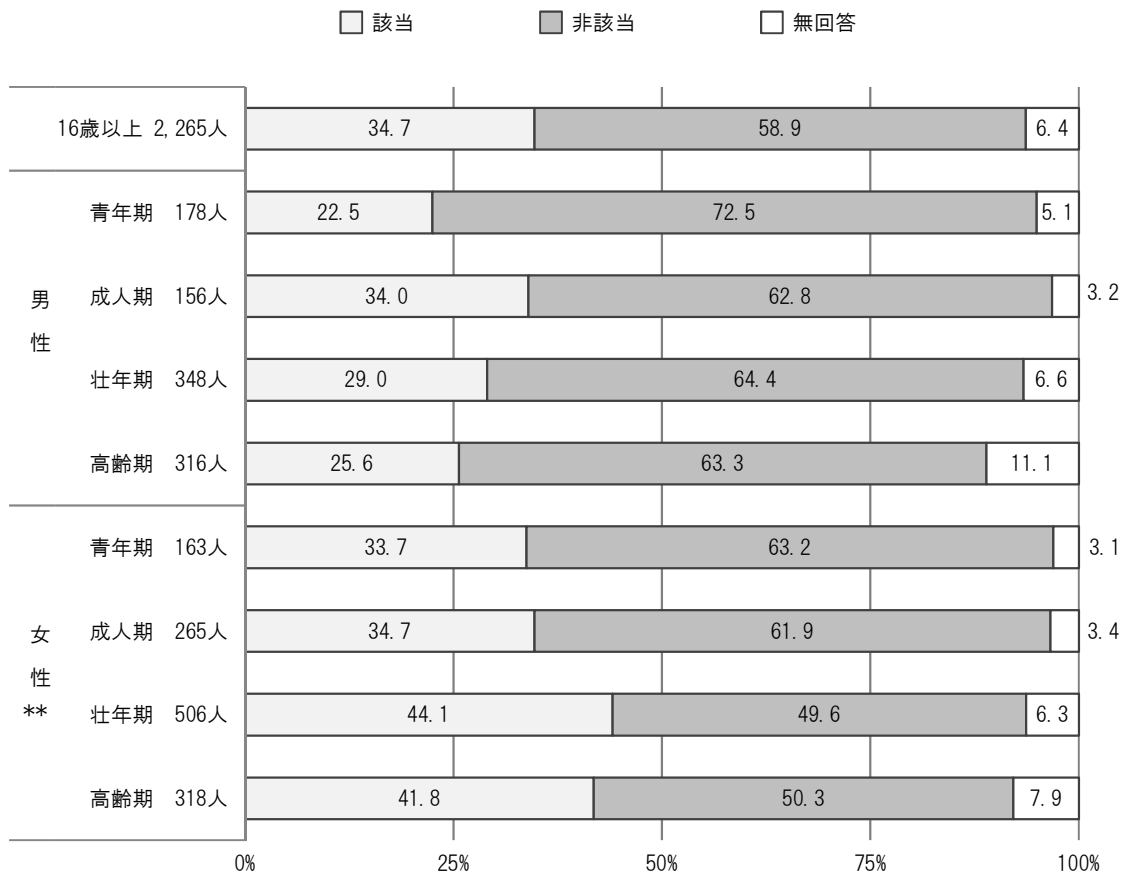


食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている人の割合を性・ライフステージ別にみると、男性では「該当」が「成人期」で34.0%となっており、「非該当」が「青年期」で72.5%となっています。

女性では「該当」が「壮年期」で44.1%と有意に高く、「非該当」が「青年期」で63.2%、「成人期」で61.9%と他のライフステージより有意に高くなっています。

※該当、非該当、無回答の条件は、P229 参照。

図 42★.3 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている〔性・ライフステージ別〕



Ⅲ 調査結果

食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている割合について、H23 年調査と比較すると、女性の「青年期」で 15.6 ポイント有意に増加しています。
H28 年調査と比較すると、男性の「成人期」で 18.5 ポイント増加しています。

表 42★ 食中毒を防ぐ方法すべて気をつけている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H23 年調査	H28 年調査	今回調査	**		
				今回調査－ H23 年調査	今回調査－ H28 年調査	
16 歳以上	33.3	28.0	34.7	1.4	6.7	
男性	青年期	16.7	22.5	5.8	0.5	
	成人期	28.9	15.5	34.0	5.1	18.5
	壮年期	28.3	23.3	29.0	0.7	5.7
	高齢期	30.8	25.3	25.6	-5.2	0.3
女性	青年期	18.1	26.0	33.7	15.6	7.7
	成人期	29.7	27.8	34.7	5.0	6.9
	壮年期	44.0	32.7	44.1	0.1	11.4
	高齢期	47.7	37.3	41.8	-5.9	4.5

計画における数値目標のデータ



食中毒を防ぐために、食品の保存方法、調理方法、調理器具の洗浄・消毒方法に気をつけている人の割合

- ・16 歳以上 34.7% (目標値 35%以上)
 <問 42 ア. イ. ウ. すべて「気をつけている」と答えた人の割合>

(43) あなたは、「伝統食」、「行事食」などの食文化を大切にしていますか。

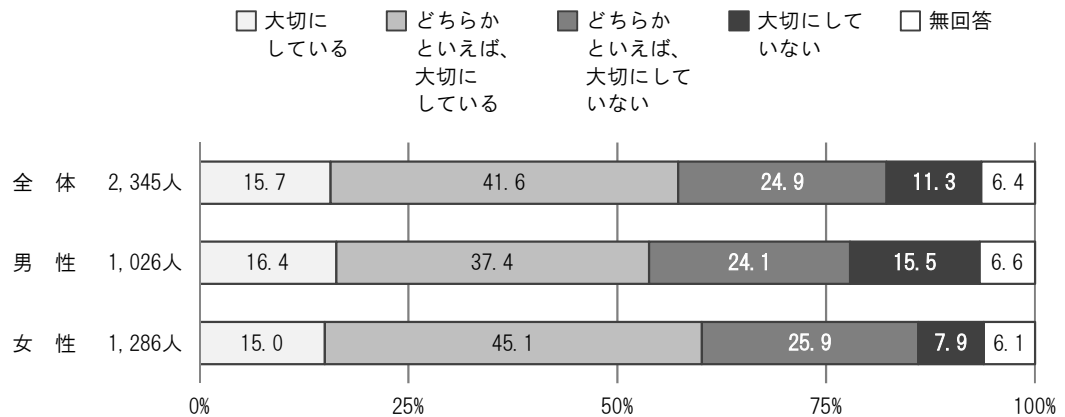
(○はア、イそれぞれに1つずつ) < B : 問 43 >

ア. 伝統食

伝統食を大切にしているかについて、「大切にしている」が15.7%、「どちらかといえば、大切にしている」が41.6%となっており、合わせて57.3%が大切にしています。

性別にみると、男性は「大切にしていない」が15.5%と、女性より7.6ポイント有意に高くなっています。

図 43-ア.1 伝統食を大切にしているか〔全体・性別〕**

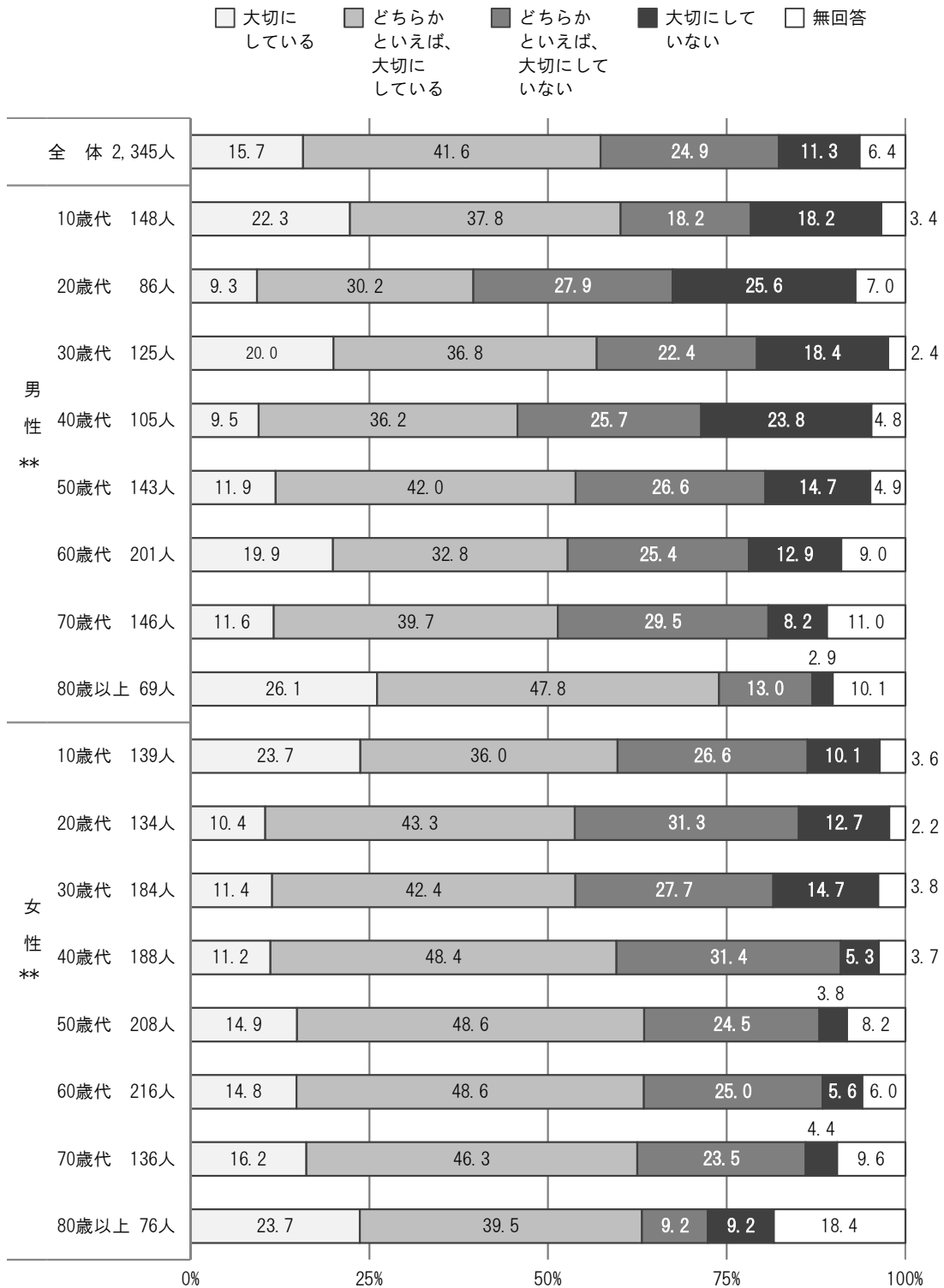


Ⅲ 調査結果

伝統食を大切にしているかについて性・年代別にみると、男性では「大切にしている」が「80歳以上」で26.1%と有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で25.6%、「40歳代」で23.8%と他の年代より有意に高くなっています。

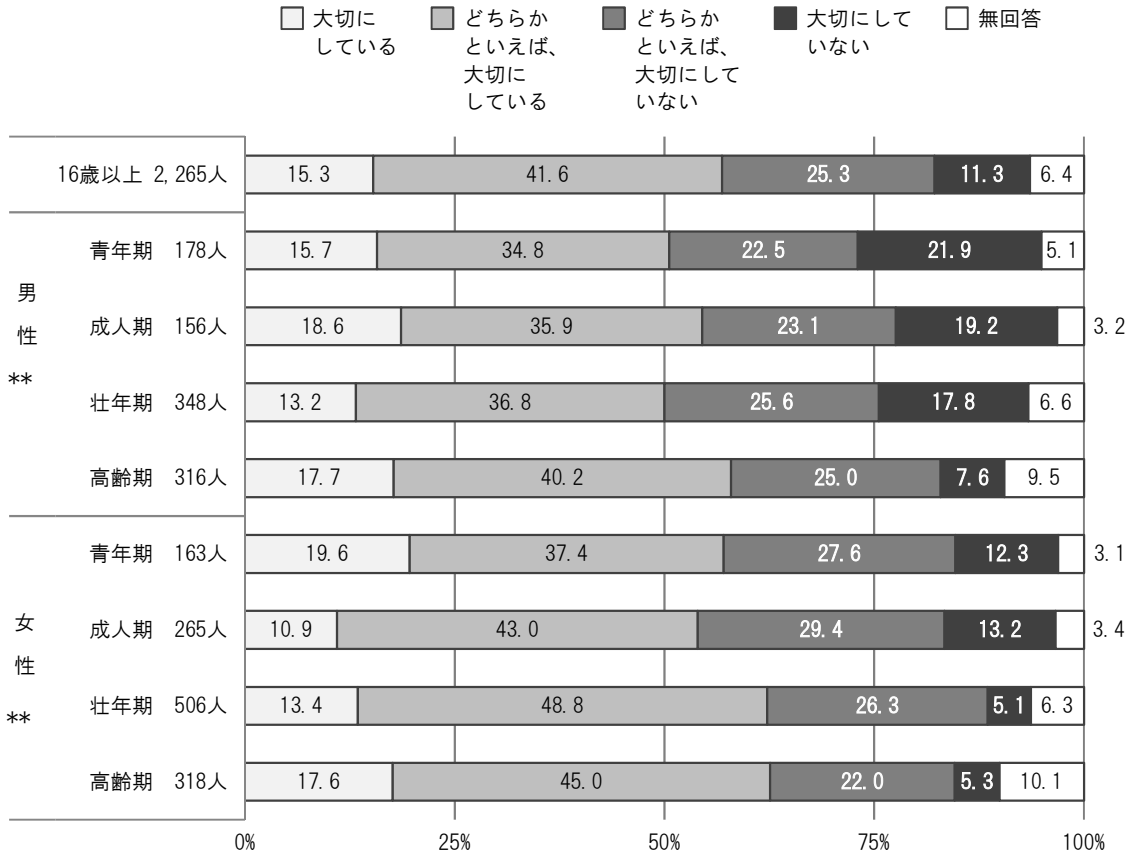
女性では「大切にしている」が「10歳代」で23.7%、「80歳以上」で23.7%と有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で12.7%、「30歳代」で14.7%と有意に高くなっています。

図 43-ア.2 伝統食を大切にしているか〔性・年代別〕



伝統食を大切にしているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「大切にしている」が「青年期」で21.9%と他のライフステージより有意に高くなっています。
女性では「大切にしている」が「高齢期」で17.6%と有意に高く、「大切にしている」が「青年期」で12.3%、「成人期」で13.2%と有意に高くなっています。

図 43-ア.3 伝統食を大切にしているか〔性・ライフステージ別〕



伝統食を大切にしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で9.9ポイント増加しています。

表 43-ア 伝統食を大切にしている割合〔経年比較〕

単位：%、ポイント

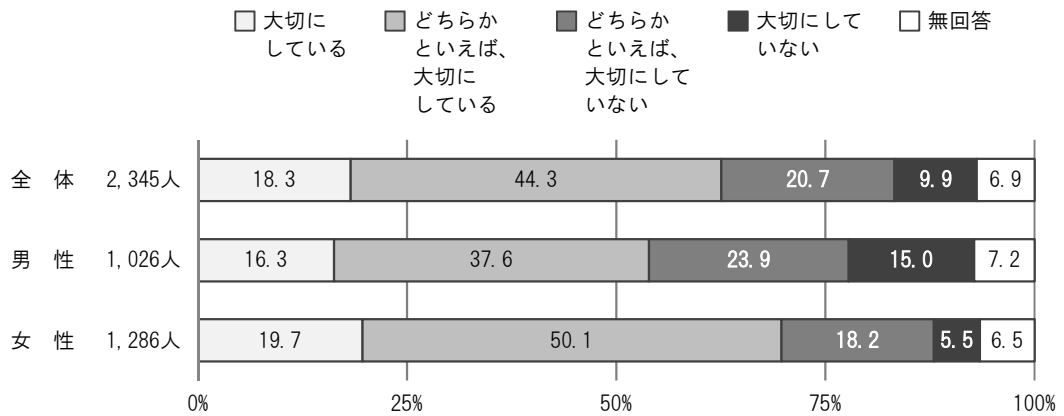
項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	大切にしている(1)	どちらかといえば、大切にしている(2)	A=(1)+(2)	大切にしている(3)	どちらかといえば、大切にしている(4)	B=(3)+(4)	B-A	
男性	青年期	12.7	33.3	46.0	15.7	34.8	50.6	4.6
	成人期	11.3	33.3	44.6	18.6	35.9	54.5	9.9
	壮年期	13.4	35.6	49.0	13.2	36.8	50.0	1.0
	高齢期	17.6	41.2	58.8	17.7	40.2	57.9	-0.9
女性	青年期	18.5	37.0	55.5	19.6	37.4	57.1	1.6
	成人期	10.9	45.9	56.8	10.9	43.0	54.0	-2.8
	壮年期	14.4	48.1	62.5	13.4	48.8	62.3	-0.2
	高齢期	16.9	49.6	66.5	17.6	45.0	62.6	-3.9

イ. 行事食

行事食を大切にしているかについて、「大切にしている」が 18.3%、「どちらかといえば、大切にしている」が 44.3%となっており、合わせて 62.6%が大切にしています。

性別にみると、男性は「大切にしていない」が 15.0%と、女性より 9.5 ポイント有意に高く、「どちらかといえば、大切にしている」が 23.9%と、女性より 5.7 ポイント有意に高くなっています。

図 43-イ.1 行事食を大切にしているか〔全体・性別〕**



計画における数値目標のデータ

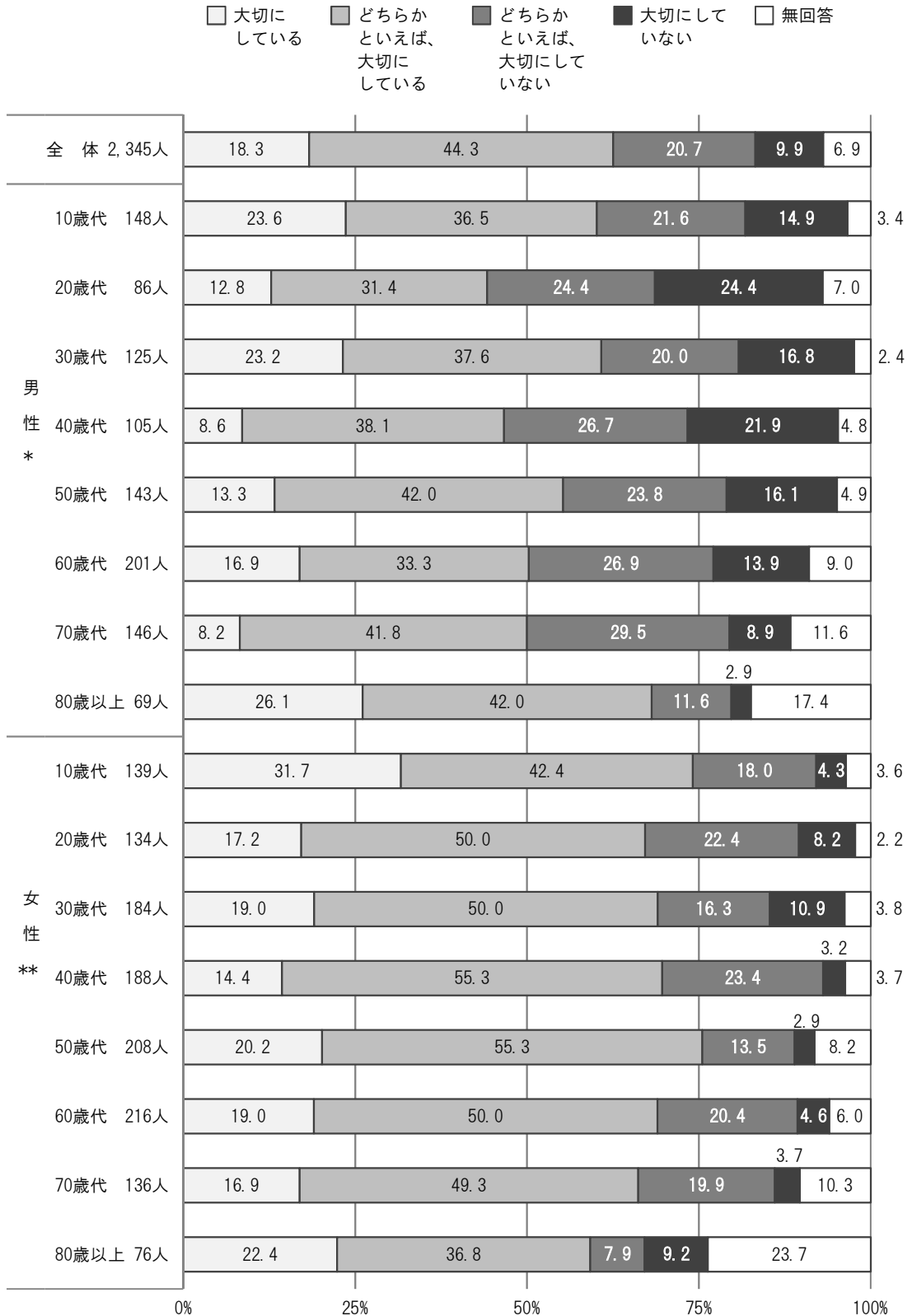


食文化を大切にしている人の割合

- ・ 16 歳以上 62.3% (目標値 80%以上)
 <問 43 イ. で「大切にしている」「どちらかといえば、大切にしている」と答えた人の割合>

行事食を大切にしているかについて性・年代別にみると、男性では「大切にしている」が「10歳代」で23.6%、「80歳以上」で26.1%と他の年代より有意に高く、「大切にしていない」が「20歳代」で24.4%、「40歳代」で21.9%と有意に高くなっています。
 女性では「大切にしている」が「10歳代」で31.7%と有意に高く、「大切にしていない」が「30歳代」で10.9%、「80歳以上」で9.2%と有意に高くなっています。

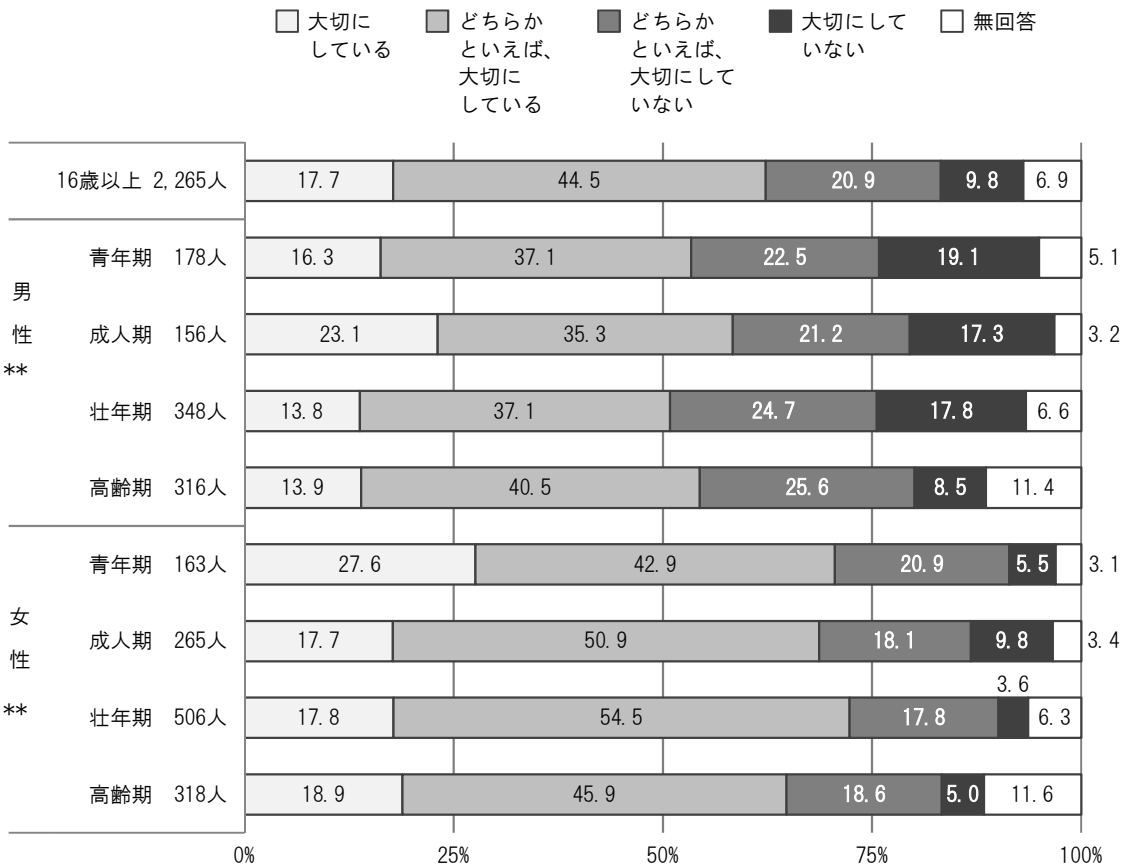
図 43-イ.2 行事食を大切にしているか〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

行事食を大切にしているかについて性・ライフステージ別にみると、男性では「大切にしている」が「成人期」で23.1%と他のライフステージより有意に高くなっています。
女性では「大切にしている」が「青年期」で27.6%と有意に高く、「大切にしていない」が「成人期」で9.8%と有意に高くなっています。

図 43-イ.3 行事食を大切にしているか〔性・ライフステージ別〕



行事食を大切にしている割合について、H28年調査と比較すると、男性の「成人期」で7.7ポイント増加しています。

表 43-イ 行事食を大切にしている割合〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H28年調査			今回調査			今回調査－H28年調査	
	大切にしている(1)	どちらかといえば大切にしている(2)	A=(1)+(2)	大切にしている(3)	どちらかといえば大切にしている(4)	B=(3)+(4)	B-A	
16歳以上	17.1	47.1	64.2	17.7	44.5	62.3	-1.9	
男性	青年期	15.3	42.7	58.0	16.3	37.1	53.4	-4.6
	成人期	10.7	39.9	50.6	23.1	35.3	58.3	7.7
	壮年期	14.7	38.5	53.2	13.8	37.1	50.9	-2.3
	高齢期	15.3	40.6	55.9	13.9	40.5	54.4	-1.5
女性	青年期	27.7	43.9	71.6	27.6	42.9	70.6	-1.0
	成人期	18.4	56.8	75.2	17.7	50.9	68.7	-6.5
	壮年期	17.2	56.2	73.4	17.8	54.5	72.3	-1.1
	高齢期	19.3	49.3	68.6	18.9	45.9	64.8	-3.8

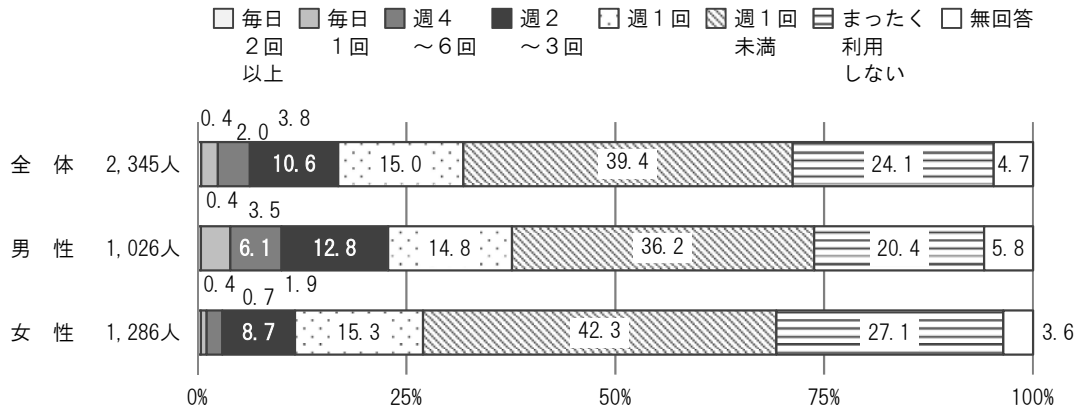
(44) 外食（飲食店での食事）をどのくらい利用していますか。（〇は1つだけ）

< A : 問 17 【1歳以上のみ】 / B : 問 44 >

外食の利用頻度は、「毎日2回以上」から「週1回」までを合わせた『週1回以上』が、15歳以上調査では31.8%となっています。

性別にみると、男性は「週2～3回」が12.8%と、女性より4.1ポイント有意に高くなっています。

図 44.1 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



外食の利用頻度を0～14歳調査で年代別にみると、「週2～3回」が「3～5歳」で12.0%となっています。

表 44.1 外食の利用頻度（A：0～14歳調査【1歳以上のみ】）〔年代別〕

単位：%

項目	回答者数(人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	846	0.0	0.2	0.0	6.7	20.1	53.2	17.7	2.0
1～2歳	145	0.0	0.0	0.0	5.5	23.4	43.4	24.1	3.4
3～5歳	241	0.0	0.0	0.0	12.0	20.7	53.1	14.1	0.0
6～14歳	460	0.0	0.4	0.0	4.3	18.7	56.3	17.6	2.6

Ⅲ 調査結果

外食の利用頻度を性・ライフステージ別にみると、男性では「毎日1回」が「壮年期」で6.3%と有意に高く、「週1回」が「青年期」で15.7%、「成人期」で23.7%と他のライフステージより有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「成人期」で15.1%と有意に高く、「全く利用しない」が「高齢期」で50.3%と有意に高くなっています。

表 44.2 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・ライフステージ別〕

単位：%

項目		回答者数 (人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
16歳以上		2,265	0.4	2.0	3.9	10.7	15.1	39.3	23.8	4.6
男性**	青年期	178	0.0	0.6	5.1	14.6	15.7	44.4	13.5	6.2
	成人期	156	0.0	6.4	10.9	20.5	23.7	26.9	9.6	1.9
	壮年期	348	1.1	6.3	8.6	12.4	13.8	36.5	16.7	4.6
	高齢期	316	0.0	0.9	2.2	8.9	11.1	34.5	32.9	9.5
女性**	青年期	163	0.6	0.6	3.7	12.3	23.9	46.0	12.3	0.6
	成人期	265	0.8	1.1	2.6	15.1	21.5	39.2	15.1	4.5
	壮年期	506	0.4	1.0	1.8	7.7	15.6	49.0	23.1	1.4
	高齢期	318	0.0	0.0	0.6	3.8	6.0	31.8	50.3	7.5

外食の利用頻度を性・年代別にみると、男性では「毎日1回」が「30歳代」で7.2%、「40歳代」で8.6%、「50歳代」で7.7%と他の年代より有意に高く、「まったく利用しない」が「60歳代」で25.4%、「70歳代」で32.2%、「80歳以上」で39.1%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「20歳代」で19.4%と有意に高く、「まったく利用しない」が「60歳代」で34.3%、「70歳代」で55.1%、「80歳以上」で53.9%と有意に高くなっています。

表 44.3 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕

単位：%

項目	回答者数 (人)	毎日 2回以上	毎日 1回	週 4 ～ 6 回	週 2 ～ 3 回	週 1 回	週 1 回未 満	ま っ た く 利 用 し な い	無 回 答
全 体	2,345	0.4	2.0	3.8	10.6	15.0	39.4	24.1	4.7
男性計 **	1,026	0.4	3.5	6.1	12.8	14.8	36.2	20.4	5.8
10歳代	148	0.0	0.0	2.7	12.2	13.5	48.0	17.6	6.1
20歳代	86	0.0	2.3	7.0	19.8	23.3	32.6	12.8	2.3
30歳代	125	0.0	7.2	12.8	20.0	22.4	28.0	7.2	2.4
40歳代	105	0.0	8.6	9.5	15.2	12.4	35.2	14.3	4.8
50歳代	143	2.1	7.7	12.6	12.6	9.1	36.4	15.4	4.2
60歳代	201	0.5	2.0	3.0	11.4	17.4	34.8	25.4	5.5
70歳代	146	0.0	0.7	1.4	7.5	6.2	39.7	32.2	12.3
80歳以上	69	0.0	0.0	1.4	4.3	18.8	27.5	39.1	8.7
女性計 **	1,286	0.4	0.7	1.9	8.7	15.3	42.3	27.1	3.6
10歳代	139	0.7	0.0	3.6	10.1	18.7	47.5	18.0	1.4
20歳代	134	0.7	1.5	3.0	19.4	20.9	38.8	11.9	3.7
30歳代	184	0.5	1.1	2.2	11.4	24.5	40.2	15.8	4.3
40歳代	188	0.5	1.1	1.6	8.0	16.0	55.3	17.0	0.5
50歳代	208	0.0	1.0	2.9	7.7	16.8	43.3	26.4	1.9
60歳代	216	0.5	0.5	0.0	6.0	10.2	45.4	34.3	3.2
70歳代	136	0.0	0.0	0.7	3.7	6.6	28.7	55.1	5.1
80歳以上	76	0.0	0.0	1.3	2.6	2.6	23.7	53.9	15.8

Ⅲ 調査結果

外食の利用頻度について、H29年調査と比較すると、0～14歳調査では、「まったく利用しない」が17.7%と11.2ポイント有意に増加しています。

H28年調査と比較すると、15歳以上調査では、「まったく利用しない」が24.1%と11.4ポイント有意に増加しています。

図 44.2 外食の利用頻度（A：0～14歳調査【1歳以上のみ】）〔経年比較〕**

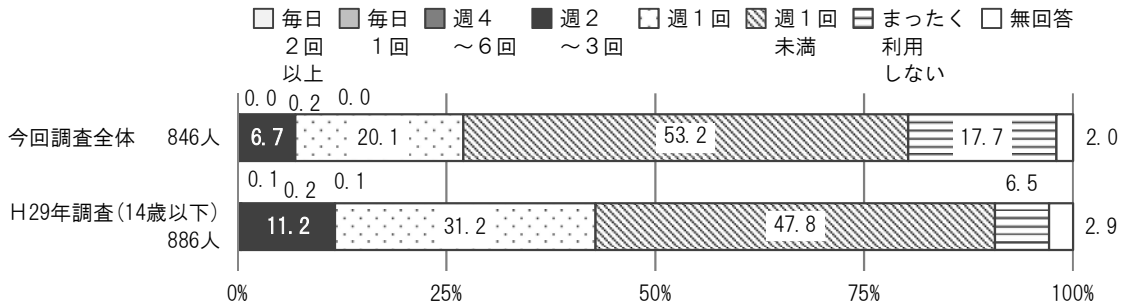
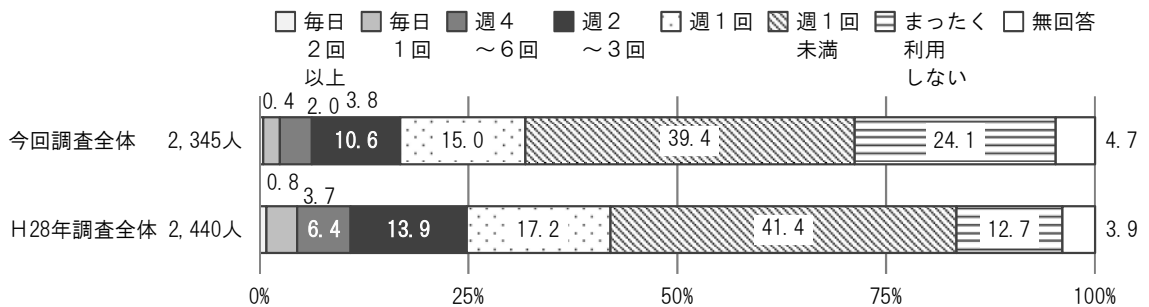


図 44.3 外食の利用頻度（B：15歳以上調査）〔経年比較〕**



外食の利用頻度について、H24年調査と比較すると、15歳以上調査では、『週1回以上』が31.8%と6.2ポイント減少しています。

表 44.4 外食の利用頻度（週1回以上）〔経年比較〕

単位：％、ポイント

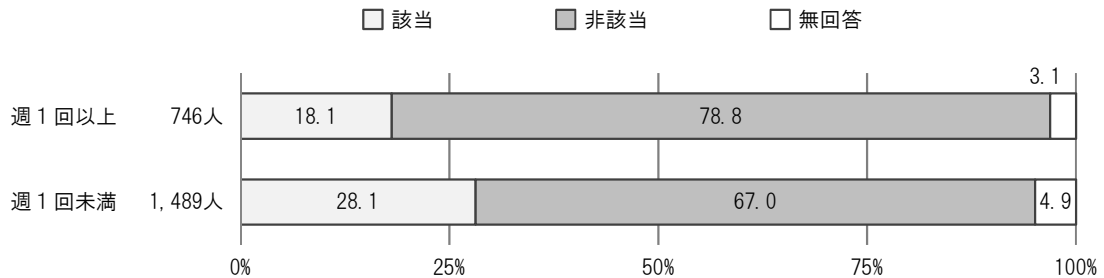
項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
週1回以上	38.0	42.0	31.8	-6.2	-10.2

※H24年調査は回数についての選択肢が異なるため、『週1回以上』と合計した形で比較しています。

外食の利用頻度ごとに「毎日、三食野菜を食べている」かをみると、「週1回未満」では「該当」が28.1%と、「週1回以上」より10.0ポイント有意に高くなっています。

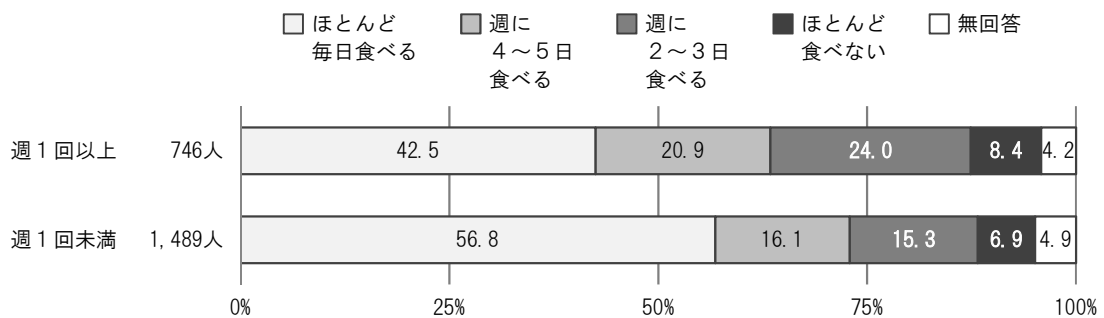
※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 44.4 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔外食の利用頻度別〕**



外食の利用頻度ごとに「1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度」をみると、「週1回未満」では「ほとんど毎日食べる」が56.8%と、「週1回以上」より14.3ポイント有意に高くなっています。

図 44.5 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（B：15歳以上調査）〔外食の利用頻度別〕**



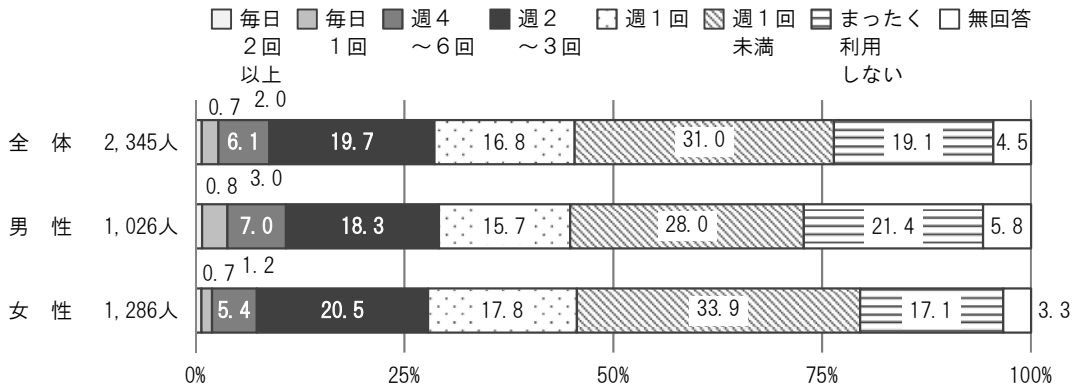
Ⅲ 調査結果

(45) 持ち帰りの弁当や惣菜をどのくらい利用していますか。(〇は1つだけ)

< A : 問 18【1歳以上のみ】 / B : 問 45 >

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度は、「毎日2回以上」から「週1回」までを合わせた『週1回以上』が、15歳以上調査では45.4%となっています。
性別にみると、男性では「まったく利用しない」が21.4%と、女性より4.3ポイント有意に高くなっています。

図 45.1 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度 (B : 15歳以上調査) [全体・性別]**



持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を0~14歳調査で年代別にみると、「全く利用しない」が「1~2歳」で28.3%と他の年齢より有意に高くなっています。

表 45.1 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度 (A : 0~14歳調査【1歳以上のみ】) [年代別]** 単位 : %

項目	回答者数(人)	毎日2回以上	毎日1回	週4~6回	週2~3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	846	0.1	0.4	1.4	16.9	21.7	41.5	15.8	2.1
1~2歳	145	0.7	0.0	2.8	11.7	18.6	34.5	28.3	3.4
3~5歳	241	0.0	0.0	1.7	21.2	23.7	40.7	12.0	0.8
6~14歳	460	0.0	0.7	0.9	16.3	21.7	44.1	13.9	2.4

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を性・ライフステージ別にみると、男性では「週2～3回」が「壮年期」で22.7%と他のライフステージより有意に高く、「全く利用しない」が「青年期」で30.9%、「高齢期」で25.0%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「成人期」で24.9%と有意に高く、「全く利用しない」が「青年期」で25.8%、「高齢期」で24.5%と有意に高くなっています。

表 45.2 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・ライフステージ別〕 単位：%

項目		回答者数 (人)	毎日 2回以上	毎日 1回	週 4～ 6回	週 2～ 3回	週 1回	週 1回未 満	ま った く 利 用 し な い	無 回 答
16歳以上		2,265	0.8	2.0	6.2	19.7	17.0	31.0	18.9	4.5
男 性 **	青年期	178	1.1	2.2	3.9	19.7	13.5	23.0	30.9	5.6
	成人期	156	0.6	4.5	9.6	16.0	21.2	28.2	17.9	1.9
	壮年期	348	0.6	3.7	10.1	22.7	16.7	27.9	14.1	4.3
	高齢期	316	0.9	1.6	4.4	14.6	13.3	30.4	25.0	9.8
女 性 **	青年期	163	1.2	2.5	4.3	12.3	17.8	35.6	25.8	0.6
	成人期	265	1.5	1.9	7.9	24.9	16.6	29.1	13.6	4.5
	壮年期	506	0.6	0.8	6.5	23.7	20.2	36.0	10.9	1.4
	高齢期	318	0.0	0.9	2.5	16.4	15.7	33.3	24.5	6.6

Ⅲ 調査結果

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度を性・年代別にみると、男性では「週2～3回」が「50歳代」で26.6%と他の年代より有意に高く、「まったく利用しない」が「10歳代」で28.4%、「20歳代」で31.4%、「80歳以上」で33.3%と有意に高くなっています。

女性では「週2～3回」が「50歳代」で26.4%と有意に高く、「まったく利用しない」が「10歳代」で28.8%、「70歳代」で29.4%、「80歳以上」で30.3%と有意に高くなっています。

表 45.3 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕 単位：%

項目	回答者数 (人)	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	まったく利用しない	無回答
全体	2,345	0.7	2.0	6.1	19.7	16.8	31.0	19.1	4.5
男性計 **	1,026	0.8	3.0	7.0	18.3	15.7	28.0	21.4	5.8
10歳代	148	0.7	2.7	4.1	14.9	14.2	29.7	28.4	5.4
20歳代	86	1.2	2.3	5.8	20.9	18.6	17.4	31.4	2.3
30歳代	125	0.8	4.8	9.6	18.4	19.2	28.0	16.8	2.4
40歳代	105	0.0	4.8	11.4	18.1	22.9	29.5	8.6	4.8
50歳代	143	1.4	3.5	9.8	26.6	13.3	28.0	13.3	4.2
60歳代	201	1.0	2.5	8.0	22.9	13.4	25.9	20.9	5.5
70歳代	146	0.7	0.7	2.7	10.3	11.0	37.7	24.0	13.0
80歳以上	69	0.0	2.9	4.3	10.1	20.3	21.7	33.3	7.2
女性計 **	1,286	0.7	1.2	5.4	20.5	17.8	33.9	17.1	3.3
10歳代	139	1.4	0.7	2.9	10.8	16.5	37.4	28.8	1.4
20歳代	134	0.7	3.0	9.0	23.1	13.4	30.6	16.4	3.7
30歳代	184	1.6	2.2	6.5	23.9	19.6	28.3	13.6	4.3
40歳代	188	1.1	0.0	6.4	22.9	19.7	37.8	11.7	0.5
50歳代	208	0.5	1.0	5.8	26.4	21.2	32.7	10.6	1.9
60歳代	216	0.0	1.4	5.6	21.8	18.1	38.4	12.0	2.8
70歳代	136	0.0	0.0	0.7	13.2	15.4	36.0	29.4	5.1
80歳以上	76	0.0	2.6	5.3	11.8	14.5	22.4	30.3	13.2

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度について、H29年調査と比較すると、0～14歳調査では、「まったく利用しない」が15.8%と3.7ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、15歳以上調査では、「まったく利用しない」が19.1%と6.6ポイント有意に増加しています。

図 45.2 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（A：0～14歳調査【1歳以上のみ】）〔経年比較〕

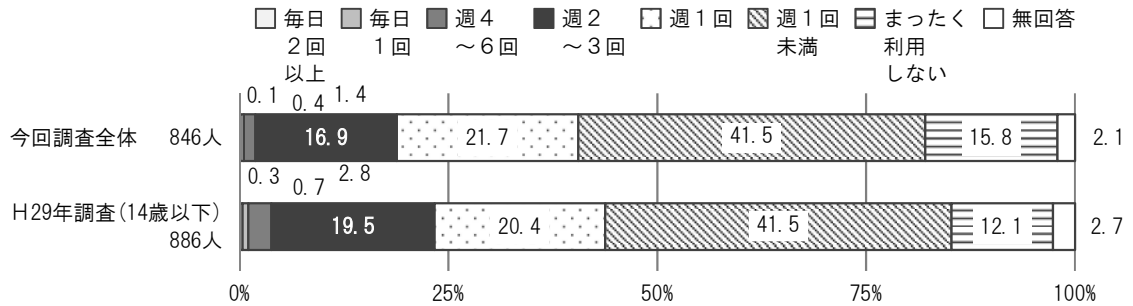
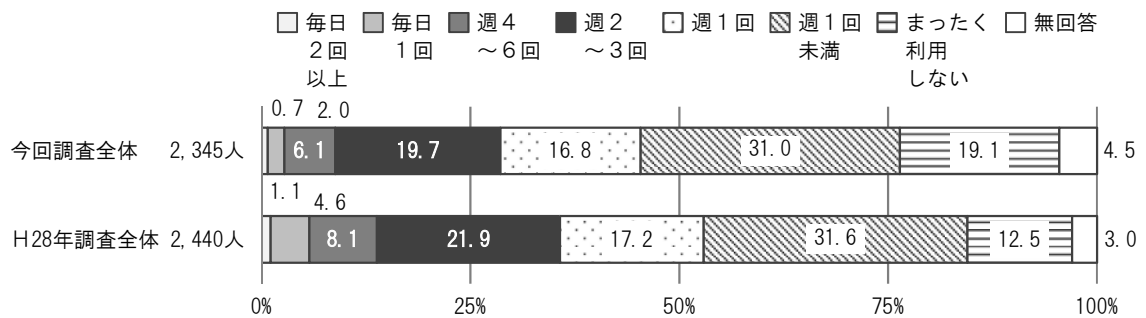


図 45.3 持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度（B：15歳以上調査）〔経年比較〕**

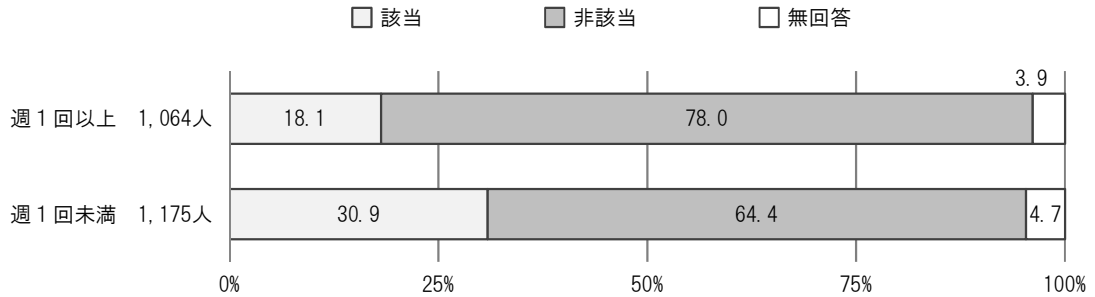


Ⅲ 調査結果

持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度ごとに「毎日、三食野菜を食べている」かをみると、「週1回未満」では「該当」が30.9%と、「週1回以上」より12.8ポイント有意に高くなっています。

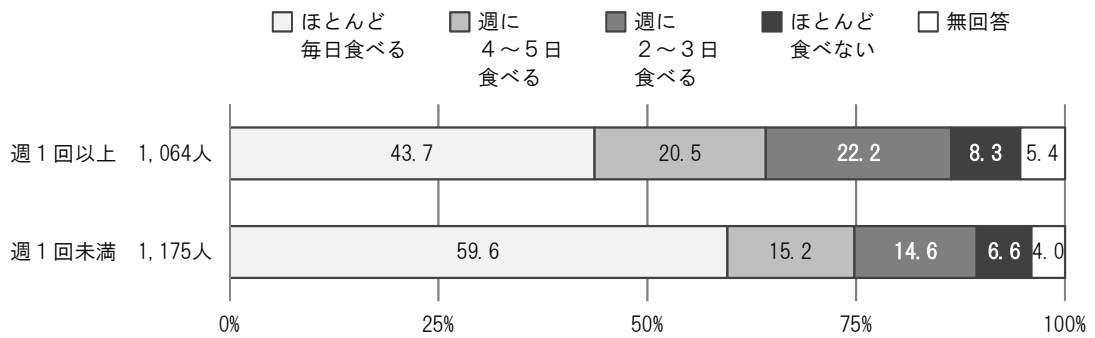
※該当、非該当、無回答の条件は、P183 参照。

図 45.4 毎日、三食野菜を食べている（B：15歳以上調査）〔持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度別〕**



持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度ごとに「1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度」をみると、「週1回未満」では「ほとんど毎日食べる」が59.6%と、「週1回以上」より15.9ポイント有意に高くなっています。

図 45.5 1日2回以上主食・主菜・副菜がそろった食事をする頻度（B：15歳以上調査）**
〔持ち帰りの弁当や惣菜の利用頻度別〕

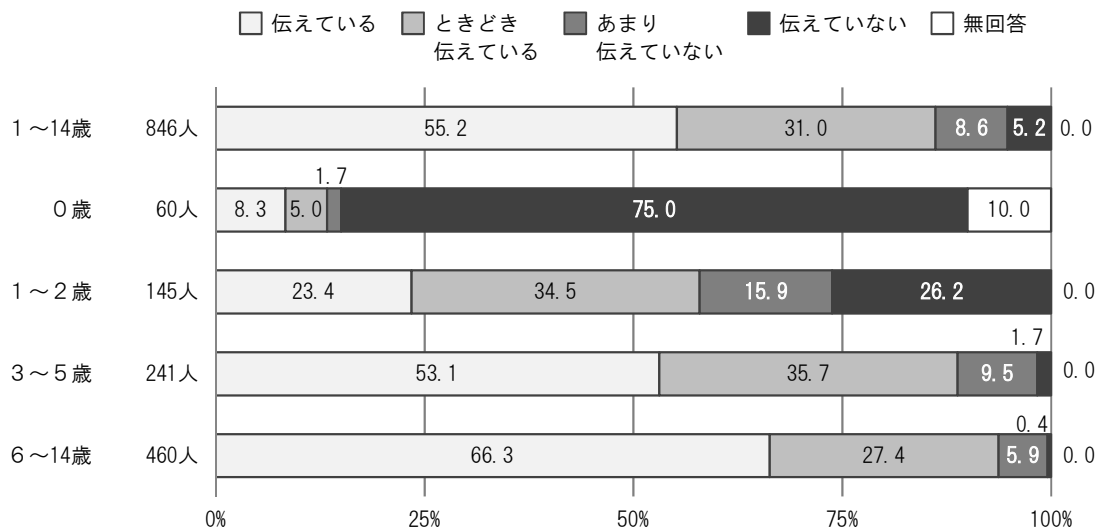


(46) 箸の持ち方や食器の並べ方など、食事の行儀作法について、お子さんに伝えてい
ますか。(〇は1つだけ) < A : 問 13 >

食事の行儀作法は、「伝えている」が55.2%で最も高く、次いで「ときどき伝えている」が31.0%となっています。

年齢別にみると、「伝えている」が「6～14歳」で66.3%と他の年齢より有意に高く、「あまり伝えていない」が「1～2歳」で15.9%と有意に高くなっています。

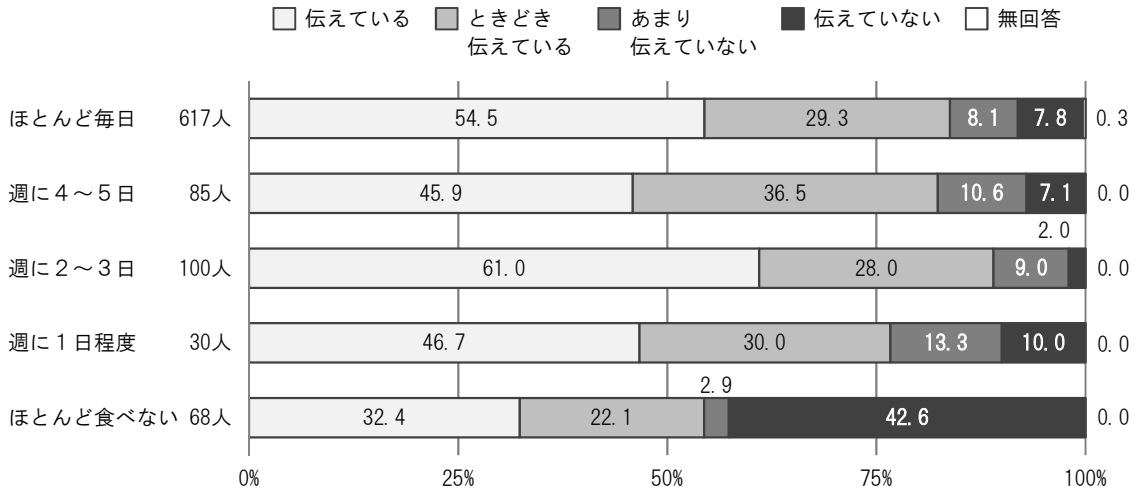
図 46.1 食事の行儀作法〔年齢別〕**



Ⅲ 調査結果

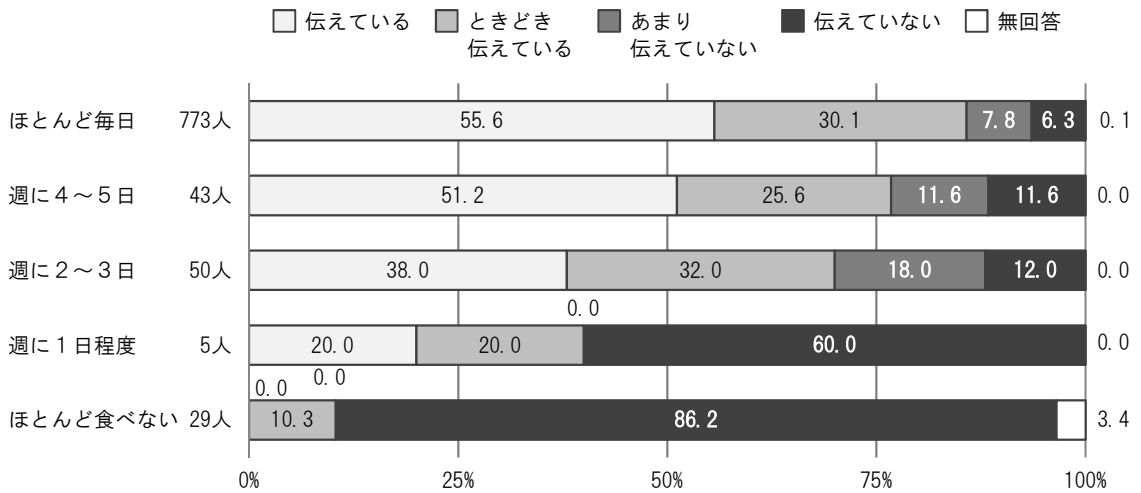
食事の行儀作法について、朝食を家族と一緒に食べる頻度別にみると、「伝えている」が「週に2～3日食べる」で61.0%となっており、「伝えていない」が「ほとんど食べない」で42.6%と週に1日程度以上より有意に高くなっています。

図 46.2 食事の行儀作法〔朝食を家族と一緒に食べる頻度別〕**



食事の行儀作法について、夕食を家族と一緒に食べる頻度別にみると、「伝えている」が「ほとんど毎日」で55.6%となっており、「伝えていない」が「ほとんど食べない」で86.2%となっています。

図 46.3 食事の行儀作法〔夕食を家族と一緒に食べる頻度別〕



計画における数値目標のデータ



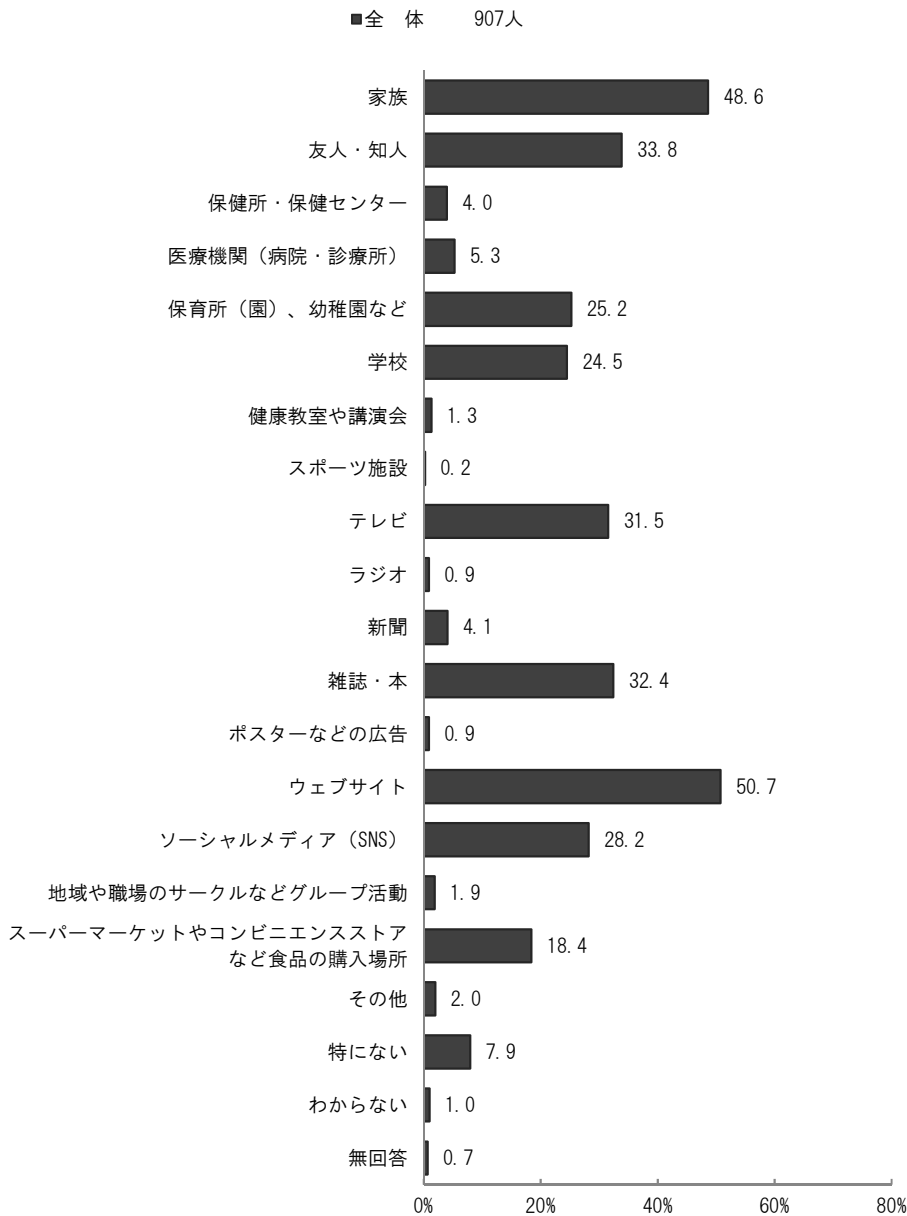
箸の持ち方や食器の並べ方など、食事の行儀作法について子どもに伝えている家庭の割合

- ・1～15歳の子どもがいる家庭 86.2%(目標値 増える(ベース値 84.8%))
 <A: 問13で「伝えている」「ときどき伝えている」と答えた人の割合
 (今回調査は1～14歳の子どもがいる家庭)>

(47) お子さんの食事に関する情報は、何から得ていますか。(〇はあてはまるものすべて)
「18. その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。〈A：問16〉

食事に関する情報の入手先は、「ウェブサイト」が50.7%と最も高く、次いで「家族」が48.6%、「友人・知人」が33.8%となっています。

図 47 食事に関する情報の入手先〔全体〕



「その他」の内容	
項目	件数
自分の知識	4
生協、宅配	3
配布物	3
ブログ、ゲーム	2
地域	2
親族	1
その他	2

Ⅲ 調査結果

食事に関する情報の入手先を年齢別にみると、「保健所・保健センター」が「0歳」で18.3%、「医療機関（病院・診療所）」が「0歳」で13.3%と他の年齢より有意に高くなっています。また、「ソーシャルメディア（SNS）」が「0歳」で50.0%、「1～2歳」で44.1%と有意に高く、「家族」が「6～14歳」で53.0%と有意に高くなっています。

表 47 食事に関する情報の入手先（複数回答）〔年齢別〕

単位：%

項目	回答者数（人）	*		**	**	**	**			**		**
		家族	友人・知人	保健所・保健センター	医療機関（病院・診療所）	保育所（園）、幼稚園など	学校	健康教室や講演会	スポーツ施設	テレビ	ラジオ	新聞
全体	907	48.6	33.8	4.0	5.3	25.2	24.5	1.3	0.2	31.5	0.9	4.1
0歳	60	38.3	38.3	18.3	13.3	16.7	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0
1～2歳	145	43.4	35.2	6.2	8.3	42.1	0.7	0.0	0.0	13.8	0.7	0.0
3～5歳	241	45.6	31.5	4.6	5.4	57.7	3.7	1.7	0.4	29.0	0.4	2.1
6～14歳	460	53.0	33.9	1.1	3.3	4.1	46.1	1.3	0.2	41.7	1.3	7.0

項目	回答者数（人）	**	*	**	**	**					
		雑誌・本	ポスターなどの広告	ウェブサイト	ソーシャルメディア（SNS）	地域や職場のサークルなどグループ活動	スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど食品の購入場所	その他	特にない	わからない	無回答
全体	907	32.4	0.9	50.7	28.2	1.9	18.4	2.0	7.9	1.0	0.7
0歳	60	53.3	0.0	68.3	50.0	1.7	3.3	1.7	3.3	0.0	1.7
1～2歳	145	40.0	0.0	50.3	44.1	0.7	9.7	2.1	4.8	0.0	0.0
3～5歳	241	30.3	0.8	51.0	30.3	2.1	14.9	1.7	9.5	0.8	0.0
6～14歳	460	28.5	1.3	48.5	19.3	2.0	25.0	2.2	8.7	1.5	1.1

9 疾病予防・健康診断や検査について

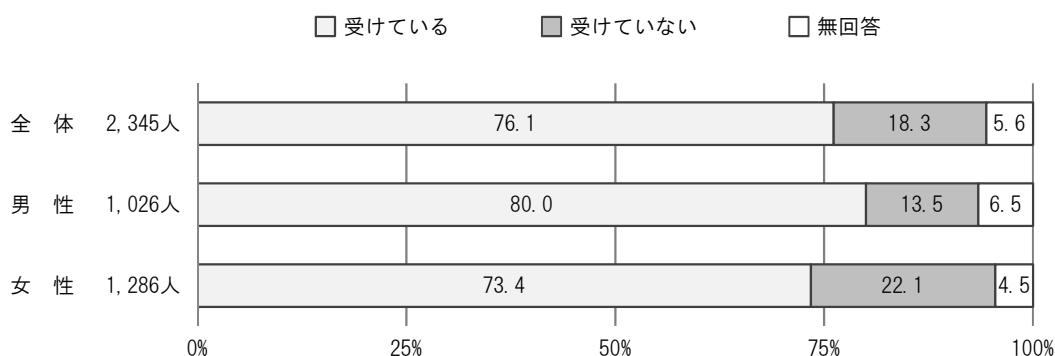
(48) あなたは、最近1年以内に健康診断や検査を受けていますか。(〇は1つだけ)

<B: 問46>

1年以内の健康診断や検査の受診状況は、「受けている」が76.1%、「受けていない」が18.3%となっています。

性別にみると、女性は「受けていない」が22.1%と、男性より8.6ポイント有意に高くなっています。

図48 健康診断や検査の受診状況〔全体・性別〕**



1年以内に健康診断や検査を「受けている」割合をH24年調査と比較すると、全体では1.9ポイント有意に増加しています。男性は60歳代が12.6ポイント、80歳以上が7.1ポイント増加しています。女性は40歳代が9.8ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、全体では2.3ポイント減少しています。男性は60歳代が7.9ポイント増加しています。女性は70歳代が8.3ポイント増加しています。

表48 1年以内に健康診断や検査を「受けている」割合〔経年比較〕単位：%、ポイント

**

項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
全体	74.2	78.4	76.1	1.9	-2.3
男性計	77.4	81.5	80.0	2.6	-1.5
10歳代	69.7	76.3	66.2	-3.5	-10.1
20歳代	73.1	77.1	75.6	2.5	-1.5
30歳代	84.1	87.0	84.8	0.7	-2.2
40歳代	88.2	89.8	86.7	-1.5	-3.1
50歳代	82.4	86.0	88.8	6.4	2.8
60歳代	73.0	77.7	85.6	12.6	7.9
70歳代	77.1	79.5	72.6	-4.5	-6.9
80歳以上	71.2	76.7	78.3	7.1	1.6
女性計	71.6	75.9	73.4	1.8	-2.5
10歳代	80.3	77.6	77.0	-3.3	-0.6
20歳代	69.1	75.4	72.4	3.3	-3.0
30歳代	62.5	73.5	70.7	8.2	-2.8
40歳代	66.3	77.4	76.1	9.8	-1.3
50歳代	75.9	80.6	72.6	-3.3	-8.0
60歳代	72.9	74.9	71.8	-1.1	-3.1
70歳代	75.6	70.4	78.7	3.1	8.3
80歳以上	73.0	75.3	65.8	-7.2	-9.5

計画における数値目標のデータ



定期的に健康診査を受けていない人の割合

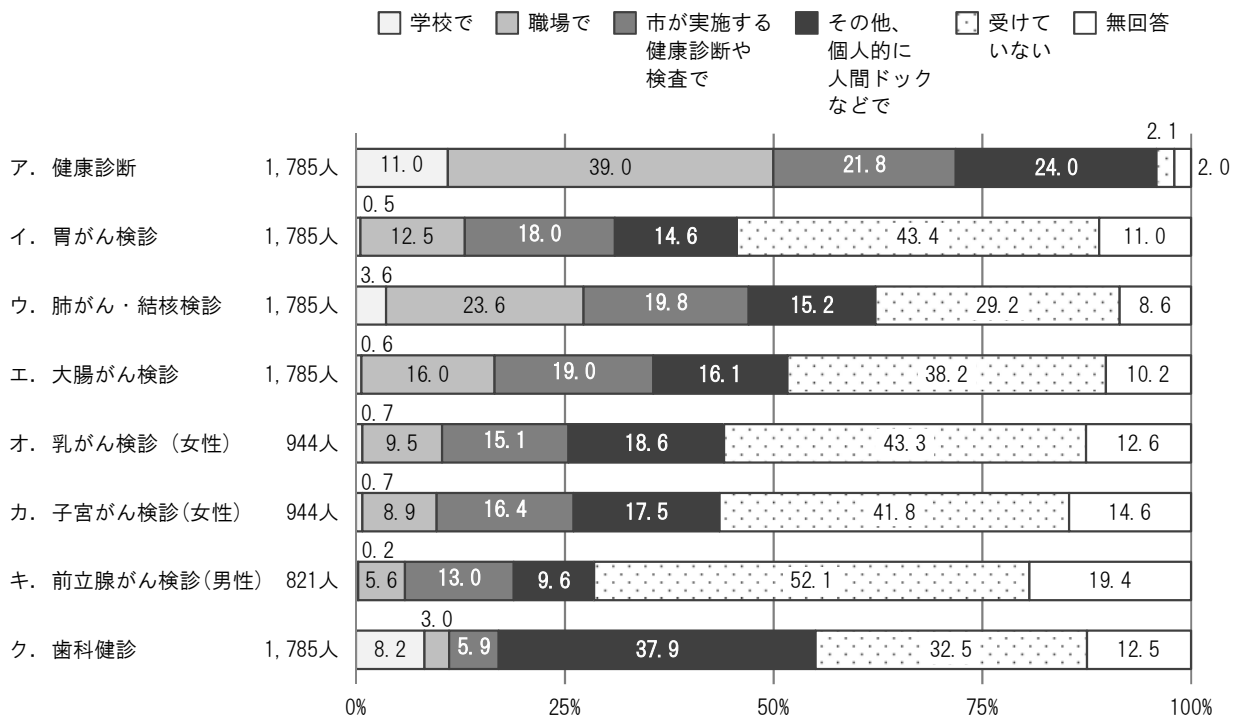
- ・全体 18.3% (目標値 16%以下)
 - ・20~40 歳代女性 22.3% (目標値 20%以下)
- <問 46 で「受けていない」と答えた人の割合>

【B : 問 46 で「受けている」とお答えの方のみ】

(48) - 2 次にあげる健康診断や検査をどこで受けましたか。ア～クのそれぞれについてお答えください。(〇はア～クそれぞれに1つずつ) < B : 問 46- 2 >

「健康診断」の受診割合は 95.9%となっています。
 がん検診の受診者の割合は、「肺がん・結核検診」が 62.2%と最も高く、次いで「大腸がん検診」が 51.7%、「胃がん検診」が 45.6%となっています。
 「歯科健診」の受診割合は 55.0%となっています。

図 48-2 健康診断や検査の受診場所〔全体〕



健康診断や検査の受診割合と受診場所をH24年調査と比較すると、「肺がん・結核検診」が 5.4 ポイント増加、「大腸がん検診」が 4.2 ポイント増加、「乳がん検診」が 7.6 ポイント増加、「子宮がん検診」が 7.3 ポイント増加、「歯科健診」が 9.5 ポイント増加しています。
 H28年調査と比較すると、「健康診断」が 1.5 ポイント増加、「子宮がん検診」が 3.1 ポイント増加、「歯科健診」が 4.4 ポイント増加しています。

表 48-2 健康診断や検査の受診場所〔経年比較〕

単位：％、ポイント

項目	H24年調査	H28年調査	今回調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
ア. 健康診断	95.3	94.4	95.9	0.6	1.5
学校で	11.8	11.2	11.0	-0.8	-0.2
職場で	32.1	35.6	39.0	6.9	3.4
市が実施する健康 診断や検査で	27.9	25.4	21.8	-6.1	-3.6
その他、個人的に	23.5	22.2	24.0	0.5	1.8
イ. 胃がん検診	41.8	43.9	45.6	3.8	1.7
学校で	0.0	0.1	0.5	0.5	0.4
職場で	9.7	10.3	12.5	2.8	2.2
市が実施する健康 診断や検査で	18.2	19.4	18.0	-0.2	-1.4
その他、個人的に	13.9	14.1	14.6	0.7	0.5
ウ. 肺がん・結核検診	56.8	63.7	62.2	5.4	-1.5
学校で	0.0	4.2	3.6	3.6	-0.6
職場で	19.0	22.1	23.6	4.6	1.5
市が実施する健康 診断や検査で	22.7	22.7	19.8	-2.9	-2.9
その他、個人的に	15.1	14.7	15.2	0.1	0.5
エ. 大腸がん検診	47.5	50.8	51.7	4.2	0.9
学校で	0.0	0.4	0.6	0.6	0.2
職場で	11.0	13.7	16.0	5.0	2.3
市が実施する健康 診断や検査で	21.9	21.6	19.0	-2.9	-2.6
その他、個人的に	14.6	15.1	16.1	1.5	1.0
オ. 乳がん検診	36.5	42.3	44.1	7.6	1.8
学校で	0.0	0.1	0.7	0.7	0.6
職場で	5.5	7.6	9.5	4.0	1.9
市が実施する健康 診断や検査で	16.8	18.0	15.1	-1.7	-2.9
その他、個人的に	14.2	16.6	18.6	4.4	2.0
カ. 子宮がん検診	36.2	40.4	43.5	7.3	3.1
学校で	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7
職場で	5.9	6.6	8.9	3.0	2.3
市が実施する健康 診断や検査で	17.1	19.2	16.4	-0.7	-2.8
その他、個人的に	13.2	14.6	17.5	4.3	2.9
キ. 前立腺がん検診	30.8	28.6	28.5	-2.3	-0.1
学校で	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1
職場で	3.3	4.8	5.6	2.3	0.8
市が実施する健康 診断や検査で	15.2	12.7	13.0	-2.2	0.3
その他、個人的に	12.3	11.0	9.6	-2.7	-1.4
ク. 歯科健診	45.5	50.6	55.0	9.5	4.4
学校で	8.6	9.3	8.2	-0.4	-1.1
職場で	2.4	2.2	3.0	0.6	0.8
市が実施する健康 診断や検査で	6.6	6.2	5.9	-0.7	-0.3
その他、個人的に	27.9	32.9	37.9	10.0	5.0

※「その他、個人的に」＝「その他、個人的に人間ドックなどで」

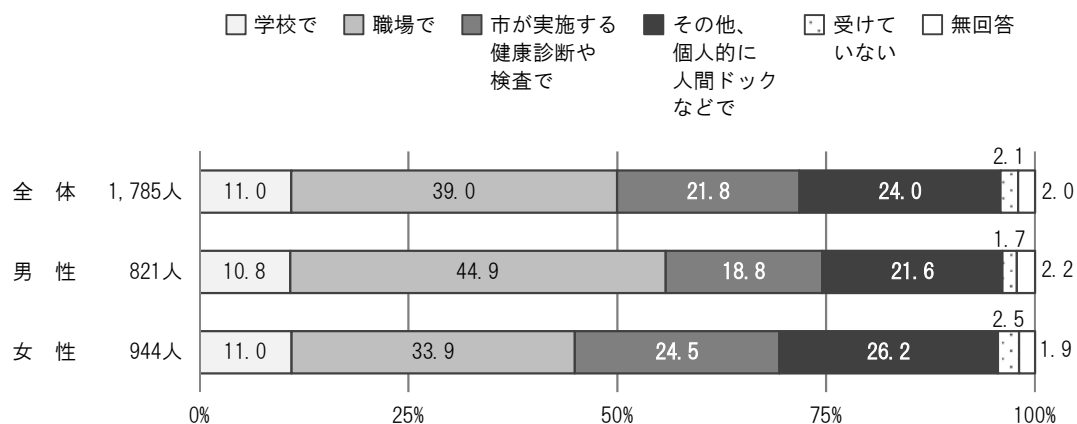
Ⅲ 調査結果

ア. 血圧、検尿、血液検査などの健康診断

「健康診断」の受診場所は、「職場で」が39.0%と最も高く、次いで「その他、個人的に人間ドックなどで」が24.0%となっています。

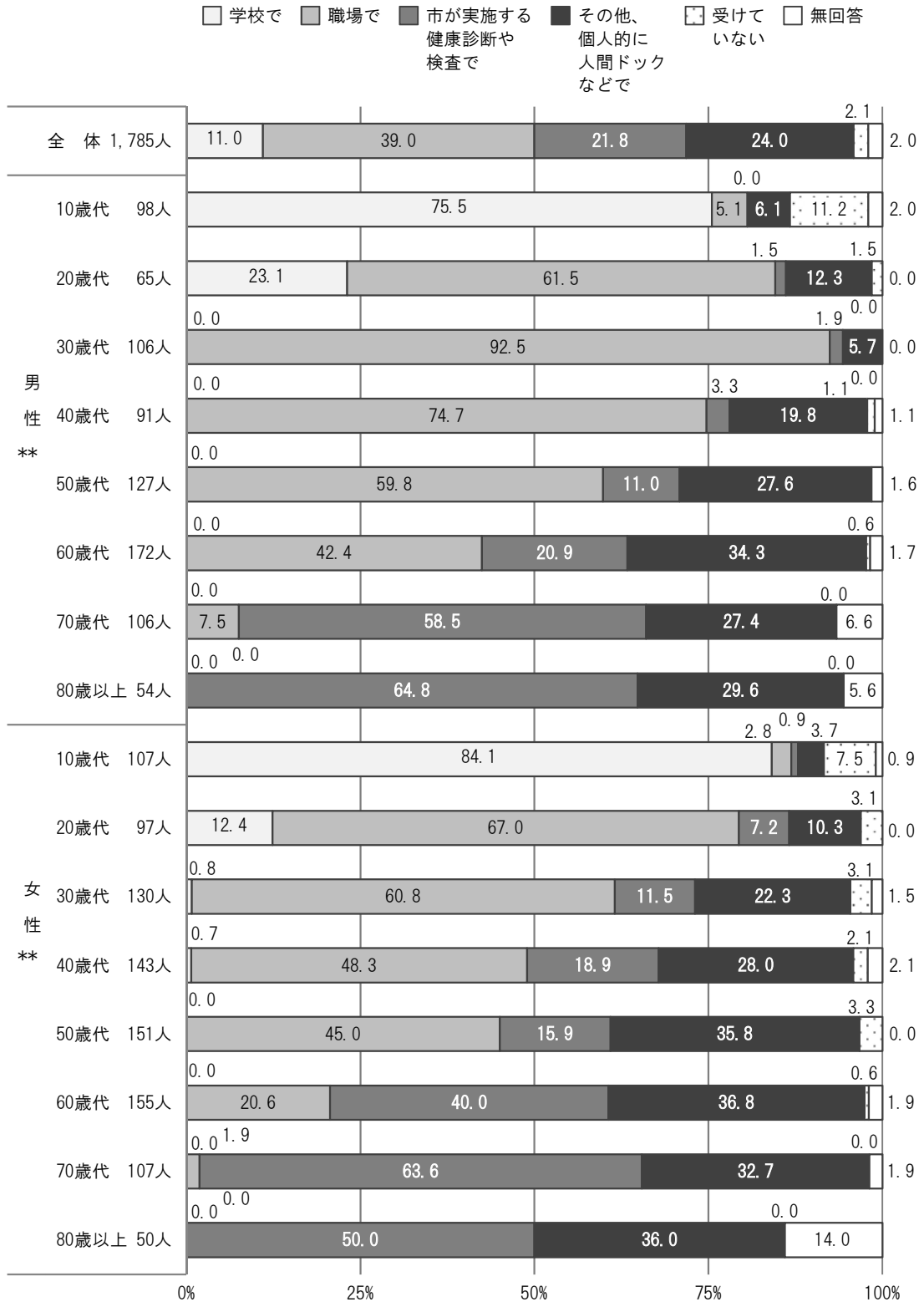
性別にみると、受診者の割合は、男性96.1%、女性95.6%となっています。受診場所は男性は「職場で」が44.9%と、女性より11.0ポイント有意に高くなっています。

図 48-2-ア.1 受診場所_健康診断〔全体・性別〕**



「健康診断」の受診者の割合と受診場所を性・年代別にみると、男性では「学校で」が「10歳代」で75.5%と他の年代より有意に高く、「職場で」が「20歳代」で61.5%、「30歳代」で92.5%、「40歳代」で74.7%、「50歳代」で59.8%と有意に高くなっています。
 女性では「学校で」が「10歳代」で84.1%と有意に高く、「職場で」が「20歳代」で67.0%、「30歳代」で60.8%、「40歳代」で48.3%、「50歳代」で45.0%と有意に高くなっています。

図 48-2-ア.2 受診場所_健康診断〔性・年代別〕



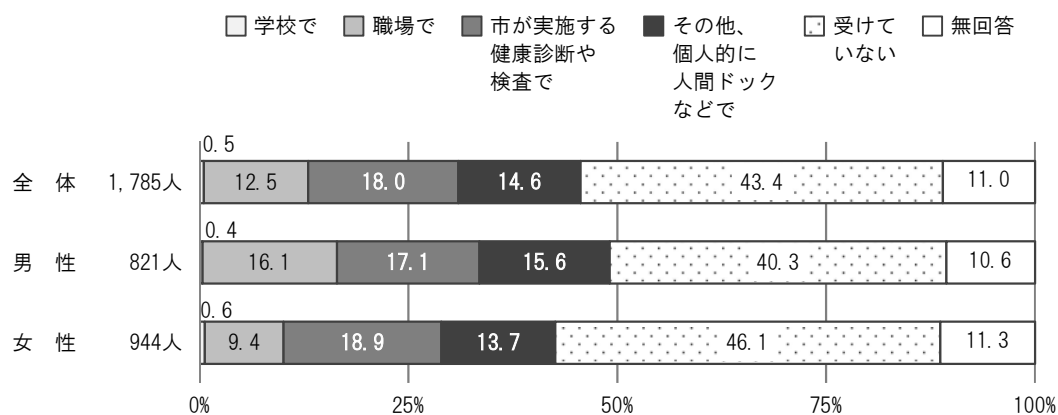
Ⅲ 調査結果

イ. 胃がん検診

「胃がん検診」の受診場所は、「市が実施する健康診断や検査で」が18.0%と最も高く、次いで「その他、個人的に人間ドックなどで」が14.6%となっています。

性別にみると、受診者の割合は、男性49.2%、女性42.6%となっています。受診場所は、男性は「職場で」が16.1%と、女性より6.7ポイント有意に高くなっています。一方、女性は「受けていない」が46.1%と、男性より5.8ポイント有意に高くなっています。

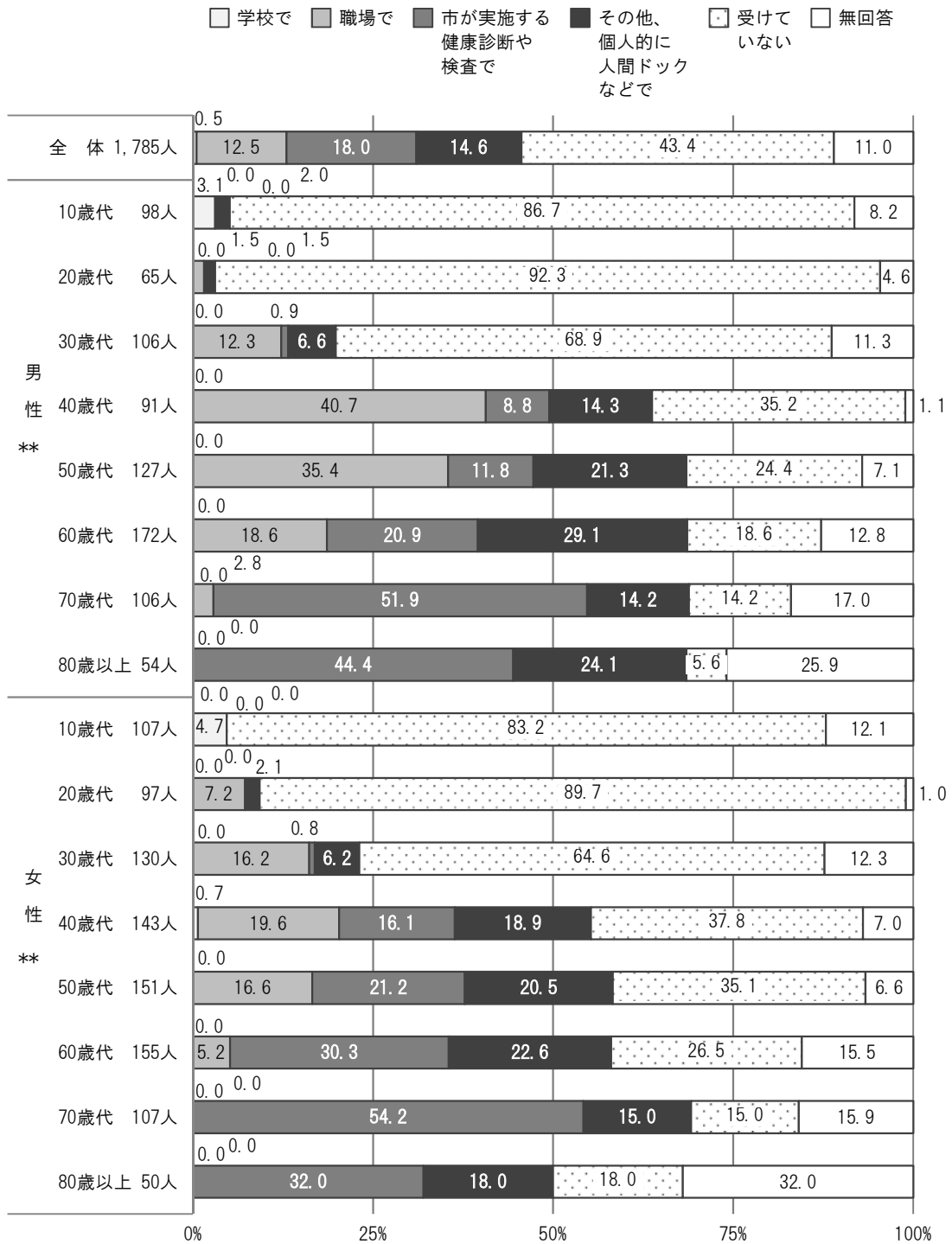
図 48-2-イ.1 受診場所_胃がん検診〔全体・性別〕**



「胃がん検診」の受診者の割合と受診場所を性・年代別にみると、男性では「受けていない」が「10歳代」で86.7%、「20歳代」で92.3%、「30歳代」で68.9%と他の年代より有意に高く、「市が実施する健康診断や検査で」が「70歳代」で51.9%、「80歳以上」で44.4%と有意に高くなっています。

女性では「受けていない」が「10歳代」で83.2%、「20歳代」で89.7%、「30歳代」で64.6%と有意に高く、「市が実施する健康診断や検査で」が「60歳代」で30.3%、「70歳代」で54.2%、「80歳以上」で32.0%と有意に高くなっています。

図 48-2-イ.2 受診場所_胃がん検診〔性・年代別〕

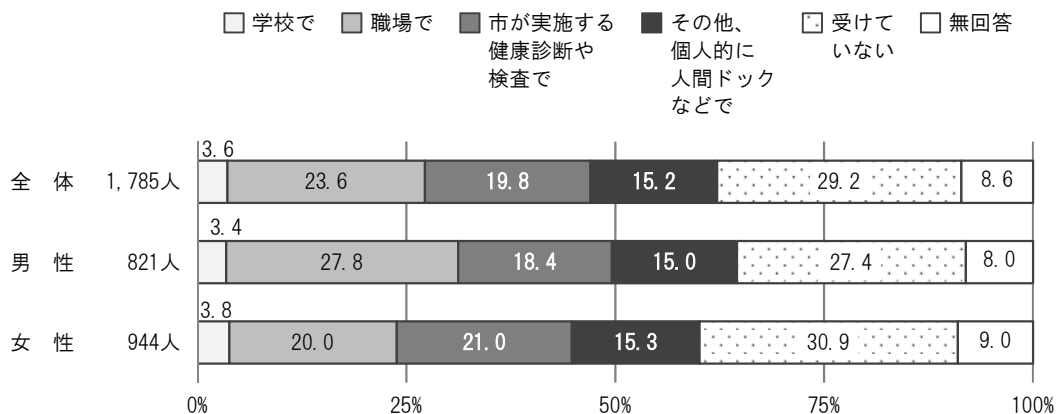


Ⅲ 調査結果

ウ. 肺がん・結核検診（胸部レントゲン）

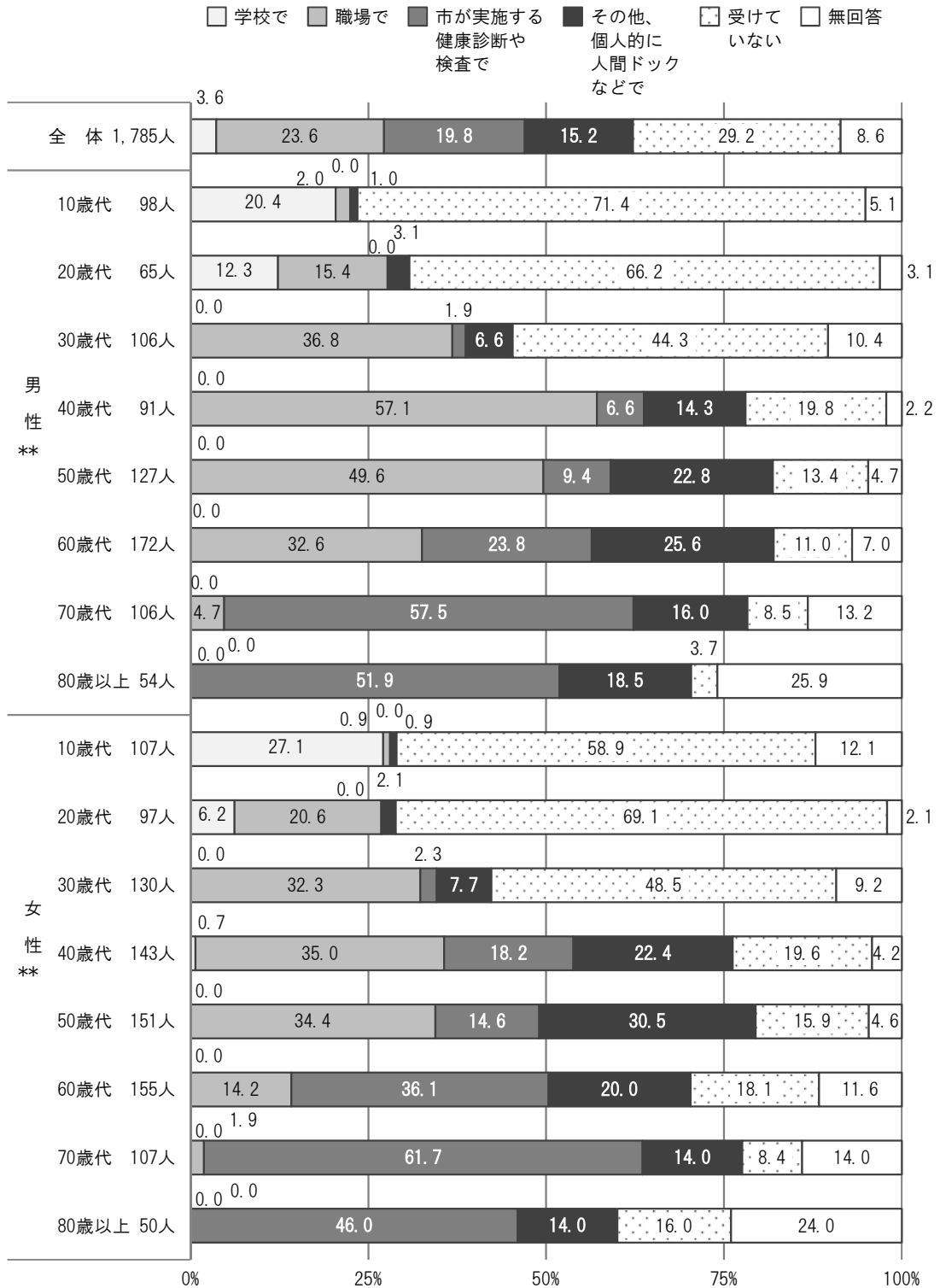
「肺がん・結核検診」の受診場所は、「職場で」が23.6%と最も高く、次いで「市が実施する健康診断や検査で」が19.8%となっています。
 性別にみると、受診者の割合は、男性64.6%、女性60.1%となっています。受診場所は、男性は「職場で」が27.8%と、女性より7.8ポイント有意に高くなっています。

図 48-2-ウ.1 受診場所_肺がん・結核検診〔全体・性別〕**



「肺がん・結核検診」の受診者の割合と受診場所を性・年代別にみると、男性では「学校で」が「10歳代」で20.4%、「20歳代」で12.3%と他の年代より有意に高く、「職場で」が「30歳代」で36.8%、「40歳代」で57.1%、「50歳代」で49.6%と有意に高くなっています。女性では「学校で」が「10歳代」で27.1%と有意に高く、「職場で」が「30歳代」で32.3%、「40歳代」で35.0%、「50歳代」で34.4%と有意に高くなっています。

図 48-2-ウ.2 受診場所_肺がん・結核検診〔性・年代別〕



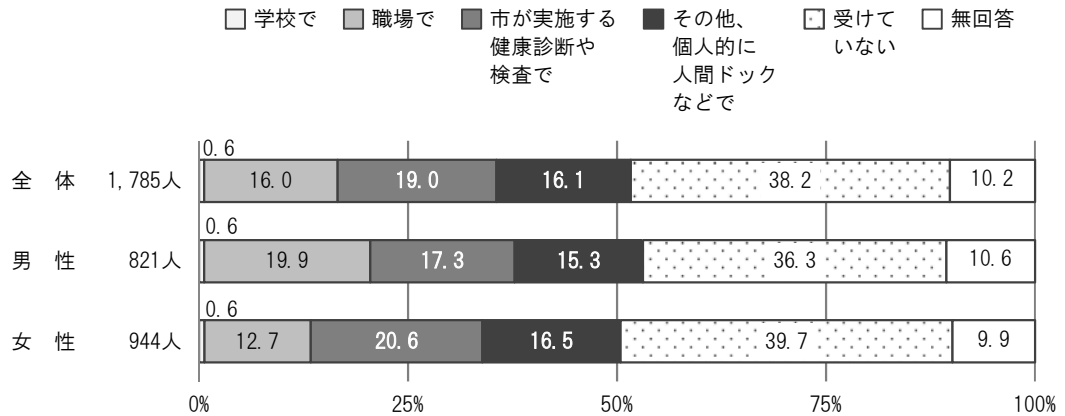
Ⅲ 調査結果

エ. 大腸がん検診（便の潜血反応）

「大腸がん検診」の受診場所は、「市が実施する健康診断や検査で」が19.0%と最も高く、次いで「その他、個人的に人間ドックなどで」が16.1%となっています。

性別にみると、受診者の割合は、男性53.1%、女性50.4%となっています。受診場所は、男性は「職場で」が19.9%と、女性より7.2ポイント有意に高くなっています。

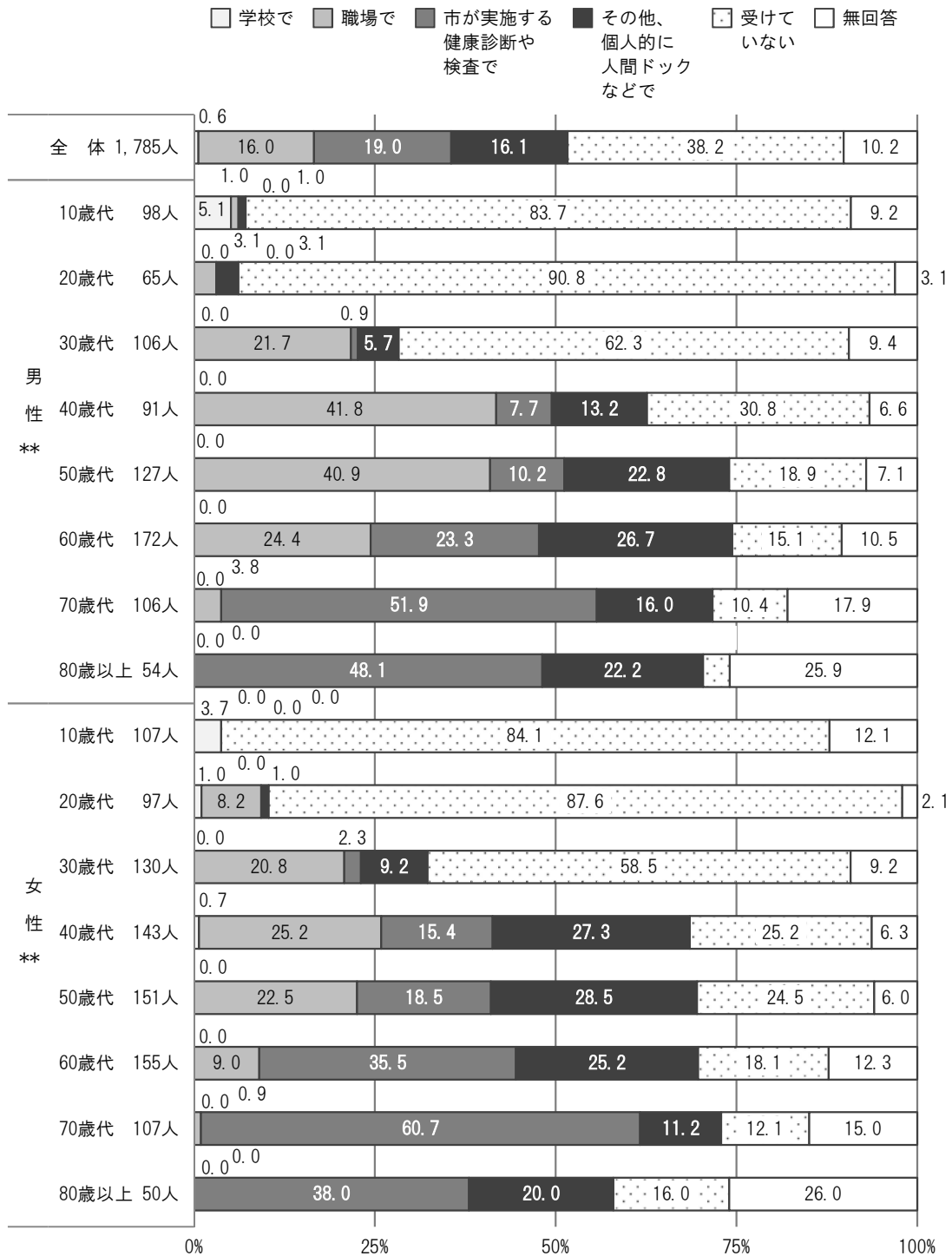
図 48-2-エ.1 受診場所_大腸がん検診〔全体・性別〕**



「大腸がん検診」の受診者の割合と受診場所を性・年代別にみると、男性では「受けていない」が「10歳代」で83.7%、「20歳代」で90.8%、「30歳代」で62.3%と他の年代より有意に高く、「職場で」が「40歳代」で41.8%、「50歳代」で40.9%と有意に高くなっています。

女性では「受けていない」が「10歳代」で84.1%、「20歳代」で87.6%、「30歳代」で58.5%と有意に高く、「その他、個人的に人間ドックなどで」が「40歳代」で27.3%、「50歳代」で28.5%、「60歳代」で25.2%と有意に高くなっています。

図 48-2-エ.2 受診場所_大腸がん検診〔性・年代別〕

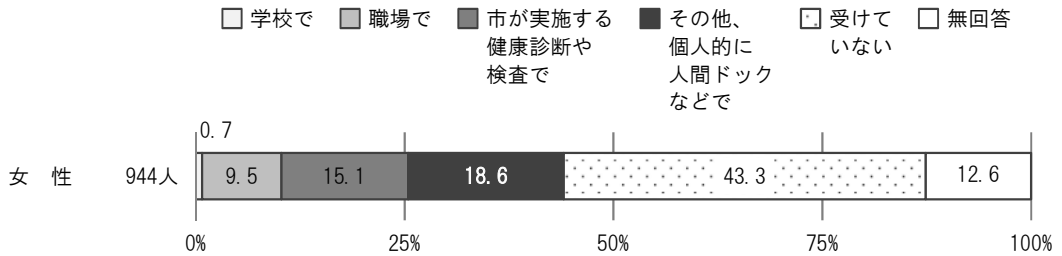


Ⅲ 調査結果

オ. 乳がん検診（女性のみ）

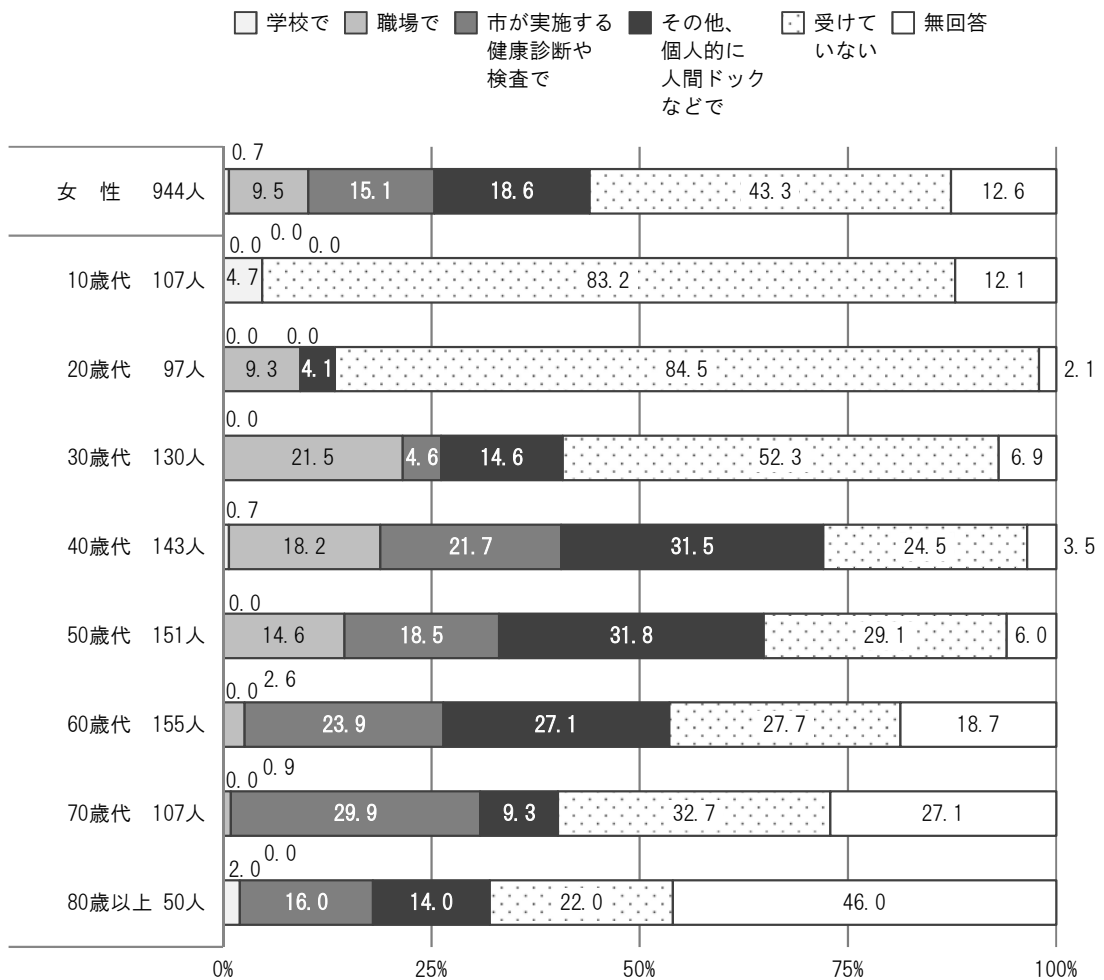
「乳がん検診」の受診者の割合は43.9%となっています。
 受診場所は、「その他、個人的に人間ドックなどで」が18.6%と最も高く、次いで「市が実施する健康診断や検査で」が15.1%となっています。

図 48-2-オ.1 受診場所_乳がん検診〔女性〕



年代別にみると、「乳がん検診」を「受けていない」が「10歳代」で83.2%、「20歳代」で84.5%と他の年代より有意に高く、「市が実施する健康診断や検査で」が「60歳代」で23.9%、「70歳代」で29.9%と有意に高くなっています。

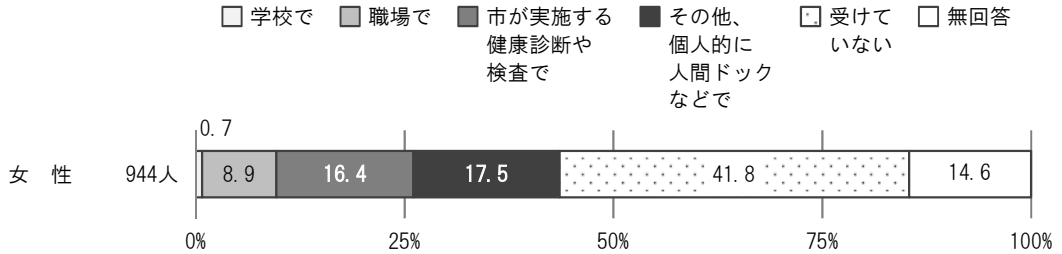
図 48-2-オ.2 受診場所_乳がん検診〔女性・年代別〕**



カ. 子宮がん検診（女性のみ）

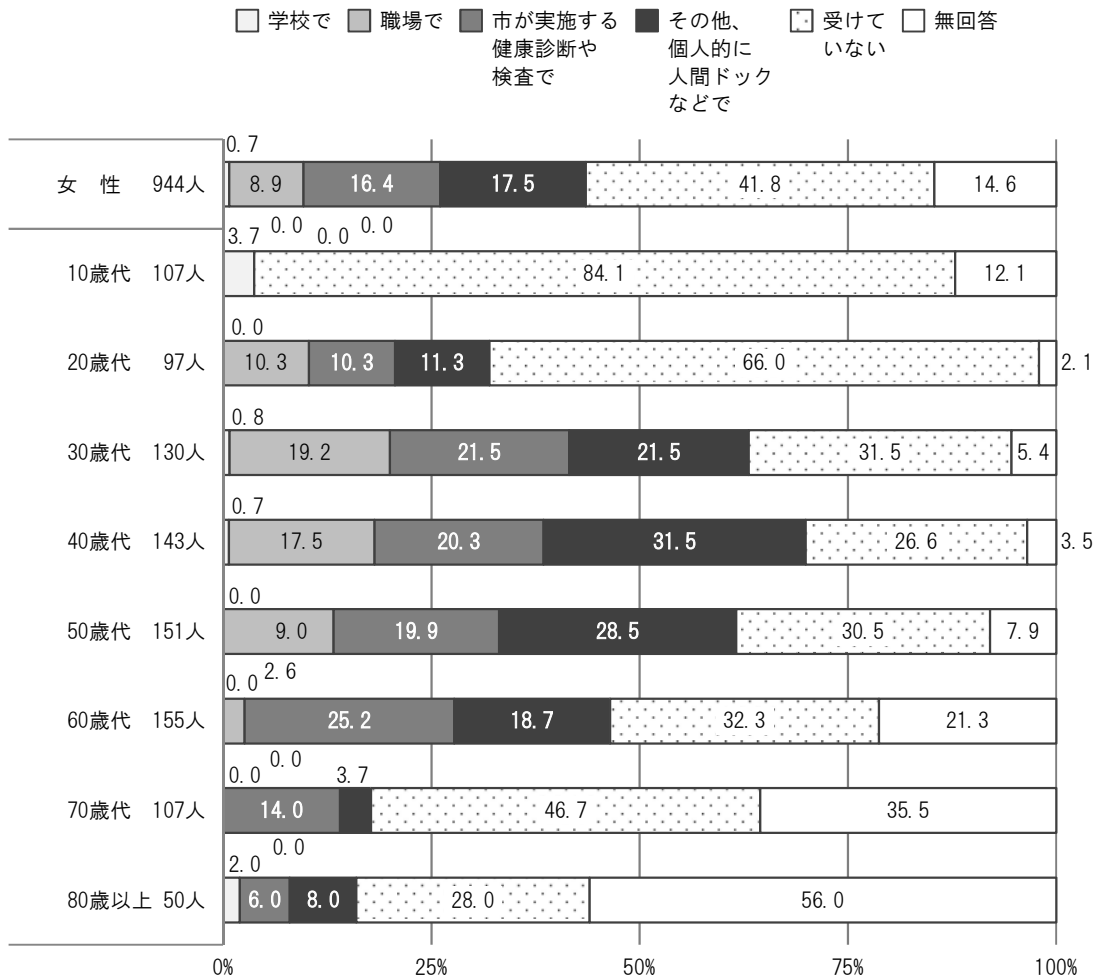
「子宮がん検診」の受診者の割合は 43.5%となっています。
 受診場所は、「その他、個人的に人間ドックなどで」が 17.5%と最も高く、次いで「市が実施する健康診断や検査で」が 16.4%となっています。

図 48-2-カ.1 受診場所_子宮がん検診〔女性〕



年代別にみると、「子宮がん検診」を「受けていない」が「10 歳代」で 84.1%、「20 歳代」で 66.0%と他の年代より有意に高く、「その他、個人的に人間ドックなどで」が「40 歳代」で 31.5%、「50 歳代」で 28.5%と有意に高くなっています。

図 48-2-カ.2 受診場所_子宮がん検診〔女性・年代別〕**

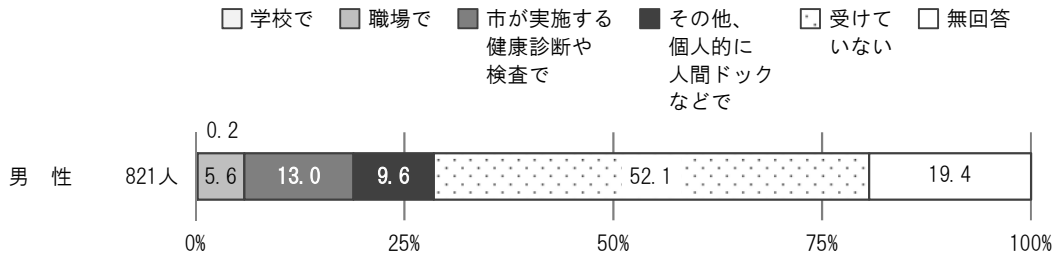


Ⅲ 調査結果

キ. 前立腺がん検診（男性のみ）

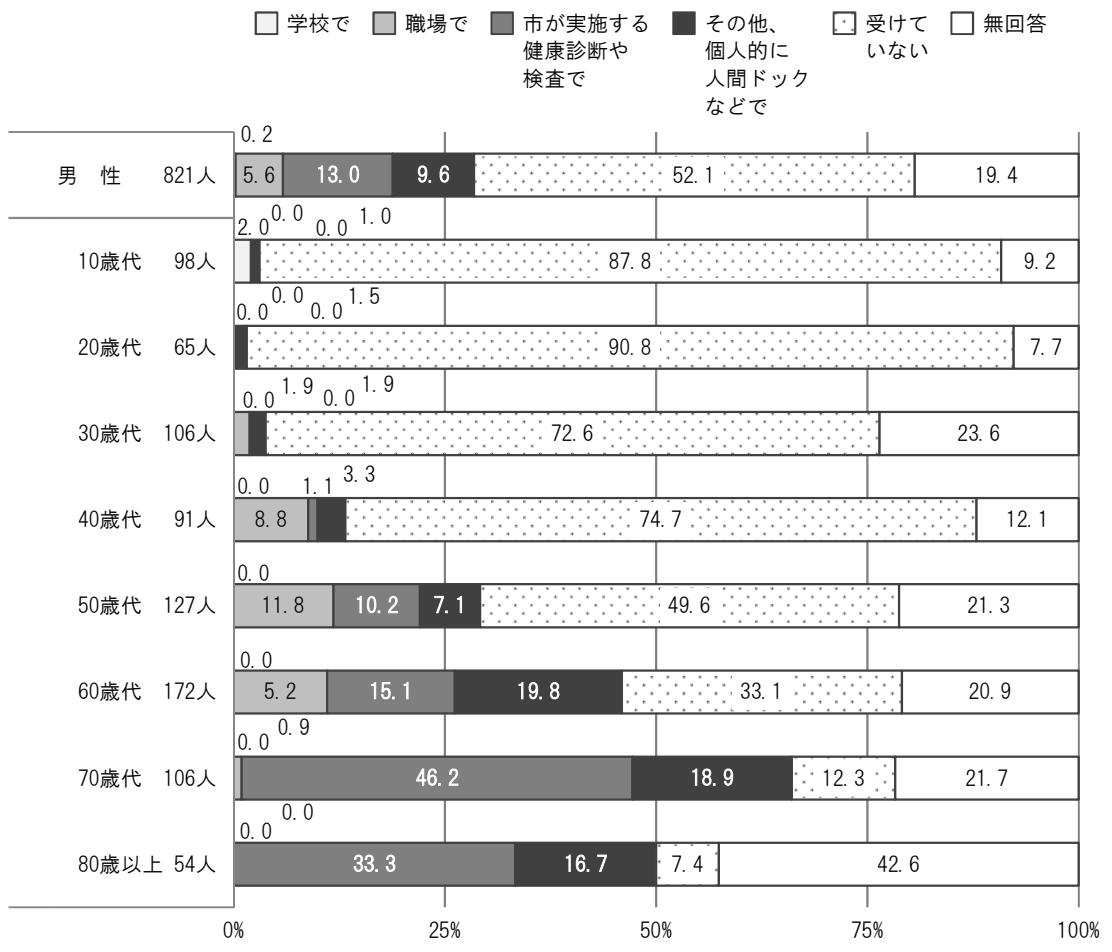
「前立腺がん検診」の受診者の割合は 28.4%となっています。
 受診場所は、「市が実施する健康診断や検査で」が 13.0%と最も高く、次いで「その他、個人的に人間ドックなどで」が 9.6%となっています。

図 48-2-キ.1 受診場所_前立腺がん検診〔男性〕



年代別にみると、「前立腺がん検診」の受診者の割合は、「受けていない」が「10 歳代」で 87.8%、「20 歳代」で 90.8%、「30 歳代」で 72.6%、「40 歳代」で 74.7%と他の年代より有意に高く、受診場所は、「市が実施する健康診断や検査で」が「70 歳代」で 46.2%、「80 歳以上」で 33.3%と有意に高くなっています。

図 48-2-キ.2 受診場所_前立腺がん検診〔男性・年代別〕**

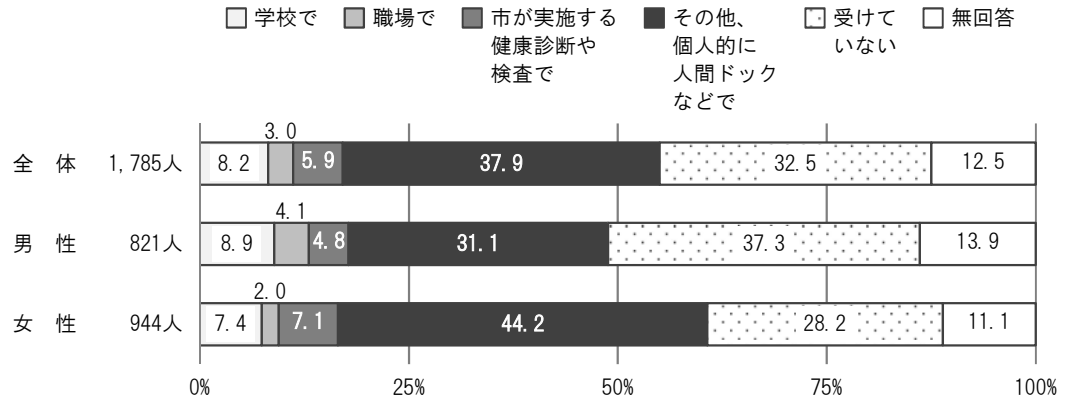


ク. 歯科健診

「歯科健診」の受診場所は、「その他、個人的に人間ドックなどで」が37.9%と最も高く、次いで「学校で」が8.2%となっています。

性別にみると、受診者の割合は、男性48.9%、女性60.7%となっています。受診場所は、女性は「その他、個人的に人間ドックなどで」が44.2%と、男性より13.1ポイント有意に高くなっています。一方、男性は「受けていない」が37.3%と、女性より9.1ポイント有意に高くなっています。

図 48-2-ク.1 受診場所_歯科健診〔全体・性別〕**

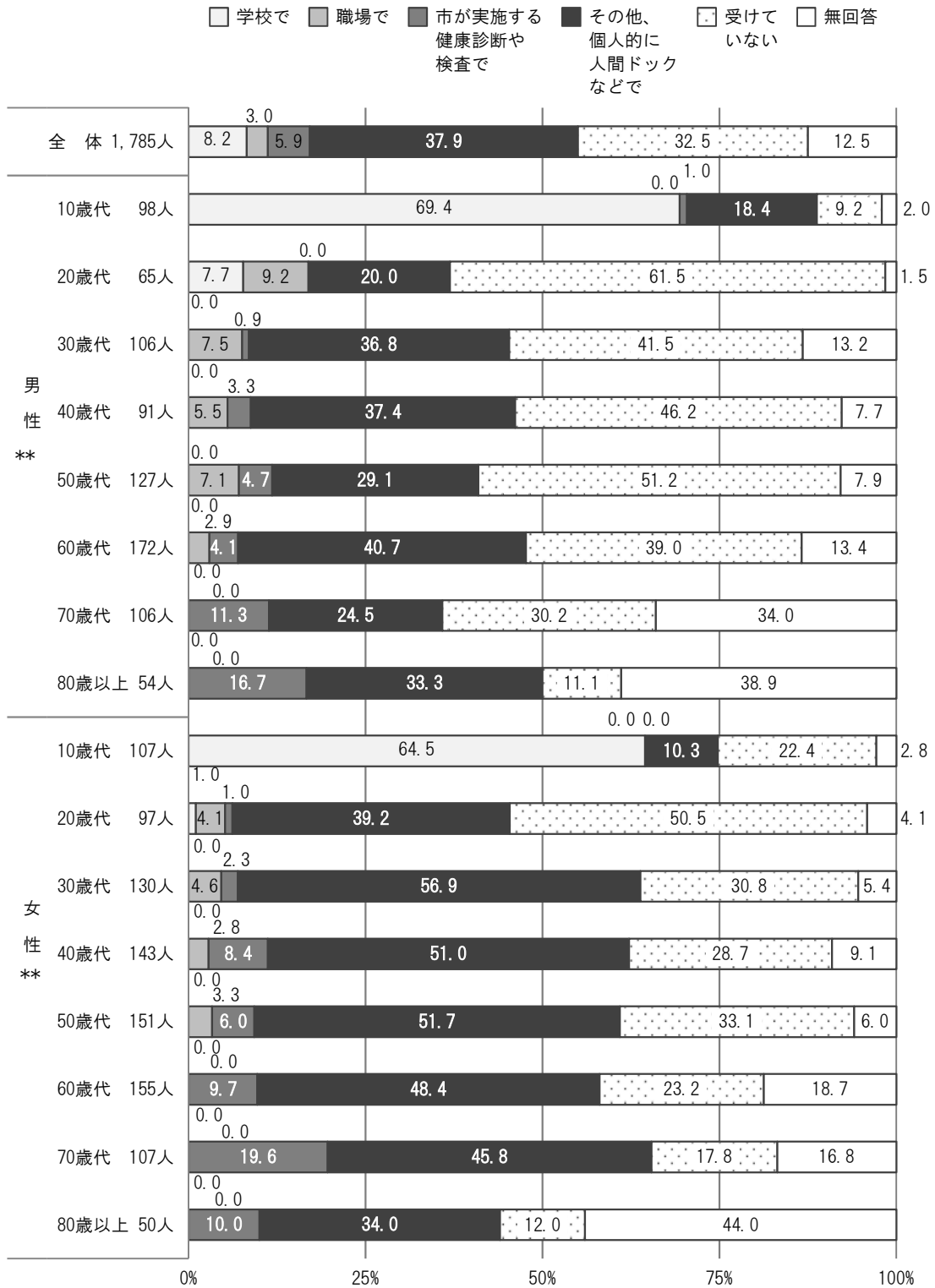


Ⅲ 調査結果

「歯科健診」の受診割合と受診場所を性・年代別にみると、男性では「学校で」が「10歳代」で69.4%と他の年代より有意に高く、「市が実施する健康診断や検査で」が「70歳代」で11.3%、「80歳以上」で16.7%と有意に高くなっています。

女性では「学校で」が「10歳代」で64.5%と有意に高く、「市が実施する健康診断や検査で」が「70歳代」で19.6%、「80歳以上」で10.0%と有意に高くなっています。

図 48-2-ク.2 受診場所_歯科健診〔性・年代別〕



【B：問46で「受けていない」とお答えの方のみ】

(48) -3 受けていない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて) <B：問46-3>

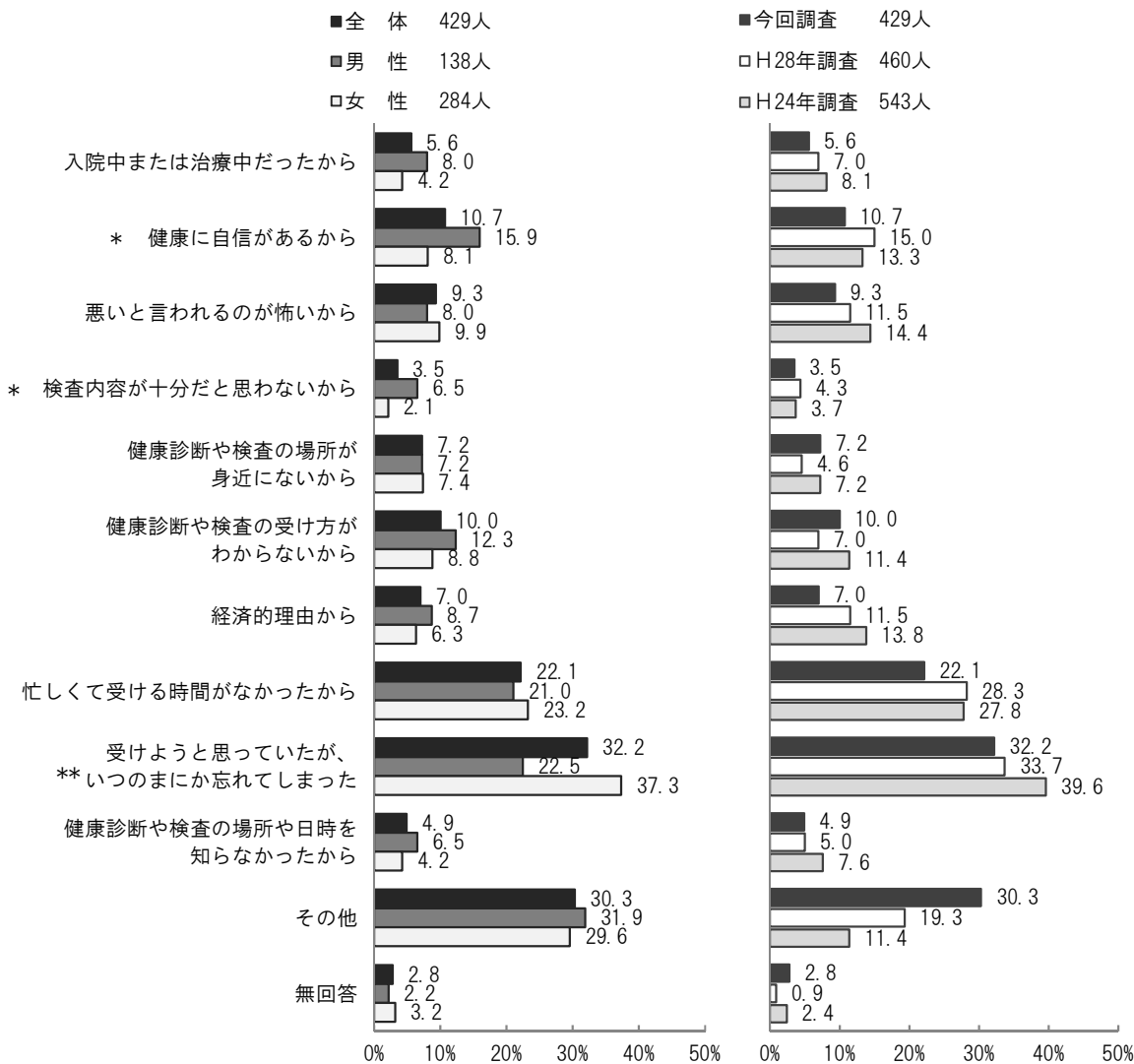
健康診断や検査を受けていない理由は、「受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった」が32.2%と最も高く、次いで「忙しくて受ける時間がなかったから」が22.1%、「健康に自信があるから」が10.7%となっています。

性別にみると、男性では「健康に自信があるから」が15.9%と、女性より7.8ポイント有意に高く、女性では「受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった」が37.3%と、男性より14.8ポイント有意に高くなっています。

H24年調査と比較すると、「経済的理由から」が6.8ポイント有意に減少しています。

H28年調査と比較すると、「経済的理由から」が4.5ポイント有意に減少しています。

図 48-3 健康診断や検査を受けていない理由（複数回答）〔全体・性別・経年比較〕



「その他」の内容	
項目	件数
コロナ禍の影響	50
高校生・学生だから	15
面倒	4
子育てのため	4
健康診断が好きではない	4
その他	44

Ⅲ 調査結果

健康診断や検査を受けていない理由を性・年代別にみると、男性では「経済的理由から」が「30 歳代」で 33.3%と他の年代より有意に高く、「受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった」が「60 歳代」で 57.1%と有意に高くなっています。

女性では「健康診断や検査の受け方がわからないから」が「20 歳代」で 20.0%、「30 歳代」で 23.3%と有意に高く、「忙しくて受ける時間がなかったから」が「30 歳代」で 34.9%、「40 歳代」で 37.5%、「50 歳代」で 34.7%と有意に高くなっています。

表 48-3.1 健康診断や検査を受けていない理由（複数回答）〔性・年代別〕 単位：%

項目	回答者数 (人)	**/*	-/-	-/*	-/-	-/-	*/**	*/-	-/**	**/**	-/-	-/*	無回答
		入院中または治療中だったから	健康に自信があるから	悪いと言われるのが怖いから	検査内容が十分だと思わないから	健康診断や検査の場所が身近にないから	健康診断や検査の受け方がわからないから	経済的理由から	忙しくて受ける時間がなかったから	受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった	健康診断や検査の場所や日時を知らなかったから	その他	
全体	429	5.6	10.7	9.3	3.5	7.2	10.0	7.0	22.1	32.2	4.9	30.3	2.8
男性計	138	8.0	15.9	8.0	6.5	7.2	12.3	8.7	21.0	22.5	6.5	31.9	2.2
10 歳代	34	0.0	29.4	0.0	0.0	5.9	20.6	2.9	23.5	2.9	14.7	41.2	2.9
20 歳代	18	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	22.2	5.6	22.2	0.0
30 歳代	15	0.0	20.0	6.7	6.7	20.0	33.3	33.3	40.0	6.7	6.7	13.3	0.0
40 歳代	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	42.9	0.0
50 歳代	10	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	40.0	0.0	40.0	0.0
60 歳代	21	23.8	9.5	14.3	4.8	0.0	4.8	9.5	19.0	57.1	0.0	14.3	4.8
70 歳代	24	16.7	8.3	20.8	12.5	8.3	4.2	0.0	4.2	29.2	4.2	41.7	0.0
80 歳以上	8	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0
女性計	284	4.2	8.1	9.9	2.1	7.4	8.8	6.3	23.2	37.3	4.2	29.6	3.2
10 歳代	26	0.0	11.5	0.0	0.0	15.4	11.5	3.8	15.4	7.7	3.8	38.5	7.7
20 歳代	30	0.0	10.0	0.0	3.3	10.0	20.0	20.0	33.3	26.7	6.7	26.7	3.3
30 歳代	43	0.0	7.0	2.3	0.0	9.3	23.3	7.0	34.9	46.5	11.6	18.6	2.3
40 歳代	40	2.5	5.0	10.0	2.5	2.5	2.5	5.0	37.5	55.0	7.5	17.5	0.0
50 歳代	49	2.0	10.2	16.3	4.1	6.1	2.0	6.1	34.7	49.0	2.0	24.5	2.0
60 歳代	54	7.4	5.6	18.5	0.0	3.7	5.6	3.7	7.4	38.9	0.0	35.2	5.6
70 歳代	24	12.5	4.2	8.3	4.2	16.7	0.0	4.2	0.0	20.8	0.0	58.3	0.0
80 歳以上	17	17.6	17.6	17.6	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	23.5	0.0	35.3	5.9

健康診断や検査を受けていない理由を就労状況別にみると、「受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった」が「非常勤」で58.4%、「家事専従」で39.6%と他の就労状況より有意に高く、「健康に自信があるから」が「高校生」で23.1%と有意に高くなっています。

表 48-3.2 健康診断や検査を受けていない理由（複数回答）〔就労状況別〕 単位：%

項目	回答者数（人）	**	**	*	**	**			*	**	*	その他	無回答	
		ら入院中または治療中だったから	健康に自信があるから	悪いと言われるのが怖いから	検査内容が十分だと思わないから	健康診断や検査の場所が身近にないから	健康診断や検査の受け方がわからないから	経済的理由から	忙しくて受ける時間がなかったから	受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった	健康診断や検査の場所や日時を知らなかったから			
全体	429	5.6	10.7	9.3	3.5	7.2	10.0	7.0	22.1	32.2	4.9	30.3	2.8	
就労状況	常勤	45	4.4	13.3	4.4	2.2	2.2	13.3	11.1	33.3	20.0	8.9	33.3	0.0
	非常勤	77	1.3	3.9	9.1	3.9	2.6	10.4	11.7	31.2	58.4	3.9	28.6	0.0
	自営業	26	7.7	7.7	19.2	19.2	3.8	3.8	11.5	38.5	38.5	0.0	23.1	0.0
	家事専従	106	2.8	8.5	8.5	2.8	11.3	7.5	2.8	17.9	39.6	5.7	32.1	4.7
	中学生	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	高校生	39	0.0	23.1	0.0	0.0	5.1	15.4	2.6	12.8	2.6	5.1	46.2	5.1
	学生	35	0.0	20.0	0.0	0.0	22.9	20.0	11.4	28.6	14.3	17.1	22.9	0.0
	無職	88	18.2	10.2	15.9	3.4	4.5	8.0	5.7	11.4	27.3	0.0	26.1	4.5
その他	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	

健康診断や検査を受けていない理由を健康状態別にみると、「健康に自信があるから」が「とても健康である」で26.7%と他の健康状態より有意に高く、「入院中または治療中だったから」が「あまり健康でない」で23.7%、「健康でない」で21.4%と有意に高くなっています。

表 48-3.3 健康診断や検査を受けていない理由（複数回答）〔健康状態別〕 単位：%

項目	回答者数（人）	**	**									その他	無回答	
		ら入院中または治療中だったから	健康に自信があるから	悪いと言われるのが怖いから	検査内容が十分だと思わないから	健康診断や検査の場所が身近にないから	健康診断や検査の受け方がわからないから	経済的理由から	忙しくて受ける時間がなかったから	受けようと思っていたが、いつのまにか忘れてしまった	健康診断や検査の場所や日時を知らなかったから			
全体	429	5.6	10.7	9.3	3.5	7.2	10.0	7.0	22.1	32.2	4.9	30.3	2.8	
健康状態	とても健康である	86	1.2	26.7	2.3	1.2	8.1	10.5	4.7	24.4	24.4	7.0	26.7	3.5
	まあ健康である	287	3.5	7.7	10.5	4.2	7.3	10.5	7.7	22.3	36.2	4.9	31.0	2.4
	あまり健康でない	38	23.7	2.6	10.5	5.3	7.9	5.3	7.9	26.3	23.7	2.6	31.6	2.6
	健康でない	14	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0

Ⅲ 調査結果

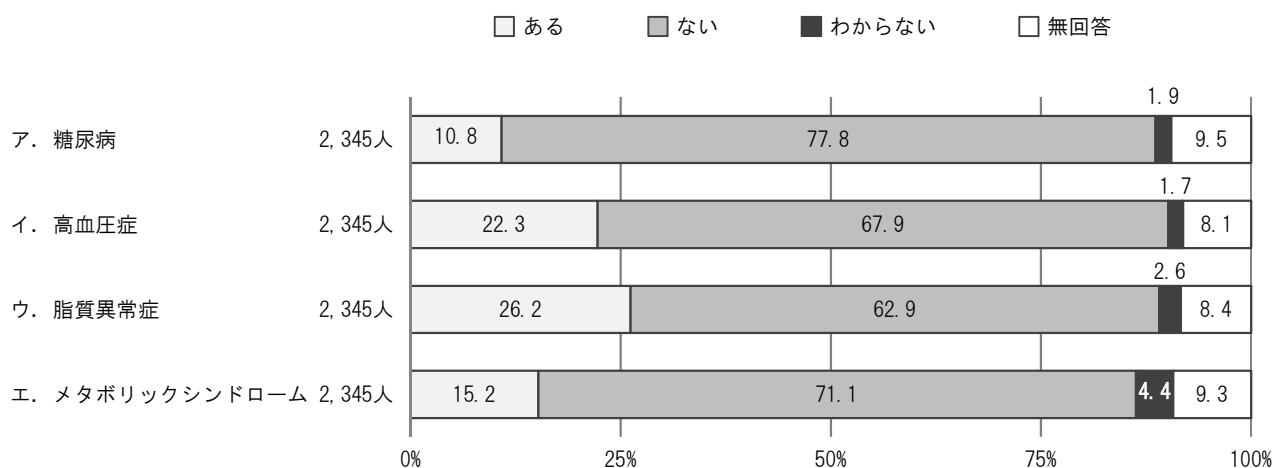
(49) あなたはこれまでに、次にあげるア～エのような生活習慣病について、健診や医療機関で指摘を受けたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

また、指摘を受けたことが「ある」方は、治療(通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む)を受けたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

<B:問47>

これまでに健診や医療機関での指摘が「ある」生活習慣病については、「脂質異常症」が26.2%と最も高く、次いで「高血圧症」が22.3%、「メタボリックシンドローム」が15.2%、「糖尿病」が10.8%となっています。

図 49 健診や医療機関での指摘〔全体〕



ア. 糖尿病

糖尿病の指摘については、「ある」が10.8%、「ない」が77.8%となっています。
 性別にみると、男性は「ある」が14.9%と、女性より7.3ポイント有意に高くなっています。
 H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-ア a.1 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔全体・性別〕**

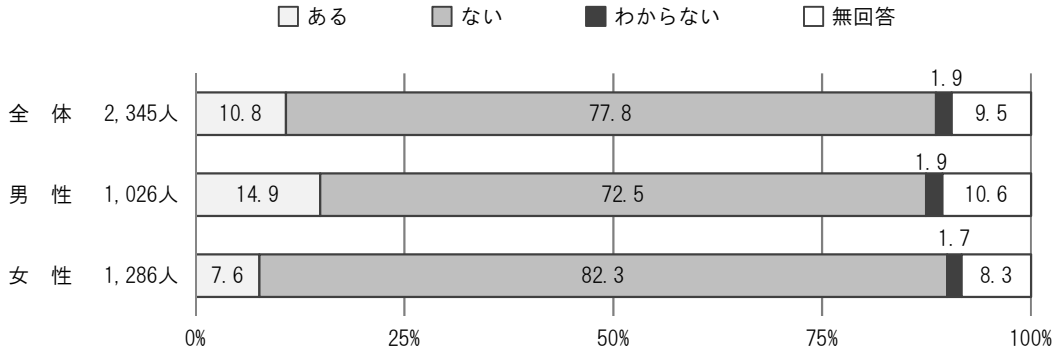
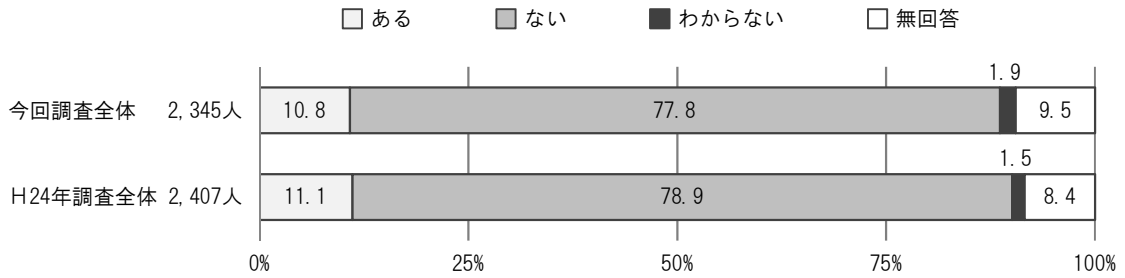
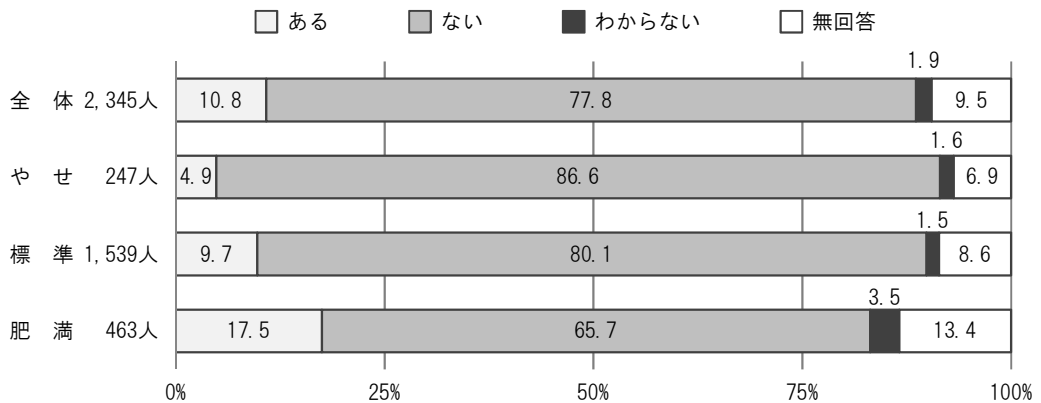


図 49-ア a.2 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔経年比較〕



糖尿病の指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で17.5%と有意に高く、「ない」が「やせ」で86.6%、「標準」で80.1%と他の肥満度より有意に高くなっています。

図 49-ア a.3 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔肥満度別〕**

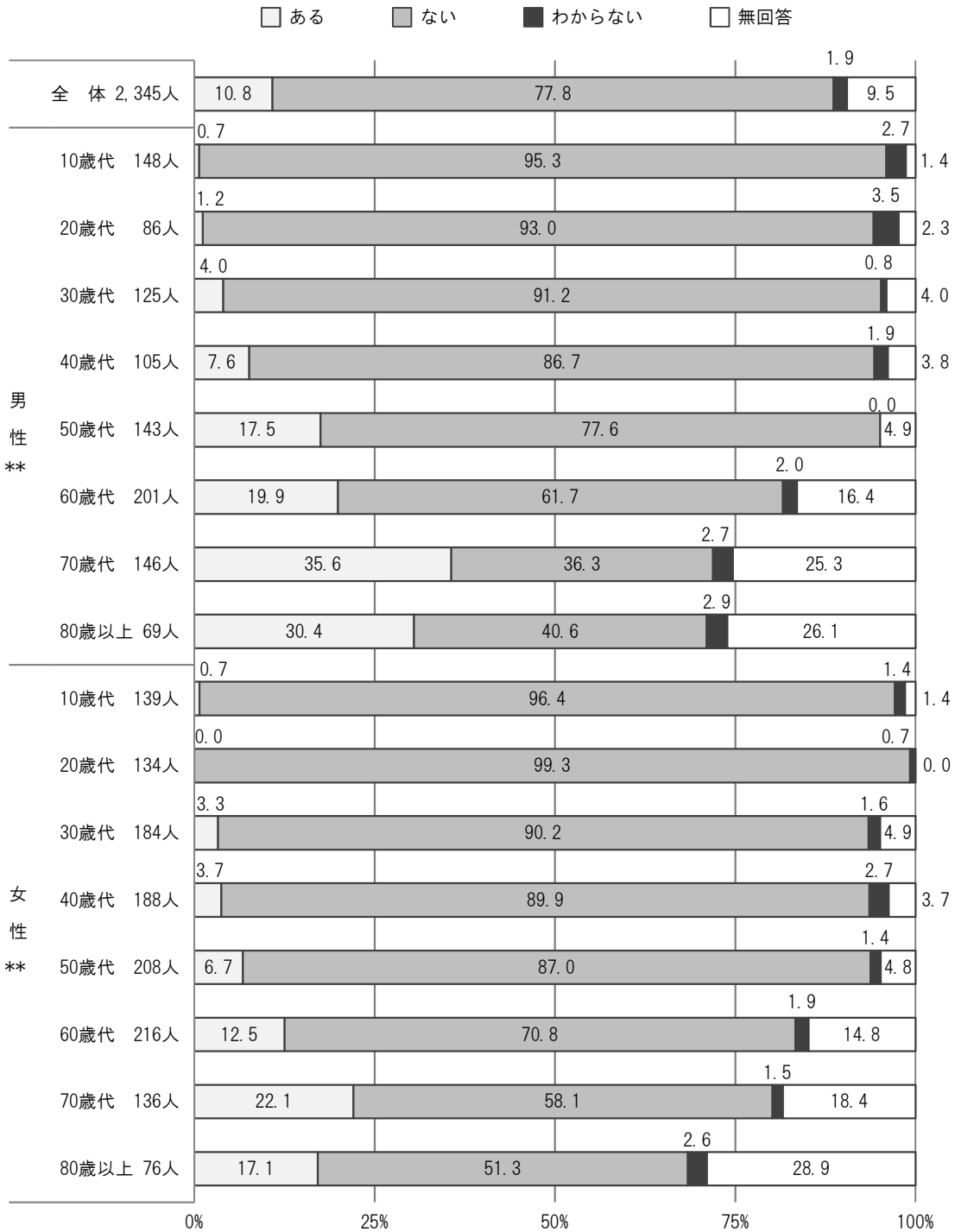


Ⅲ 調査結果

糖尿病の指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「60歳代」で19.9%、「70歳代」で35.6%、「80歳以上」で30.4%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.3%、「20歳代」で93.0%、「30歳代」で91.2%、「40歳代」で86.7%と有意に高くなっています。

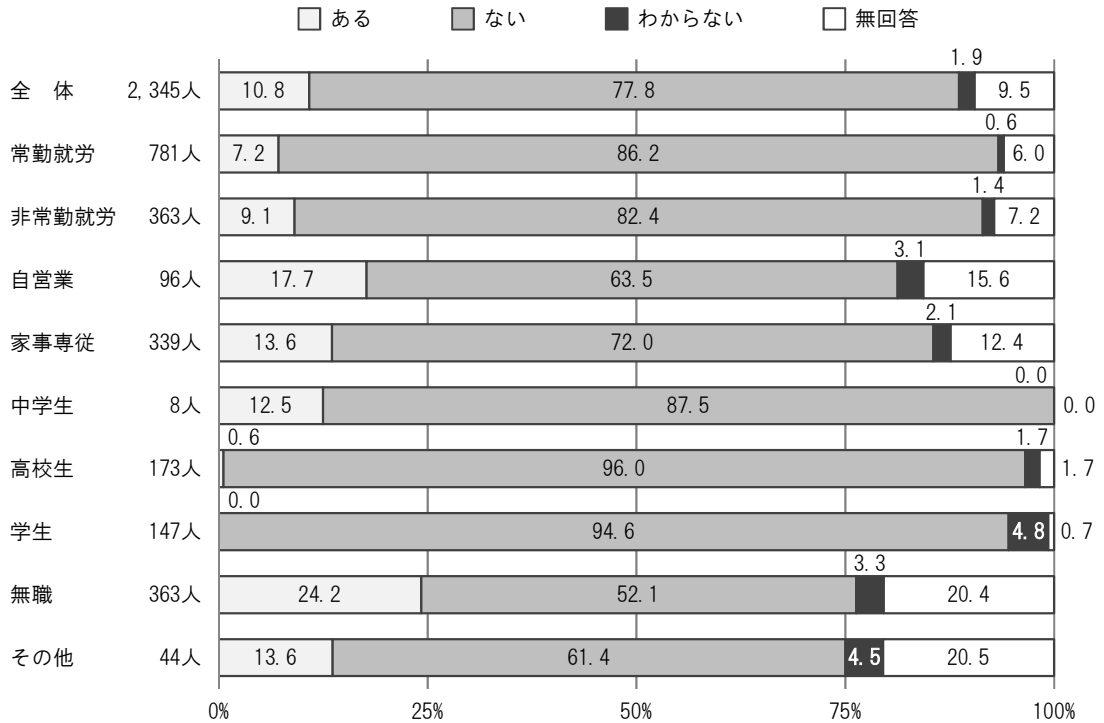
女性では「ある」が「60歳代」で12.5%、「70歳代」で22.1%、「80歳以上」で17.1%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で96.4%、「20歳代」で99.3%、「30歳代」で90.2%と有意に高くなっています。

図 49-ア a.4 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔性・年代別〕



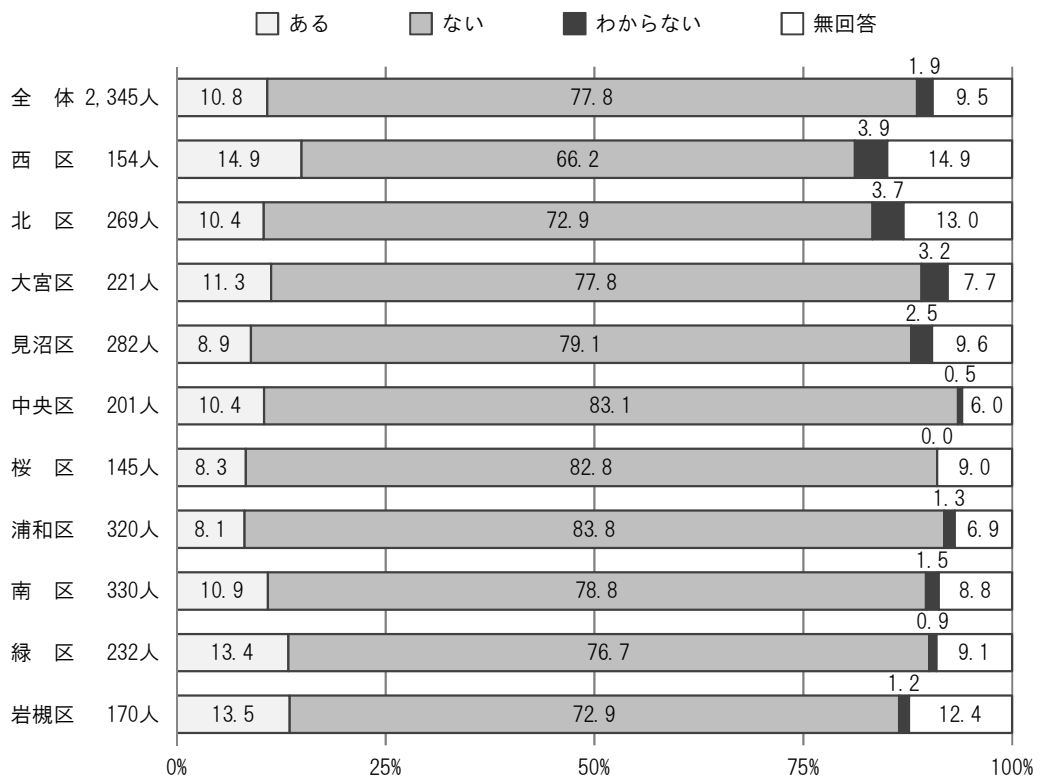
糖尿病の指摘について就労状況別にみると、「ある」が「自営業」で17.7%、「家事専従」で13.6%、「無職」で24.2%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「常勤就労」で86.2%、「高校生」で96.0%、「学生」で94.6%と有意に高くなっています。

図 49-ア a.5 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔就労状況別〕**



糖尿病の指摘について居住区別にみると、「ある」が「西区」で14.9%と有意に高く、「ない」が「浦和区」で83.8%と他区より有意に高くなっています。

図 49-ア a.6 健診や医療機関での指摘_糖尿病〔居住区別〕*



Ⅲ 調査結果

治療状況については、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が63.8%と最も高く、次いで「これまでに治療を受けたことがない」が18.1%となっています。

治療状況を性別にみると、女性は「これまでに治療を受けたことがない」が23.5%と、男性より8.5ポイント高くなっています。

H24年調査と比較すると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が10.4ポイント有意に増加しています。

図 49-ア b.1 指摘後の治療状況_糖尿病〔全体・性別〕

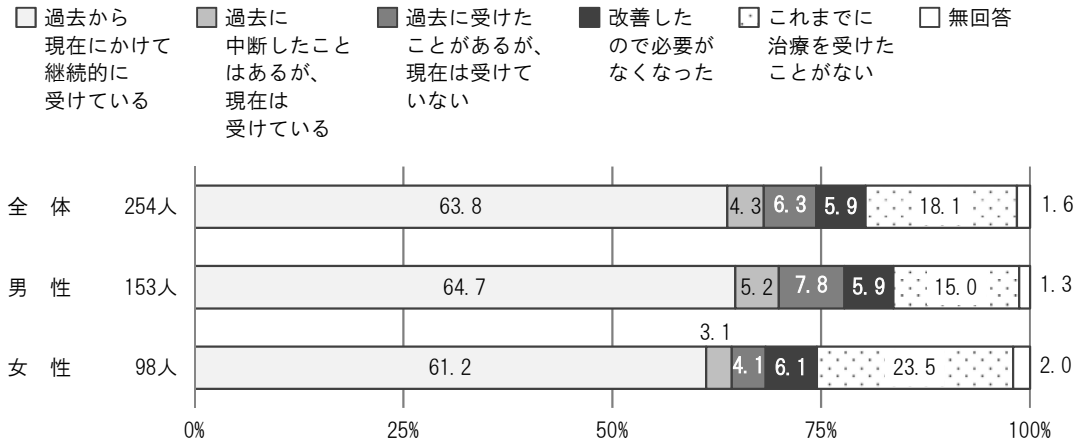
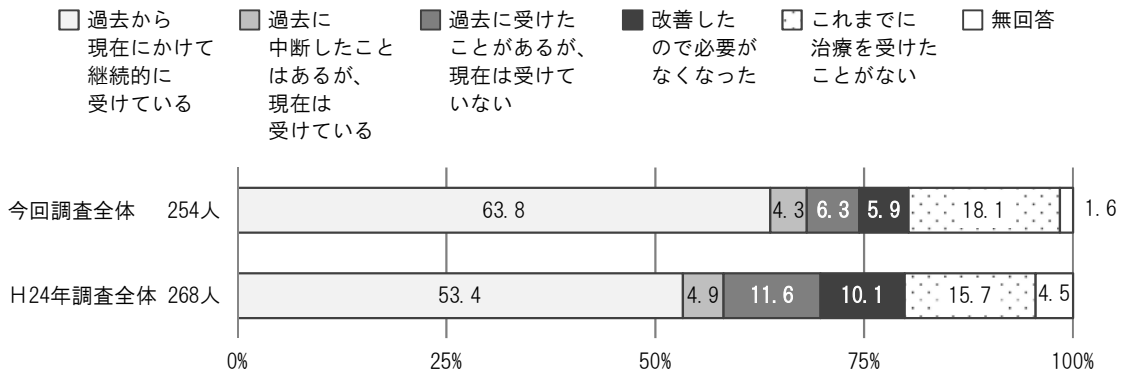
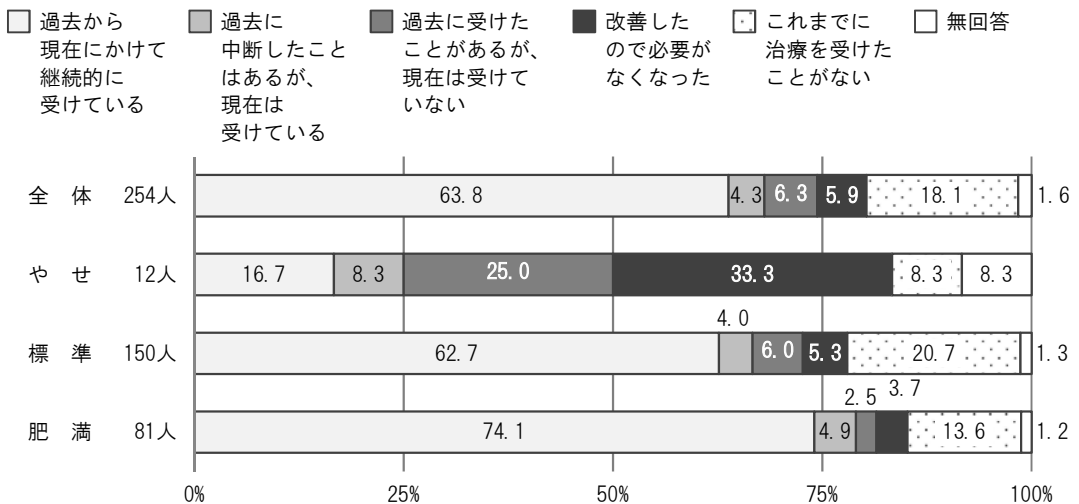


図 49-ア b.2 指摘後の治療状況_糖尿病〔経年比較〕*



糖尿病の治療状況を肥満度別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「肥満」で74.1%と他の肥満度より有意に高くなっています。

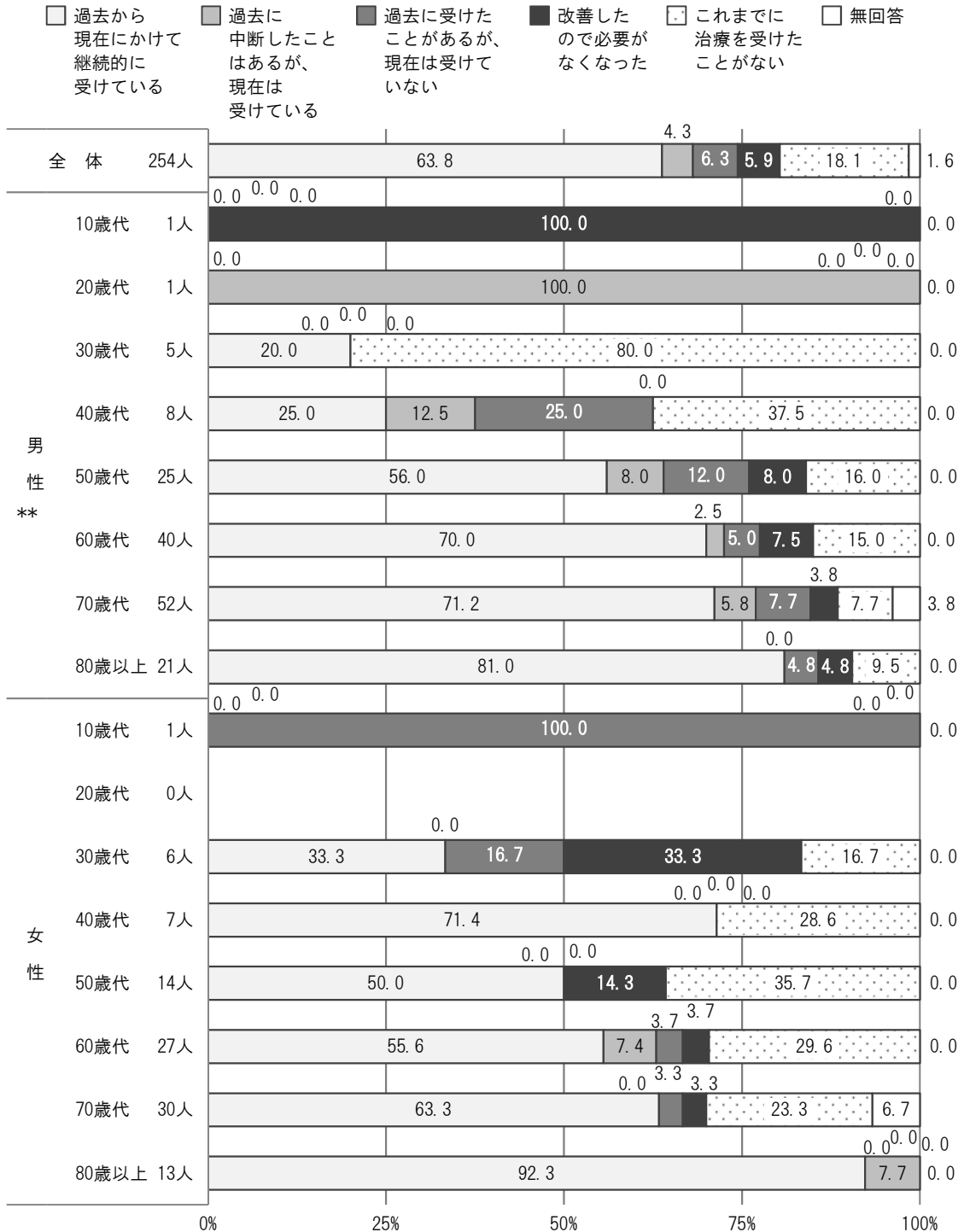
図 49-ア b.3 指摘後の治療状況_糖尿病〔肥満度別〕**



糖尿病の治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で80.0%と他の年代より有意に高く、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「60歳代」で70.0%、「70歳代」で71.2%、「80歳以上」で81.0%となっています。

女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「50歳代」で50.0%、「60歳代」で55.6%、「70歳代」で63.3%、「80歳以上」で92.3%となっています。

図 49-ア b.4 指摘後の治療状況_糖尿病〔性・年代別〕



計画における数値目標のデータ



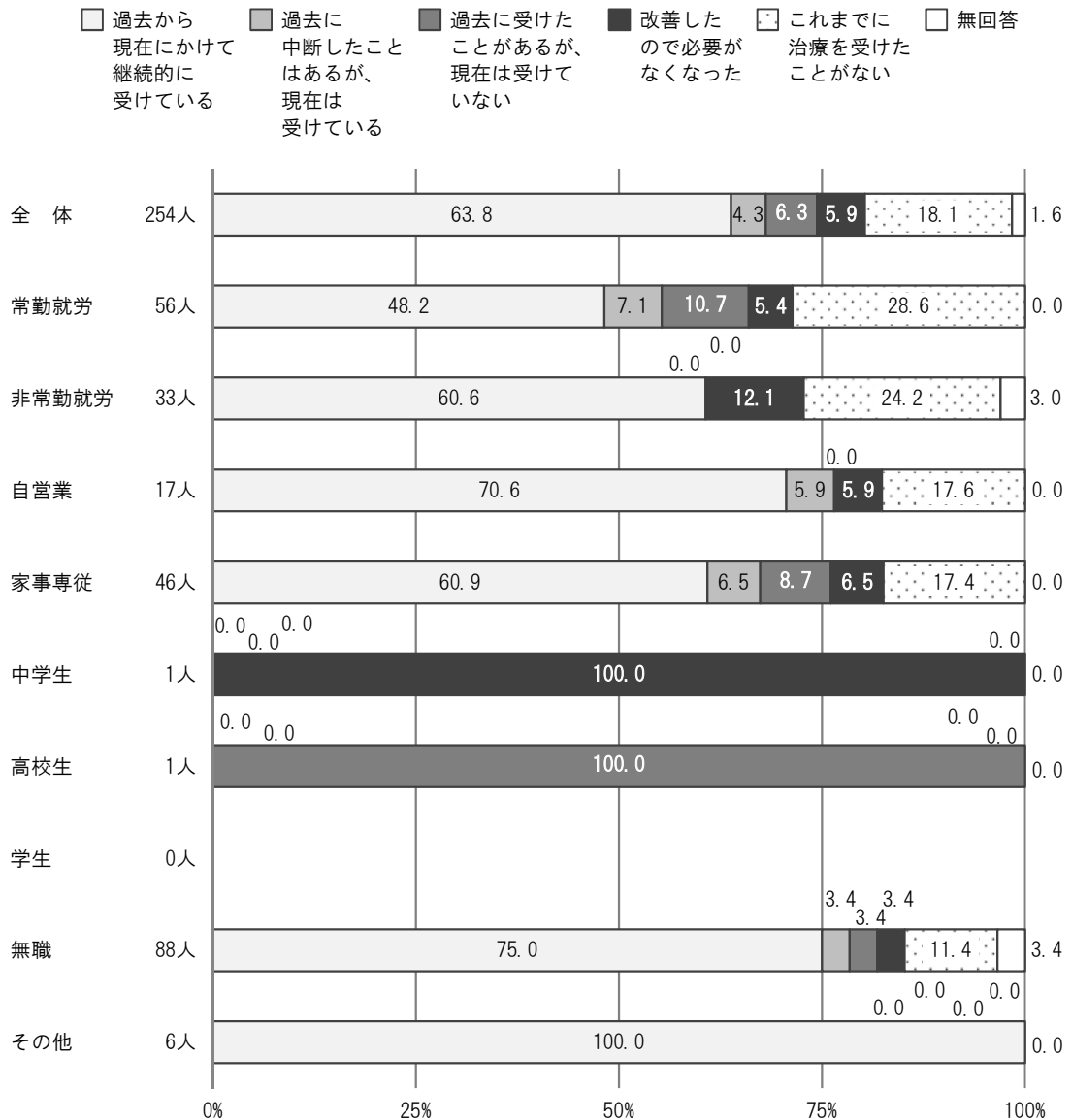
糖尿病治療継続者の割合

・全体 68.1%（目標値 70%）

＜問 47 アで「過去から現在にかけて継続的に受けている」または「過去に中断したことはあるが、現在は受けている」と答えた人の割合＞

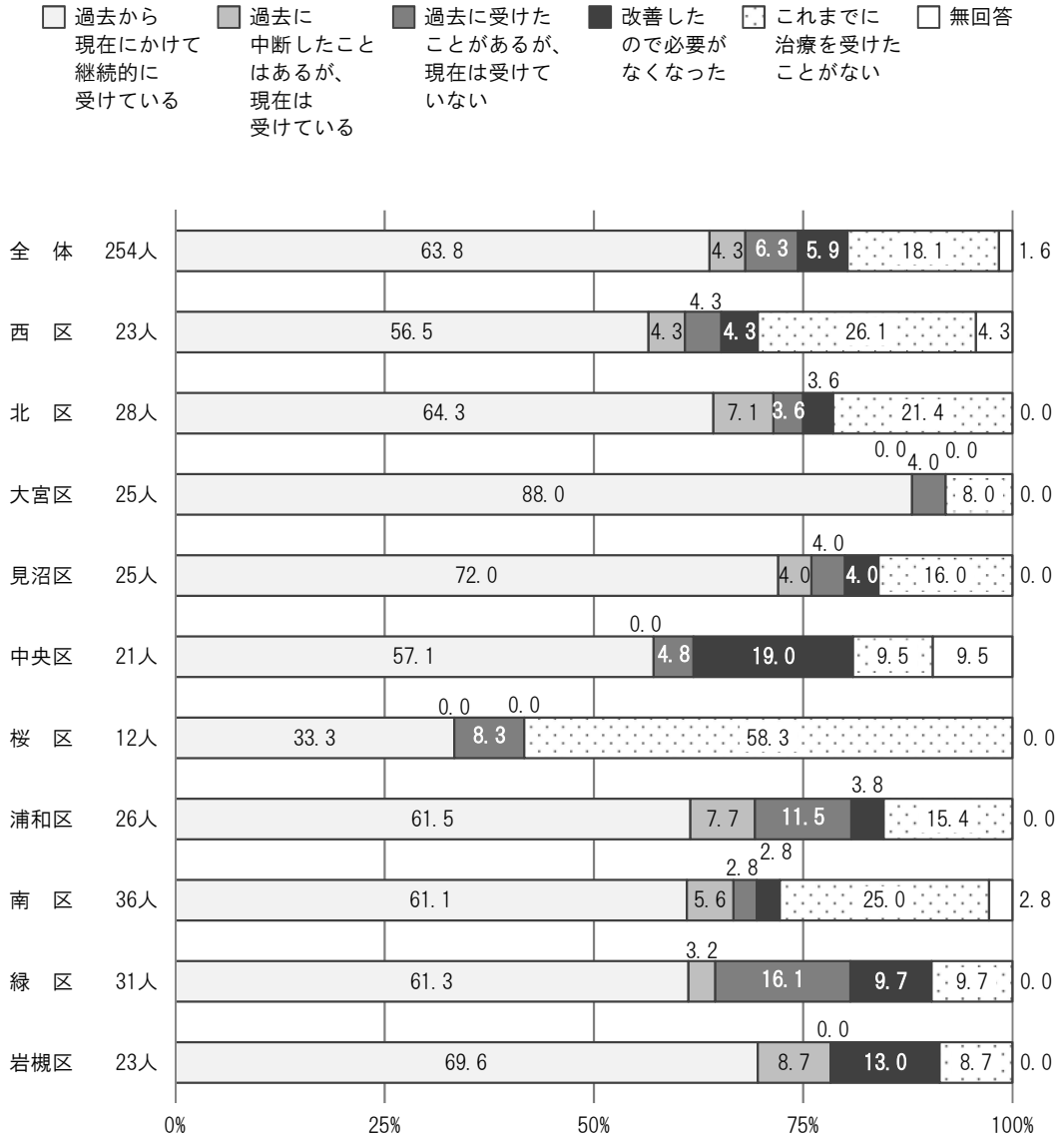
糖尿病の治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「自営業」で70.6%、「無職」で75.0%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「常勤就労」で28.6%、「非常勤就労」で24.2%となっています。

図 49-ア b.5 指摘後の治療状況_糖尿病〔就労状況別〕



糖尿病の治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「大宮区」で88.0%、「見沼区」で72.0%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「桜区」で58.3%となっています。

図 49-ア b.6 指摘後の治療状況_糖尿病〔居住区別〕



Ⅲ 調査結果

イ. 高血圧症

高血圧症については、「ある」が22.3%、「ない」が67.9%となっています。
 性別にみると、男性は「ある」が26.8%と、女性より8.3ポイント有意に高くなっています。
 H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-イ a.1 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔全体・性別〕**

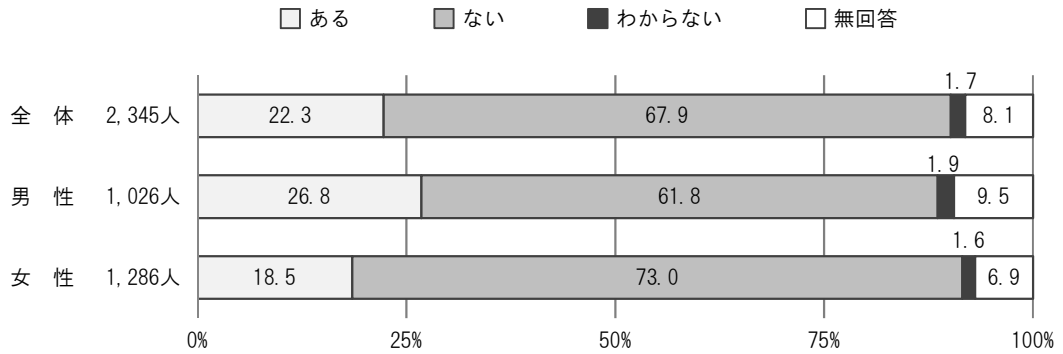
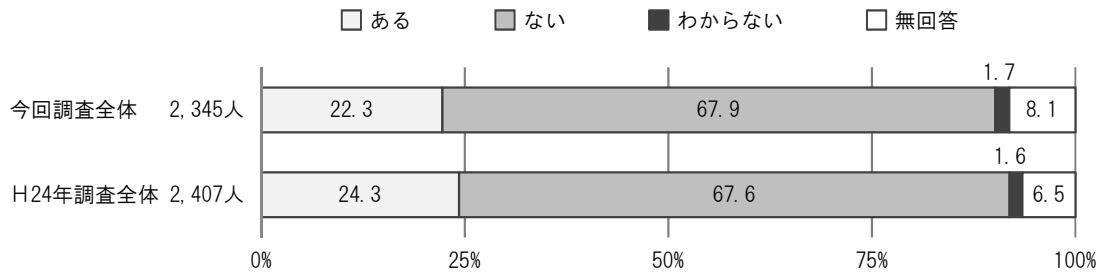
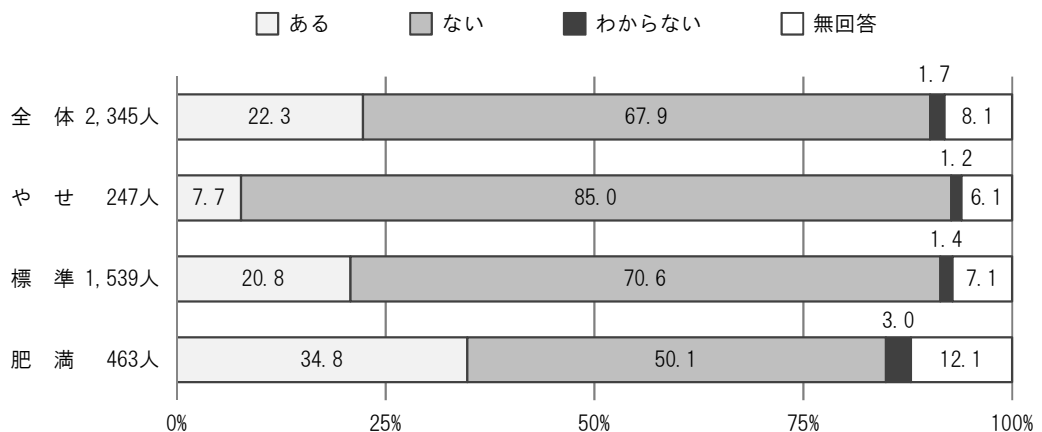


図 49-イ a.2 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔経年比較〕



高血圧症の指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で34.8%と他の肥満度より有意に高く、「ない」が「やせ」で85.0%、「標準」で70.6%と有意に高くなっています。

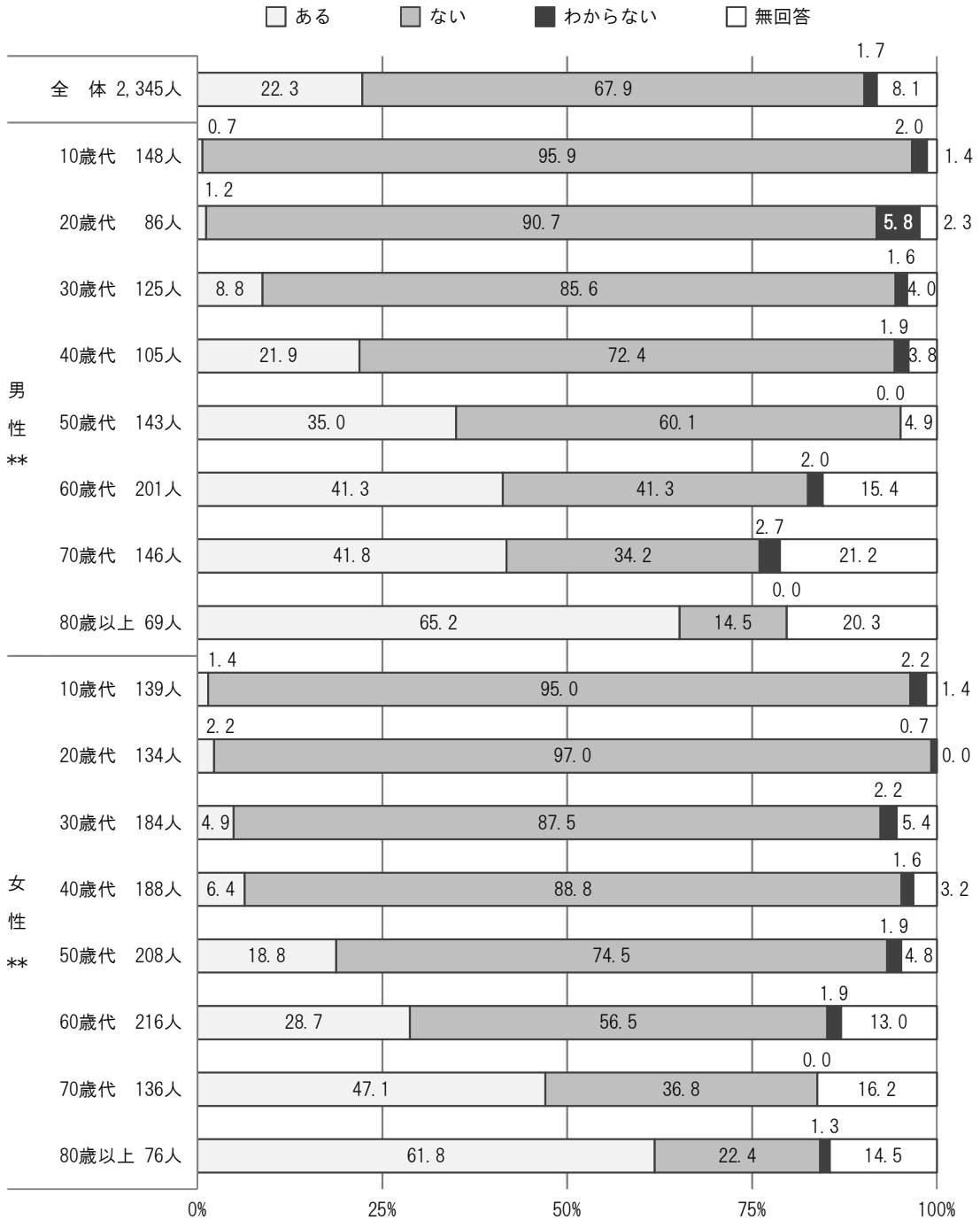
図 49-イ a.3 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔肥満度別〕**



高血圧症の指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で35.0%、「60歳代」で41.3%、「70歳代」で41.8%、「80歳以上」で65.2%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.9%、「20歳代」で90.7%、「30歳代」で85.6%と有意に高くなっています。

女性では「ある」が「60歳代」で28.7%、「70歳代」で47.1%、「80歳以上」で61.8%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.0%、「20歳代」で97.0%、「30歳代」で87.5%、「40歳代」で88.8%と有意に高くなっています。

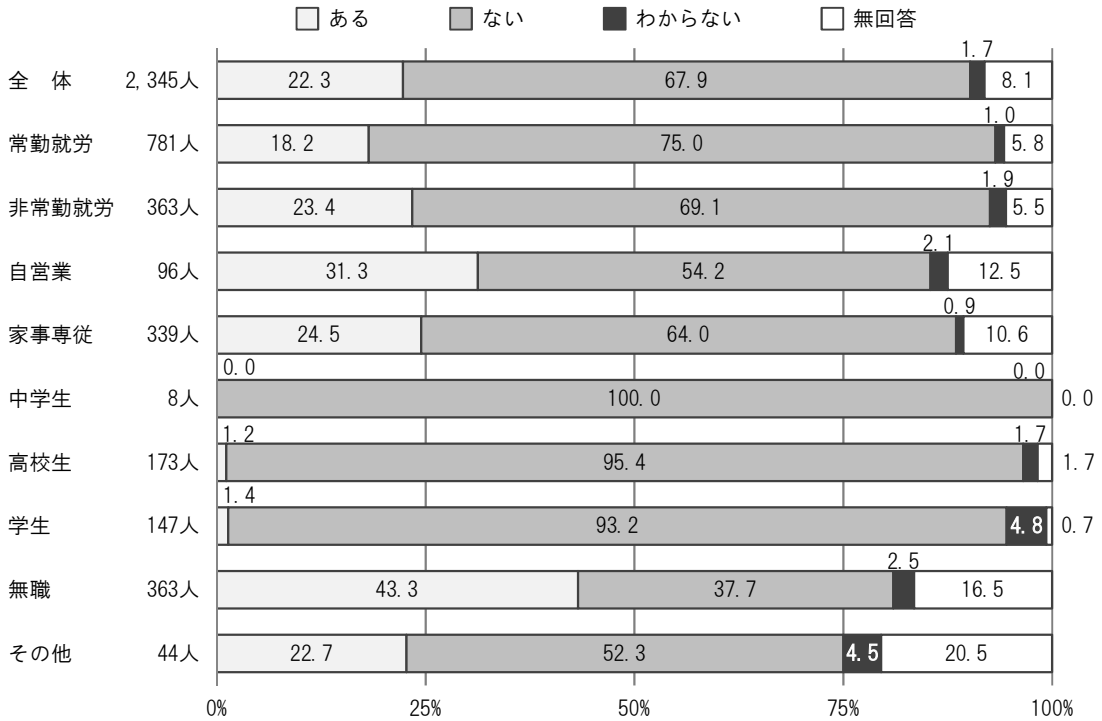
図 49-イ a.4 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

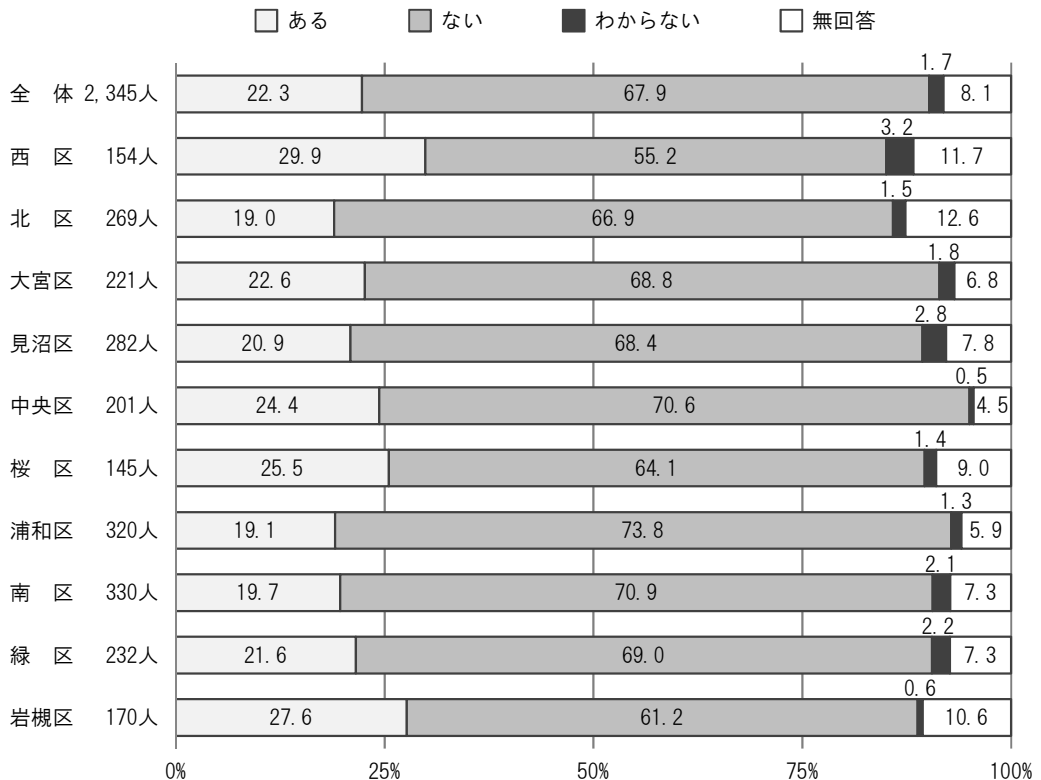
高血圧症の指摘について就労状況別にみると、「ある」が「自営業」で 31.3%、「無職」で 43.3%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「常勤就労」で 75.0%、「高校生」で 95.4%、「学生」で 93.2%と有意に高くなっています。

図 49-イ a. 5 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔就労状況別〕**



高血圧症の指摘について居住区別にみると、「ある」が「西区」で 29.9%、「岩槻区」で 27.6%となっており、「ない」が「浦和区」で 73.8%、「南区」で 70.9%となっています。

図 49-イ a. 6 健診や医療機関での指摘_高血圧症〔居住区別〕



治療状況については、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が74.3%と最も高く、次いで「これまでに治療を受けたことがない」が10.0%となっています。

治療状況を性別にみると、男性は「過去から現在にかけて継続的に受けている」が78.9%と、女性より9.2ポイント有意に高くなっています。

H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-イ b. 1 指摘後の治療状況_高血圧症〔全体・性別〕**

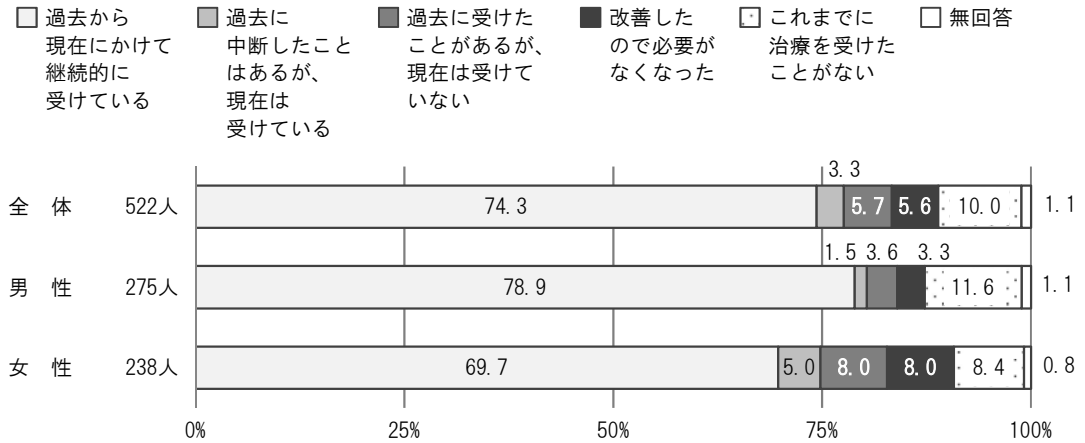
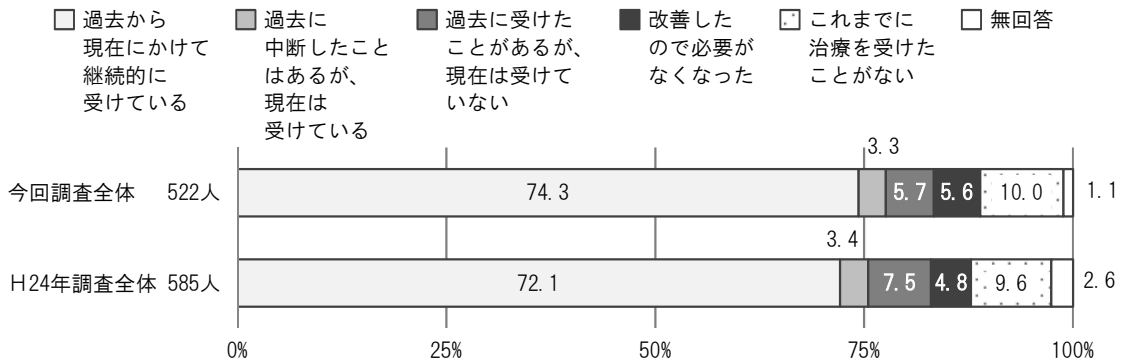
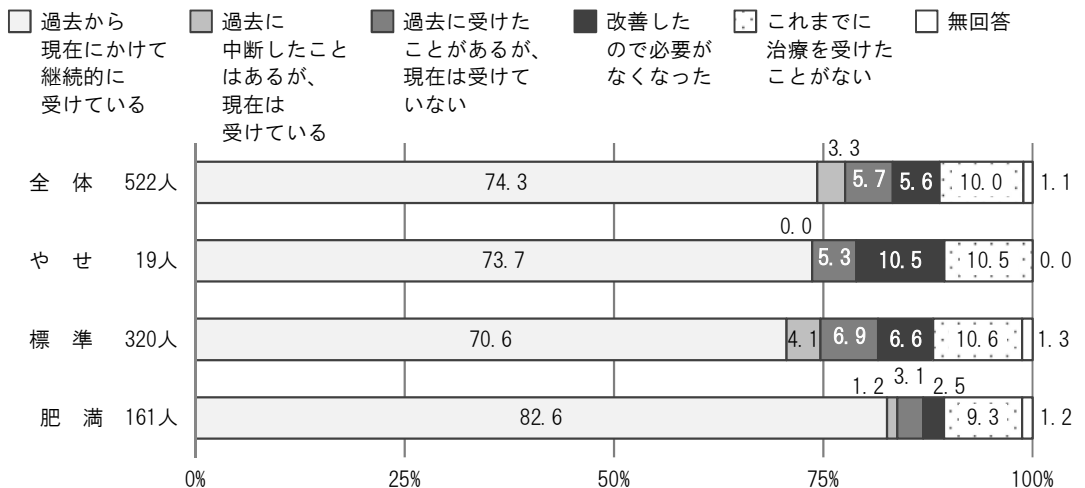


図 49-イ b. 2 指摘後の治療状況_高血圧症〔経年比較〕



高血圧症の治療状況を肥満度別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「肥満」で82.6%となっています。

図 49-イ b. 3 指摘後の治療状況_高血圧症〔肥満度別〕

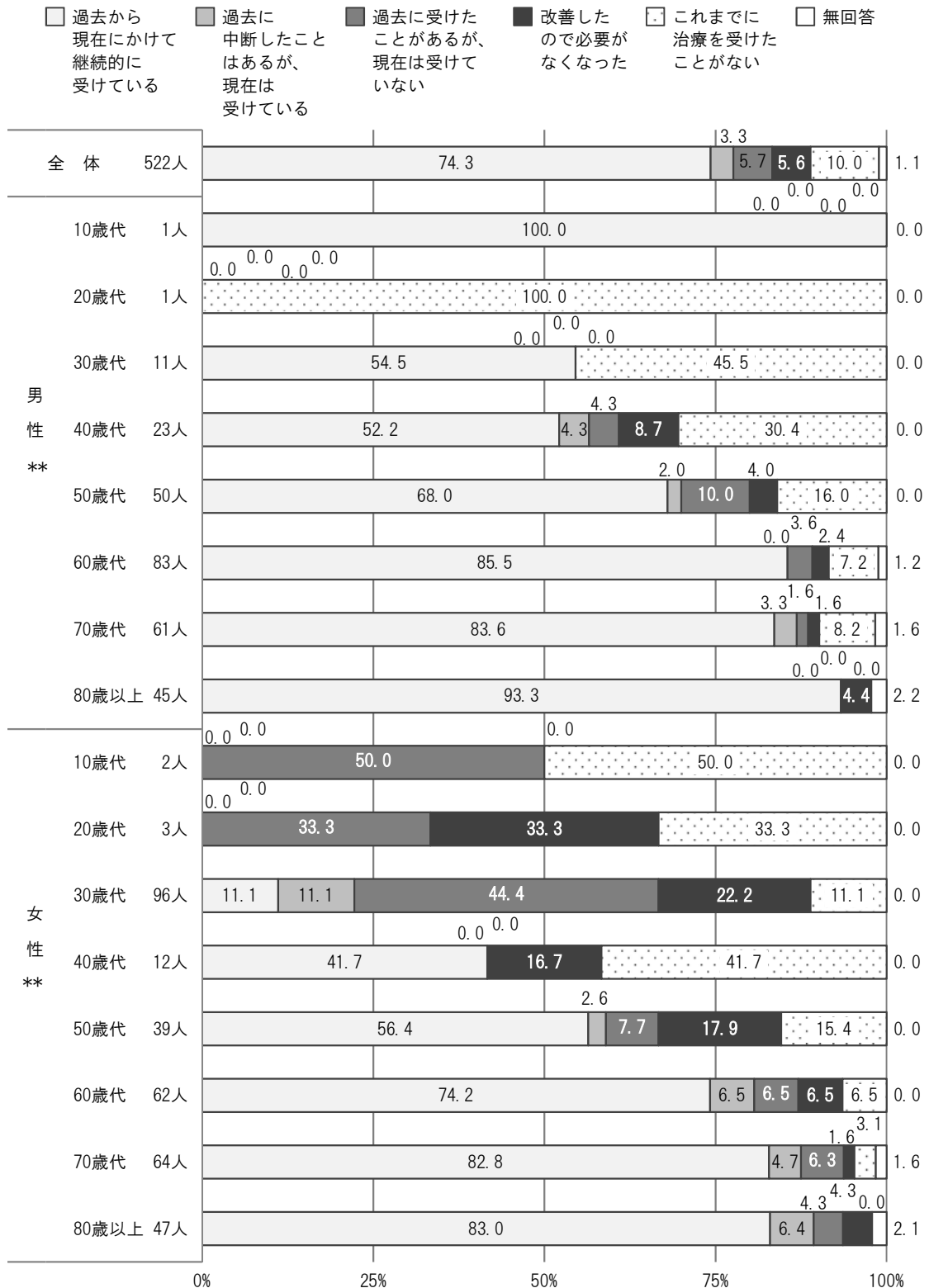


Ⅲ 調査結果

高血圧症の治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で45.5%、「40歳代」で30.4%と他の年代より有意に高く、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「80歳以上」で93.3%と有意に高くなっています。

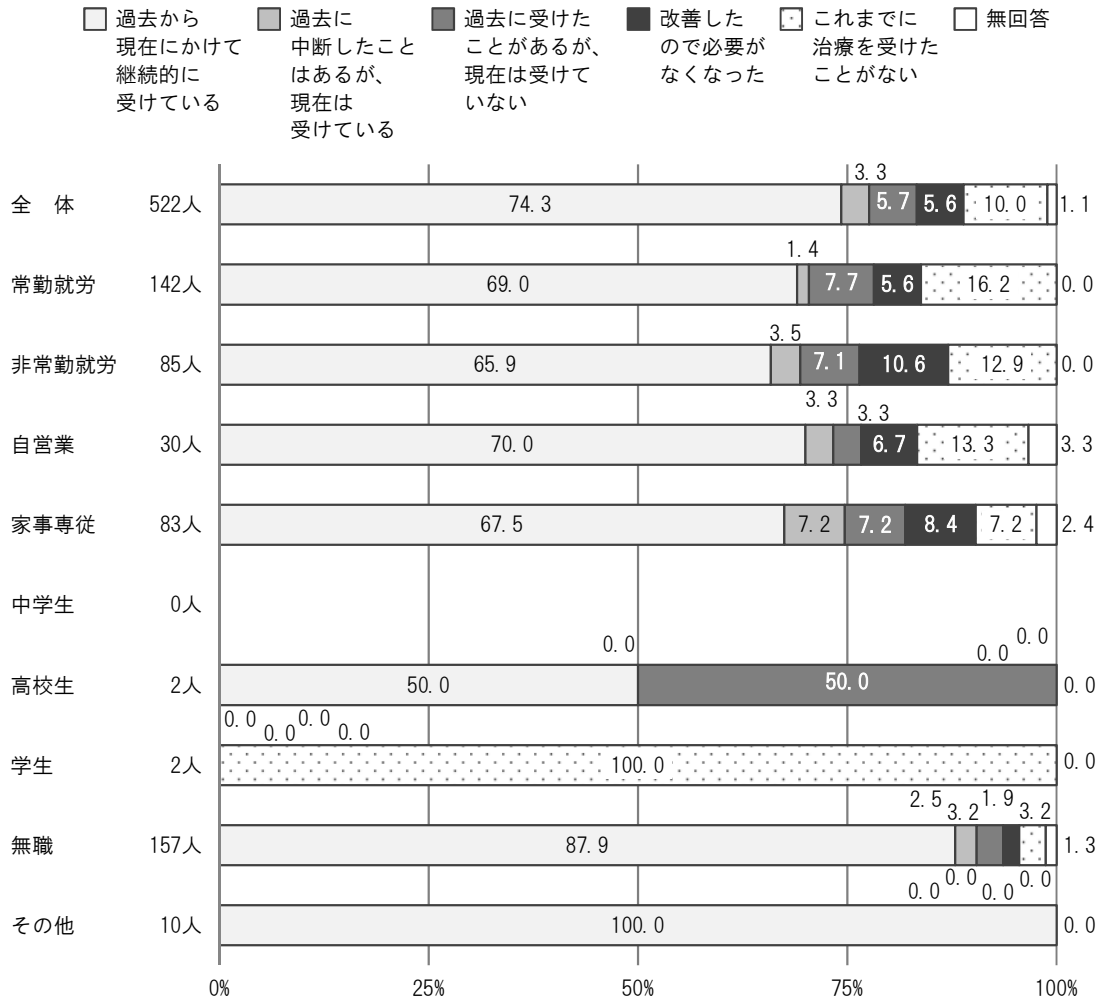
女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で82.8%、「80歳以上」で83.0%と有意に高くなっています。

図 49-イ b. 4 指摘後の治療状況_高血圧症〔性・年代別〕



高血圧症の治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で 87.9%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「常勤就労」で 16.2%、「自営業」で 13.3%となっています。

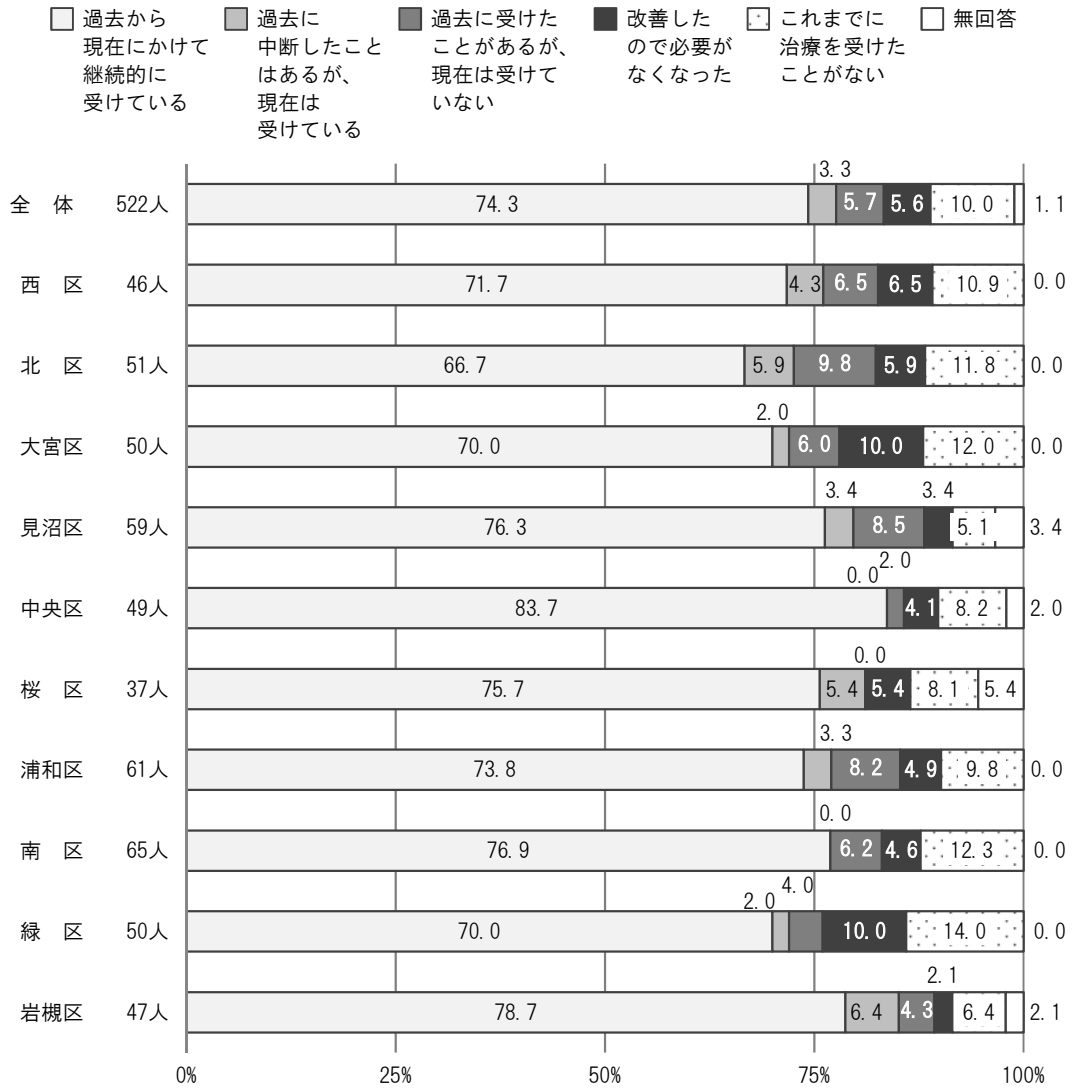
図 49-イ b.5 指摘後の治療状況_高血圧症〔就労状況別〕



Ⅲ 調査結果

高血圧症の治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「中央区」で83.7%、「岩槻区」で78.7%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「緑区」で14.0%となっています。

図 49-イ b.6 指摘後の治療状況_高血圧症〔居住区別〕



ウ. 脂質異常症

脂質異常症については、「ある」が26.2%、「ない」が62.9%となっています。
性別にみると、男性は「ない」が59.6%と、女性より6.0ポイント低くなっています。
H24年調査と比較すると、大きな差はありません。

図 49-ウ a.1 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【全体・性別】

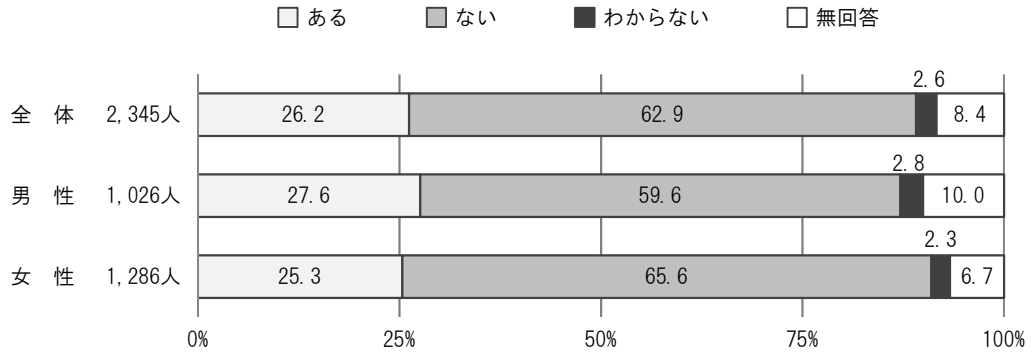
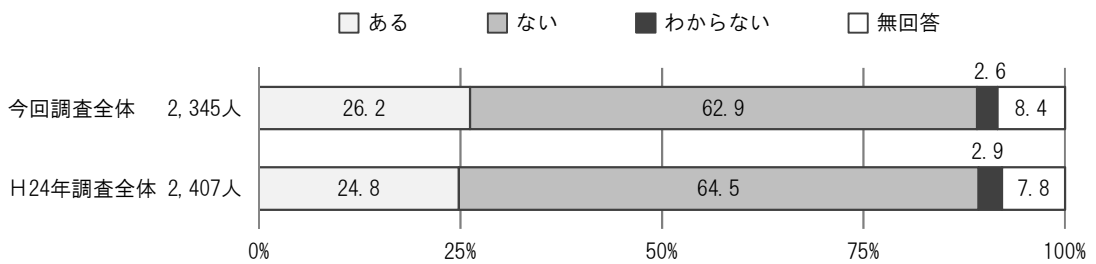
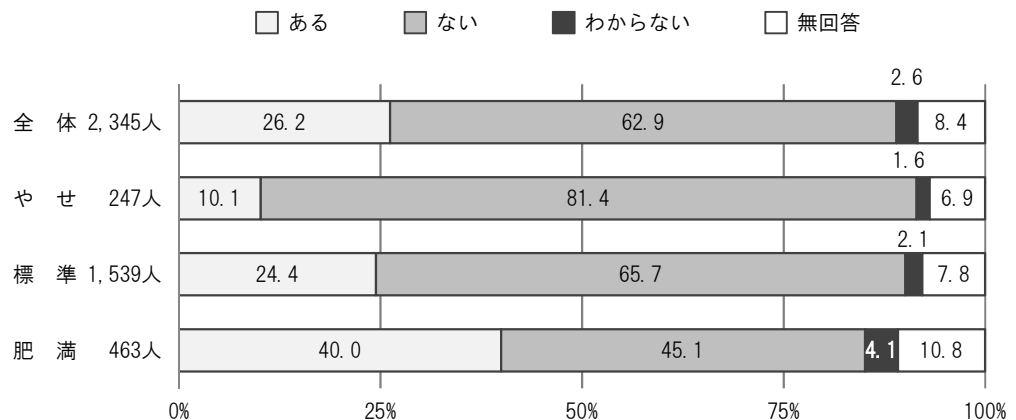


図 49-ウ a.2 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【経年比較】



脂質異常症の指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で40.0%と有意に高く、「ない」が「やせ」で81.4%、「標準」で65.7%と他の肥満度より有意に高くなっています。

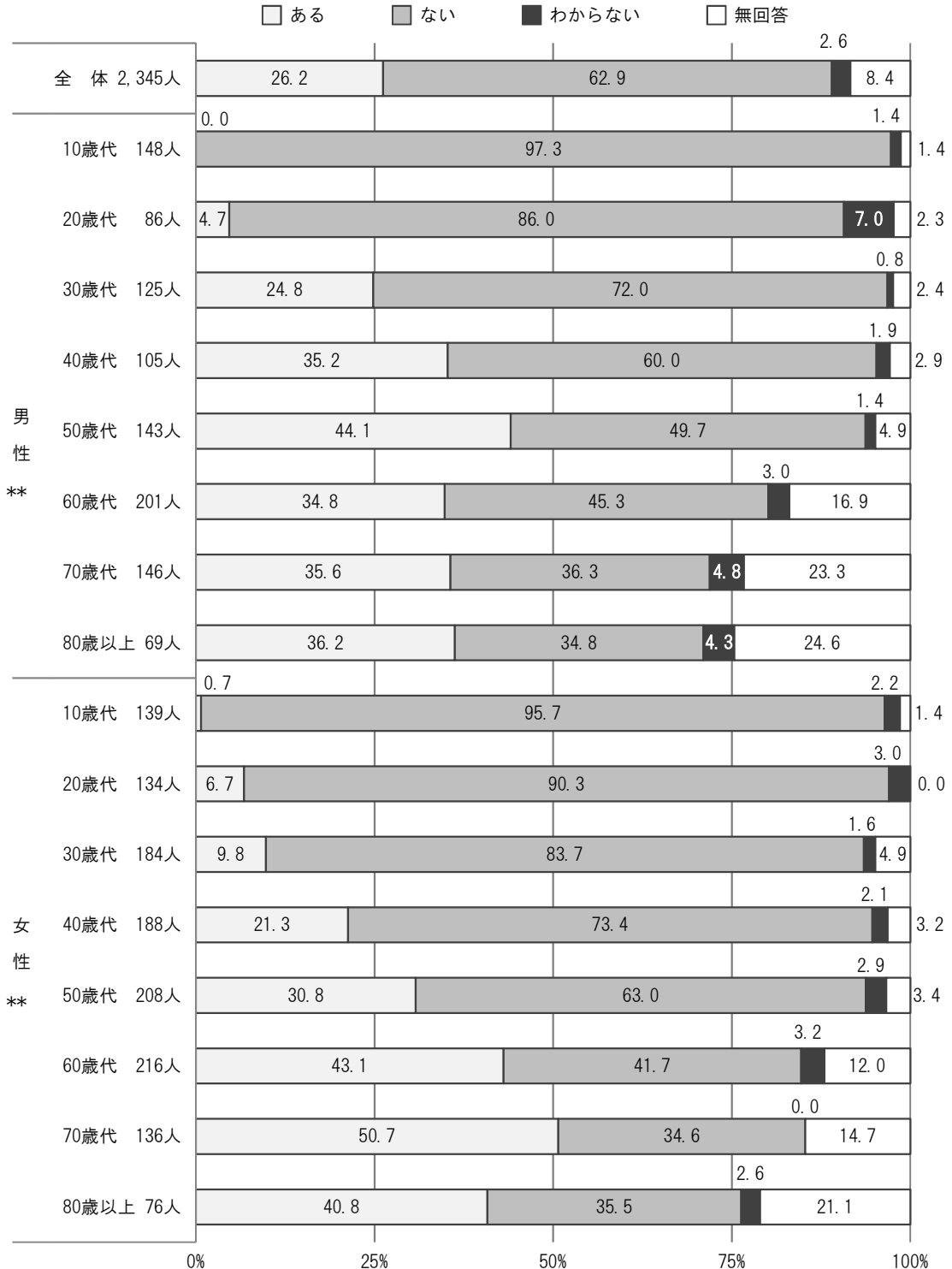
図 49-ウ a.3 健診や医療機関での指摘_脂質異常症【肥満度別】**



Ⅲ 調査結果

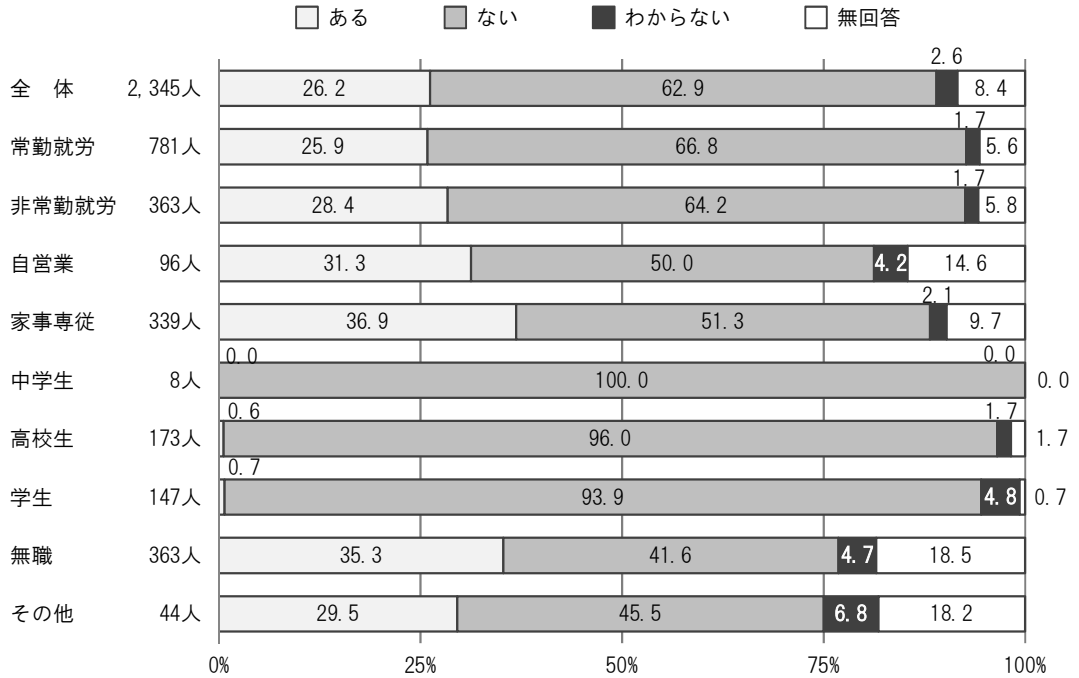
脂質異常症の指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で44.1%、「60歳代」で34.8%、「70歳代」で35.6%、「80歳以上」で36.2%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で97.3%、「20歳代」で86.0%と有意に高くなっています。
 女性では「ある」が「60歳代」で43.1%、「70歳代」で50.7%、「80歳以上」で40.8%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で95.7%、「20歳代」で90.3%、「30歳代」で83.7%と有意に高くなっています。

図 49-ウ a.4 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔性・年代別〕



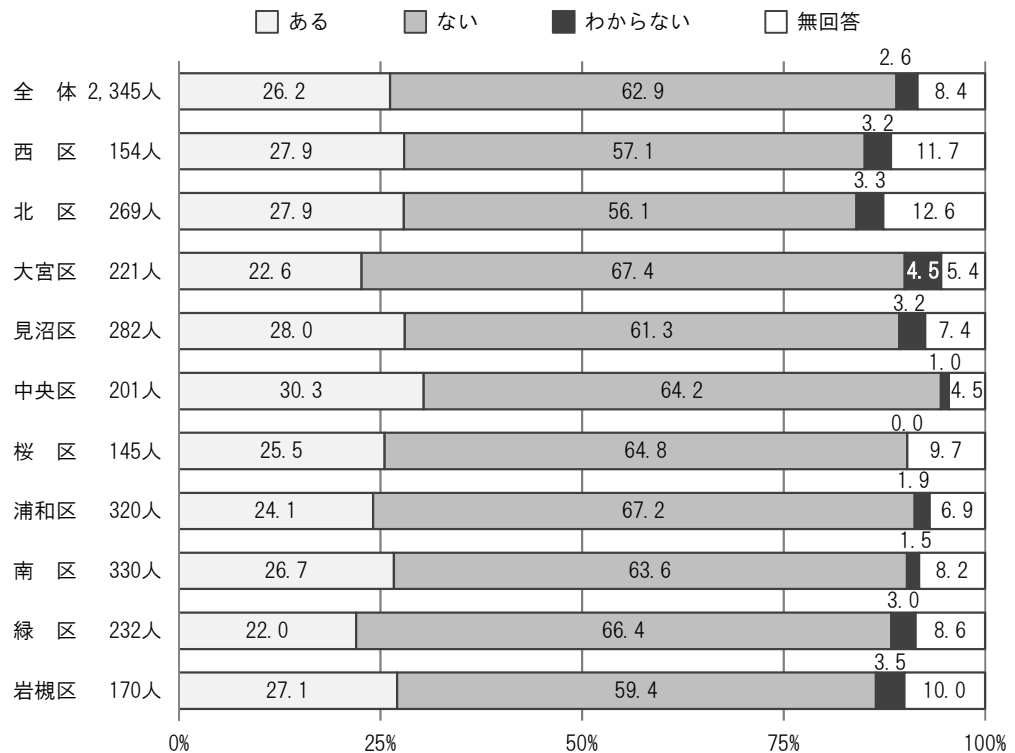
脂質異常症の指摘について就労状況別にみると、「ある」が「家事専従」で36.9%、「無職」で35.3%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「高校生」で96.0%、「学生」で93.9%と有意に高くなっています。

図 49-ウ a. 5 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔就労状況別〕**



脂質異常症の指摘について居住区別にみると、「ある」が「中央区」で30.3%、「見沼区」で28.0%となっており、「ない」が「大宮区」で67.4%、「浦和区」で67.2%となっています。

図 49-ウ a. 6 健診や医療機関での指摘_脂質異常症〔居住区別〕



Ⅲ 調査結果

治療状況については、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が50.7%と最も高く、次いで「これまでに治療を受けたことがない」が28.7%となっています。

治療状況を性別にみると、女性は「これまでに治療を受けたことがない」が31.9%と、男性より6.5ポイント高くなっています。

H24年調査と比較すると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が7.7ポイント増加しています。

図 49-ウ b.1 指摘後の治療状況_脂質異常症〔全体・性別〕

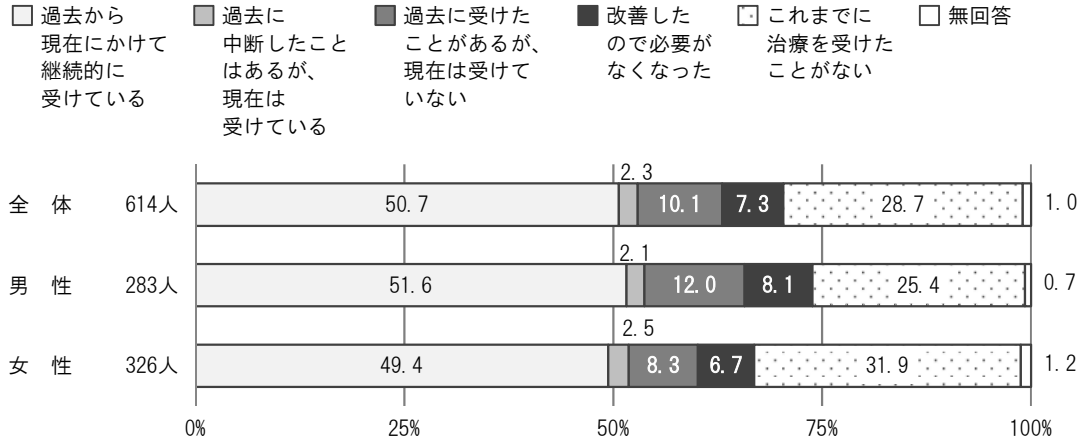
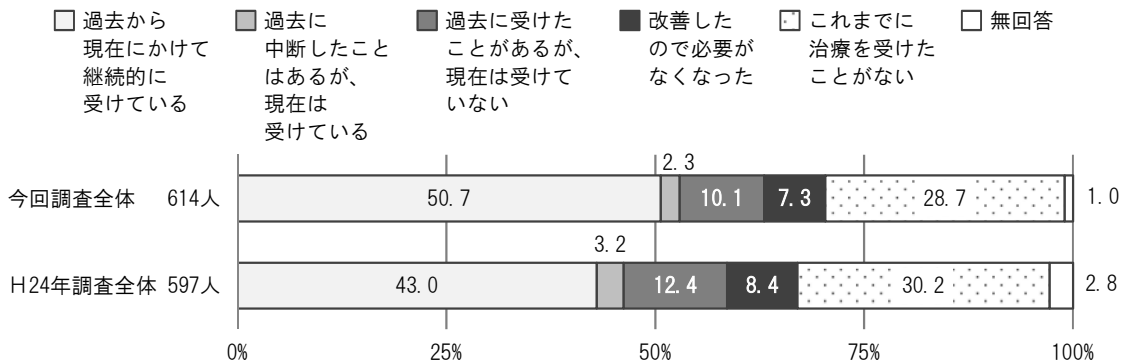
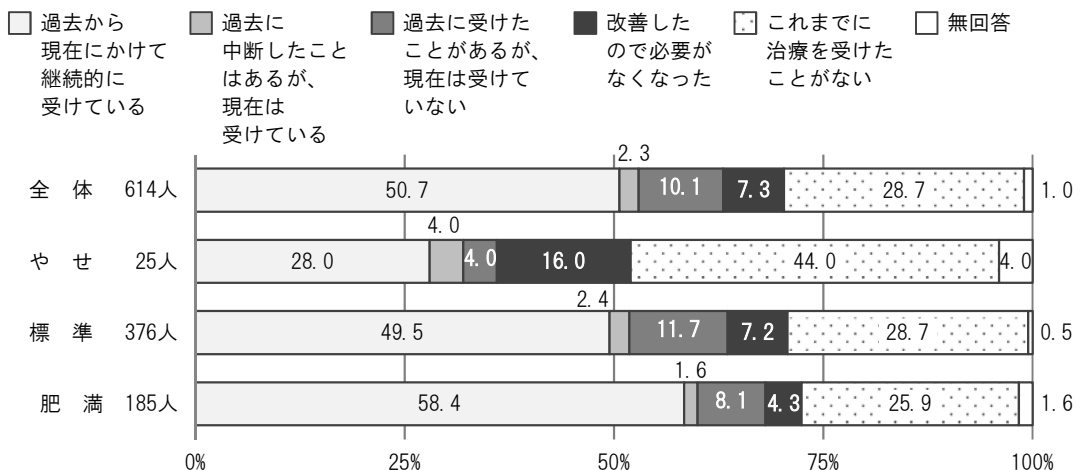


図 49-ウ b.2 指摘後の治療状況_脂質異常症〔経年比較〕



脂質異常症の治療状況を肥満度別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「肥満」で58.4%と他の肥満度より有意に高く、「改善したので必要がなくなった」が「やせ」で16.0%と有意に高くなっています。

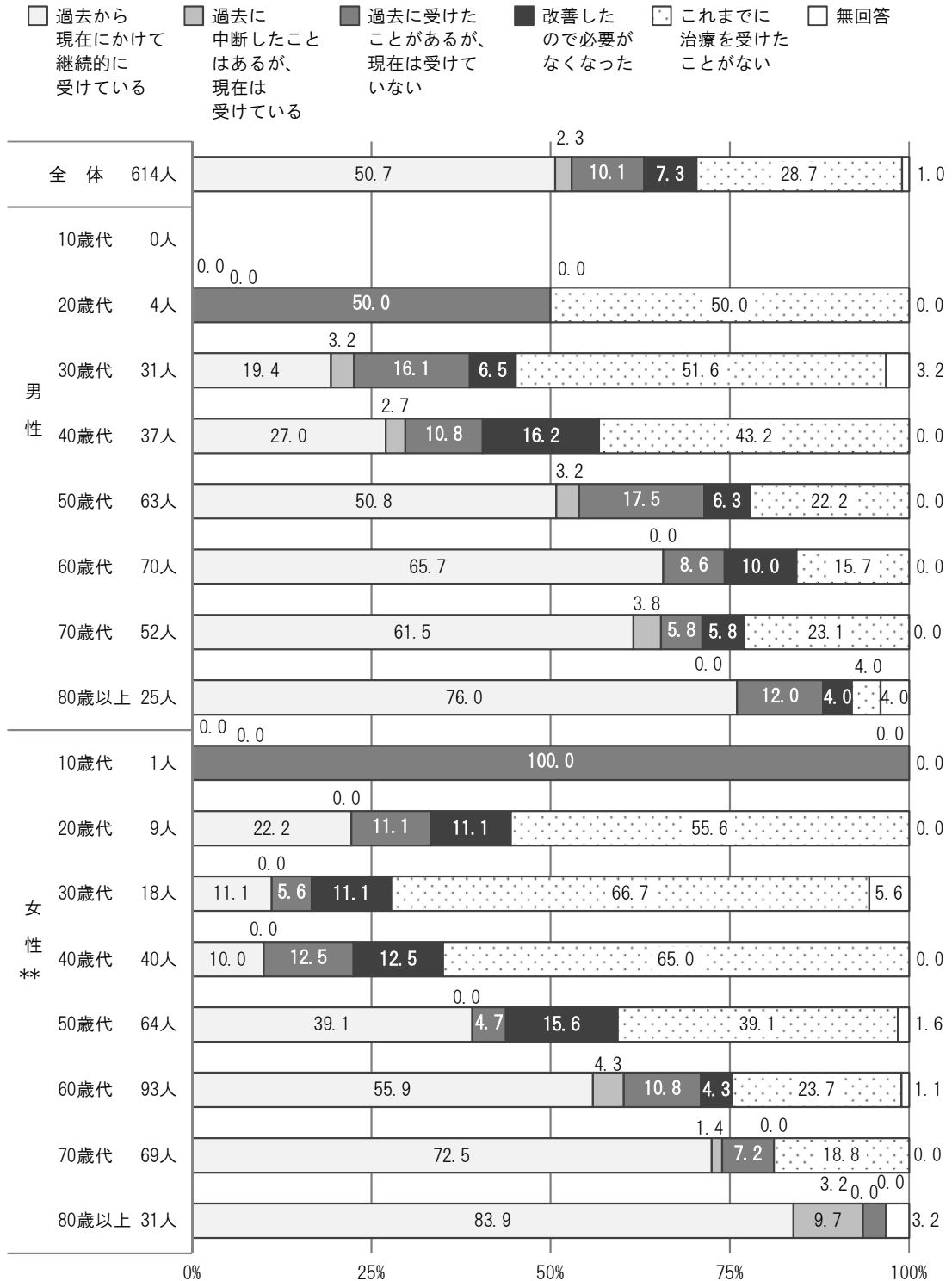
図 49-ウ b.3 指摘後の治療状況_脂質異常症〔肥満度別〕*



脂質異常症の治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で51.6%となっており、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「60歳代」で65.7%、「70歳代」で61.5%、「80歳以上」で76.0%となっています。

女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で72.5%、「80歳以上」で83.9%と他の年代より有意に高く、「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で66.7%、「40歳代」で65.0%と有意に高くなっています。

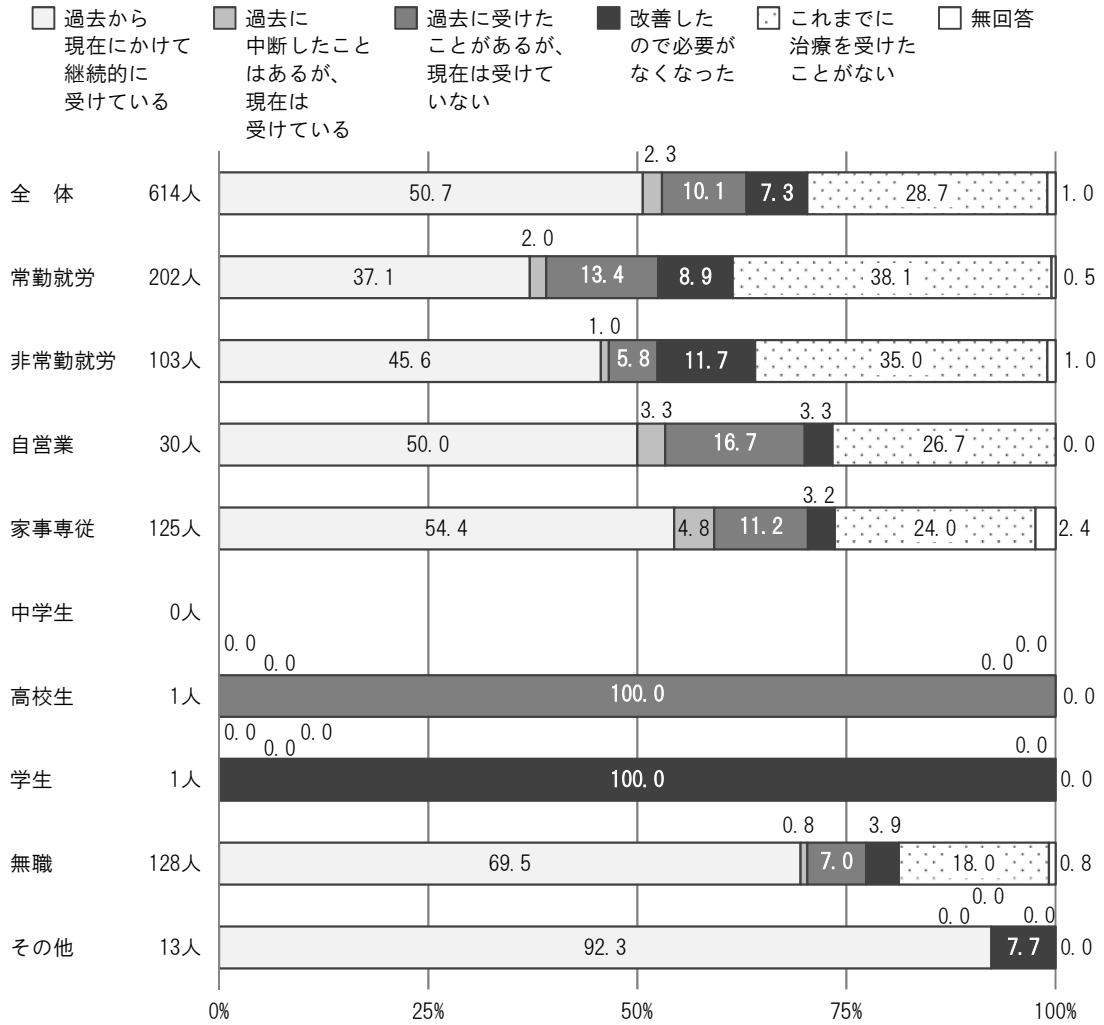
図 49-ウ b.4 指摘後の治療状況_脂質異常症〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

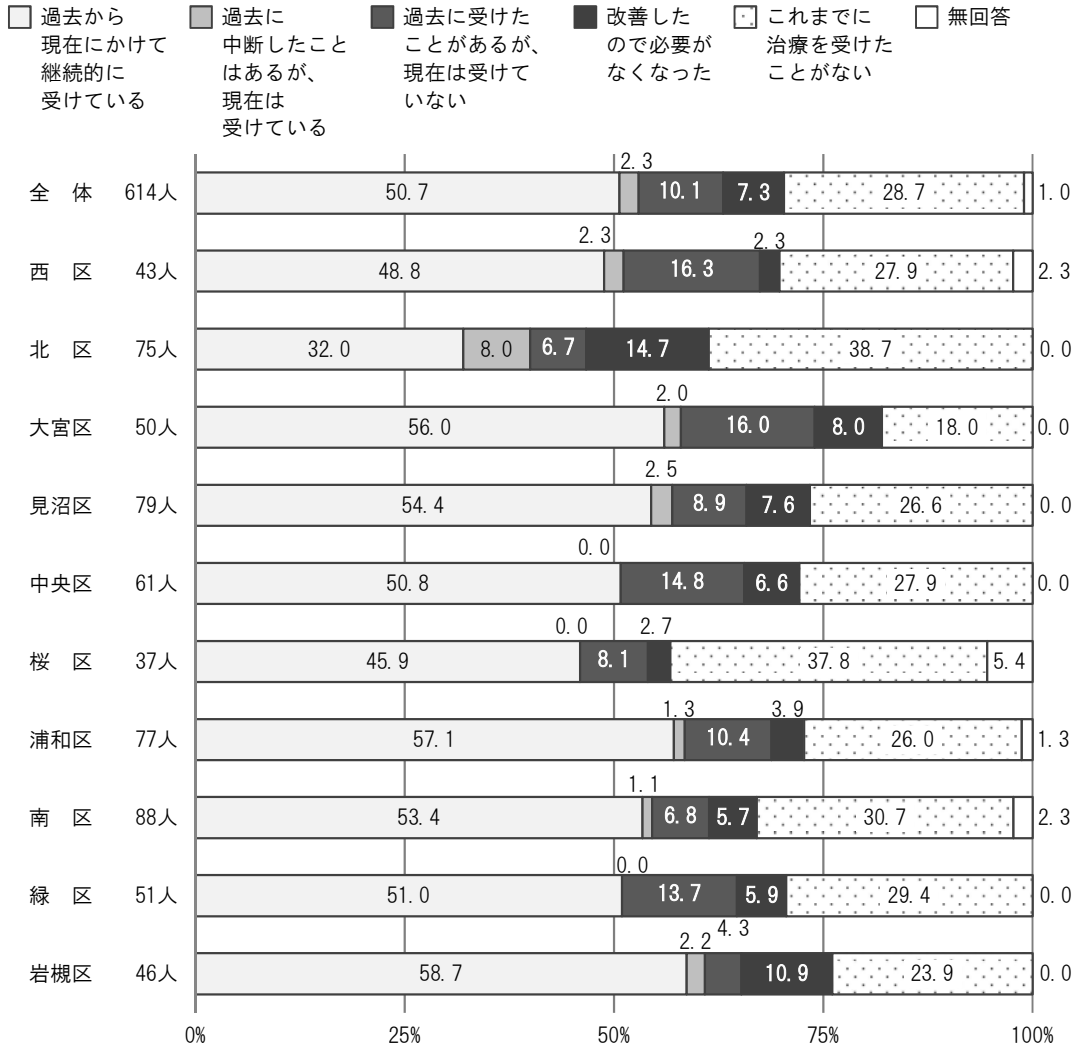
脂質異常症の治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で69.5%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「常勤就労」で38.1%、「非常勤就労」で35.0%となっています。

図 49-ウ b.5 指摘後の治療状況_脂質異常症〔就労状況別〕



脂質異常症の治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「岩槻区」で58.7%、「大宮区」で56.0%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「北区」で38.7%、「桜区」で37.8%となっています。

図 49-ウ b.6 指摘後の治療状況_脂質異常症〔居住区別〕



Ⅲ 調査結果

エ. メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームについては、「ある」が15.2%、「ない」が71.1%となっています。
 性別にみると、男性は「ある」が23.3%と、女性より14.4ポイント有意に高くなっています。
 H24年調査と比較すると、「ある」が2.9ポイント有意に増加しています。

図 49-エ a.1 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔全体・性別〕**

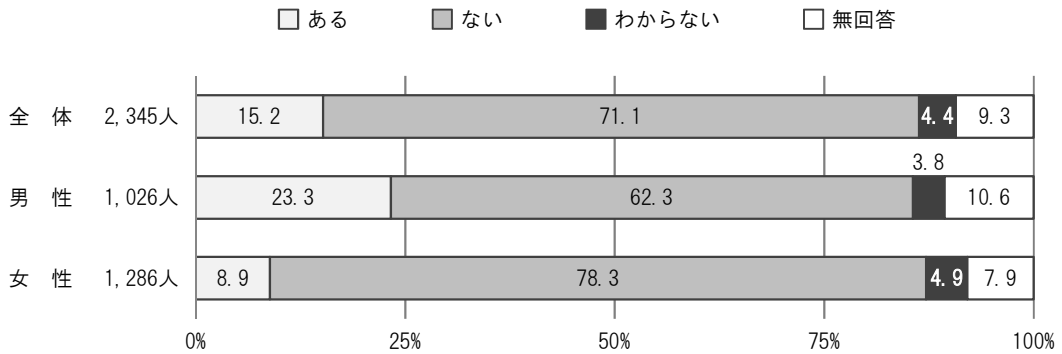
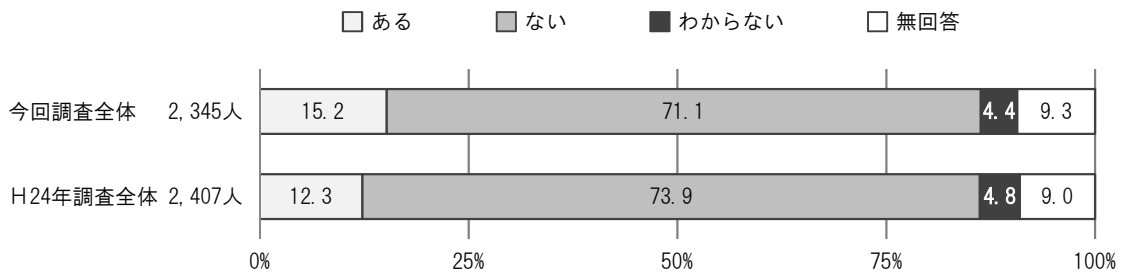
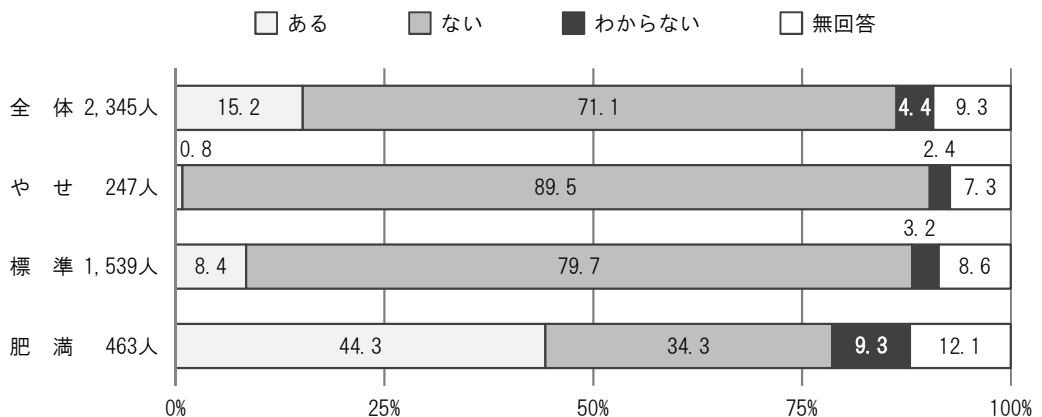


図 49-エ a.2 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔経年比較〕**



メタボリックシンドロームの指摘について肥満度別にみると、「ある」が「肥満」で44.3%と有意に高く、「ない」が「やせ」で89.5%、「標準」で79.7%と他の肥満度より有意に高くなっています。

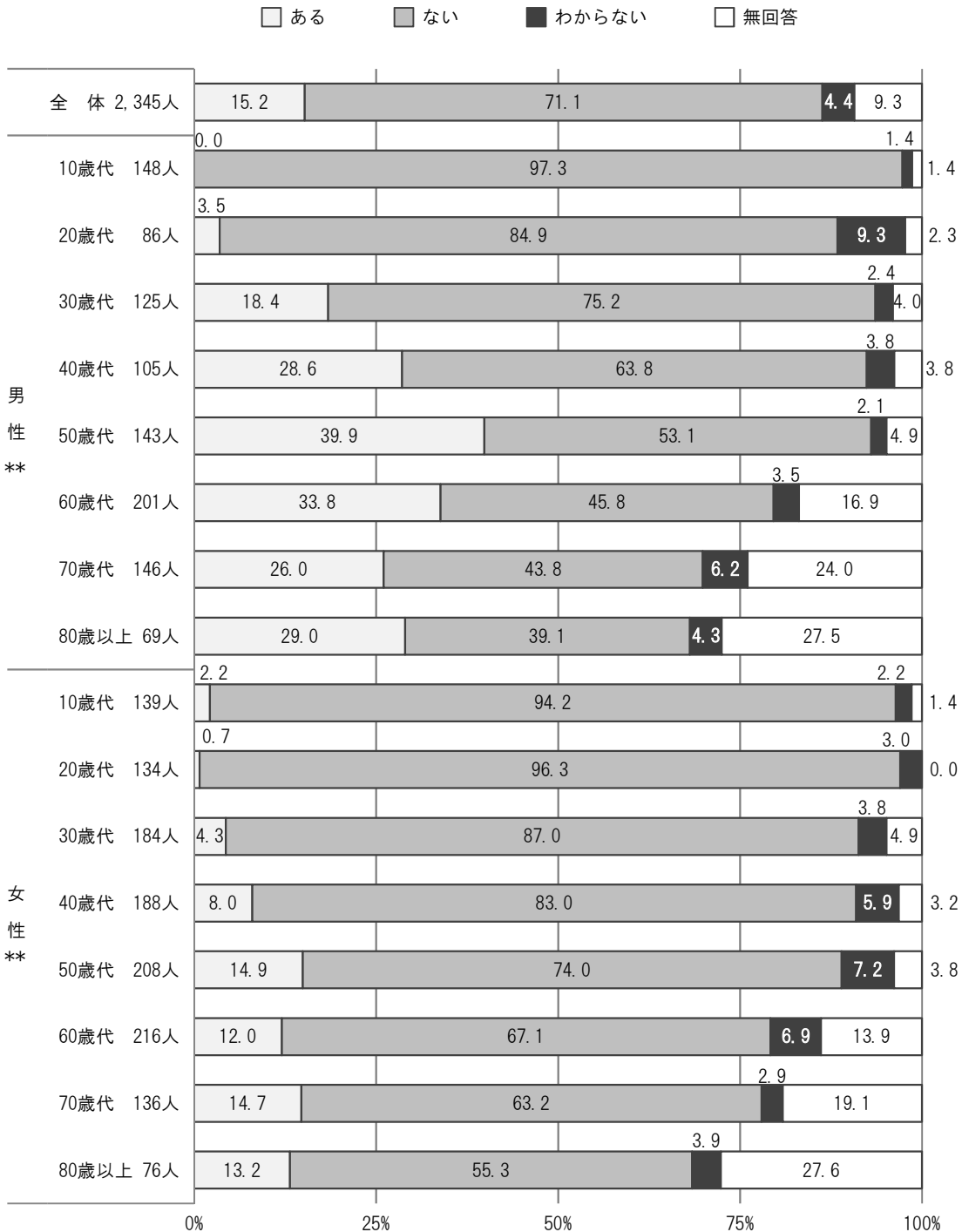
図 49-エ a.3 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔肥満度別〕**



メタボリックシンドロームの指摘について性・年代別にみると、男性では「ある」が「50歳代」で39.9%、「60歳代」で33.8%、「70歳代」で26.0%、「80歳以上」で29.0%と他の年代より有意に高く、「ない」が「10歳代」で97.3%、「20歳代」で84.9%、「30歳代」で75.2%と有意に高くなっています。

女性では「ある」が「50歳代」で14.9%、「60歳代」で12.0%、「70歳代」で14.7%、「80歳以上」で13.2%と有意に高く、「ない」が「10歳代」で94.2%、「20歳代」で96.3%、「30歳代」で87.0%と有意に高くなっています。

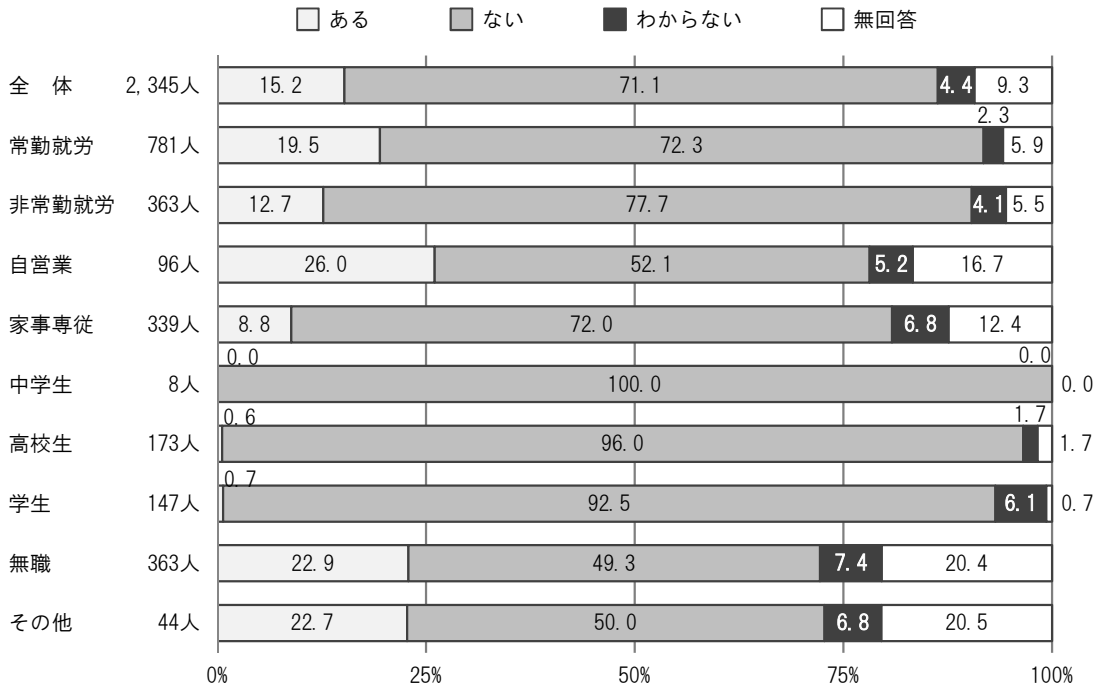
図 49-エ a. 4 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔性・年代別〕



Ⅲ 調査結果

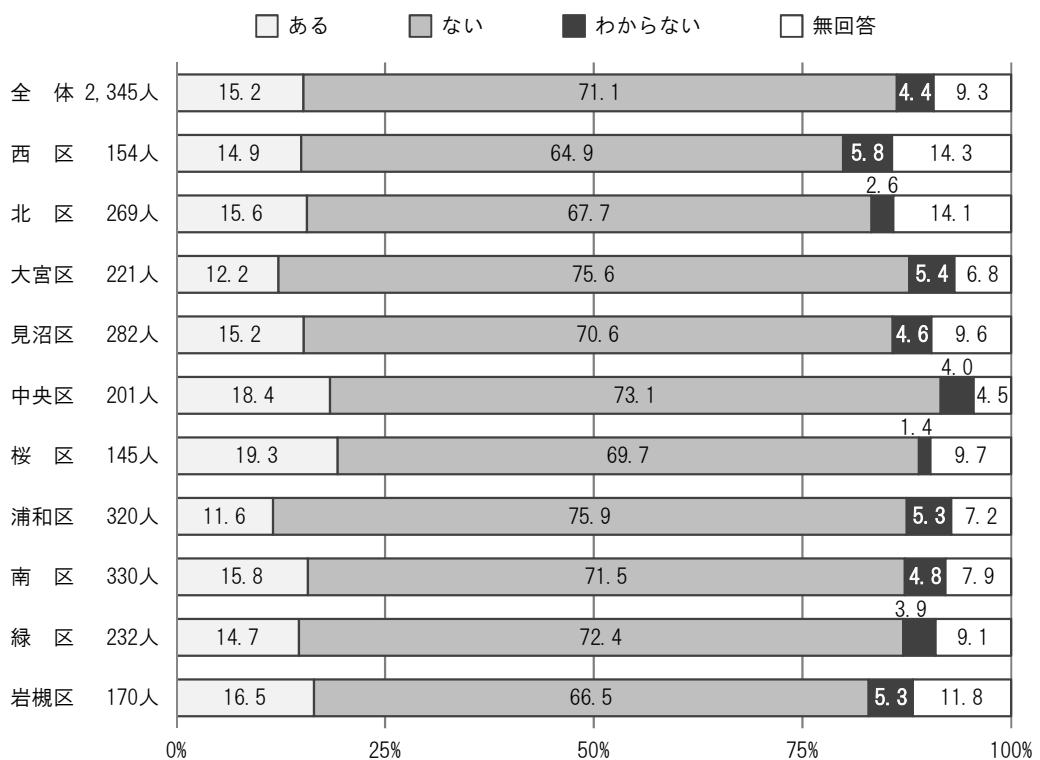
メタボリックシンドロームの指摘について就労状況別にみると、「ある」が「自営業」で26.0%、「無職」で22.9%、「常勤就労」で19.5%と他の就労状況より有意に高く、「ない」が「高校生」で96.0%、「学生」で92.5%と有意に高くなっています。

図 49-エ a. 5 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔就労状況別〕**



メタボリックシンドロームの指摘について居住区別にみると、「ある」が「桜区」で19.3%、「中央区」で18.4%となっており、「ない」が「浦和区」で75.9%、「大宮区」で75.6%となっています。

図 49-エ a. 6 健診や医療機関での指摘_メタボリックシンドローム〔居住区別〕



治療状況については、「これまでに治療を受けたことがない」が36.8%と最も高く、次いで「過去から現在にかけて継続的に受けている」が32.9%となっています。

治療状況を性別にみると、女性は「これまでに治療を受けたことがない」が46.5%と、男性より13.9ポイント高くなっています。

H24年調査と比較すると、「これまでに治療を受けたことがない」が4.4ポイント増加しています。

図 49-エ b.1 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔全体・性別〕

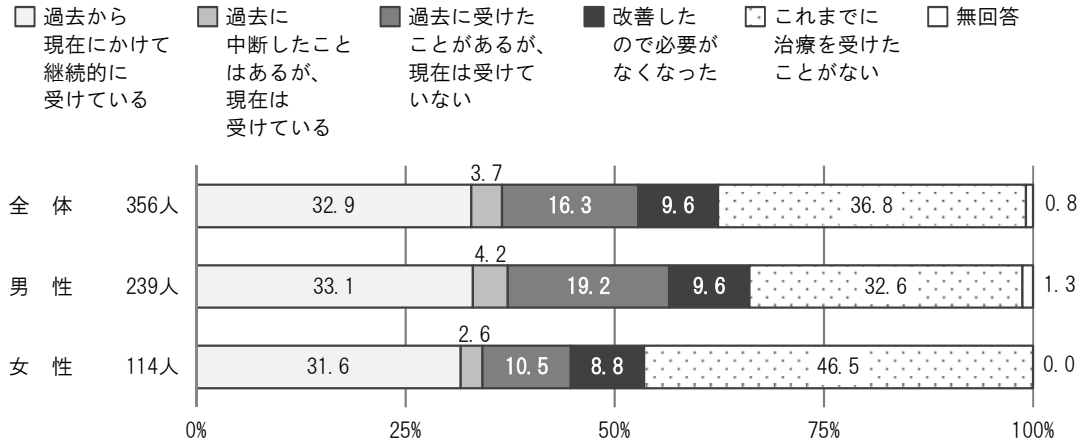
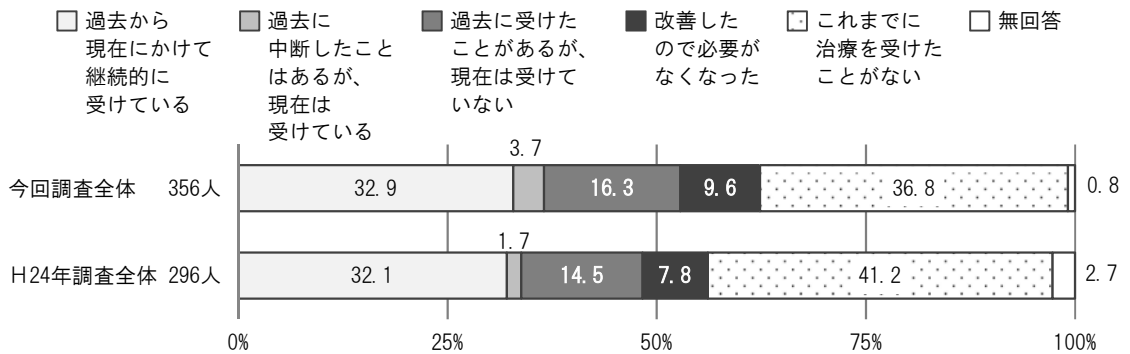
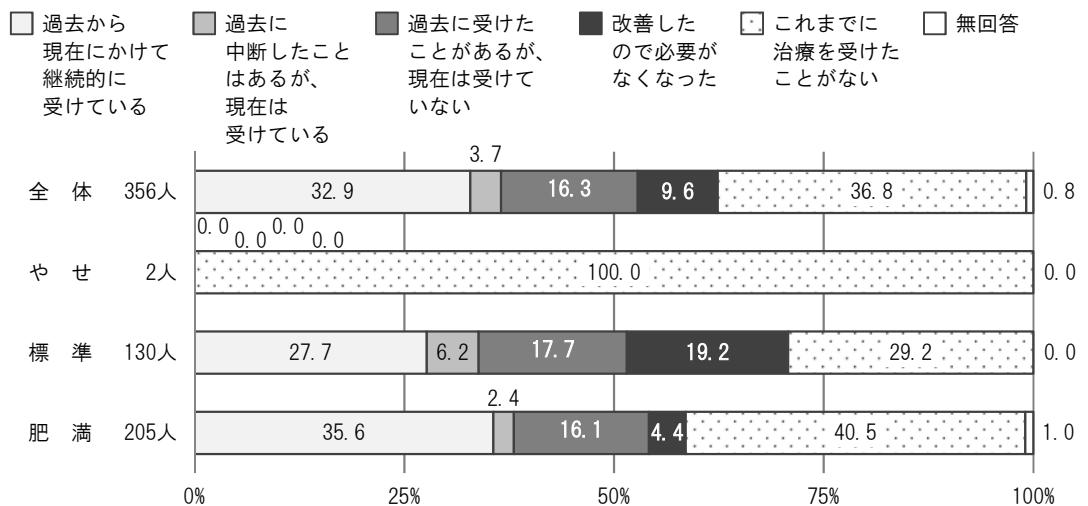


図 49-エ b.2 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔経年比較〕



メタボリックシンドロームの治療状況を肥満度別にみると、「これまでに治療を受けたことがない」が「肥満」で40.5%と他の肥満度より有意に高く、「改善したので必要がなくなった」が「標準」で19.2%と有意に高くなっています。

図 49-エ b.3 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔肥満度別〕**

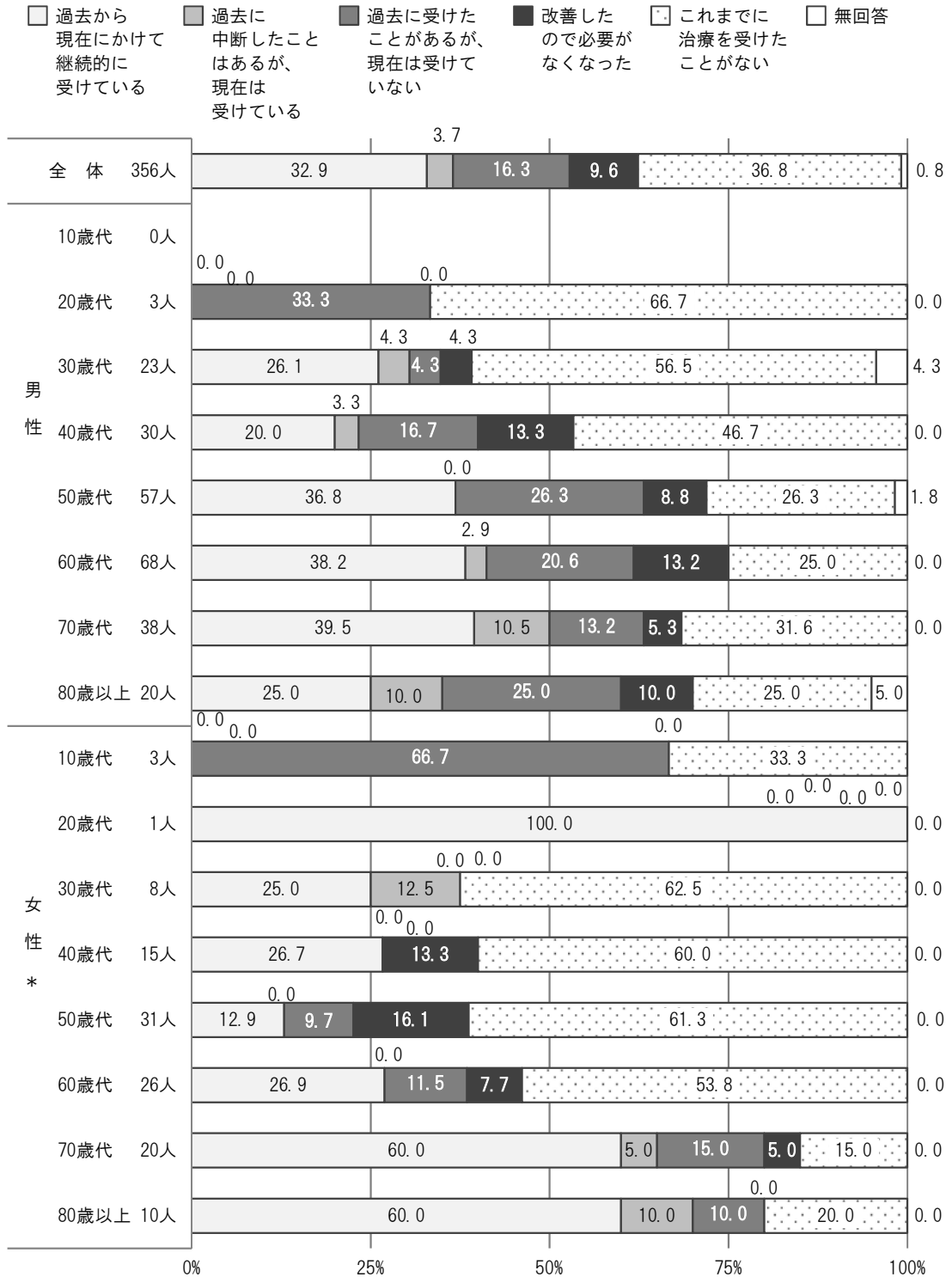


Ⅲ 調査結果

メタボリックシンドロームの治療状況を性・年代別にみると、男性では「これまでに治療を受けたことがない」が「30歳代」で56.5%となっており、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「50歳代」で36.8%、「60歳代」で38.2%、「70歳代」で39.5%となっています。

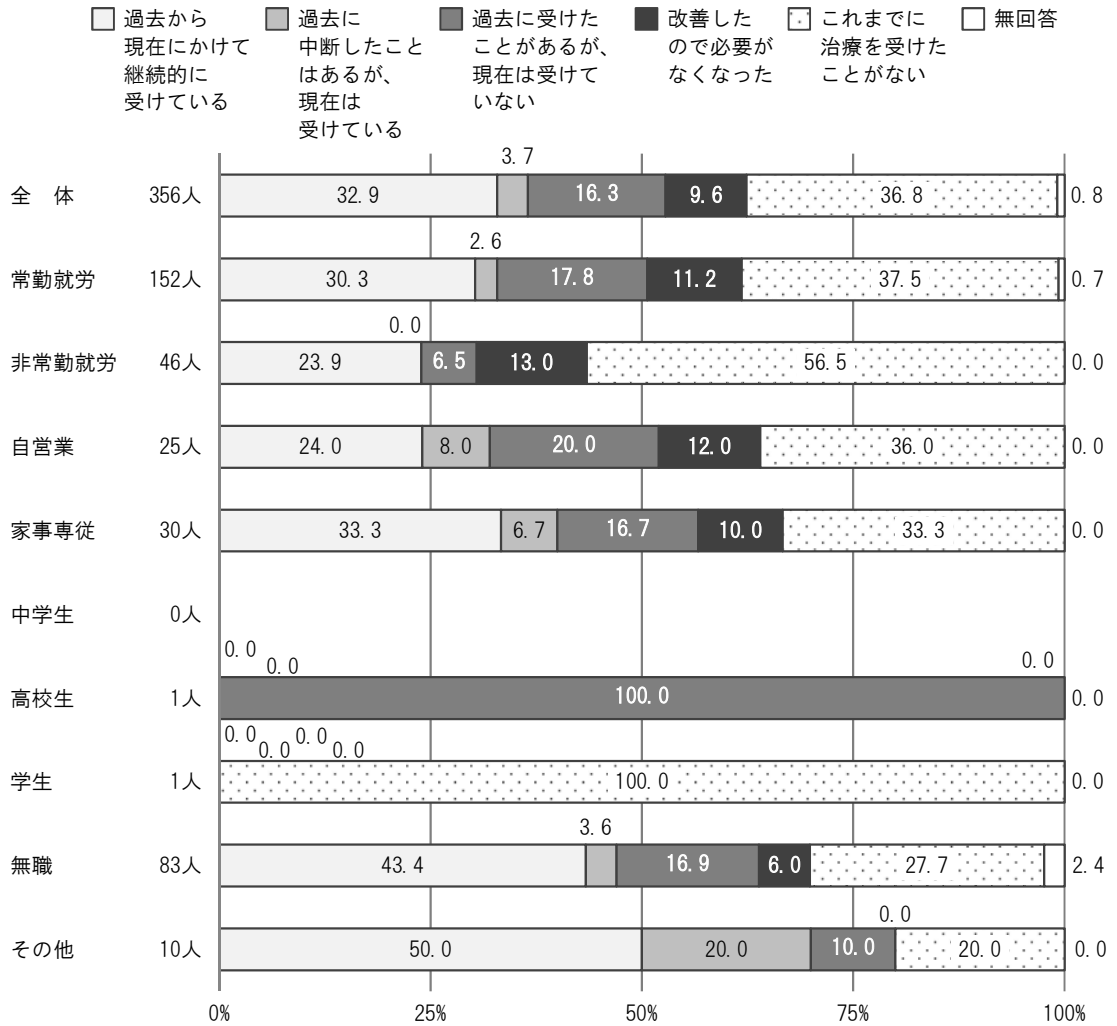
女性では「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「70歳代」で60.0%、「80歳以上」で60.0%と他の年代より有意に高くなっています。

図 49-エ b. 4 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム【性・年代別】



メタボリックシンドロームの治療状況を就労状況別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「無職」で43.4%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「非常勤就労」で56.5%となっています。

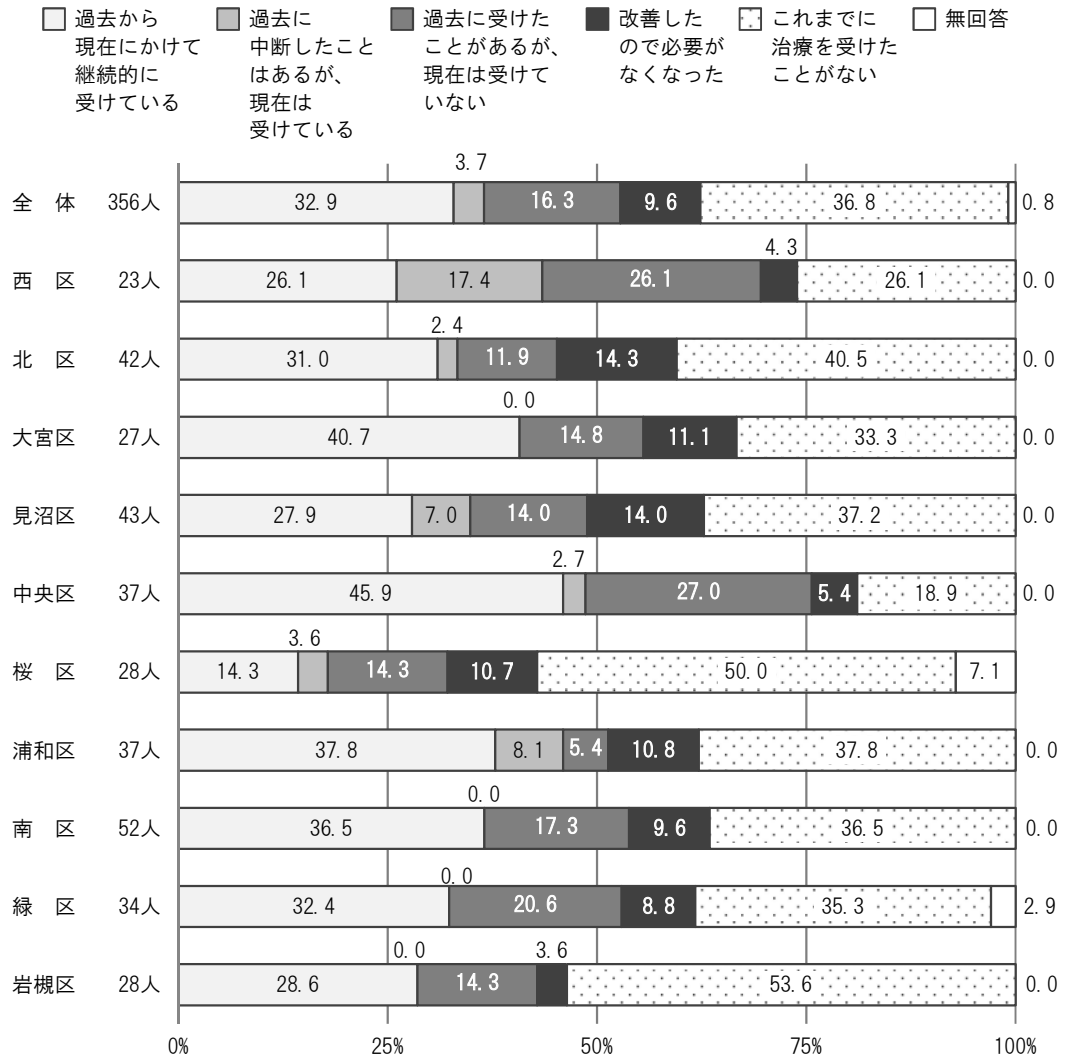
図 49-エ b.5 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔就労状況別〕



Ⅲ 調査結果

メタボリックシンドロームの治療状況を居住区別にみると、「過去から現在にかけて継続的に受けている」が「中央区」で45.9%、「大宮区」で40.7%となっており、「これまでに治療を受けたことがない」が「岩槻区」で53.6%、「桜区」で50.0%となっています。

図 49-エ b. 6 指摘後の治療状況_メタボリックシンドローム〔居住区別〕



(50) 健康寿命とは、「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のことです。あなたはこの「健康寿命」という言葉を知っていましたか。(〇は1つだけ)

<B : 問 48>

「健康寿命」の認知度は、「言葉も意味も知っていた」が56.7%、「言葉も意味も知らなかった」が14.5%となっています。

性別にみると、男性は「言葉も意味も知らなかった」が17.8%と、女性より5.9ポイント有意に高くなっています。

H24年調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が26.2ポイント有意に増加しています。

H28年調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が4.9ポイント有意に増加しています。

図 50.1 「健康寿命」の認知度〔全体・性別〕**

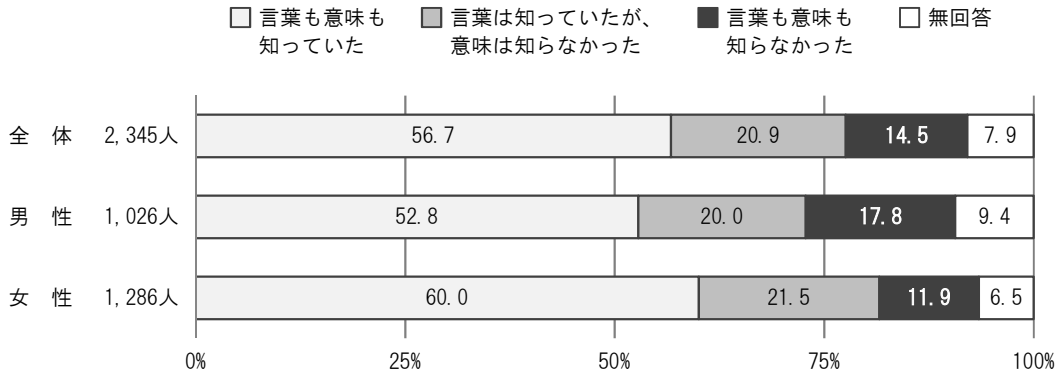
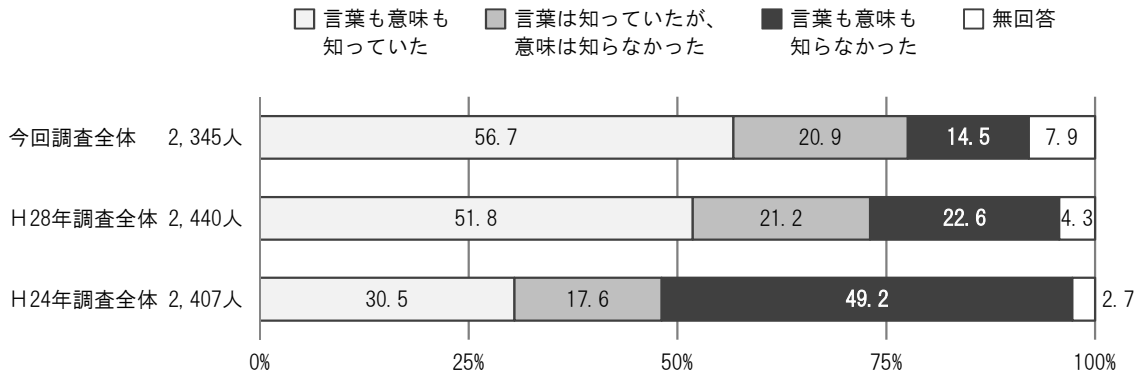


図 50.2 「健康寿命」の認知度〔経年比較〕**



Ⅲ 調査結果

「健康寿命」を知っている割合を年代別にH24年調査と比較すると、男性の30歳代では51.2ポイント増加し、女性の20歳代では46.3ポイント増加しています。

H28年調査と比較すると、男性の30歳代と40歳代、女性の10歳代と40歳代は10ポイント以上増加しています。

表 50 「健康寿命」を知っている割合〔経年比較・年代別〕

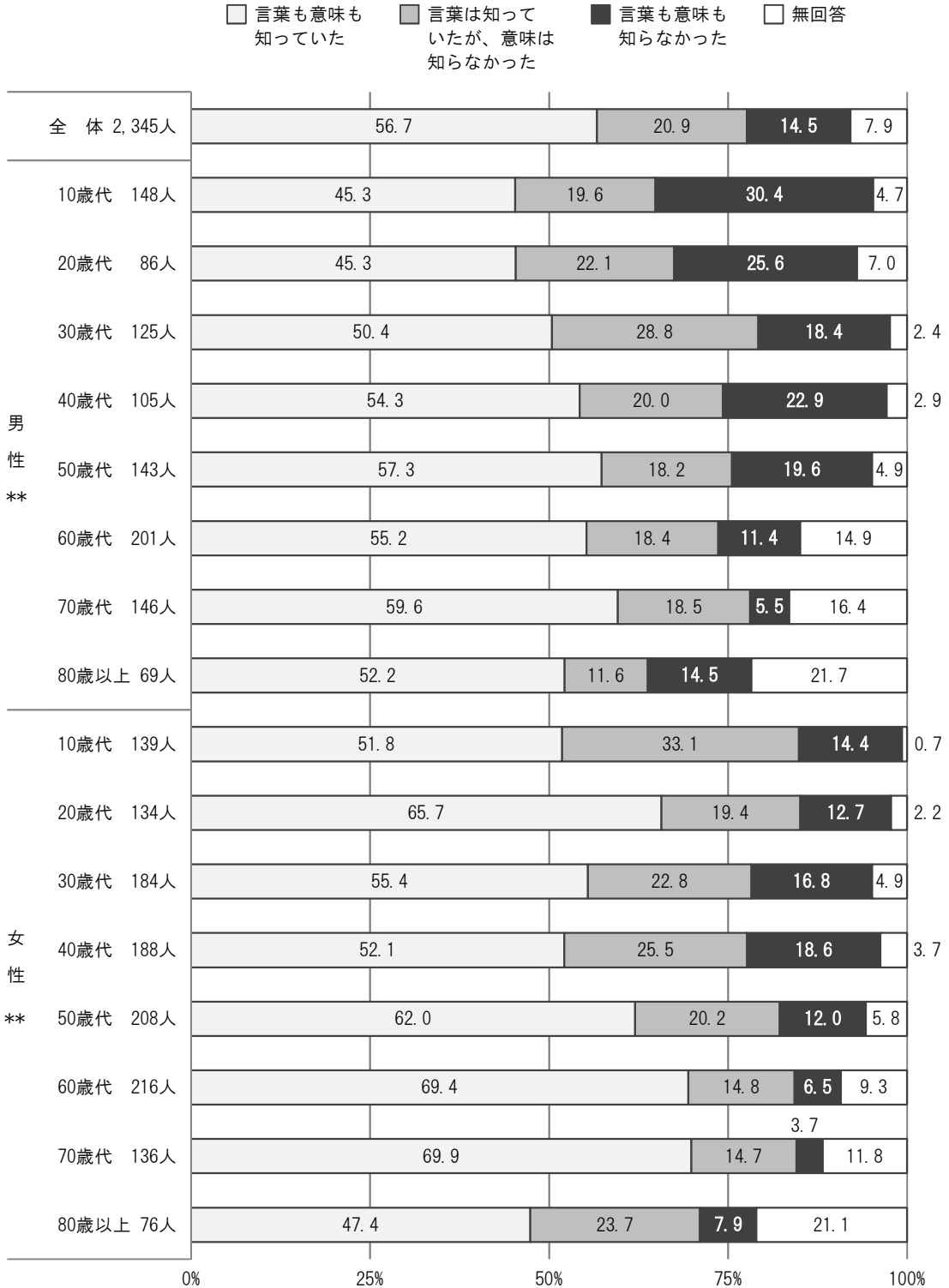
単位：％、ポイント

項目	H24年調査			H28年調査			今回調査			今回調査－ H24年調査	今回調査－ H28年調査
	言葉も意味も知っていた (1)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (2)	A = (1) + (2)	言葉も意味も知っていた (3)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (4)	B = (3) + (4)	言葉も意味も知っていた (5)	言葉は知っていたが、意味は知らなかった (6)	C = (5) + (6)	C－A	C－B
全体	30.5	17.6	48.1	51.8	21.2	73.0	56.7	20.9	77.6	29.5	4.6
男性計	28.1	18.7	46.8	47.4	22.3	69.7	52.8	20.0	72.8	26.0	3.1
10歳代	16.0	17.6	33.6	30.9	30.2	61.1	45.3	19.6	64.9	31.3	3.8
20歳代	12.0	13.9	25.9	33.7	28.9	62.6	45.3	22.1	67.4	41.5	4.8
30歳代	14.0	14.0	28.0	38.2	22.8	61.0	50.4	28.8	79.2	51.2	18.2
40歳代	16.0	16.0	32.0	35.4	21.8	57.2	54.3	20.0	74.3	42.3	17.1
50歳代	25.8	19.5	45.3	55.2	19.6	74.8	57.3	18.2	75.5	30.2	0.7
60歳代	39.7	22.1	61.8	61.4	20.8	82.2	55.2	18.4	73.6	11.8	-8.6
70歳代	44.3	20.3	64.6	58.4	18.1	76.5	59.6	18.5	78.1	13.5	1.6
80歳以上	41.1	23.3	64.4	54.8	19.2	74.0	52.2	11.6	63.8	-0.6	-10.2
女性計	32.5	16.8	49.3	55.8	20.1	75.9	60.0	21.5	81.5	32.2	5.6
10歳代	26.1	22.5	48.6	42.2	22.4	64.6	51.8	33.1	84.9	36.3	20.3
20歳代	18.7	20.1	38.8	51.5	26.1	77.6	65.7	19.4	85.1	46.3	7.5
30歳代	19.8	13.0	32.8	44.4	25.0	69.4	55.4	22.8	78.2	45.4	8.8
40歳代	25.3	15.7	41.0	45.6	21.0	66.6	52.1	25.5	77.6	36.6	11.0
50歳代	34.2	17.6	51.8	64.6	18.0	82.6	62.0	20.2	82.2	30.4	-0.4
60歳代	46.2	15.3	61.5	70.1	16.3	86.4	69.4	14.8	84.2	22.7	-2.2
70歳代	52.6	17.9	70.5	64.4	18.5	82.9	69.9	14.7	84.6	14.1	1.7
80歳以上	34.9	12.7	47.6	57.5	12.3	69.8	47.4	23.7	71.1	23.5	1.3

「健康寿命」の認知度を性・年代別にみると、男性では「言葉も意味も知っていた」が「70歳代」で59.6%と他の年代より有意に高く、「言葉も意味も知らなかった」が「10歳代」で30.4%と有意に高くなっています。

女性では「言葉も意味も知っていた」が「60歳代」で69.4%、「70歳代」で69.9%と有意に高く、「言葉も意味も知らなかった」が「30歳代」で16.8%、「40歳代」で18.6%と有意に高くなっています。

図 50.3 「健康寿命」の認知度〔性・年代別〕



10 非常時に備えた備蓄について

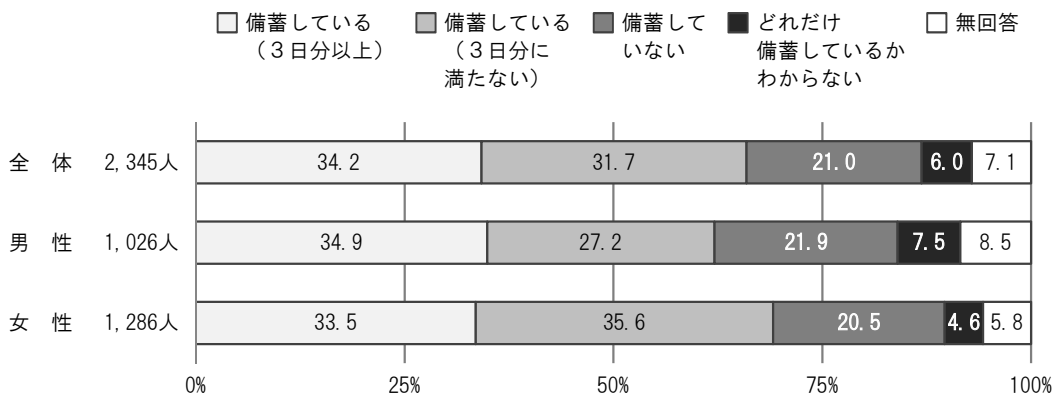
(51) 家庭では、非常時に備えて、以下のものを備蓄していますか。(〇はそれぞれに1ずつ) < A : 問 14 / B : 問 49 >

ア. 飲料水 (1人1日3リットルが目安)

飲料水については、「備蓄している(3日以上)」と「備蓄している(3日分に満たない)」を合わせた『備蓄している』が、15歳以上調査では65.9%となっています。

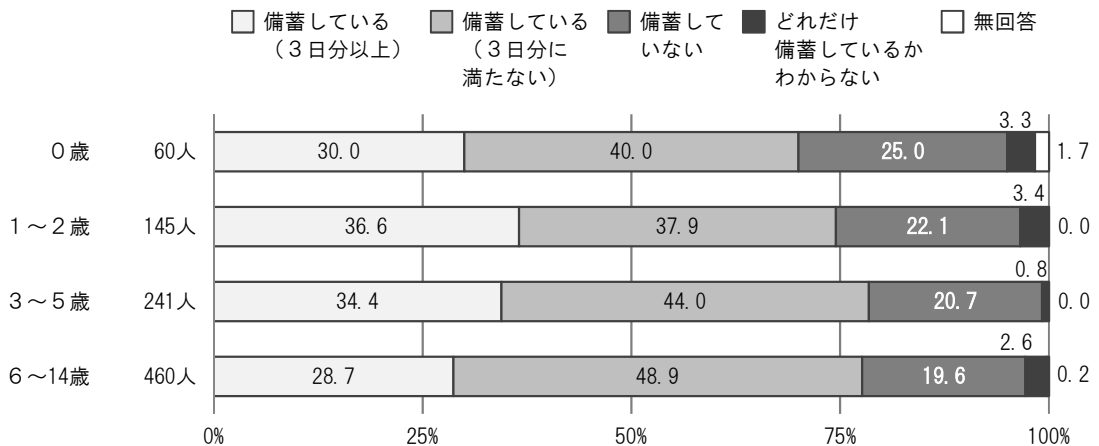
性別にみると、女性では「備蓄している(3日分に満たない)」が35.6%と、男性より8.4ポイント有意に高くなっています。

図 51-ア.1 非常時に備えた備蓄_飲料水 (B : 15歳以上調査) [全体・性別] **



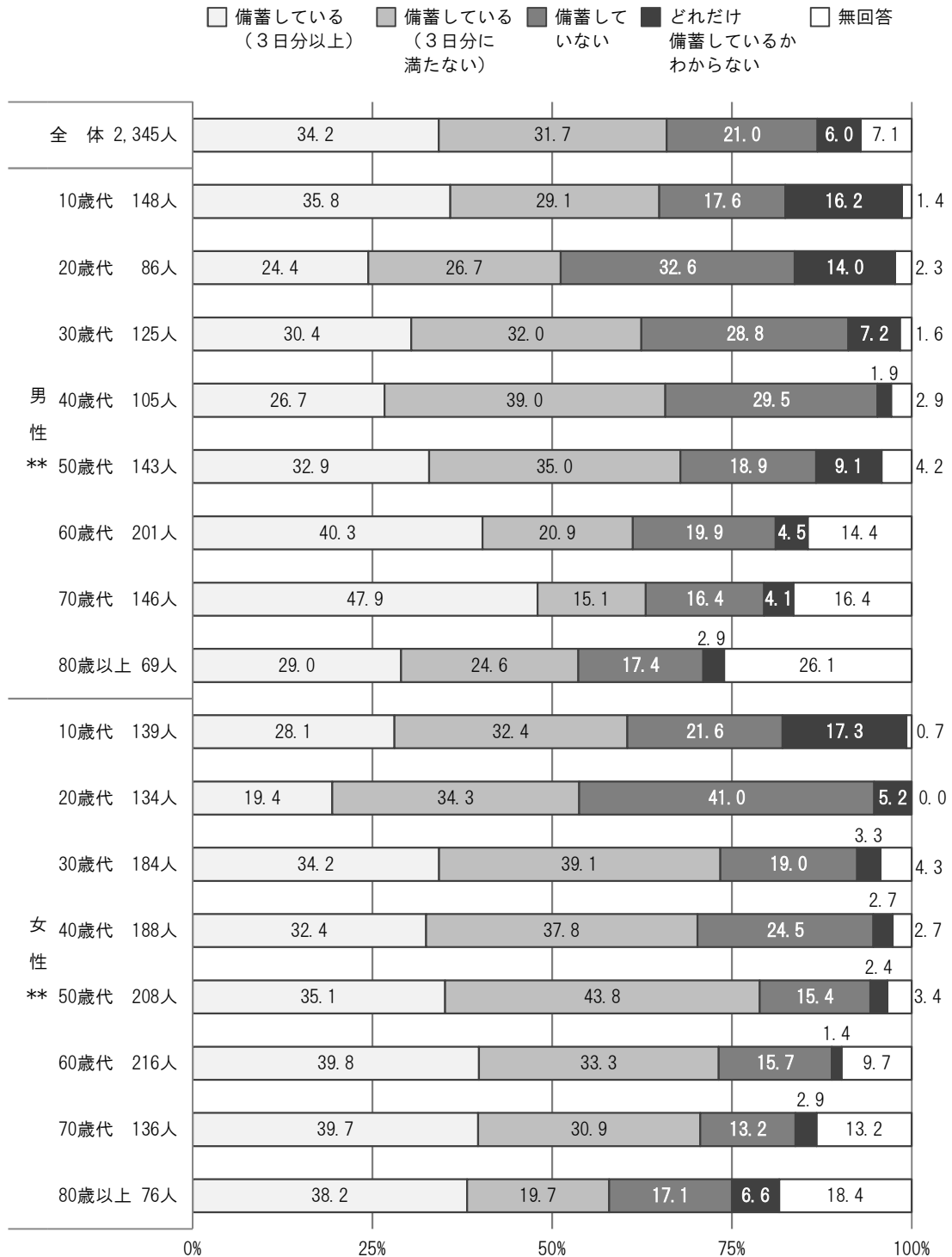
飲料水の備蓄について、0~14歳調査で年齢別にみると、「備蓄している(3日以上)」が「1~2歳」で36.6%、「3~5歳」で34.4%となっており、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「0歳」で25.0%となっています。

図 51-ア.2 非常時に備えた備蓄_飲料水 (A : 0~14歳調査) [年齢別]



飲料水の備蓄について、性・年代別にみると、男性では「備蓄している（3日分以上）」が「60歳代」で40.3%、「70歳代」で47.9%と他の年代より有意に高く、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「10歳代」で16.2%、「20歳代」で14.0%と有意に高くなっています。
 女性では「備蓄している（3日分以上）」が「60歳代」で39.8%、「70歳代」で39.7%と有意に高く、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「10歳代」で17.3%と有意に高くなっています。

図 51-ア.3 非常時に備えた備蓄_飲料水（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



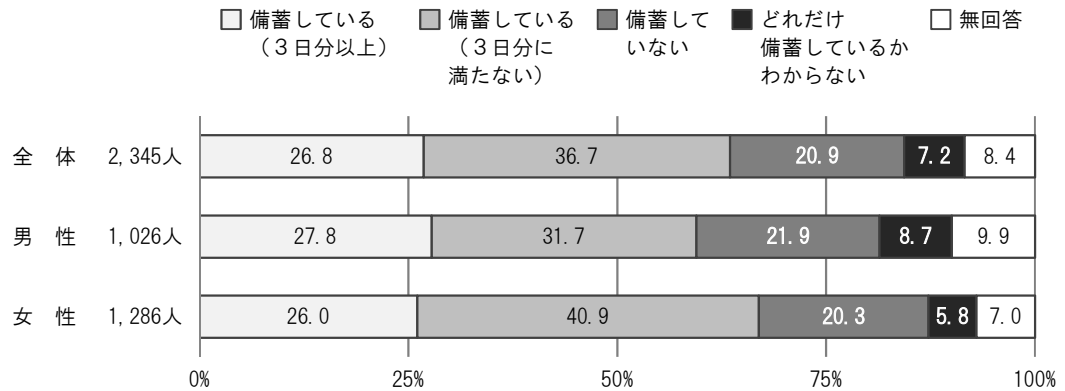
Ⅲ 調査結果

イ. 食料（乾パン、缶詰、レトルト食品など）

食料（乾パン、缶詰、レトルト食品など）については、「備蓄している（3日以上）」と「備蓄している（3日に満たない）」を合わせた『備蓄している』が、15歳以上調査では63.5%となっています。

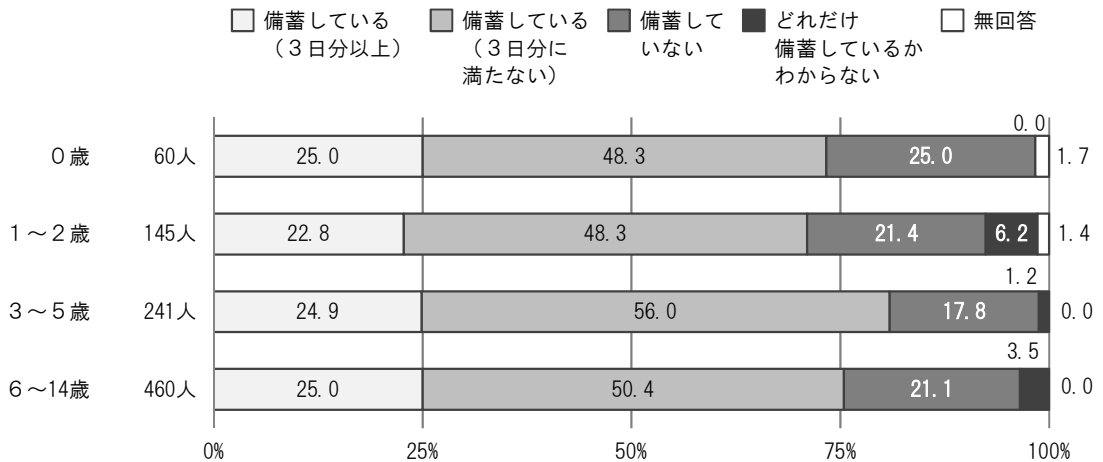
性別にみると、女性では「備蓄している（3日に満たない）」が40.9%と、男性より9.2ポイント有意に高くなっています。

図 51-イ.1 非常時に備えた備蓄_食料（B：15歳以上調査）〔全体・性別〕**



食料の備蓄について、0～14歳調査で年齢別にみると、「備蓄している（3日に満たない）」が「3～5歳」で56.0%となっており、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「0歳」で25.0%となっています。

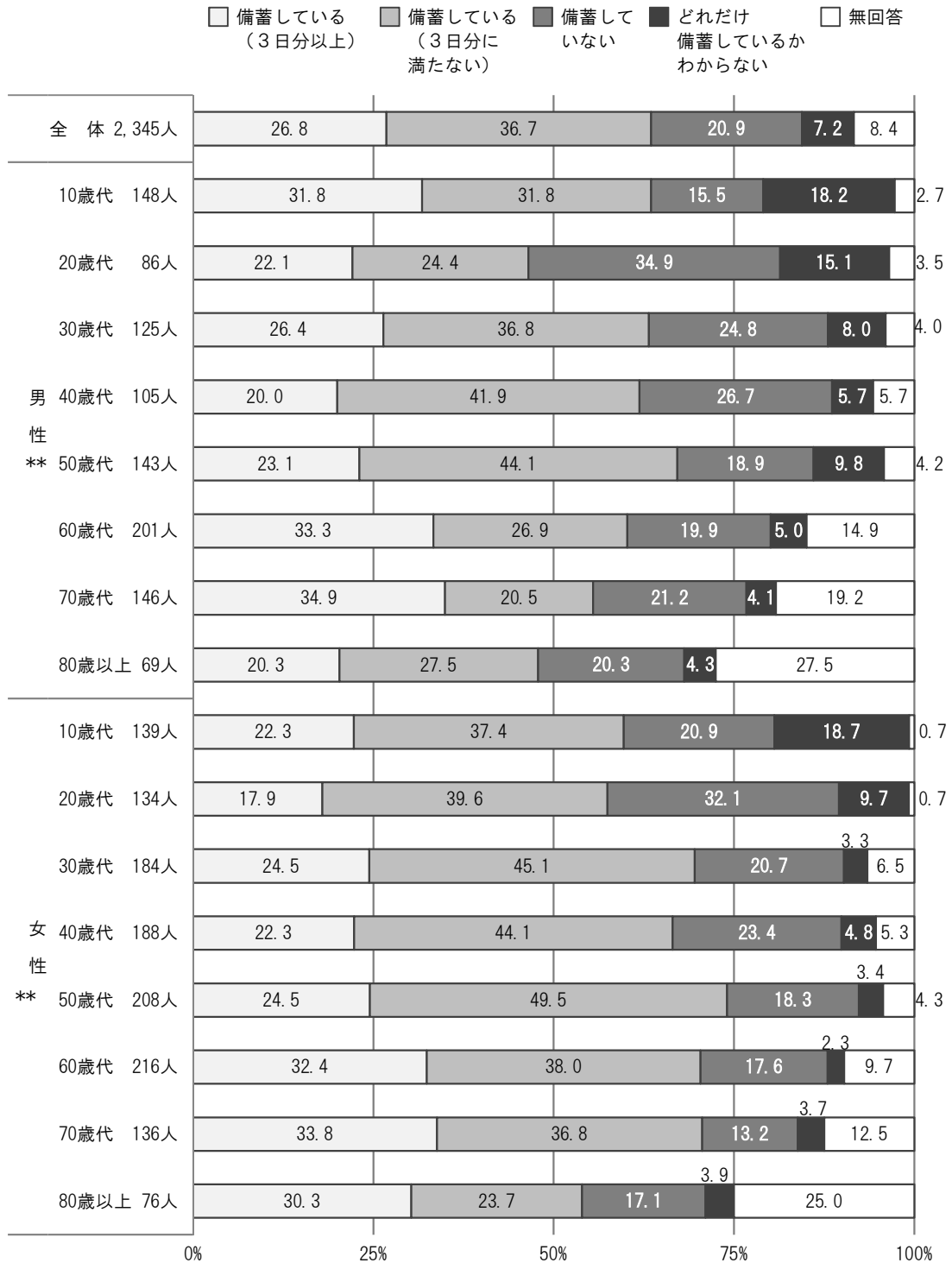
図 51-イ.2 非常時に備えた備蓄_食料（A：0～14歳調査）〔年齢別〕



食料の備蓄について、性・年代別にみると、男性では「備蓄している（3日分以上）」が「60歳代」で33.3%、「70歳代」で34.9%と他の年代より有意に高く、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「10歳代」で18.2%と有意に高くなっています。

女性では「備蓄している（3日分以上）」が「60歳代」で32.4%、「70歳代」で33.8%、「80歳以上」で30.3%と有意に高く、「どれだけ備蓄しているかわからない」が「10歳代」で18.7%と有意に高くなっています。

図 51-イ.3 非常時に備えた備蓄_食料（B：15歳以上調査）〔性・年代別〕



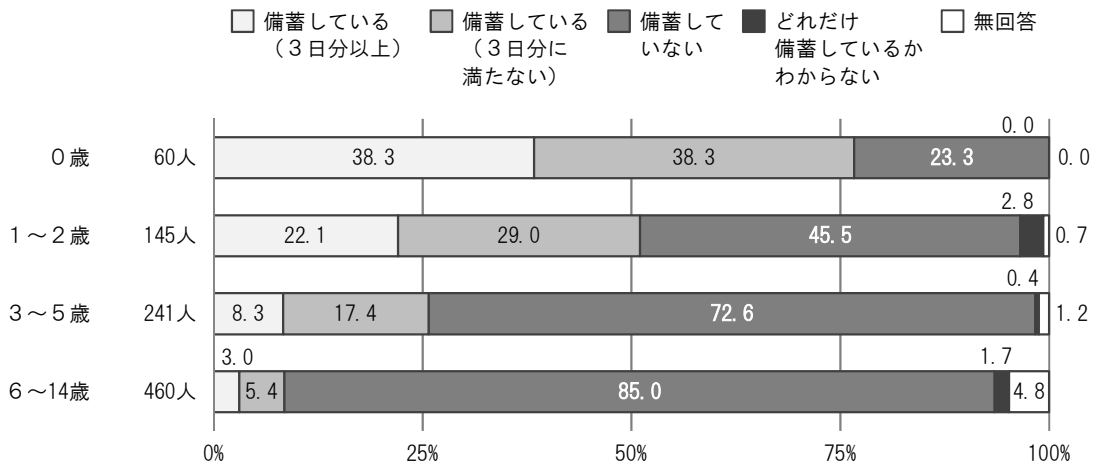
Ⅲ 調査結果

ウ. 子ども用の食品（粉ミルク、離乳食（ベビーフード）など）

< A : 0～14 歳調査のみ >

子ども用の食品については、「備蓄している（3日分以上）」と「備蓄している（3日分に満たない）」を合わせた『備蓄している』が「0歳」で76.6%となっています。
 年齢別にみると、「備蓄している（3日分以上）」が「0歳」で38.3%、「1～2歳」で22.1%と他の年齢より有意に高くなっています。

図 51-ウ 非常時に備えた備蓄_子ども用食品（A：0～14 歳調査）〔年齢別〕**



非常時に備え、食料や飲料水を備蓄している家庭の割合をH29年調査と比較すると、6.8ポイント有意に増加しています。

表 51 非常時に備え、食料や飲料水を備蓄している家庭の割合〔経年比較〕
 単位：％、ポイント

項目	H29年調査	今回調査	**
			今回調査－H29年調査
15歳以下の子どもがいる家庭	77.9	84.7	6.8

計画における数値目標のデータ



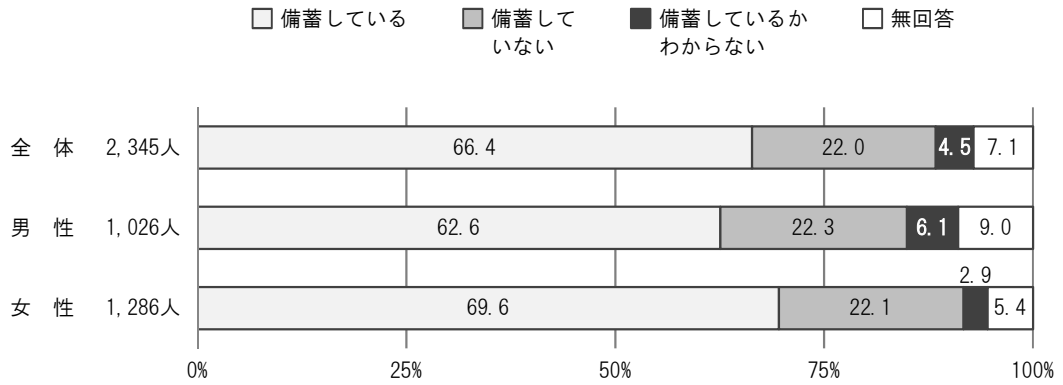
非常時に備え、食料や飲料水を備蓄している家庭の割合

- ・15歳以下の子どもがいる家庭 84.7% (目標値 増える(ベース値 77.9%))
- < B : 問 49 で「ア. 飲料水」「イ. 食料」のうち、いずれか1つでも「3日分以上備蓄している」または「備蓄しているが、3日分に満たない」と回答した15歳と、A : 問 14 で「ア. 飲料水」「イ. 食料」「ウ. 子ども用の食品」のうちいずれか1つでも「3日以上備蓄している」または「備蓄しているが、3日分に満たない」と回答した人を合算した割合 >

エ. 歯ブラシ

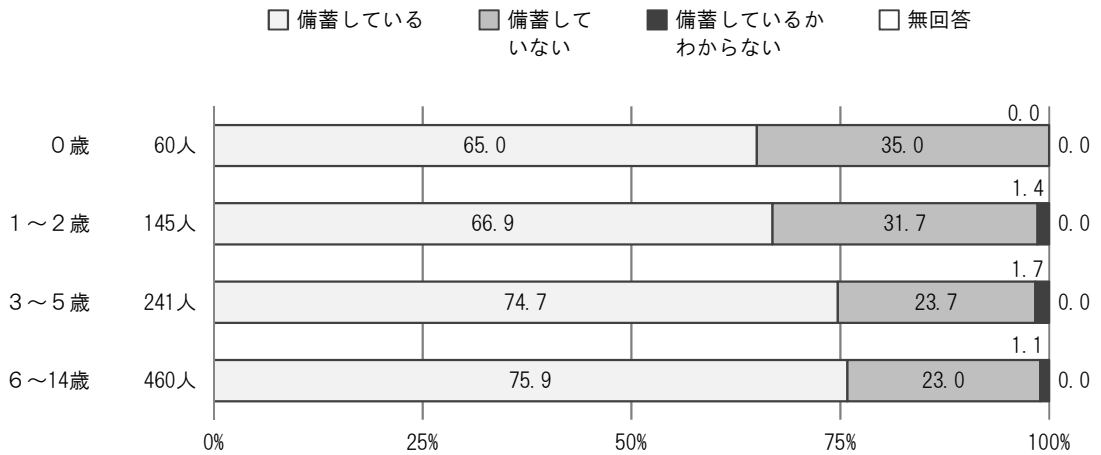
歯ブラシについては、「備蓄している」が、15歳以上調査では66.4%となっています。
性別にみると、女性では「備蓄している」が69.6%と、男性より7.0ポイント有意に高くなっています。

図 51-エ.1 非常時に備えた備蓄_歯ブラシ (B : 15歳以上調査) [全体・性別]**



歯ブラシの備蓄について、0~14歳調査で年齢別にみると、「備蓄している」が「3~5歳」で74.7%、「6~14歳」で75.9%となっており、「備蓄していない」が「0歳」で35.0%となっています。

図 51-エ.2 非常時に備えた備蓄_歯ブラシ (A : 0~14歳調査) [年齢別]

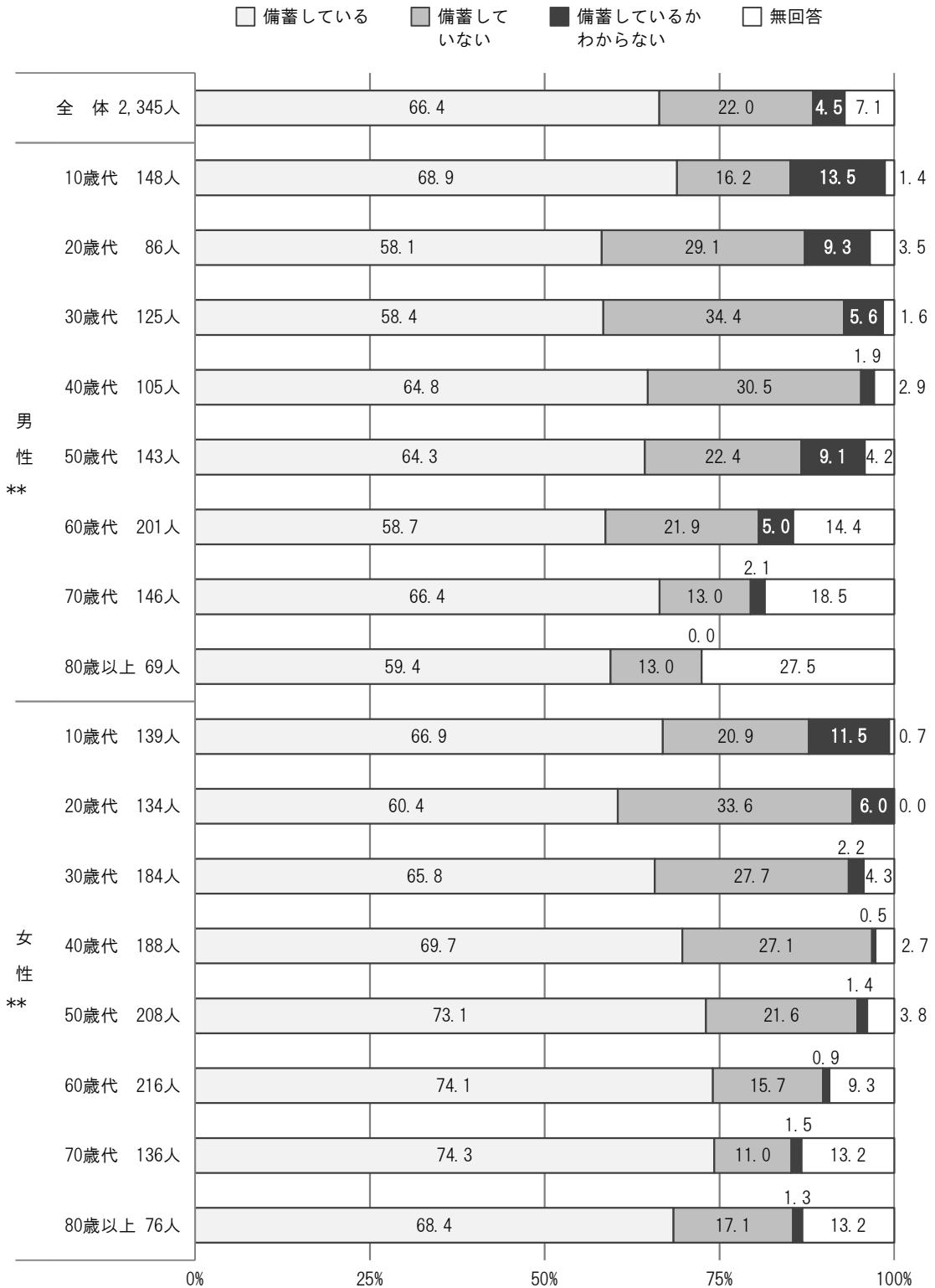


Ⅲ 調査結果

歯ブラシの備蓄について、性・年代別にみると、男性では「備蓄している」が「70歳代」で66.4%、「80歳以上」で59.4%と他の年代より有意に高く、「備蓄しているかわからない」が「10歳代」で13.5%と有意に高くなっています。

女性では「備蓄している」が「60歳代」で74.1%、「70歳代」で74.3%と有意に高く、「備蓄しているかわからない」が「10歳代」で11.5%と有意に高くなっています。

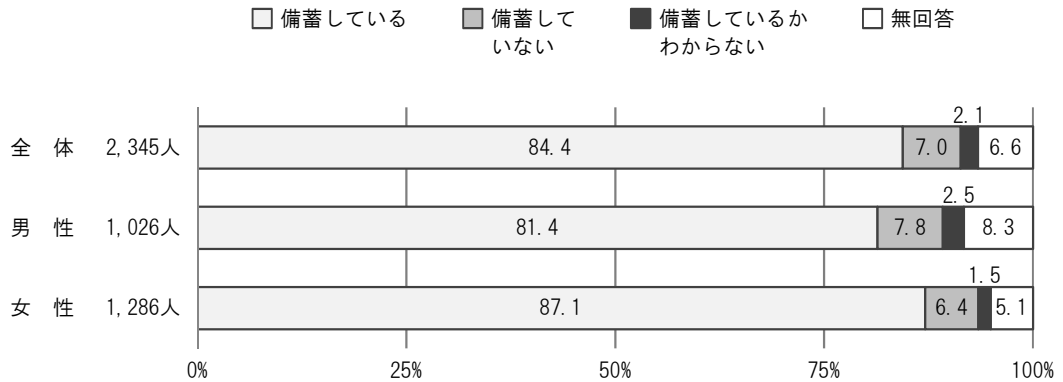
図 51-エ.3 非常時に備えた備蓄_歯ブラシ (B : 15歳以上調査) [性・年代別]



オ. マスク

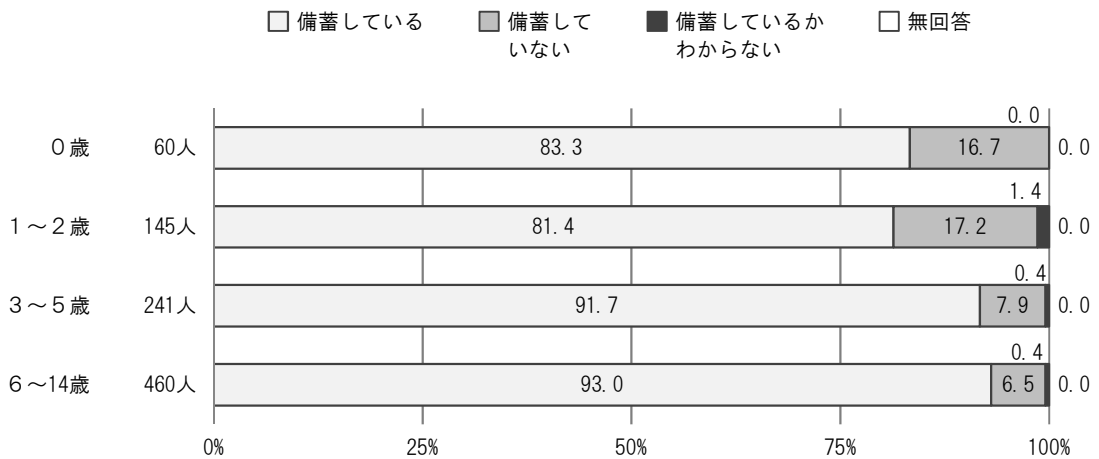
マスクについては、「備蓄している」が、15歳以上調査では84.4%となっています。
性別にみると、女性では「備蓄している」が87.1%と、男性より5.7ポイント有意に高くなっています。

図 51-オ.1 非常時に備えた備蓄_マスク (B: 15歳以上調査) [全体・性別] *



マスクの備蓄について、0~14歳調査で年齢別にみると、「備蓄している」が「6~14歳」で93.0%と他の年齢より有意に高くなっており、「備蓄していない」が「0歳」で16.7%、「1~2歳」で17.2%と有意に高くなっています。

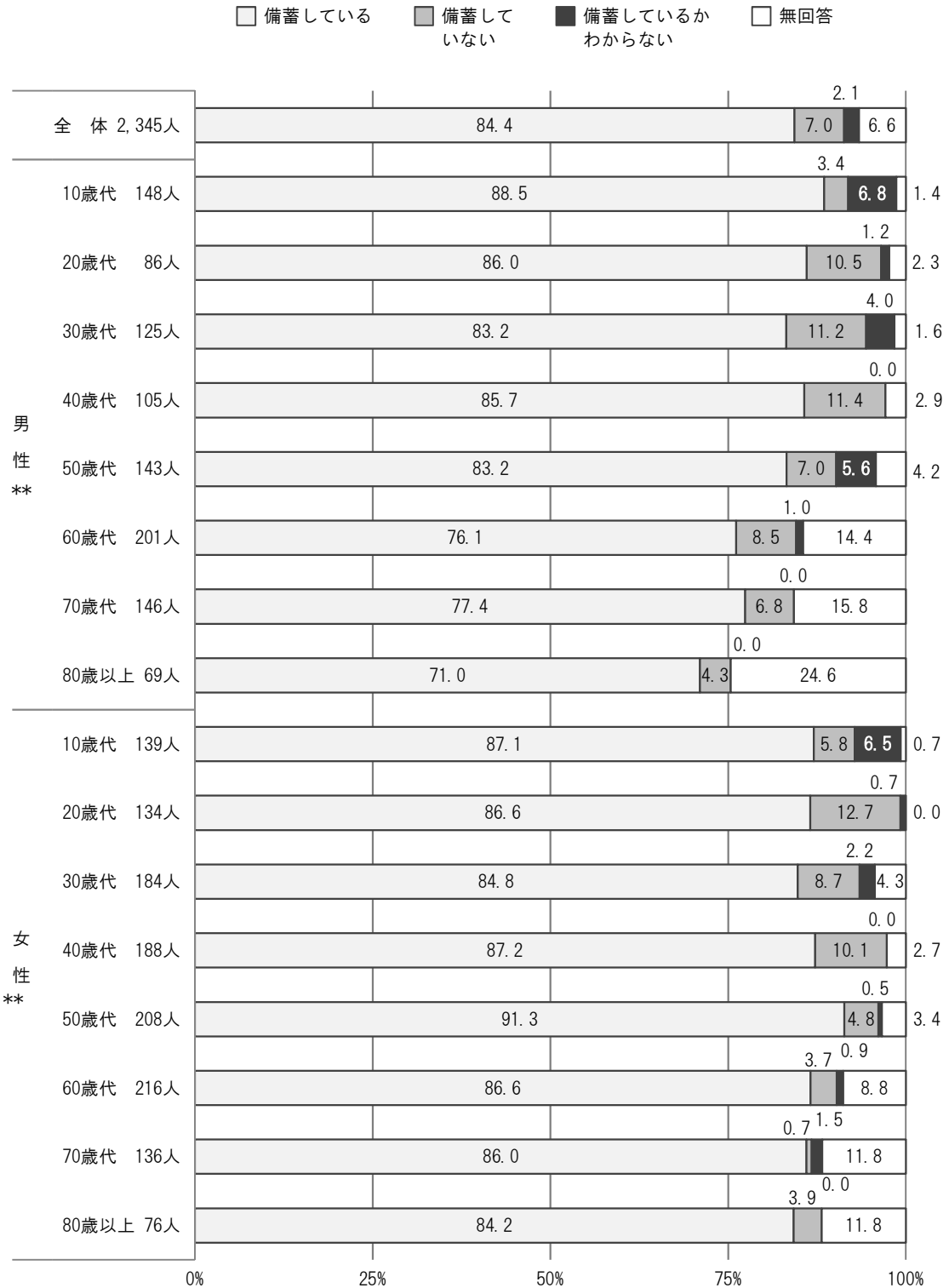
図 51-オ.2 非常時に備えた備蓄_マスク (A: 0~14歳調査) [年齢別] **



Ⅲ 調査結果

マスクの備蓄について、性・年代別にみると、男性では「備蓄している」が「10 歳代」で 88.5%、「20 歳代」で 86.0%となっており、「備蓄しているかわからない」が「10 歳代」で 6.8%、「50 歳代」で 5.6%と他の年代より有意に高くなっています。
 女性では「備蓄している」が「70 歳代」で 86.0%と有意に高く、「備蓄しているかわからない」が「10 歳代」で 6.5%と有意に高くなっています。

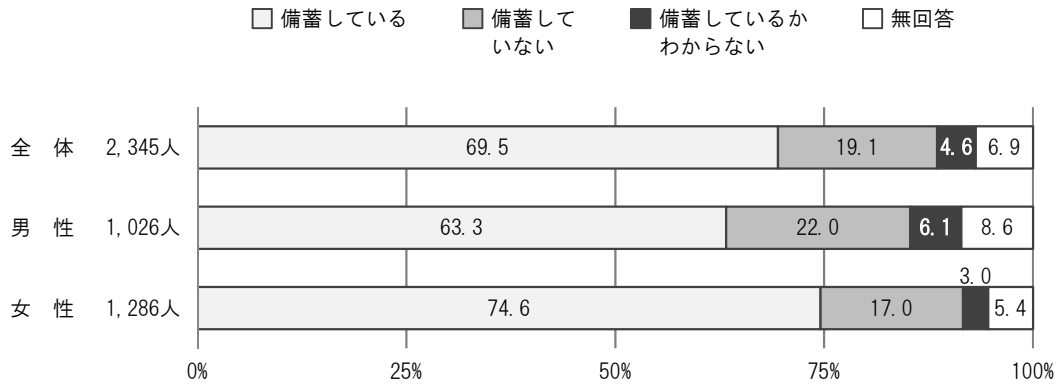
図 51-オ.3 非常時に備えた備蓄_マスク (B : 15 歳以上調査) [性・年代別]



カ. 手指消毒剤

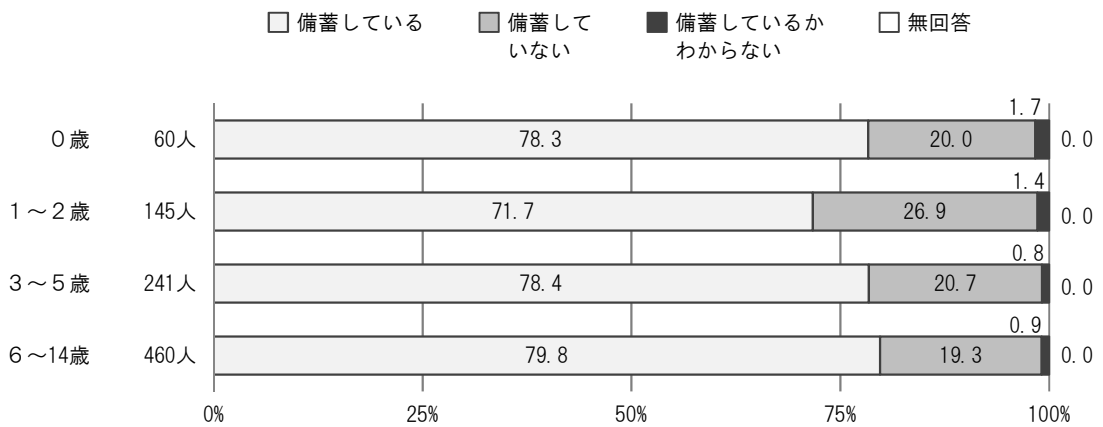
手指消毒剤については、「備蓄している」が、15歳以上調査では69.5%となっています。性別にみると、女性では「備蓄している」が74.6%と、男性より11.3ポイント有意に高くなっています。

図 51-カ.1 非常時に備えた備蓄_手指消毒剤 (B : 15歳以上調査) [全体・性別]**



手指消毒剤の備蓄について、0~14歳調査で年齢別にみると、「備蓄している」が「6~14歳」で79.8%となっており、「備蓄しているかわからない」が「1~2歳」で26.9%となっています。

図 51-カ.2 非常時に備えた備蓄_手指消毒剤 (A : 0~14歳調査) [年齢別]



Ⅲ 調査結果

手指消毒剤の備蓄について、性・年代別にみると、男性では「備蓄している」が「20歳代」で67.4%、「50歳代」で68.5%となっており、「備蓄しているかわからない」が「10歳代」で16.9%と他の年代より有意に高くなっています。

女性では「備蓄している」が「60歳代」で79.2%、「70歳代」で75.0%と有意に高く、「備蓄しているかわからない」が「10歳代」で13.7%、「20歳代」で6.7%と有意に高くなっています。

図 51-カ.3 非常時に備えた備蓄_手指消毒剤 (B : 15歳以上調査) [性・年代別]

